

檀原市スポーツ施設計画


(検討資料編)

令和4年3月
檀原市



検討資料編 1 対象施設基本情報

【検討資料編1】対象施設基本情報

施設1		榎原運動公園	
所在地	榎原市雲梯町323-2	敷地面積	296,081 m ²
駐車場	普通車 1,042 台	大駐車場 普通車 425 台 大型車 18 台	北駐車場 普通車 55 台 大型車 1 台
		東駐車場 普通車 82 台	西駐車場 普通車 137 台
		南駐車場 普通車 189 台 大型車 4 台	貴賓室前(南 北)駐車場 普通車 36 台
		管理事務所前駐 車場 普通車 18 台	臨時駐車場 普通車 約100 台
交通アクセス	近鉄南大阪線 坊城駅より徒歩約10分		
管理運営	指定管理		
施設内容	総合プール、軟式野球場、ソフトボール場、硬式野球場、テニスコート、多目的グラウンド、屋根付運動場、まほろば広場(大・小)、遊びの森、バラ園		
施設1-1	総合プール	1	【榎原運動公園】
施設内容	50m公認プール、25mプール、じゃぶじゃぶプール、正形プール、ファミリープール、子どもプール、流水プール、直線スライダー、ジャンボスライダー、アップヒルコースター、スタンド棟、更衣棟、管理事務所棟、貴賓室		
施設1-1-1	50m公認プール	1	【榎原運動公園】 【総合プール】
施設種別	競技用プール		
供用開始年度	昭和57年度(1982年度)		
構造	コンクリート	階数	
構造物配置面積	1,075m ² (水面積)		
競技可能種目	水泳	競技可能面数	50m×8コース(公認:5591)
付帯設備			
その他	(水深)1.5m~1.8m		
運営時間	7月第2土曜日~8月31日(31日が土曜日の場合は9月1日まで、31日が金曜日の場合は9月2日まで) 午前9時から午後5時まで【専用使用のみ】		
現況写真			

施設1-1-2	25mプール		1	【檀原運動公園】	【総合プール】
施設種別	競技用プール				
供用開始年度	昭和57年度（1982年度）				
構造	コンクリート	階数			
構造物配置面積	440㎡(水面積)				
競技可能種目	水泳	競技可能面数	25m×7コース		
付帯設備					
その他	(水深) 1.3m～1.5m				
運営時間	7月第2土曜日～8月31日（31日が土曜日の場合は9月1日まで、31日が金曜日の場合は9月2日まで） 午前9時30分から午後4時30分まで（※専用使用については、午前9時から午後5時まで）				
現況写真					
施設1-1-3	じゃぶじゃぶプール		1	【檀原運動公園】	【総合プール】
施設種別	レジャープール				
供用開始年度	昭和55年度（1980年度）				
構造	コンクリート	階数			
構造物配置面積	540㎡(水面積)				
競技可能種目			競技可能面数		
付帯設備					
その他	(水深) 0.15m～0.35m				
運営時間	7月第2土曜日～8月31日（31日が土曜日の場合は9月1日まで、31日が金曜日の場合は9月2日まで） 午前9時30分から午後4時30分まで				
現況写真					

施設1-1-4	正形プール	1	【檀原運動公園】	【総合プール】
施設種別	レジャープール			
供用開始年度	昭和55年度（1980年度）			
構造	コンクリート	階数		
構造物配置面積	508㎡(水面積)			
競技可能種目		競技可能面数		
付帯設備				
その他	(水深) 1.1m～1.3m			
運営時間	7月第2土曜日～8月31日（31日が土曜日の場合は9月1日まで、31日が金曜日の場合は9月2日まで）午前9時30分から午後4時30分まで			
現況写真				
施設1-1-5	ファミリープール	1	【檀原運動公園】	【総合プール】
施設種別	レジャープール			
供用開始年度	昭和55年度（1980年度）			
構造	コンクリート	階数		
構造物配置面積	777㎡(水面積)			
競技可能種目		競技可能面数		
付帯設備				
その他	(水深) 0.8m～0.9m			
運営時間	7月第2土曜日～8月31日（31日が土曜日の場合は9月1日まで、31日が金曜日の場合は9月2日まで）午前9時30分から午後4時30分まで			
現況写真				

施設1-1-6	子どもプール	1	【檀原運動公園】	【総合プール】
施設種別	レジャープール			
供用開始年度	平成10年度（1998年度）			
構造	コンクリート	階数		
構造物配置面積	439㎡(水面積)			
競技可能種目		競技可能面数		
付帯設備	ウォータージャングル、カメスライダー			
その他	(水深) 0.5m～0.6m			
運営時間	7月第2土曜日～8月31日（31日が土曜日の場合は9月1日まで、31日が金曜日の場合は9月2日まで）午前9時30分から午後4時30分まで			
現況写真				
施設1-1-7	流水プール	1	【檀原運動公園】	【総合プール】
施設種別	レジャープール			
供用開始年度	昭和55年度（1980年度）			
構造	コンクリート	階数		
構造物配置面積	853㎡(水面積)			
競技可能種目		競技可能面数		
付帯設備				
その他	(水深) 0.9m～1.0m			
運営時間	7月第2土曜日～8月31日（31日が土曜日の場合は9月1日まで、31日が金曜日の場合は9月2日まで）午前9時30分から午後4時30分まで			
現況写真				

施設1-1-8	直線スライダー	1	【榎原運動公園】	【総合プール】
施設種別	レジャープール			
供用開始年度	昭和55年度(1980年度)			
構造(スライダー)	鉄骨造	高さ9.0m、長さ31.5m、すべり面3面		
構造(着水プール)	コンクリート	階数		
構造物配置面積	175㎡(着水プール(水面積))			
競技可能種目		競技可能面数		
付帯設備				
その他	(水深) 0.6m~0.7m			
運営時間	7月第2土曜日~8月31日(31日が土曜日の場合は9月1日まで、31日が金曜日の場合は9月2日まで) 午前9時30分から午後4時30分まで			
現況写真				
施設1-1-9	ジャンボスライダー	1	【榎原運動公園】	【総合プール】
施設種別	レジャープール			
供用開始年度	昭和63年度(1988年度)			
構造(スライダー)	鉄筋コンクリート造	すべり面4面(長さ:177m、133m、105m、61m)		
構造(着水プール)	コンクリート	階数		
構造物配置面積	136㎡(着水プール(水面積))			
競技可能種目		競技可能面数		
付帯設備				
その他	(水深) 0.78m~1.0m			
運営時間	7月第2土曜日~8月31日(31日が土曜日の場合は9月1日まで、31日が金曜日の場合は9月2日まで) 午前9時30分から午後4時30分まで			
現況写真				

施設1-1-10	アップヒルコースター	1	【檀原運動公園】	【総合プール】
施設種別	レジャープール			
供用開始年度	平成10年度（1998年度）			
構造（スライダー）	鉄骨造	すべり面1面、長さ106m		
構造（着水プール）	コンクリート	階数		
構造物配置面積	91㎡(着水プール(水面積))			
競技可能種目			競技可能面数	
付帯設備				
その他	(水深) 0.6m～0.7m			
運営時間	7月第2土曜日～8月31日（31日が土曜日の場合は9月1日まで、31日が金曜日の場合は9月2日まで）午前9時30分から午後4時30分まで			
現況写真				
施設1-1-11	スタンド棟	1	【檀原運動公園】	【総合プール】
施設種別	スタンド棟 (施設用途) 更衣室・会議室・観覧席（50m公認プール）			
供用開始年度	昭和57年度（1982年度）			
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上2階	
床面積	1,197.00 ㎡			
競技可能種目			競技可能面数	
付帯設備				
その他				
運営時間	午前9時00分から午後9時00分まで			
現況写真				

施設1-1-12	更衣棟	1	【檀原運動公園】	【総合プール】
施設種別	更衣棟（レジャープール）			
供用開始年度	平成10年度（1998年度）			
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上1階	
床面積	809.40 m ²			
競技可能種目			競技可能面数	
付帯設備				
その他				
運営時間	7月第2土曜日～8月31日 午前9時30分から午後4時30分まで			
現況写真				
施設1-1-13	管理事務所棟	1	【檀原運動公園】	【総合プール】
施設種別	管理事務所（檀原運動公園）			
供用開始年度	平成10年度（1998年度）			
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上1階	
床面積	477.78 m ²			
競技可能種目			競技可能面数	
付帯設備				
その他				
運営時間				
現況写真				

施設1-1-14	貴賓室	1	【檀原運動公園】	【総合プール】
施設種別	会議室（総合プール）			
供用開始年度	昭和57年度（1982年度）			
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上1階	
床面積	231.76 m ²			
競技可能種目			競技可能面数	
付帯設備				
その他				
運営時間				
現況写真				

施設1-2	軟式野球場	1	【檀原運動公園】
施設種別	軟式野球場		
供用開始年度	昭和62年度（1987年度）		
構造物配置面積	9,652 m ²		
競技可能種目	軟式野球・ソフトボール	競技可能面数	1面（87m-100m）
付帯設備	照明設備16灯×6基（平成6年度(1994年度)供用開始）		
その他			
運営時間	午前9時00分から午後9時00分まで		
休館（場）日	年末年始（12月27日から1月4日まで）		
現況写真			
施設1-3	ソフトボール場	1	【檀原運動公園】
施設種別	ソフトボール場		
供用開始年度	昭和62年度（1987年度）		
構造物配置面積	5,302 m ²		
競技可能種目	ソフトボール	競技可能面数	1面（73m-75m）
付帯設備	照明設備6灯×6基（平成6年度(1994年度)供用開始）		
その他			
運営時間	午前9時00分から午後9時00分まで		
休館（場）日	年末年始（12月27日から1月4日まで）		
現況写真			

施設1-4	硬式野球場	1	【檀原運動公園】
施設種別	硬式野球場		
供用開始年度	平成10年度（1998年度）		
構造物配置面積	23,970 m ²		
競技可能種目	硬式野球・軟式野球	競技可能面数	1面（100m-122m）
付帯設備	LEDスコアボード（平成30年度(2018年度)供用開始） 放送設備		
その他			
運営時間	午前9時00分から午後5時00分まで(ただし、6月15日～8月15日までの期間は午前9時から午後7時まで)		
休館（場）日	年末年始（12月27日から1月4日まで）		
現況写真			

施設1-5	テニスコート	1	【檀原運動公園】
施設内容	テニスコート 東 (A)、テニスコート 西 (B・C)、クラブハウス		
施設1-5-1	テニスコート 東 (A)	1	【檀原運動公園】 【テニスコート】
施設種別	テニスコート		
供用開始年度	平成6年度 (1994年度)		
構造物配置面積	3,392 m ²		
競技可能種目	テニス	競技可能面数	4面 透水型砂入り人工芝
付帯設備	照明設備 9基×2		
その他			
運営時間	午前9時00分から午後9時00分まで		
休館(場)日	年末年始 (12月27日から1月4日まで)		
現況写真			
施設1-5-2	テニスコート 西 (B・C)	1	【檀原運動公園】 【テニスコート】
施設種別	テニスコート		
供用開始年度	平成8年度 (1996年度)		
構造物配置面積	5,877 m ²		
競技可能種目	テニス	競技可能面数	(B) 4面 (+半面付) 透水型砂入り人工芝 (C) 1面 (センターコート) 透水型砂入り人工芝
付帯設備			
その他			
運営時間	午前9時00分から午後5時00分まで(ただし、6月15日～8月15日までの期間は午前9時から午後7時まで)		
休館(場)日	年末年始 (12月27日から1月4日まで)		
現況写真			

施設1-5-3	クラブハウス	1	【檀原運動公園】	【テニスコート】
施設種別	テニスコート休憩室 (施設用途) 更衣室、シャワー室、休憩室			
供用開始年度	平成8年度(1996年度)			
構造	木造	階数	地上1階	
床面積	122 m ²			
競技可能種目	競技可能面数			
付帯設備				
その他				
運営時間	午前9時00分から午後9時00分まで			
休館(場)日	年末年始(12月27日から1月4日まで)			
現況写真				

施設1-6		多目的グラウンド (ヤタガラスフィールド榎原)		1 【榎原運動公園】	
施設種別	多目的グラウンド				
供用開始年度	令和元年度 (2019年度)				
構造物配置面積	22,080 m ²				
競技可能種目	サッカー、ラグビー等	競技可能面数	2面 (各120m-78m) JFAロングパイル人工芝ピッチ公認		
付帯設備	照明設備 LED10灯×4基 /面 (令和2年度(2020年度)供用開始)				
その他					
運営時間	午前9時00分から午後9時00分まで				
休館(場)日	年末年始 (12月27日から1月4日まで)				
現況写真					
施設1-7		屋根付運動場		1 【榎原運動公園】	
施設種別	屋根付運動場				
供用開始年度	平成23年度 (2011年度)				
構造	鉄骨造・鉄筋コンクリート造	階数	1		
構造物配置面積	1,485 m ²				
競技可能種目	フットサル等	競技可能面数	1面 (50m-30m)		
付帯設備	照明設備 (20灯)				
その他					
運営時間	午前9時00分から午後9時00分まで				
休館(場)日	年末年始 (12月27日から1月4日まで)				
現況写真					

施設 2	橿原市中央体育館		
所在地	橿原市小房町 1 1 - 1		
駐車場	※万葉ホールとの兼用 第 1 駐車場 123 台 第 2 駐車場 261 台 第 3 駐車場 52 台		
交通アクセス	近鉄橿原線 畝傍御陵前駅より徒歩約 1 2 分		
管理運営	橿原市スポーツ推進課（直営） 令和4年度から指定管理制度による管理運営		
施設内容	アリーナ		
供用開始年度	昭和46年度（1971年度）		
構造	（中央体育館） 鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造 （旧中央公民館部分） 鉄筋コンクリート造	階数	（中央体育館） 地上3階 （旧中央公民館部分） 地上3階
床面積	3,653.71 m ² （中央体育館） 2,753.88 m ² （旧中央公民館部分）		
現況写真			

施設 2-1	アリーナ	2	【橿原市中央体育館】
施設種別	体育館		
競技可能種目	バレーボール、ソフトバレーボール、バドミントン、バスケットボール、バウンドテニス、卓球等	競技可能面数	35m×23.2m 813㎡ 高さ 9.5m ・バスケットボール 2面 ・バレーボール 2面 ・テニス 1面 ・バドミントン 4面 ・卓球 16台 ・柔道 1面 ・剣道 2面
付帯設備	観客席 444脚（固定）		
その他			
運営時間	午前9時00分から午後9時00分まで		
休館（場）日	月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始（12月27日から1月4日まで）		
現況写真			

施設 3	橿原市香久山体育館		
所在地	橿原市南山町624		
駐車場	36台（体育館）+ 60台（香久山公園）、駐輪場1箇所		
交通アクセス	近鉄大阪線「大福駅」徒歩約30分、JR桜井線「香久山駅」徒歩約30分		
管理運営	指定管理		
施設内容	アリーナ、トレーニングルーム		
供用開始年度	平成5年度（1993年度）		
構造	鉄筋コンクリート造（一部木造）	階数	地上2階・地下1階
床面積	2,024.63 m ² + 地下階 2,745.37 m ²		
現況写真			
施設 3-1	アリーナ	3	【橿原市香久山体育館】
施設種別	体育館		
競技可能種目	バレーボール、ソフトバレーボール、バドミントン、バウンドテニス、卓球、キンボール等	競技可能面数	900m ² 31m×31m 高さ4m バレーボール 2面 バドミントン 4面 卓球 12面
付帯設備			
運営時間	午前9時00分から午後9時00分まで		
休館（場）日	月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始（12月30日から1月4日まで）		
現況写真			

施設 3-2	トレーニングルーム	3	【橿原市香久山体育館】
競技可能種目	フィットネス	競技可能面数	298㎡ 15m×19m
付帯設備			
運営時間	午前9時00分から午後9時00分まで		
休館（場）日	月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始（12月30日から1月4日まで）		
現況写真			

施設 4	万葉の丘スポーツ広場		
所在地	橿原市戒外町4 3 - 1		
駐車場	57 台		
交通アクセス	近鉄大阪線「大福駅」徒歩約30分、JR桜井線「香久山駅」徒歩約30分		
管理運営	指定管理		
施設内容	テニスコート、アーチェリー・弓道（遠的）場、パターゴルフ場、ちびっこ広場、洛陽牡丹園		
施設 4 -1	テニスコート	4	【万葉の丘スポーツ広場】
施設種別	テニスコート		
供用開始年度	平成8年度（1996年度）		
構造物配置面積	2,928 m ²		
競技可能種目	テニス・ソフトテニス	競技可能面数	6面 透水型砂入り人工芝
付帯設備			
運営時間	午前9時00分から午後5時00分まで（6月15日から8月15日までの期間、土、日、祝日は午前9時から午後7時まで）		
休館（場）日	月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始（12月30日から1月4日まで）		
現況写真			

施設4-2	アーチェリー・弓道（遠的）場	4	【万葉の丘スポーツ広場】
施設種別	アーチェリー・弓道（遠的）場		
供用開始年度	平成8年度（1996年度）		
構造物配置面積	1,950 m ²		
競技可能種目	アーチェリー・弓道（遠的）	競技可能面数	6レーン 全長60m
付帯設備			
その他			
運営時間	午前9時00分から午後5時00分まで（6月15日から8月15日までの期間、土、日、祝日は午前9時から午後7時まで）		
休館（場）日	月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始（12月30日から1月4日まで）		
現況写真			
施設4-3	パターゴルフ場	4	【万葉の丘スポーツ広場】
施設種別	パターゴルフ場		
供用開始年度	平成8年度（1996年度）		
構造物配置面積	5,671 m ²		
競技可能種目	パターゴルフ	競技可能面数	9ホール パー36 全長295m
付帯設備			
運営時間	午前9時00分から午後5時00分まで（6月15日から8月15日までの期間、土、日、祝日は午前9時から午後7時まで）		
休館（場）日	月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始（12月30日から1月4日まで）		
現況写真			

施設 5	橿原市曾我川緑地体育館		
所在地	橿原市曾我町 1 2 1 2		
駐車場	14台（体育館） + 120台（曾我川緑地）		
交通アクセス	近鉄大阪線「真菅駅」から徒歩約5分		
管理運営	指定管理		
施設内容	アリーナ、武道場、トレーニングルーム、スポーツスタジオ、ピロティ		
供用開始年度	平成12年度（2000年度）		
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造	階数	地上2階
床面積	3,038.85 ㎡		
現況写真			
施設 5-1	アリーナ	5	【橿原市曾我川緑地体育館】
施設種別	体育館		
競技可能種目	バレーボール、ソフトバレーボール、バスケットボール、バドミントン、バウンドテニス、卓球等	競技可能面数	36m×24m 高さ6m 864㎡ バスケットボール 1面 バレーボール 3面 バドミントン 6面 卓球 1 2台
付帯設備			
運営時間	午前9時00分から午後9時00分まで		
休館（場）日	月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始（12月30日から1月4日まで）		
現況写真			

施設 5 - 2	武道場	5	【檀原市曾我川緑地体育館】
競技可能種目	剣道、柔道、合気道等	競技可能面数	29m×15m 435㎡
付帯設備			
運営時間	午前9時00分から午後9時00分まで		
休館（場）日	月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始（12月30日から1月4日まで）		
現況写真			
施設 5 - 3	トレーニングルーム	5	【檀原市曾我川緑地体育館】
競技可能種目	フィットネス	競技可能面数	21m×12m 252㎡
付帯設備			
運営時間	午前9時00分から午後9時00分まで		
休館（場）日	月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始（12月30日から1月4日まで）		
現況写真			
施設 5 - 4	スポーツスタジオ	5	【檀原市曾我川緑地体育館】
競技可能種目	ヨガ等	競技可能面数	12m×6m 70㎡
付帯設備			
運営時間	午前9時00分から午後9時00分まで		
休館（場）日	月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始（12月30日から1月4日まで）		
現況写真			

施設 6	曾我川緑地		
所在地	橿原市曲川町9 5 8 - 3		
駐車場	120 台		
交通アクセス	近鉄大阪線「真菅駅」から徒歩約5分		
管理運営	指定管理		
施設内容	テニスコート、多目的グラウンド、芝生広場、ちびっこ広場		
施設6-1	テニスコート	6	【曾我川緑地】
施設種別	テニスコート		
供用開始年度	平成11年度（1999年度）		
構造物配置面積	976 m ²		
競技可能種目	テニス・ソフトテニス	競技可能面数	2面
付帯設備		透水型砂入り人工芝	
運営時間	午前9時00分から午後9時00分まで		
休館（場）日	月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始（12月30日から1月4日まで）		
現況写真			

施設6-2	多目的グラウンド	6	【曾我川緑地】
施設種別	多目的グラウンド		
供用開始年度	平成11年度（1999年度）		
構造物配置面積	11,600 m ²		
競技可能種目	サッカー、グラウンドゴルフ、 ターゲットバードゴルフ、ベタンク等	競技可能面数	1面
付帯設備			
運営時間	午前9時00分から午後5時00分まで（6月15日から8月15日までの期間、午前9時から午後7時まで（土、日、祝日は除く））		
休館（場）日	月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始（12月30日から1月4日まで）		
現況写真			

施設 7	橿原市ひがしたけだドーム		
所在地	橿原市東竹田町124-1		
駐車場	27台、駐輪置場1箇所		
交通アクセス	近鉄大阪線「耳成駅」から徒歩約30分		
管理運営	指定管理		
施設内容	アリーナ(人工芝)、子供の遊びコーナー、健康器具置場		
供用開始年度	平成22年度(2010年度)		
構造	(アリーナ部門・健康器具置場) 鉄骨造 (管理部門) 鉄筋コンクリート造	階数	(アリーナ部門・健康器具置場) 地上1階 (管理部門) 地上1階
床面積	1,465.21 m ²		
現況写真			
施設7-1	アリーナ	7	【ひがしたけだドーム】
施設種別	体育館		
競技可能種目	フットサル テニス・ソフトテニス ハンドボール	競技可能面数	38m×23m 高さ9m 896m ² 人工芝 フットサル 1面 テニス 1面
付帯設備			
運営時間	午前9時00分から午後9時00分まで		
休館(場)日	月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始(12月30日から1月4日まで)		
現況写真			

施設 8	東竹田近隣公園		
所在地	橿原市東竹田町124-1		
駐車場	27台、駐輪置場1箇所		
交通アクセス	近鉄大阪線「耳成駅」から徒歩約30分		
管理運営	指定管理		
施設内容	多目的広場、複合遊具、芝生広場、親水施設（噴水及びせせらぎ水路）		
施設8-1	多目的広場	8	【東竹田近隣公園】
施設種別	多目的グラウンド		
供用開始年度	平成20年度（2008年度）		
構造物配置面積	3,300 m ²		
競技可能種目	グラウンドゴルフ等	競技可能面数	1面
付帯設備			
その他			
運営時間			
休館（場）日			
現況写真			

施設9	橿原市新沢千塚公園拠点施設（シルクの杜）		
所在地	橿原市川西町855-1		
駐車場	地下駐車場 22台、 駐輪場49台 (新沢千塚古墳群公園 駐車場60台)		
交通アクセス	近鉄「橿原神宮前駅」西出口徒歩約25分、バス約10分「シルクの杜」下車すぐ		
管理運営	スポーツ推進課（直営）令和4年度から指定管理による管理運営		
施設種別	公園拠点施設（複合施設）		
施設内容	温浴施設、トレーニングルーム、ダンス教室、市民サロン、休憩所、喫茶コーナー、浴室（浴槽、水風呂、サウナ）、ホール（教室）、芝生広場、足湯		
供用開始年度	平成28年度（2016年度）		
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上1階・地下1階
床面積	4,127.46 m ²		
現況写真			
施設9-1	温浴施設	9	【橿原市新沢千塚公園拠点施設（シルクの杜）】
競技可能種目		競技可能面数	歩行浴槽 96.4m ² 水中エアロビクス槽 84.8m ² 子供専用槽 12.8m ² ジャグジー 7.89m ²
付帯設備			
その他			
運営時間	午前9時00分から午後9時00分まで		
休館（場）日	火曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始（12月27日から1月4日まで）		
現況写真			

施設9-2	トレーニングルーム	9	【榎原市新沢千塚公園拠点施設（シルクの杜）】
競技可能種目	フィットネス	競技可能面数	147㎡
付帯設備			
その他			
運営時間	午前9時00分から午後9時00分まで		
休館（場）日	火曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始（12月27日から1月4日まで）		
現況写真			
施設9-3	ダンス教室	9	【榎原市新沢千塚公園拠点施設（シルクの杜）】
競技可能種目		競技可能面数	110㎡
付帯設備			
その他			
運営時間	午前9時00分から午後9時00分まで		
休館（場）日	火曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始（12月27日から1月4日まで）		
現況写真			

 **検討資料編 2 対象施設の方向性・基本方針・
適用手法一覧表**

【検討資料編2】対象施設の方向性・基本方針・適用手法一覧表

施設 1	檀原運動公園		
施設内容	総合プール、ソフトボール場、軟式野球場、硬式野球場、テニスコート、多目的グラウンド、屋根付運動場、まほろば広場（大・小）遊びの森、バラ園		
施設1-1	総合プール	1	【檀原運動公園】
施設の方向性の検討 1次評価（現況評価）			
安全性・機能性	供用開始年度からの経過年数	※ 令和3年度（2021年度）時点	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ じゃぶじゃぶプール ・ 正形プール ・ ファミリープール ・ 流水プール ・ 直線スライダー 	4 1 年
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 50m公認プール ・ 25mプール ・ スタンド棟 ・ 貴賓室 	3 9 年
		<ul style="list-style-type: none"> ・ ジャンボスライダー ・ 子供プール ・ アップヒルコースター ・ 更衣棟 ・ 管理事務所棟 	3 3 年 2 3 年
躯体の状況	<p>スライダー施設全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 滑走面の塗装剥がれ有、一部階段部の錆有 <p>ジャンボスライダー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 根巻コンクリート面のひび割れや支柱金物に錆・腐食、滑走面にひび割れが目立ち、改善が必要 <p>直線スライダー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スライダー支柱根本付近の一部に腐食がみられる <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 機械室壁の露筋・爆裂や屋根塗装の劣化・錆・腐食の他、施設内への漏水がみられる 		
屋根、外壁材の状況	<p>スタンド棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋上塗膜防水膨れ、剥離 ・ 外壁西面他爆裂・露筋 <p>貴賓棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ギャラリー部外壁タイル欠落、はらみ、浮き ・ 外壁西面庇爆裂・露筋 <p>更衣棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋上露出防水層膨れ、亀裂、トップライト内装塗膜剥離、玄関庇錆・腐食進行 ・ 外壁クラック、吹付塗装の劣化 		

	事務所棟	<ul style="list-style-type: none"> 外壁クラック、吹付塗装の劣化 		
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 屋外トイレ屋根軒先鼻隠しの錆、塗装剥離がみられる 機械室壁の露筋・爆裂や屋根塗装の劣化・錆・腐食の他、施設内への漏水がみられる 		
内装、舗装、付帯設備、設備機器、器具、備品等の状況	共通	<ul style="list-style-type: none"> ピット内配管類に鉄製が多く水入れ替え時に錆が発生 ジャンボスライダー、アップヒルコース-送水管ジョイント部に錆・腐食 子供プール用ろ過機は制御盤が故障 流水プール周辺の床面の不陸が目立ち防水層の切れがみられる プールサイドの不陸等がみられる シェルターや休憩施設に経年的な劣化による部分的な変色がみられる 		
	ジャンボスライダー	<ul style="list-style-type: none"> 特殊建築物定期検査で、ジャンボスライダーの滑走面に要是正の項目があり開園までには修繕する必要がある 		
	直線スライダー	<ul style="list-style-type: none"> 着水部の水深不足による既存不適格による要是正の結果が出ているが是正が困難 		
	50m公認プール・25mプール	<ul style="list-style-type: none"> 自動審判システムが古く故障すると修理対応が出来ない状況になっており、更新が必要 		
	貴賓棟	<ul style="list-style-type: none"> ロビー漏水後、エフロレッセンス析出 		
	更衣棟	<ul style="list-style-type: none"> 更衣室内壁壁面塗膜剥離、天井ボード汚れ等 		
	施設の安全対策	<ul style="list-style-type: none"> AEDを管理事務所棟に設置 		
	耐震性	有り		
		<ul style="list-style-type: none"> ◇ 施設全体（構造物・設備機器）に著しい劣化が確認される ◇ 施設利用時の安全確保には、全面的な補修、改修が必要 		
		1次評価	レジャープール	競技用プール
	安全性・機能性評価	劣	劣	
経済性	今後の改修や建替えに係るコスト	今後10年間の修繕費用 (2022年～2031年)	レジャープール	618,365 千円
			競技用プール	106,859 千円
			合計	725,224 千円
		今後の修繕費用 (2022以降建替えまで)	レジャープール	892,480 千円
			競技用プール	255,551 千円
			合計	1,148,031 千円

		(上記修繕実施を踏まえた) 建替え年	レジャープール	2042 年	
			競技用プール	2042 年	
		今後の1年あたり修繕費用 (2022以降建替えまで)	レジャープール	44,624 千円	
			競技用プール	12,777 千円	
			合計	57,401 千円	
		解体撤去費用	レジャープール	421,299 千円	
	競技用プール		99,618 千円		
	合計		520,917 千円		
	建替え費用	レジャープール	3,427,554 千円		
		競技用プール	717,522 千円		
		合計	4,145,076 千円		
	◇ 今後の修繕費が多大 ◇ 建替え費用が多大				
運営維持管理費	令和元年度指定管理者プール関連支出		99,190 千円		
	※ 令和2年度、3年度はコロナウイルス感染拡大のため臨時休止				
収入	令和元年度利用料収入		61,191 千円		
	※ 令和2年度、3年度はコロナウイルス感染拡大のため臨時休止				
	◇ 平成28年度 ~ 令和元年度 にかけての利用料収入推移 ・ 83,125千円から61,191千円へ減少				
	◇ 収入は減少傾向				
	◇ 収入の減少幅が大きい				
	◇ 支出と収入の差額が多大				
◇ 老朽化により修繕費が多大 ◇ 利用料収入は減少傾向で、減少幅も大きい ◇ 管理運営に係る支出と利用料収入の差額が多大					
	1次評価	レジャープール	競技用プール		
	経済性評価	劣	劣		
1次評価		レジャープール	競技用プール		
施設の方向性	安全性	劣	改廃	改廃	
	機能性	劣			
	経済性	劣			
施設の整備手法	耐震性	—	再整備又は廃止	再整備又は廃止	
	施設の方向性	改廃			
施設の基本方針 2次評価 (環境評価)					
利用状況	利用人数	令和元年度利用者数		69,731 人	
		※ 令和2年度、3年度はコロナウイルス感染拡大のため臨時休止			
		◇ 平成28年度 ~ 令和元年度 にかけての利用者数推移 ・ 94,300人から69,700人へ減少			
		◇ 利用者数は減少傾向 ◇ 利用者数の減少幅が大きい			

ニーズ	市民アンケート	<ul style="list-style-type: none"> プールの充実度について（市内・公共） <table border="1"> <tr> <td>十分足りている</td> <td>9.6 %</td> <td rowspan="3">48.9 %</td> </tr> <tr> <td>ほぼ足りている</td> <td>8.0 %</td> </tr> <tr> <td>適量</td> <td>31.3 %</td> </tr> <tr> <td>やや不足している</td> <td>20.7 %</td> <td rowspan="2">31.6 %</td> </tr> <tr> <td>不足している</td> <td>10.9 %</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>19.4 %</td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> スポーツをするために使用する施設（公共・民間を問わず） <p>順位（15施設種別中） 下記施設を使用すると回答した人の割合</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>施設は使用していない</td> <td>41.3 %</td> </tr> <tr> <td>同率⑤⑥</td> <td>プール</td> <td>3.8 %</td> </tr> </table> <p>※ プールが不足しているとの意見が比較的多い。民間施設は市内に3施設あるものの、屋内温水プールのニーズがあると考えられる</p>	十分足りている	9.6 %	48.9 %	ほぼ足りている	8.0 %	適量	31.3 %	やや不足している	20.7 %	31.6 %	不足している	10.9 %	無回答	19.4 %			施設は使用していない	41.3 %	同率⑤⑥	プール	3.8 %
	十分足りている	9.6 %	48.9 %																				
ほぼ足りている	8.0 %																						
適量	31.3 %																						
やや不足している	20.7 %	31.6 %																					
不足している	10.9 %																						
無回答	19.4 %																						
	施設は使用していない	41.3 %																					
同率⑤⑥	プール	3.8 %																					
	不足する機能（ニーズ）	<p>スポーツ関係団体からの要望（ニーズ）</p> <p>◇ 屋内温水プール</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋外プールは近年熱中症が懸案となっている 																					
類似施設	近隣・県営	<p>まほろば健康パーク</p> <table border="1"> <tr> <td>規模・機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 屋外 50m公認競泳プール10コース 屋内 25m公認競泳プール10コース 25m健康増進プール6コース 屋外 レジャープール </td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td>大和郡山市</td> </tr> </table> <p>奈良県第二浄化センタースポーツ広場</p> <table border="1"> <tr> <td>規模・機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 屋外 レジャープール </td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td>北葛城郡広陵町</td> </tr> </table>	規模・機能	<ul style="list-style-type: none"> 屋外 50m公認競泳プール10コース 屋内 25m公認競泳プール10コース 25m健康増進プール6コース 屋外 レジャープール 	所在地	大和郡山市	規模・機能	<ul style="list-style-type: none"> 屋外 レジャープール 	所在地	北葛城郡広陵町													
	規模・機能	<ul style="list-style-type: none"> 屋外 50m公認競泳プール10コース 屋内 25m公認競泳プール10コース 25m健康増進プール6コース 屋外 レジャープール 																					
所在地	大和郡山市																						
規模・機能	<ul style="list-style-type: none"> 屋外 レジャープール 																						
所在地	北葛城郡広陵町																						
	市内・民営	<p>屋内温水プール 3施設</p> <p>◇ 近隣に県営施設、市内に複数の民間施設(屋内温水プール)があり、現在の利用を代替することは可能と考えられる</p>																					
防災	指定避難所	貴賓室																					
		<p>◇ 利用者数は減少傾向で、減少幅も大きい</p> <p>◇ 近隣の県営施設や、民間施設の活用により現在の利用を代替することが可能と考えられる</p> <p>◇ 貴賓室は指定避難所となっているが、総合プール廃止の場合であっても会議室として存続する</p>																					
	2次評価 政策優先度評価	レジャープール 低	競技用プール 低																				

2次評価			レジャープール	競技用プール
基本方針	施設の方向性	改廃	総量コントロール	総量コントロール
	政策優先度評価	低		
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 施設全体（構造物・設備機器）に著しい劣化が確認される ◇ 施設利用時の安全確保には、全面的な補修、改修が必要 ◇ 今後の修繕費が多大 ◇ 建替え費用が多大 ◇ 収入は減少傾向 ◇ 収入の減少幅が大きい ◇ 支出と収入の差額が多大 ◇ 利用者数は減少傾向 ◇ 利用者数の減少幅が大きい ◇ 近隣に県営施設、市内に複数の民間施設があり、現在の利用を代替することは可能と考えられる 			
対象施設の個別施設計画			レジャープール	競技用プール
適用手法	施設の方向性	改廃	廃止	廃止
	政策優先度評価	低		
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 総合プールは昭和55年度（1980年度）の開園以来、本市における夏の人気施設として多くの来園者を迎えてきたが、現在は老朽化により施設全体に著しい劣化が確認される状態にある。 ◆ 来園者数は、9万人から10万人で推移してきたが、近年は利用者数が減少を続け、直近の開園年度となる令和元年度は7万人を下回り、その影響を受け利用料収入も大きく減少し、プールの管理運営にかかる支出が収入を大きく上回る状況となっている。 ◆ 少子高齢化の進展による利用者層の減少傾向、夏季猛暑による熱中症懸念の影響、民間屋内プール施設、プールを有するフィットネスクラブ、大規模レジャープール、屋内レジャープールなど利用者の選択肢が広がった状況にあり、総合プールの運営や施設機能の向上を図っても利用状況の改善は見込めない。 ◆ 施設利用時の安全確保には、全面的な補修、改修が必要となる状況であり、今後の修繕費は多大になると見込む。 ◆ 本市の近隣には、県営の競泳プール、レジャープールが立地し、市内には民間の屋内プールが3施設あり、本市総合プールの利用を代替することは可能と考える。 ◆ 本市の厳しい財政状況を鑑みると、今後総合プールを安全に維持することは非常に困難な状況にある。 ◆ 長年にわたり市民の皆さまに愛されてきた総合プールであるが、今般、慎重に検討を重ねた結果として「廃止」との判断をする。 ◆ 総合プールの跡地利用については、駐車場整備、スポーツ施設の他、公園機能にも重点を置く新たな魅力創造拠点の創出について検討する。 ◆ 民間事業者等の資金やノウハウを一層活用することにより、施設の質の向上、利用者の利便性の向上を目指す。 				

単位：千円

年度	2022	2027	2032	2037	2042	2047	2052
スケジュール	◆ 総合プール廃止						
	◆ 跡地利用の検討						
	◆ 撤去						
	◆ 跡地整備						
※ 事務所棟、真室は機能維持							
※ 跡地整備内容については今後検討							
修繕費	(10年間)	9,751		—			
	(30年間)	109,108					
撤去費	(10年間)	490,927		—			
	(30年間)	490,927					
建替費	(10年間)	0		—			
	(30年間)	0					
合計	(10年間)	500,678		—			
	(30年間)	600,035					

施設1-2		軟式野球場		1 【檀原運動公園】		
施設の方向性の検討 1次評価（現況評価）						
安全性・機能性	供用開始年度からの経過年数	34年				
	躯体の状況	・ バックネットに錆や破損した箇所がみられる				
	屋根、外壁材の状況	・ バックネット裏観覧スペース（シェルター）の屋根のめくれがあり、部分的に雨漏り発生				
	内装、舗装、付帯設備、設備機器、器具、備品等の状況	グラウンド				
		<ul style="list-style-type: none"> 施設周辺部が未舗装の土手で強雨時にグラウンド内に土砂が流入 水はけが悪い 三塁・レフト側（西側）の防球ネットが低く、場外へ飛球（駐車場車両への飛球のケース有） グラウンド内の平坦性は保たれている 				
	照明	<ul style="list-style-type: none"> ナイター照明柱内に水がたまる ナイター照明のスイッチ設備が故障 ナイター照明は今後LED化必要（6機全て） 				
	耐震性	-				
<ul style="list-style-type: none"> ◇ 供用開始から30年以上経過し、全体的に老朽化による劣化が確認される ◇ グラウンドの水はけの悪さ、防球ネットが低い等、安全性、機能性を大きく損なう不具合が確認される 						
1次評価						
安全性・機能性評価		劣				
経済性	今後の改修や建替えに係るコスト	今後10年間の修繕費用（2022年～2031年）	76,889 千円			
		今後の修繕費用（2022以降建替えまで）	120,222 千円			
		（上記修繕実施を踏まえた）建替え年	2047 年			
		今後の1年あたり修繕費用（2022以降建替えまで）	4,808 千円			
		解体撤去費用	101,068 千円			
		建替え費用	336,896 千円			
	◇ 市内における他の屋外スポーツ施設と比較して今後の修繕費は中程度					
※ 以下、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きくは受けていない直近年度である令和元年度の実績を記載する。						
運営維持管理費		令和元年度指定管理者支出	50,567 千円			

	※ 檀原運動公園全体分（総合プールを除く）																						
収入	令和元年度利用料収入 3,204 千円																						
	◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用料収入推移 ・ 2,185千円から3,204千円の範囲で増減し、増加傾向																						
	◇ 収入は増加傾向																						
	◇ 修繕費は中程度 ◇ 利用料収入は増加傾向																						
	1次評価 経済性評価	良																					
1次評価 施設の方向性	安全性 劣 機能性 経済性 良	改善																					
施設の整備手法	耐震性 ー 施設の方向性 改善	機能改修																					
施設の基本方針 2次評価（環境評価）																							
利用状況	利用人数	令和元年度利用者数 15,514 人 ◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用者数推移 ・ 15,500人から16,100人の範囲で増減し、安定傾向 ◇ 利用者数は安定傾向																					
	稼働率	令和元年度稼働率 54 % ◇ 平成28年度～令和元年度にかけての稼働率推移 ・ 42%から54%の範囲で増減し、増加傾向 ◇ 稼働率は増加傾向																					
ニーズ	市民アンケート	<ul style="list-style-type: none"> 軟式野球場の充実度について（市内・公共） <table border="1"> <tr> <td>十分足りている</td> <td>15.0 %</td> <td rowspan="3">70.7 %</td> </tr> <tr> <td>ほぼ足りている</td> <td>12.4 %</td> </tr> <tr> <td>適量</td> <td>43.3 %</td> </tr> <tr> <td>やや不足している</td> <td>6.7 %</td> <td rowspan="2">8.7 %</td> </tr> <tr> <td>不足している</td> <td>2.0 %</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>20.6 %</td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> スポーツをするために使用する施設（公共・民間を問わず） 順位（15施設種別中） 下記施設を使用すると回答した人の割合 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>施設は使用していない</td> <td>41.3 %</td> </tr> <tr> <td>同率⑧⑨</td> <td>軟式野球場</td> <td>1.3 %</td> </tr> </table>	十分足りている	15.0 %	70.7 %	ほぼ足りている	12.4 %	適量	43.3 %	やや不足している	6.7 %	8.7 %	不足している	2.0 %	無回答	20.6 %			施設は使用していない	41.3 %	同率⑧⑨	軟式野球場	1.3 %
	十分足りている	15.0 %	70.7 %																				
ほぼ足りている	12.4 %																						
適量	43.3 %																						
やや不足している	6.7 %	8.7 %																					
不足している	2.0 %																						
無回答	20.6 %																						
	施設は使用していない	41.3 %																					
同率⑧⑨	軟式野球場	1.3 %																					
利用者アンケート	<ul style="list-style-type: none"> 付帯設備（冷暖房・シャワールーム等）についての満足度 不満との回答割合が、他施設と比較して高い <table border="1"> <tr> <td>どちらかといえば不満</td> <td>24.0 %</td> <td rowspan="2">36.0 %</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>12.0 %</td> </tr> </table>	どちらかといえば不満	24.0 %	36.0 %	不満	12.0 %																	
どちらかといえば不満	24.0 %	36.0 %																					
不満	12.0 %																						

防災	仮設住宅建設予定地	防災計画アクションカードに基づき、硬式野球場、軟式野球場、ソフトボール場、まほろば広場に1,270戸の仮設住宅が建設可能					
		◇ 稼働率は増加傾向にある ◇ 利用者数は安定して推移している					
	2次評価 政策優先度評価	高					
2次評価 基本方針	施設の 方向性 政策優先度 評価	改善 高	機能保持				
まとめ	◇ 供用開始から30年以上経過し、全体的に老朽化による劣化が確認される ◇ グラウンドの水はけの悪さ、防球ネットが低い等、安全性、機能性を大きく損なう不具合が確認される ◇ 他の屋外施設と比較して今後の修繕費は中程度 ◇ 収入は増加傾向 ◇ 利用者数は安定傾向 ◇ 稼働率は増加傾向						
対象施設の個別施設計画							
適用手法	施設の 方向性 政策優先度 評価	改善 高	機能改修・維持管理効率化				
	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 供用開始から30年以上経過し、全体的に老朽化による劣化が確認される。グラウンドの水はけの改善や、特に、防球ネットの高さ不足への対応が急がれる。 ◆ 利用者アンケートの結果、付帯設備について、不満との回答割合が、比較的高くなっている。 ◆ 更衣室やシャワー室を、なるべく施設から近い場所に整備するなど、施設利用者の満足度を高める整備を検討していく必要がある。 ◆ 運動公園全体にわたる整備検討のなかで、更衣室やシャワー室の整備等の検討を継続する。 ◆ 後述するソフトボール場の軟式野球場との集約化にあたっては、1つのグラウンドにおいて、同時に2ゲーム使用が可能となるようなグラウンド整備計画についても検討する。 						
単位：千円							
年度	2022	2027	2032	2037	2042	2047	2052
スケジュール	◆長寿命化・維持管理効率化 ◆ 改修内容検討・調整 ◆ 改修（防球ネット改修等） ◆建替						
修繕費	(10年間)	76,889					
	(30年間)	120,222					
※ 建替時期は未定、下記の金額は2047年度頃に軟式野球場を建替える場合を想定 ※ 同時に2ゲーム使用が可能なグラウンドへの再整備を検討する							

撤去費	(10年間)	0	
	(30年間)		101,068
建替費	(10年間)	0	
	(30年間)		336,896
合計	(10年間)	76,889	
	(30年間)		558,186

施設1-3		ソフトボール場		1 【檀原運動公園】		
施設の方向性の検討 1次評価（現況評価）						
安全性・機能性	供用開始年度からの経過年数	34年				
	躯体の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ ファールポールに錆がみられるがただちに安全性に影響を与えるものではない ・ バックネットに錆や破損した箇所がみられる 				
	屋根、外壁材の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 屋根裏の塗膜剥離や鉄骨材に錆がみられる 				
	内装、舗装、付帯設備、設備機器、器具、備品等の状況	グラウンド				
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 水はけが悪い ・ 施設周辺部が未舗装の土手で強雨時にグラウンド内に土砂が流入 ・ 三塁・レフト側（西側）の防球ネットが低く、場外へ飛球（駐車場車両への飛球のケース有） ・ グラウンド内の平坦性は保たれている ・ 熱中症対策等のためベンチに水場が必要 				
	照明	<ul style="list-style-type: none"> ・ ナイター照明は今後LED化必要（6機全て） 				
耐震性	—					
		<ul style="list-style-type: none"> ◇ 供用開始から30年以上経過し、全体的に老朽化による劣化が確認される ◇ グラウンドの水はけの悪さ、防球ネットが低い等、安全性、機能性を大きく損なう不具合が確認される 				
		1次評価				
		安全性・機能性評価	劣			
経済性	今後の改修や建替えに係るコスト	今後の10年間の修繕費用（2022年～2031年）	41,475 千円			
		今後の修繕費用（2022以降建替えまで）	78,540 千円			
		（上記修繕実施を踏まえた）建替元年	2046 年			
		今後の1年あたり修繕費用（2022以降建替えまで）	3,272 千円			
		解体撤去費用	83,926 千円			
		建替え費用	279,756 千円			
		◇ 市内における他の屋外スポーツ施設と比較して今後の修繕費は中程度				
※ 以下、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きくは受けていない直近年度である令和元年度の実績を記載する。						

	運営維持管理費		令和元年度利用料収入	50,567 千円												
	※ 檀原運動公園全体分（総合プールを除く）															
	収入		令和元年度利用料収入	760 千円												
		◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用料収入推移 ・ 760千円から845千円の範囲で増減し、安定傾向 ◇ 収入は安定傾向														
		◇ 修繕費は中程度 ◇ 利用料収入は安定して推移している														
1次評価		良														
経済性評価																
1次評価		改善														
施設の方向性	安全性 劣 機能性 経済性 良															
施設の整備手法		機能改修														
	耐震性 一 施設の方向性 改善															
施設の基本方針 2次評価（環境評価）																
利用状況	利用人数		令和元年度利用者数	10,944 人												
	◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用者数推移 ・ 9,900人から12,300人の範囲で増減し、安定傾向 ◇ 利用者数は安定傾向															
	稼働率		令和元年度稼働率	23 %												
◇ 平成28年度～令和元年度にかけての稼働率推移 ・ 23%から25%の範囲で増減し、安定傾向 ◇ 稼働率が低い ◇ 稼働率は安定傾向																
ニーズ	市民アンケート		・（市内・公共）ソフトボールの充実度について													
			<table border="1"> <tr> <td>十分足りている</td> <td>12.2 %</td> <td rowspan="2">66.6 %</td> </tr> <tr> <td>ほぼ足りている</td> <td>11.1 %</td> </tr> <tr> <td>適量</td> <td>43.3 %</td> <td rowspan="2">11.1 %</td> </tr> <tr> <td>やや不足している</td> <td>8.5 %</td> </tr> <tr> <td>不足している</td> <td>2.6 %</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>22.2 %</td> <td></td> </tr> </table>		十分足りている	12.2 %	66.6 %	ほぼ足りている	11.1 %	適量	43.3 %	11.1 %	やや不足している	8.5 %	不足している	2.6 %
十分足りている	12.2 %	66.6 %														
ほぼ足りている	11.1 %															
適量	43.3 %	11.1 %														
やや不足している	8.5 %															
不足している	2.6 %															
無回答	22.2 %															
		・ スポーツをするために使用する施設（公共・民間を問わず） 順位（15施設種別中） 下記施設を使用すると回答した人の割合														
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>施設は使用していない</td> <td>41.3 %</td> </tr> <tr> <td>同率⑩⑪</td> <td>ソフトボール場</td> <td>1.0 %</td> </tr> </table>				施設は使用していない	41.3 %	同率⑩⑪	ソフトボール場	1.0 %						
	施設は使用していない	41.3 %														
同率⑩⑪	ソフトボール場	1.0 %														
防災	仮設住宅建設予定地		防災計画アクションカードに基づき、硬式野球場、軟式野球場、ソフトボール場、まほろば広場に1,270戸の仮設住宅が建設可能													

	◇ 利用者数は安定しているが、稼働率は低い状況で推移している ◇ 仮設住宅建設予定地ではあるが、公園内において代替可能						
	2次評価 政策優先度評価	低					
2次評価 基本方針	施設の 方向性 政策優先度 評価	改善 低 総量コントロール					
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 供用開始から30年以上経過し、全体的に老朽化による劣化が確認される。 ◇ グラウンドの水はけの悪さ、防球ネットが低い等、安全性、機能性を大きく損なう不具合が確認される ◇ 他の屋外施設と比較して今後の修繕費は中程度 ◇ 収入は安定傾向 ◇ 利用者数は安定傾向 ◇ 稼働率が低い ◇ 稼働率は安定傾向 						
対象施設の個別施設計画							
適用手法	施設の 方向性 政策優先度 評価	改善 低 集約化					
	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 供用開始から30年以上経過し、全体的に老朽化による劣化が確認される。グラウンドの水はけの改善や、特に、防球ネットの高さ不足への対応が急がれる。 ◆ 機能改修が必要であること、稼働率が低いことを考慮して、ソフトボール場の機能を、軟式野球場に集約化する。 ◆ 軟式野球場への機能集約化にあたっては、1つのグラウンドにおいて、同時に2ゲーム使用が可能となるようなグラウンド整備計画についても検討する。 ◆ ソフトボール場の跡地利用については、駐車場整備、スポーツ施設の他、公園機能にも重点を置く新たな魅力創造拠点の創出について検討する。 ◆ 民間事業者等の資金やノウハウを一層活用することにより、施設の質の向上、利用者の利便性の向上を目指す。 						
単位：千円							
年度	2022	2027	2032	2037	2042	2047	2052
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ◆集約化検討 ◆撤去（軟式野球場への集約化） <small>※ 軟式野球場への機能集約化を検討する（2022年度以降、10年前後での集約化を想定する）</small> <small>※ 修繕費としてはフェールポールの更新</small>						
修繕費	(10年間)	4,184	—				
	(30年間)	4,184					
撤去費	(10年間)	79,426	—				
	(30年間)	79,426					
建替費	(10年間)	0	—				
	(30年間)	0					
合計	(10年間)	83,610					
	(30年間)	83,610					

施設1-4		硬式野球場		1 【檀原運動公園】	
施設の方向性の検討 1次評価（現況評価）					
安全性・機能性	供用開始年度	23年			
	からの経過年数	スコアボード：3年			
	躯体の状況	<ul style="list-style-type: none"> スコアボードに目立った損傷はみられない ダグアウトの支柱、基礎部等躯体に目立った損傷はみられない 			
	屋根、外壁材の状況	<ul style="list-style-type: none"> ダグアウトの屋根に目立った損傷はみられない 			
	内装、舗装、付帯設備、設備機器、器具、備品等の状況	グラウンド <ul style="list-style-type: none"> 内野部にやや不陸がみられ、水がたまりやすい箇所があるが、外野の芝貼り替え等を行い、グラウンド内のサーフェスは良好 グラウンド内の平坦性は保たれている 本部席に砂が入るため、換気用給気口にフィルターが必要 照明等 <ul style="list-style-type: none"> 照明灯等に目立った損傷はみられない 照明灯8基について経年的な劣化による部分的な変色がみられる コンセントポールの絶縁不良あり 			
	耐震性	—			
◇ 部分的な経年劣化や不具合が確認されるが、安全性、機能性を大きく損なうものではなく、通常の保守、修繕にて保全できる					
1次評価		良			
安全性・機能性評価					
経済性	今後の改修や建替えに係るコスト	今後10年間の修繕費用（2022年～2031年）	41,755 千円		
		今後の修繕費用（2022以降建替えまで）	139,591 千円		
		（上記修繕実施を踏まえた）建替え年	2058 年		
		今後の1年あたり修繕費用（2022以降建替えまで）	3,877 千円		
		解体撤去費用	122,593 千円		
		建替え費用	408,646 千円		
		◇ 市内における他の屋外スポーツ施設と比較して今後の修繕費は中程度			
※ 以下、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きくは受けていない直近年度である令和元年度の実績を記載する。					

	運営維持管理費		令和元年度指定管理者支出	50,567 千円															
	※ 橿原運動公園全体分（総合プールを除く）																		
	収入		令和元年度利用料収入	2,947 千円															
		◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用料収入推移 ・ 2,611千円から3,179千円の範囲で増減し、増加傾向 ◇ 収入は増加傾向																	
		◇ 修繕費は中程度 ◇ 利用料収入は増加傾向																	
1次評価		良																	
経済性評価																			
1次評価		維持																	
施設の方向性	安全性				良														
	機能性				良														
施設の整備手法	経済性	良																	
	耐震性	—																	
		長寿命化																	
					施設の方向性	維持													
施設の基本方針 2次評価（環境評価）																			
利用状況	利用人数		令和元年度利用者数	23,235 人															
	◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用者数推移 ・ 22,600人から24,200人の範囲で増減し、安定傾向 ◇ 利用者数は安定傾向																		
	稼働率		令和元年度稼働率	38 %															
		◇ 平成28年度～令和元年度にかけての稼働率推移 ・ 38%から46%の範囲で増減し、安定傾向 ◇ 稼働率は安定傾向																	
ニーズ	市民アンケート		・ （市内・公共）硬式野球場の充実度について																
			<table border="1"> <tr> <td>十分足りている</td> <td>16.5 %</td> <td rowspan="2">72.8 %</td> </tr> <tr> <td>ほぼ足りている</td> <td>14.3 %</td> </tr> <tr> <td>適量</td> <td>42.0 %</td> <td rowspan="2">8.0 %</td> </tr> <tr> <td>やや不足している</td> <td>6.3 %</td> </tr> <tr> <td>不足している</td> <td>1.7 %</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>19.3 %</td> <td></td> </tr> </table>		十分足りている	16.5 %	72.8 %	ほぼ足りている	14.3 %	適量	42.0 %	8.0 %	やや不足している	6.3 %	不足している	1.7 %	無回答	19.3 %	
	十分足りている	16.5 %	72.8 %																
ほぼ足りている	14.3 %																		
適量	42.0 %	8.0 %																	
やや不足している	6.3 %																		
不足している	1.7 %																		
無回答	19.3 %																		
		・ スポーツをするために使用する施設（公共・民間を問わず） 順位（15施設種別中） 下記施設を使用すると回答した人の割合 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>施設は使用していない</td> <td>41.3 %</td> </tr> <tr> <td>同率⑫⑬⑭⑮</td> <td>硬式野球場</td> <td>0.3 %</td> </tr> </table>				施設は使用していない	41.3 %	同率⑫⑬⑭⑮	硬式野球場	0.3 %									
	施設は使用していない	41.3 %																	
同率⑫⑬⑭⑮	硬式野球場	0.3 %																	
利用者アンケート		・ 付帯設備（冷暖房・シャワールーム等）についての満足度 不満との回答割合が、他施設と比較して高い <table border="1"> <tr> <td>どちらかといえば不満</td> <td>15.6 %</td> <td rowspan="2">26.7 %</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>11.1 %</td> </tr> </table>			どちらかといえば不満	15.6 %	26.7 %	不満	11.1 %										
どちらかといえば不満	15.6 %	26.7 %																	
不満	11.1 %																		

		<ul style="list-style-type: none"> 施設利用料金についての満足度 不満との回答割合が、他施設と比較して高い <table border="1"> <tr> <td>どちらかといえば不満</td> <td>13.3 %</td> <td rowspan="2">28.9 %</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>15.6 %</td> </tr> </table>	どちらかといえば不満	13.3 %	28.9 %	不満	15.6 %
どちらかといえば不満	13.3 %	28.9 %					
不満	15.6 %						
	不足する機能 (ニーズ)	スポーツ関係団体からの要望 (ニーズ) ◇ 観戦スタンド棟 ・ 大規模な大会には観客席が必要 【市民アンケート】 ◇ 観戦スタンド棟 ◇ 照明設備 ・ 今後のスポーツ施設の活性化に必要なこと → プロスポーツの観戦ができる環境の整備 29.6 %					
防災	仮設住宅建設予定地	防災計画アクションカードに基づき、硬式野球場、軟式野球場、ソフトボール場、まほろば広場に1,270戸の仮設住宅が建設可能					
	ヘリポート	まほろば広場、硬式野球場を防災計画に基づきヘリコプターの離着陸場					
		◇ 利用者数、稼働率ともに安定して推移している					
	2次評価 政策優先度評価	高					
2次評価 基本方針	<table border="1"> <tr> <td>施設の方向性</td> <td>維持</td> </tr> <tr> <td>政策優先度評価</td> <td>高</td> </tr> </table>	施設の方向性	維持	政策優先度評価	高	機能保持	
施設の方向性	維持						
政策優先度評価	高						
まとめ	◇ 部分的な経年劣化や不具合が確認されるが、安全性、機能性を大きく損なうものではなく、通常の保守、修繕にて保全できる ◇ 他の屋外施設と比較して今後の修繕費は中程度 ◇ 収入は増加傾向 ◇ 利用者数は安定傾向 ◇ 稼働率は安定傾向						
対象施設の個別施設計画							
適用手法	<table border="1"> <tr> <td>施設の方向性</td> <td>維持</td> </tr> <tr> <td>政策優先度評価</td> <td>高</td> </tr> </table>	施設の方向性	維持	政策優先度評価	高	長寿命化・維持管理効率化	
施設の方向性	維持						
政策優先度評価	高						
	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 適用手法は、「長寿命化」となるが、利用者アンケートの結果、付帯設備について、不満との回答割合が、比較的高くなっている。 ◆ 更衣室やシャワー室を、なるべく施設から近い場所に整備するなど、施設利用者の満足度を高める整備を検討していく必要がある。 ◆ 運動公園全体にわたる整備検討のなかで、更衣室やシャワー室の整備等の検討を継続する。 ◆ プロ野球基準を上回る、両翼100m、センター122mの広さがあるが、観覧席や、照明設備を有せず、大規模な大会には活用できていない。高規格化の要望もあり、検討を継続する。 						

							単位：千円
年度	2022	2027	2032	2037	2042	2047	2052
スケジュール	◆長寿命化・維持管理効率化						▶
	※ 改修や高規格化に関する検討を継続する。						
修繕費	(10年間)	41,755		—			
	(30年間)	123,285					
撤去費	(10年間)	0		—			
	(30年間)	0					
建替費	(10年間)	0					
	(30年間)	0					
合計	(10年間)	41,755					
	(30年間)	123,285					

施設1-5		テニスコート		1 【榎原運動公園】		
施設の方向性の検討 1次評価（現況評価）						
安全性・機能性	供用開始年度からの経過年数	東コート : 27年 西コート : 25年 クラブハウス : 25年				
	躯体の状況	・ クラブハウス躯体に目立った損傷はみられない				
	屋根、外壁材の状況	・ クラブハウス屋根の割れ、捲れ、軒樋ジョイント部に漏水がみられる				
	内装、舗装、付帯設備、設備機器、器具、備品等の状況	クラブハウス				
		・ シャワー室物入扉破損・欠落 ・ 屋外設備ボックス錆・塗装チョーキング劣化				
		テニスコート				
		・ 人工芝の一部に剥がれがみられる ・ ベンチ屋根支柱沈下 ・ コート内の平坦性は保たれている				
照明						
・ 照明器具は今後LED化が必要						
施設の安全対策						
・ A E Dをクラブハウス内に設置						
耐震性	—					
◇ 部分的な経年劣化や不具合が確認されるが、安全性、機能性を大きく損なうものではなく、通常の保守、修繕にて保全できる						
1次評価		良				
安全性・機能性評価						
経済性	今後の改修や建替えに係るコスト	今後10年間の修繕費用（2022年～2031年）	79,288 千円			
		今後の修繕費用（2022以降建替えまで）	237,303 千円			
		（上記修繕実施を踏まえた）建替え年	公園施設	2054	年	
			クラブハウス	2038		
		今後の1年あたり修繕費用（2022以降建替えまで）	公園施設	7,244	千円	
			クラブハウス	342	千円	
		解体撤去費用	78,130 千円			
建替え費用	298,507 千円					
◇ 市内における他の屋外スポーツ施設と比較して今後の修繕費はやや大きい。						
※ 以下、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きくは受けていない直近年度である令和元年度の実績を記載する。						

	運営維持管理費		令和元年度指定管理者支出	50,567 千円														
	※ 橿原運動公園全体分（総合プールを除く）																	
	収入		令和元年度利用料収入	8,867 千円														
		◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用料収入推移																
		・ 9,977千円から8,867千円の範囲で減少傾向																
		◇ 収入は減少傾向																
		◇ 収入は他の屋外施設と比較して大きい。																
		◇ 修繕費はやや大きい																
		◇ 利用料収入は減少傾向にあるものの、大きい																
1次評価		良																
経済性評価																		
1次評価		維持																
施設の方向性	安全性 機能性 経済性				良 良													
施設の整備手法	耐震性	—	長寿命化															
	施設の方向性	維持																
施設の基本方針 2次評価（環境評価）																		
利用状況	利用人数		令和元年度利用者数	26,806 人														
			◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用者数推移															
				・ 35,800人から26,800人の範囲で減少傾向														
				◇ 利用者数は減少傾向														
		稼働率		令和元年度稼働率														
				98 %														
				◇ 平成28年度～令和元年度にかけての稼働率推移														
				・ 98%から99%の範囲で増減し、安定傾向														
				◇ 稼働率は安定傾向														
				◇ 稼働率が高い														
ニーズ	市民アンケート		・ （市内・公共）テニスコートの充実度について															
			<table border="1"> <tr> <td>十分足りている</td> <td>15.9 %</td> <td rowspan="3">70.3 %</td> </tr> <tr> <td>ほぼ足りている</td> <td>10.9 %</td> </tr> <tr> <td>適量</td> <td>43.5 %</td> </tr> <tr> <td>やや不足している</td> <td>7.8 %</td> <td rowspan="2">9.1 %</td> </tr> <tr> <td>不足している</td> <td>1.3 %</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>20.6 %</td> <td></td> </tr> </table>		十分足りている	15.9 %	70.3 %	ほぼ足りている	10.9 %	適量	43.5 %	やや不足している	7.8 %	9.1 %	不足している	1.3 %	無回答	20.6 %
十分足りている	15.9 %	70.3 %																
ほぼ足りている	10.9 %																	
適量	43.5 %																	
やや不足している	7.8 %	9.1 %																
不足している	1.3 %																	
無回答	20.6 %																	
				・ スポーツをするために使用する施設（公共・民間を問わず）														
				順位（15施設種別中） 下記施設を使用すると回答した人の割合														
				<table border="1"> <tr> <td></td> <td>施設は使用していない</td> <td>41.3 %</td> </tr> <tr> <td>同率⑤⑥</td> <td>テニスコート</td> <td>3.8 %</td> </tr> </table>		施設は使用していない	41.3 %	同率⑤⑥	テニスコート	3.8 %								
	施設は使用していない	41.3 %																
同率⑤⑥	テニスコート	3.8 %																

	利用者アンケート	・ 付帯設備（冷暖房・シャワールーム等）についての満足度 不満との回答割合が、他施設と比較して高い <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>どちらかといえば不満</td> <td>28.0 %</td> <td>34.0 %</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>6.0 %</td> <td></td> </tr> </table>					どちらかといえば不満	28.0 %	34.0 %	不満	6.0 %	
どちらかといえば不満	28.0 %	34.0 %										
不満	6.0 %											
防災	—											
	◇ 利用者数は減少傾向にあるが、稼働率は高い状況で推移している											
	2次評価 政策優先度評価	高										
2次評価 基本方針	施設の 方向性 政策優先度 評価	維持 高	機能保持									
まとめ	◇ 部分的な経年劣化や不具合が確認されるが、安全性、機能性を大きく損なうものではなく、通常の保守、修繕にて保全できる ◇ 他の屋外施設と比較して今後の修繕費はやや大きい。 ◇ 収入は減少傾向 ◇ 収入は他の屋外施設と比較して大きい。 ◇ 利用者数は減少傾向 ◇ 稼働率は安定傾向 ◇ 稼働率が高い											
対象施設の個別施設計画												
適用手法	施設の 方向性 政策優先度 評価	維持 高	長寿命化・維持管理効率化									
	◆ 適用手法は、「長寿命化」となるが、利用者アンケートの結果、付帯設備について、不満との回答割合が、比較的高くなっている。 ◆ クラブハウス、更衣室、シャワー室の改修など、施設利用者の満足度を高める整備を検討していく必要がある。 ◆ 運動公園全体にわたる整備検討のなかで、クラブハウス、更衣室やシャワー室の整備等の検討を継続する。											
単位：千円												
年度	2022	2027	2032	2037	2042	2047	2052					
スケジュール	◆長寿命化・維持管理効率化 ※ 付帯設備改修に関する検討を継続する。 ※ 人工芝張替は、目安として10年に一回を見込む。(9面×3回) ◆クラブハウス建替											
修繕費	(10年間)	79,288		—								
	(30年間)	222,938										
撤去費	(10年間)	0		—								
	(30年間)	5,711										
建替費	(10年間)	0		—								
	(30年間)	57,109										
合計	(10年間)	79,288		—								
	(30年間)	285,758										

施設1-6		多目的グラウンド		1 【檀原運動公園】		
施設の方向性の検討 1次評価（現況評価）						
安全性・機能性	供用開始年度からの経過年数	2年				
	躯体の状況	・ 特に劣化した施設等は見られない				
	屋根、外壁材の状況	—				
	内装、舗装、付帯設備、設備機器、器具、備品等の状況	グラウンド ・ 人工芝の摩耗等は見られない ・ グラウンド内の平坦性は保たれている 照明 ・ LEDナイター照明灯設置				
	耐震性	—				
	◇ 全体的に劣化、不具合等は確認されない					
	1次評価 安全性・機能性評価	良				
経済性	今後の改修や建替えに係るコスト	今後10年間の修繕費用（2022年～2031年）	275,827 千円			
		今後の修繕費用（2022以降建替えまで）	1,572,213 千円			
		（上記修繕実施を踏まえた）建替え年	2079 年			
		今後の1年あたり修繕費用（2022以降建替えまで）	27,582 千円			
		解体撤去費用	275,827 千円			
		建替え費用	919,424 千円			
	◇ 市内における他の屋外スポーツ施設と比較して今後の修繕費はやや大きい					
	※ 以下、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きくは受けていない直近年度である令和元年度の実績を記載する。					
	運営維持管理費	令和元年度指定管理者支出	50,567 千円			
		※ 檀原運動公園全体分（総合プールを除く）				
収入	令和元年度利用料収入	7,594 千円				
	※ 多目的グラウンドは令和元年度7月供用開始 ◇ 収入は他の屋外施設と比較して大きい					
◇ 修繕費は大きいですが、利用料収入も大きい						

	1次評価 経済性評価	良														
1次評価	維持															
施設の方向性	安全性 機能性 経済性	良 良														
施設の整備手法	耐震性 施設の方向性	— 維持	長寿命化													
施設の基本方針 2次評価（環境評価）																
利用状況	利用人数	令和元年度利用者数	20,882 人													
		※ 多目的グラウンドは令和元年度7月供用開始														
	稼働率	令和元年度稼働率	80 %													
		※ 多目的グラウンドは令和元年度7月供用開始 ◇ 稼働率が高い														
ニーズ	市民アンケート	・（市内・公共）多目的グラウンドの充実度について														
		<table border="1"> <tr> <td>十分足りている</td> <td>12.0 %</td> <td rowspan="3">66.1 %</td> </tr> <tr> <td>ほぼ足りている</td> <td>11.1 %</td> </tr> <tr> <td>適量</td> <td>43.0 %</td> </tr> <tr> <td>やや不足している</td> <td>9.6 %</td> <td rowspan="2">12.4 %</td> </tr> <tr> <td>不足している</td> <td>2.8 %</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>21.5 %</td> <td></td> </tr> </table>	十分足りている	12.0 %	66.1 %	ほぼ足りている	11.1 %	適量	43.0 %	やや不足している	9.6 %	12.4 %	不足している	2.8 %	無回答	21.5 %
	十分足りている	12.0 %	66.1 %													
ほぼ足りている	11.1 %															
適量	43.0 %															
やや不足している	9.6 %	12.4 %														
不足している	2.8 %															
無回答	21.5 %															
	利用者アンケート	・ スポーツをするために使用する施設（公共・民間を問わず） 順位（15施設種別中） 下記施設を使用すると回答した人の割合 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>施設は使用していない</td> <td>41.3 %</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>多目的グラウンド</td> <td>6.1 %</td> </tr> </table>			施設は使用していない	41.3 %	③	多目的グラウンド	6.1 %							
	施設は使用していない	41.3 %														
③	多目的グラウンド	6.1 %														
		・ 施設利用料金についての満足度 不満との回答割合が、他施設と比較して高い <table border="1"> <tr> <td>どちらかといえば不満</td> <td>12.2 %</td> <td rowspan="2">30.6 %</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>18.4 %</td> </tr> </table>		どちらかといえば不満	12.2 %	30.6 %	不満	18.4 %								
どちらかといえば不満	12.2 %	30.6 %														
不満	18.4 %															
	不足する機能（ニーズ）	スポーツ関係団体からの要望（ニーズ） <ul style="list-style-type: none"> ◇ クラブハウス <ul style="list-style-type: none"> ・ 隣接する更衣室が不足。 ・ 隣接するシャワー室が不足。 ・ 日射、熱さ、寒さをしのぐスペースが不足 ◇ 観戦スタンド <ul style="list-style-type: none"> ・ リーグ戦や、大会開催時の観客席が不足 ◇ 面数の増設 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大会の誘致にあたり2面では不足 														
防災		—														
		◇ 稼働率が高い状況で推移している														

	2次評価 政策優先度評価		高				
2次評価 基本方針		施設の 方向性 政策優先度 評価	維持 高	機能保持			
まとめ		<ul style="list-style-type: none"> ◇ 全体的に劣化、不具合等は確認されない ◇ 他の屋外施設と比較して今後の修繕費は大きい ◇ 収入は他の屋外施設と比較して大きい ◇ 稼働率が高い 					
対象施設の個別施設計画							
適用手法		施設の 方向性 政策優先度 評価	維持 高	長寿命化・維持管理効率化			
		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 適用手法は、「長寿命化」となるが、利用者アンケートの結果、付帯設備について、不満との回答割合が、比較的高くなっている。 ◆ 更衣室やシャワー室を有するクラブハウスなど、施設利用者の満足度を高める整備が必要。 ◆ リーグ戦や大会開催時に求められる観客席の整備要望がある。 ◆ 運動公園全体にわたる整備検討のなかで、クラブハウスや観客席等の整備を進める。 					
単位：千円							
年度	2022	2027	2032	2037	2042	2047	2052
スケジュール	◆長寿命化・維持管理効率化						
	※ クラブハウスや観客席の整備を進める。 ※ 人工芝張替は、目安として10年に一回を見込む。(2面×3回)						
修繕費	(10年間)	275,827	—				
	(30年間)	827,481					
撤去費	(10年間)	0	—				
	(30年間)	0					
建替費	(10年間)	0	—				
	(30年間)	0					
合計	(10年間)	275,827	—				
	(30年間)	827,481					
年度	2022	2027	2032	2037	2042	2047	2052
新規整備	<ul style="list-style-type: none"> ◆ クラブハウス新設 ◆ 観戦スタンド新設 						
修繕費	(10年間)	0	—				
	(30年間)	83,715					
撤去費	(10年間)	0	—				
	(30年間)	0					

建設費	(10年間)	630,000	—
	(30年間)	630,000	
合計	(10年間)	630,000	—
	(30年間)	713,715	

施設1-7	屋根付運動場	1	【檀原運動公園】	
施設の方向性の検討 1次評価（現況評価）				
安全性・機能性	供用開始年度からの経過年数	10年		
	躯体の状況	<ul style="list-style-type: none"> 基礎や支柱に目立った損傷はみられない 		
	屋根、外壁材の状況	<ul style="list-style-type: none"> 屋根折板裏断熱材の部分的剥がれがみられる 		
	内装、舗装、付帯設備、設備機器、器具、備品等の状況	人工芝		
		<ul style="list-style-type: none"> 他施設で利用されていたものを再利用している。目立った損傷等は見られないが、継ぎ目部分を定期的に保全する必要がある 継ぎ目部分の平坦性がやや悪い 		
		照明		
	<ul style="list-style-type: none"> 照明器具は今後LED化が必要 			
	施設の安全対策			
	<ul style="list-style-type: none"> AEDを更衣室横の倉庫に設置 			
	耐震性	有		
		◇ 部分的な経年劣化や不具合が確認されるが、安全性、機能性を大きく損なうものではなく、通常の保守、修繕にて保全できる		
	1次評価	良		
	安全性・機能性評価			
経済性	今後の改修や建替えに係るコスト	今後の10年間の修繕費用（2022年～2031年）	20,435 千円	
		今後の修繕費用（2022以降建替えまで）	113,380 千円	
		（上記修繕実施を踏まえた）建替え年	2077 年	
		今後の1年あたり修繕費用（2022以降建替えまで）	2,061 千円	
		解体撤去費用	13,091 千円	
		建替え費用	130,910 千円	
		◇ 市内における他の屋外スポーツ施設と比較して今後の修繕費は中程度		
	※ 以下、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きくは受けていない直近年度である令和元年度の実績を記載する。			
		運営維持管理費	令和元年度指定管理者支出	50,567 千円
			※ 檀原運動公園全体分（総合プールを除く）	

	収入	令和元年度利用料収入	1,803 千円														
		◇ 平成28年度 ~ 令和元年度 にかけての利用料収入推移 ・ 1,362千円から1,803千円の範囲で増加傾向 ◇ 収入は増加傾向															
		◇ 修繕費は中程度 ◇ 利用料収入は増加傾向															
	1次評価 経済性評価	良															
1次評価	施設の方向性	安全性 機能性 経済性	良														
		経済性	良														
施設の整備手法	耐震性	有															
	施設の方向性	維持															
施設の基本方針 2次評価（環境評価）																	
利用状況	利用人数	令和元年度利用者数	16,331 人														
		◇ 平成28年度 ~ 令和元年度 にかけての利用者数推移 ・ 13,700人から16,600人の範囲で増減し、増加傾向 ◇ 利用者数は増加傾向															
	稼働率	令和元年度稼働率	90 %														
		◇ 平成28年度 ~ 令和元年度 にかけての稼働率推移 ・ 58%から90%の範囲で増加傾向 ◇ 稼働率は増加傾向 ◇ 稼働率が高い															
ニーズ	市民アンケート	・ （市内・公共）屋根付運動場の充実度について															
		<table border="1"> <tr> <td>十分足りている</td> <td>7.8 %</td> <td rowspan="3">45.4 %</td> </tr> <tr> <td>ほぼ足りている</td> <td>5.9 %</td> </tr> <tr> <td>適量</td> <td>31.7 %</td> </tr> <tr> <td>やや不足している</td> <td>20.6 %</td> <td rowspan="2">33.0 %</td> </tr> <tr> <td>不足している</td> <td>12.4 %</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>21.7 %</td> <td></td> </tr> </table>	十分足りている	7.8 %	45.4 %	ほぼ足りている	5.9 %	適量	31.7 %	やや不足している	20.6 %	33.0 %	不足している	12.4 %	無回答	21.7 %	
十分足りている	7.8 %	45.4 %															
ほぼ足りている	5.9 %																
適量	31.7 %																
やや不足している	20.6 %	33.0 %															
不足している	12.4 %																
無回答	21.7 %																
		・ スポーツをするために使用する施設（公共・民間を問わず） 順位（15施設種別中） 下記施設を使用すると回答した人の割合 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>施設は使用していない</td> <td>41.3 %</td> </tr> <tr> <td>同率(12)(13)(14)(15)</td> <td>屋根付運動場</td> <td>0.3 %</td> </tr> </table> ※ 屋根付運動場が不足しているとの意見が比較的多い				施設は使用していない	41.3 %	同率(12)(13)(14)(15)	屋根付運動場	0.3 %							
	施設は使用していない	41.3 %															
同率(12)(13)(14)(15)	屋根付運動場	0.3 %															
	利用者アンケート	・ 自由意見 <table border="1"> <tr> <td>内容</td> <td>意見数</td> <td>アンケート数</td> </tr> <tr> <td>・ 人工芝の張り替え</td> <td>5</td> <td>49</td> </tr> </table>			内容	意見数	アンケート数	・ 人工芝の張り替え	5	49							
内容	意見数	アンケート数															
・ 人工芝の張り替え	5	49															

防災	荷捌き場	支援による物資・食糧の集積及び配給準備を行う	
		◇ 稼働率が高く、利用者数、稼働率ともに増加傾向にある	
	2次評価 政策優先度評価	高	
2次評価 基本方針	施設の 方向性 政策優先度 評価	維持 高	機能保持
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 部分的な経年劣化や不具合が確認されるが、安全性、機能性を大きく損なうものではなく、通常の保守、修繕にて保全できる ◇ 他の屋外施設と比較して今後の修繕費は中程度 ◇ 収入は増加傾向 ◇ 利用者数は増加傾向 ◇ 稼働率は増加傾向 ◇ 稼働率が高い 		

対象施設の個別施設計画

適用手法	施設の 方向性 政策優先度 評価	維持 高	長寿命化・維持管理効率化
	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 適用手法は、「長寿命化」となるが、利用者アンケートの結果、人工芝の更新を求める意見が多い。 ◆ 屋根付運動場整備当初は土のグラウンドであったが、令和元年度に他施設で使用されていた人工芝の再利用により整備し、機能が向上し利用者数は増加傾向にある。 ◆ 人口芝の継ぎ目部分の平坦性を保つため、定期的な保全を必要とする。 ◆ 定期的な人口芝の張替えを想定する。 		

単位：千円

年度	2022	2027	2032	2037	2042	2047	2052
スケジュール	◆長寿命化・維持管理効率化						
	※ 定期的な人工芝張替を想定する。						
修繕費	(10年間)	20,435		—			
	(30年間)	92,945					
撤去費	(10年間)	0		—			
	(30年間)	0					
建替費	(10年間)	0		—			
	(30年間)	0					
合計	(10年間)	20,435		—			
	(30年間)	92,945					

施設 2		橿原市中央体育館		
施設内容		アリーナ		
施設2-1		アリーナ	2 【橿原市中央体育館】	
施設の方向性の検討 1次評価（現況評価）				
安全性・機能性	供用開始年度からの経過年数	※ 令和3年度（2021年度）時点 50年		
	躯体の状況	<ul style="list-style-type: none"> 外壁には、曝裂・露筋、ひび割れ、エフロレッセンスが複数箇所で見られ、早期に修繕が求められる 東側、北側壁面にひび割れや塗膜の剥離がみられる 		
	屋根、外壁材の状況	<ul style="list-style-type: none"> 破風全面に錆がみられる 		
	内装、舗装、付帯設備、設備機器、器具、備品等の状況	<p>内装の劣化状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ステージ、3階通路部の天井面に雨漏りの痕跡がみられる 1階倉庫天井ひび割れ、漏水 北東部・南西部階段裏に露筋箇所がみられる 西側天井材にめくれがみられる <p>付帯設備の整備状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 排煙窓の動作不良 <p>バリアフリーの対応状況</p> <ul style="list-style-type: none"> EV稼働休止（基幹部品が製造中止の為） <p>法令への適合状況</p> <ul style="list-style-type: none"> アリーナの天井面が特定吊天井となっている（既存不適格） <p>施設の安全対策</p> <ul style="list-style-type: none"> AEDを事務室前に設置 		
	耐震性	有		
		<ul style="list-style-type: none"> ◇ 供用開始から50年経過し、全体的に老朽化による劣化が確認される ◇ 外壁の曝裂、雨漏り等、安全性、機能性を大きく損なう劣化が確認される ◇ 全面的な補修、改修を必要とする 		
		1次評価 安全性・機能性 評価	劣	
	経済性	今後の改修や建替えに係るコスト	今後10年間の修繕費用 (2022年～2031年)	246,310 千円
			今後の修繕費用 (2022以降建替えまで)	246,310 千円

	(上記修繕実施を踏まえた) 建替え年	2031 年	
	今後の1年あたり修繕費用 (2022以降建替えまで)	27,367 千円	
	解体撤去費用	160,045 千円	
	建替え費用	1,600,452 千円	
	◇ 今後の修繕費が多 ◇ 修繕を踏まえた使用見込期間が短い		
※ 以下、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きくは受けていない直近年度である令和元年度の実績を記載する。			
運営維持管理費	令和元年度(直営)	37,628 千円	
収入	令和元年度利用料収入	1,908 千円	
	◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用料収入推移 ・ 2,285千円から1,908千円の範囲で減少傾向 ◇ 収入は減少傾向 ◇ 収入の減少幅は小さい		
◇ 老朽化により修繕費が多であり、修繕を踏まえた今後の使用見込期間が短い ◇ 収入は減少傾向にあるが、減少幅は小さい			
1次評価 経済性評価		劣	
1次評価 施設の方向性		改廃	
安全性	劣		
機能性			
経済性	劣		
施設の整備手法		再整備又は廃止	
耐震性	有		
施設の方向性	改廃		
施設の基本方針 2次評価(環境評価)			
利用状況	利用人数	令和元年度利用者数	40,185 人
		◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用者数推移 ・ 40,100人から42,300人の範囲で増減し、安定傾向 ◇ 利用者数は安定傾向	
	稼働率	令和元年度稼働率	88 %
		◇ 平成28年度～令和元年度にかけての稼働率推移 ・ 88%から96%の範囲で増減し、安定傾向	

		◇ 稼働率は安定傾向 ◇ 稼働率が高い																					
ニーズ	市民アンケート	<p>・ (市内・公共) 体育館の充実度について</p> <table border="1"> <tr> <td>十分足りている</td> <td>10.9 %</td> <td rowspan="3">62.9 %</td> </tr> <tr> <td>ほぼ足りている</td> <td>10.0 %</td> </tr> <tr> <td>適量</td> <td>42.0 %</td> </tr> <tr> <td>やや不足している</td> <td>12.8 %</td> <td rowspan="2">16.1 %</td> </tr> <tr> <td>不足している</td> <td>3.3 %</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>20.9 %</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ スポーツをするために使用する施設（公共・民間を問わず） 順位（15施設種別中） 下記施設を使用すると回答した人の割合</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>施設は使用していない</td> <td>41.3 %</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>体育館</td> <td>9.9 %</td> </tr> </table>	十分足りている	10.9 %	62.9 %	ほぼ足りている	10.0 %	適量	42.0 %	やや不足している	12.8 %	16.1 %	不足している	3.3 %	無回答	20.9 %			施設は使用していない	41.3 %	①	体育館	9.9 %
	十分足りている	10.9 %	62.9 %																				
ほぼ足りている	10.0 %																						
適量	42.0 %																						
やや不足している	12.8 %	16.1 %																					
不足している	3.3 %																						
無回答	20.9 %																						
	施設は使用していない	41.3 %																					
①	体育館	9.9 %																					
	利用者アンケート	<p>・ 付帯設備（冷暖房・シャワールーム等）についての満足度 不満との回答割合が、他施設と比較して高い</p> <table border="1"> <tr> <td>どちらかといえば不満</td> <td>18.0 %</td> <td rowspan="2">26.0 %</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>8.0 %</td> </tr> </table>	どちらかといえば不満	18.0 %	26.0 %	不満	8.0 %																
どちらかといえば不満	18.0 %	26.0 %																					
不満	8.0 %																						
防災	指定避難所	中央体育館																					
		◇ 稼働率が高く、利用者数、稼働率ともに安定して推移している																					
	2次評価 政策優先度評価	高																					
2次評価 基本方針	施設の 方向性 政策優先度 評価	改廃 高																					
		機能保持																					
まとめ		<p>◇ 供用開始から50年経過し、全体的に老朽化による劣化が確認される</p> <p>◇ 外壁の瀑裂、雨漏り等、安全性、機能性を大きく損なう劣化が確認される</p> <p>◇ 全面的な補修、改修が必要とする</p> <p>◇ 今後の修繕費が多大 ◇ 修繕を踏まえた使用見込期間が短い</p> <p>◇ 収入は減少傾向 ◇ 収入の減少幅は小さい</p> <p>◇ 利用者数は安定傾向 ◇ 稼働率は安定傾向 ◇ 稼働率が高い</p>																					
対象施設の個別施設計画																							
適用手法	施設の 方向性 政策優先度 評価	改廃 高																					
		<p>建替再整備</p> <p>※計画期間内での「建替再整備」を目指し、建替までは事後保全型の修繕対応を図る</p>																					
		◆ 体育館は市民の体育・レクリエーション活動の場として、スポーツ施設の中では最も多くの方に利用される施設種別である。																					

- ◆ 中央体育館は、その名称のとおり橿原市の中央部に立地し、その活用方法はスポーツ・レクリエーション活動にとどまらず、選挙の開票場、直近ではワクチン集団接種会場として活用されるなど、今後も本市にとって非常に有用な施設であり続けると見込まれる。
- ◆ 本市の厳しい財政状況を鑑みると、中央体育館、香久山体育館、曾我川緑地体育館の3館体制を維持すべきかについての検討が必要とされる。
- ◆ 体育館3館の稼働率はいずれも高く、2館体制にすることは、市民の体育レクリエーション活動の場を大きく損なうことになるが、本市の人口は今後40年間で3分の2程度に減少することが見込まれる。
- ◆ 3館のうち、香久山体育館は、今後35年程度で建替え時期に到達し、想定としては、その時点で香久山体育館を廃止し、中央体育館と曾我川緑地体育館の2館体制とすることで、今後の人口減少による体育館需要の減と見合うものになると考える。
- ◆ 本計画においては、現状の体育館の使用状況、中央体育館の持つ役割の重要性を考慮し、建替再整備を適用手法とする。なお、中央体育館は老朽化により著しく劣化した状態にあるため、10年以内の可能な限り早い時期での建替えを目指す。

単位：千円

年度	2022	2027	2032	2037	2042	2047	2052
スケジュール	◆ 建替に向けた調整 ◆ 基本構想・基本計画策定 ◆ 基本設計・実施設計 ◆ 建替 ◆ 長寿命化・維持管理効率化						
修繕費	(10年間)	0		—			
	(30年間)					125,555	
撤去費	(10年間)	160,045		—			
	(30年間)	160,045					
建替費	(10年間)	1,600,452		—			
	(30年間)	1,600,452					
合計	(10年間)	1,760,497		—			
	(30年間)	1,886,052					

(参考)

年度	体育館 3館			体育館 2館
	2022	2032	2042	2052
中央体育館				
香久山体育館				
曾我川緑地体育館				


施設 3		橿原市香久山体育館		
施設内容	アリーナ、トレーニングルーム			
施設の方向性の検討 1次評価（現況評価）				
安全性・機能性	供用開始年度からの経過年数	※ 令和3年度（2021年度）時点 28年		
	躯体の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建物周囲の地盤沈下が見られる ・ 外壁、軒裏にひび割れがみられる ・ 南側軒裏にエフロレッセンスがみられる 		
	屋根、外壁材の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東側屋根の目地コーキングに劣化がみられる ・ 防水層の劣化、鋼板屋根の薄い汚れ等がみられる 		
	内装、舗装、付帯設備、設備機器、器具、備品等の状況	内装の劣化状況		
		共通		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 男子トイレ、更衣室内壁タイルにひび割れがみられる ・ バルコニー床面にひび割れがみられる 		
		アリーナ		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 床のひび割れや塗装剥がれ、内壁のひび割れ、天井ボードの割れ等がみられる ・ サッシ枠部の破損がみられる ・ 天窓の遮光フィルムの劣化 		
		トレーニングルーム		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 内壁にひび割れや塗膜剥離がみられる 		
舗装の状況				
共通				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育館南側、北側エントランス部床面タイル・コンクリートにせり上がり、タイルのひび割れがみられる ・ 建物周囲地盤沈下に伴い、南側擁壁の倒れやひび割れについては是正が必要と考えられる 				
設備機器、器具、備品の状況				
共通				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 排煙窓手動動作装置本体の復旧動作が不良 ・ EVの縦穴区画に退煙性能を有する防火設備がない 				
アリーナ				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 空調設備が設置されていない 				
トレーニングルーム				
<ul style="list-style-type: none"> ・ トレーニング機器の老朽化・陳腐化が進んでおり、修理部品が製造中止になっている機器もみられる 				
バリアフリーの対応状況				
共通				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の構造上、階段を通らねば施設に入ることができない ・ 施設エントランス部に段差がみられる（地盤沈下により発生したとみられる） 				

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 視覚障がい者誘導用の線状ブロックが敷設されていない ・ 視覚障がい者用の点字案内表示がない 	
		アリーナ	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ アリーナの扉が開き戸になっている 	
		トレーニングルーム	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ トレーニングルームの扉が開き戸になっている ・ トレーニングルーム入口に段差がみられる 	
		施設の安全対策	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ A E Dを事務室前に設置 	
	耐震性	有り	
		共通	
		◇ 部分的な経年劣化や不具合が確認されるが、安全性、機能性を大きく損なうものではなく、通常の保守、修繕にて保全できる	
		◇ 体育館周辺の地盤沈下については、経過観察と対処方法の検討が必要	
		トレーニングルーム	
		◇ トレーニング機器の老朽化が進んでいるが、安全性、機能性を損なうものではなく、通常の保守、修繕、更新にて保全できる	
	1次評価	良	
	安全性・機能性評価		
経済性	今後の改修や建替えに係るコスト	今後10年間の修繕費用 (2022年～2031年)	115,718 千円
		今後の修繕費用 (2022以降建替えまで)	174,705 千円
		(上記修繕実施を踏まえた) 建替え年	2058 年
		今後の1年あたり修繕費用 (2022以降建替えまで)	4,852 千円
		解体撤去費用	75,190 千円
		建替え費用	751,900 千円
		◇ 市内における他の屋内スポーツ施設と比較して今後の修繕費は中程度	

施設3-1	アリーナ	3	【橿原市香久山体育館】															
施設の方向性の検討 1次評価（現況評価）																		
経済性	※ 以下、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きくは受けていない直近年度である令和元年度の実績を記載する。																	
	運営維持管理費	令和元年度指定管理者支出	70,821 千円															
	※ 香久山体育館・万葉の丘スポーツ広場全体分																	
	収入	令和元年度利用料収入	1,554 千円															
		◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用料収入推移 ・ 1,554千円から1,779千円の範囲で増減し、安定傾向 ◇ 収入は安定傾向																
		◇ 修繕費は中程度 ◇ 利用料収入は安定して推移している																
1次評価 経済性評価		良																
1次評価 施設の方向性		安全性 良 機能性 良 経済性 良	維持															
施設の整備手法		耐震性 有 施設の方向性 維持	長寿命化															
施設の基本方針 2次評価（環境評価）																		
利用状況	利用人数	令和元年度利用者数	18,992 人															
	◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用者数推移 ・ 18,900人から23,400人の範囲で増減し、安定傾向 ◇ 利用者数は安定傾向																	
	稼働率	令和元年度稼働率	74 %															
		◇ 平成28年度～令和元年度にかけての稼働率推移 ・ 73%から83%の範囲で増減し、安定傾向 ◇ 稼働率は安定傾向 ◇ 稼働率が高い																
ニーズ	市民アンケート	・ （市内・公共）体育館の充実度について <table border="1"> <tbody> <tr> <td>十分足りている</td> <td>10.9 %</td> <td rowspan="3">62.9 %</td> </tr> <tr> <td>ほぼ足りている</td> <td>10.0 %</td> </tr> <tr> <td>適量</td> <td>42.0 %</td> </tr> <tr> <td>やや不足している</td> <td>12.8 %</td> <td rowspan="2">16.1 %</td> </tr> <tr> <td>不足している</td> <td>3.3 %</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>20.9 %</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		十分足りている	10.9 %	62.9 %	ほぼ足りている	10.0 %	適量	42.0 %	やや不足している	12.8 %	16.1 %	不足している	3.3 %	無回答	20.9 %	
十分足りている	10.9 %	62.9 %																
ほぼ足りている	10.0 %																	
適量	42.0 %																	
やや不足している	12.8 %	16.1 %																
不足している	3.3 %																	
無回答	20.9 %																	

		<ul style="list-style-type: none"> スポーツをするために使用する施設（公共・民間を問わず） 順位（15施設種別中） 下記施設を使用すると回答した人の割合 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>施設は使用していない</td> <td>41.3 %</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>体育館</td> <td>9.9 %</td> </tr> </table>		施設は使用していない	41.3 %	①	体育館	9.9 %												
	施設は使用していない	41.3 %																		
①	体育館	9.9 %																		
	利用者アンケート	<ul style="list-style-type: none"> 施設の機能・規模についての満足度 不満との回答割合が、他施設と比較して高い <table border="1"> <tr> <td>どちらかといえば不満</td> <td>33.3 %</td> <td>39.6 %</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>6.3 %</td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 付帯設備（冷暖房・シャワールーム等）についての満足度 不満との回答割合が高い <table border="1"> <tr> <td>どちらかといえば不満</td> <td>16.7 %</td> <td>62.5 %</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>45.8 %</td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 自由意見 <table border="1"> <tr> <td>内容</td> <td>意見数</td> <td>アンケート数</td> </tr> <tr> <td>・ アリーナにエアコンを整備</td> <td>4</td> <td>48</td> </tr> </table>	どちらかといえば不満	33.3 %	39.6 %	不満	6.3 %		どちらかといえば不満	16.7 %	62.5 %	不満	45.8 %		内容	意見数	アンケート数	・ アリーナにエアコンを整備	4	48
どちらかといえば不満	33.3 %	39.6 %																		
不満	6.3 %																			
どちらかといえば不満	16.7 %	62.5 %																		
不満	45.8 %																			
内容	意見数	アンケート数																		
・ アリーナにエアコンを整備	4	48																		
防災	指定避難所	香久山体育館																		
		◇ 稼働率が高く、利用者数、稼働率ともに安定して推移している																		
	2次評価 政策優先度評価	高																		
2次評価 基本方針	<table border="1"> <tr> <td>施設の 方向性</td> <td>維持</td> </tr> <tr> <td>政策優先度 評価</td> <td>高</td> </tr> </table>	施設の 方向性	維持	政策優先度 評価	高	機能保持														
施設の 方向性	維持																			
政策優先度 評価	高																			
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 他の屋内施設と比較して今後の修繕費は中程度 ◇ 収入は安定傾向 ◇ 利用者数は安定傾向 ◇ 稼働率は安定傾向 ◇ 稼働率が高い 																			
対象施設の個別施設計画																				
適用手法	<table border="1"> <tr> <td>施設の 方向性</td> <td>維持</td> </tr> <tr> <td>政策優先度 評価</td> <td>高</td> </tr> </table>	施設の 方向性	維持	政策優先度 評価	高	長寿命化・維持管理効率化														
施設の 方向性	維持																			
政策優先度 評価	高																			
	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 体育館は市民の体育・レクリエーション活動の場として、スポーツ施設の中では最も多くの方に利用される施設種別である。 ◆ 適用手法は、「長寿命化」となるが、利用者アンケートの結果、付帯設備について、不満との回答割合が、高くなっている。 ◆ アリーナは隣接する香久山公園からの直接出入りを可能とする大きな開口部を有している。その開口部を開け放って使用することを想定したと考えられ、空調設備を有していない。 																			






- ◆ 空調設備がないため、夏場に室温が高くなる。開口部を開放すれば風が良くとおり暑さは大幅に緩和されるが、種目によっては、光と風が支障となるため、カーテンを閉め、暑さの緩和ができない状況となる。利用者アンケートの結果にもその点が現れていると考えられる。
- ◆ アリーナ入口のホール部分は空調設備を有し、その場所でこまめなクールダウンを必要とする。
- ◆ 構造上、空調設備を新設することを想定した造りではないため、新設の際は大規模な設備となり、財政負担が大きくなるため、現状での使用を継続とし、扇風機の配置など可能な限りの対策を実施していく。

年度	2022	2027	2032	2037	2042	2047	2052
スケジュール	◆長寿命化・維持管理効率化						

◆ 以下香久山体育館全体 単位：千円

年度	2022	2027	2032	2037	2042	2047	2052
修繕費	(10年間)	115,718			—		
	(30年間)		174,705				
撤去費	(10年間)	0			—		
	(30年間)		0				
建替費	(10年間)	0			—		
	(30年間)		0				
合計	(10年間)	115,718			—		
	(30年間)		174,705				

(参考)

	体育館 3館				体育館 2館
年度	2022	2032	2042	2052	
中央体育館	 建替	 長寿命化			
香久山体育館	 長寿命化				 廃止検討
曾我川緑地体育館	 長寿命化				

施設3-2		トレーニングルーム		3		【檀原市香久山体育館】						
施設の方向性の検討 1次評価（現況評価）												
経済性	※ 以下、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きくは受けていない直近年度である令和元年度の実績を記載する。											
	運営維持管理費	令和元年度指定管理者支出		70,821 千円								
		※ 香久山体育館・万葉の丘スポーツ広場全体分										
	収入	令和元年度利用料収入		20,952 千円								
◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用料収入推移												
・ 27,817千円から20,952千円の範囲で減少傾向												
◇ 収入は減少傾向												
◇ 収入の減少金額が大きい												
◇ 利用料金収入は減少傾向で、減少幅も大きい。												
1次評価		劣										
経済性評価												
1次評価		維持										
施設の方向性	安全性							良				
	機能性											
	経済性	劣										
施設の整備手法	耐震性	有										
	施設の方向性	維持										
施設の基本方針 2次評価（環境評価）												
利用状況	利用人数	令和元年度利用者数		54,891 人								
		◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用者数推移										
・ 69,200人から54,800人の範囲で増減し、減少傾向												
◇ 利用者数は減少傾向												
◇ 利用者数の減少人数が大きい												
稼働率		令和元年度稼働率		—								
ニーズ	市民アンケート	・ (市内・公共) トレーニングルームの充実度について										
		十分足りている		9.1 %		53.4 %						
		ほぼ足りている		10.2 %								
		適量		34.1 %								
やや不足している		17.2 %		24.4 %								
不足している		7.2 %										
無回答		22.2 %										
・ スポーツをするために使用する施設（公共・民間を問わず）												
順位（15施設種別中） 下記施設を使用すると回答した人の割合												
		施設は使用していない		41.3 %								
②		トレーニングルーム		7.4 %								

	利用者アンケート	<ul style="list-style-type: none"> 付帯設備（冷暖房・シャワールーム等）についての満足度 不満との回答割合が、他施設と比較して高い <table border="1"> <tr> <td>どちらかといえば不満</td> <td>22.2 %</td> <td>27.8 %</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>5.6 %</td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 施設利用料金についての満足度 不満との回答割合が、他施設と比較して高い <table border="1"> <tr> <td>どちらかといえば不満</td> <td>11.1 %</td> <td>27.8 %</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>16.7 %</td> <td></td> </tr> </table>	どちらかといえば不満	22.2 %	27.8 %	不満	5.6 %		どちらかといえば不満	11.1 %	27.8 %	不満	16.7 %	
どちらかといえば不満	22.2 %	27.8 %												
不満	5.6 %													
どちらかといえば不満	11.1 %	27.8 %												
不満	16.7 %													
類似施設	市内・民営	<p>民間トレーニングルーム 多数</p> <p>◇ 市内に多数の民間施設があり、現在の利用を代替することは可能と考えられる</p>												
防災	指定避難所	香久山体育館												
		<p>◇ 利用者数は減少傾向で、減少幅も大きい</p> <p>◇ 民間施設の活用により現在の利用を代替することが可能と考えられる</p>												
	2次評価 政策優先度評価	低												
2次評価 基本方針	<table border="1"> <tr> <td>施設の方向性</td> <td>維持</td> </tr> <tr> <td>政策優先度評価</td> <td>低</td> </tr> </table>	施設の方向性	維持	政策優先度評価	低	総量コントロール								
施設の方向性	維持													
政策優先度評価	低													
まとめ		<ul style="list-style-type: none"> ◇ 他の屋内施設と比較して今後の修繕費は中程度 ◇ 収入は減少傾向 ◇ 収入の減少金額が大きい ◇ 利用者数は減少傾向 ◇ 利用者数の減少人数が大きい ◇ 市内に多数の民間施設があり、現在の利用を代替することは可能と考えられる 												
対象施設の個別施設計画														
適用手法	<table border="1"> <tr> <td>施設の方向性</td> <td>維持</td> </tr> <tr> <td>政策優先度評価</td> <td>低</td> </tr> </table>	施設の方向性	維持	政策優先度評価	低	<p>集約化検討</p> <p>※集約化も含め様々な手法を検討する</p>								
施設の方向性	維持													
政策優先度評価	低													
		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 利用者数と利用料収入が減少傾向にあり、その減少幅が大きい。その理由としては市内において多種多様なニーズに応じた民間のスポーツ施設が多数営業していることが挙げられる。 ◆ 令和2年度から3年度にかけて新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、さらに大幅な利用者数、利用料収入の減少がみられ、その回復状況の見通しは良くない。 ◆ 本市の厳しい財政状況を鑑み、行政として提供するトレーニングルームの質と量を見直す必要がある。 ◆ 香久山体育館トレーニングルーム、曾我川緑地体育館トレーニングルーム、シルクの杜トレーニングルームについて、集約化も含め様々な手法を検討する。 												

- ◆ 検討にあたっては、民間との差別化を図ったサービス内容や運用方法、今後の利用者数の推移等を勘案しながら、慎重に検討を進める。

年度	2022	2027	2032	2037	2042	2047	2052
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 集約化も含め様々な手法を検討 ◆ 長寿命化・維持管理効率化（※検討後） 						

施設 4	万葉の丘スポーツ広場		
施設内容	テニスコート、アーチェリー・弓道（遠的）場、パターゴルフ場、ちびっこ広場、洛陽牡丹園		
施設4-1	テニスコート	4 【万葉の丘スポーツ広場】	
施設の方向性の検討 1次評価（現況評価）			
安全性・機能性	供用開始年度からの経過年数	※ 令和3年度（2021年度）時点 25年	
	躯体の状況	—	
	屋根、外壁材の状況	管理棟	<ul style="list-style-type: none"> 管理棟外壁にひび割れがみられる 管理棟木部の保護塗装の劣化、木製扉の反りや劣化がみられる 管理棟破風板等の保護塗装の劣化がみられる
		屋外便所	<ul style="list-style-type: none"> 屋外便所のコンクリート擬木に削れ、劣化・退色・損傷がみられる 屋外便所のシングル材に苔発生、剥がれ・汚れ・劣化が進行している 屋外便所の外壁にひび割れがみられる
	内装、舗装、付帯設備、設備機器、器具、備品等の状況	内装の劣化状況	
		管理棟	<ul style="list-style-type: none"> 管理棟シャワー室の壁タイルにはらみ・浮き、ひび割れがみられる
		テニスコート	<ul style="list-style-type: none"> H29～R1でコートの更新を行っており、サーフェス（透水性砂入り人工芝）は良好な状態を保っている コート間の通路舗装（洗い出し舗装）の路面にひび割れがみられる
		付帯設備の整備状況	<ul style="list-style-type: none"> 施設へのアプローチ階段の舗装材（石）の割れがみられる
		バリアフリーの対応状況	
		管理棟	<ul style="list-style-type: none"> 管理棟入口に段差あり、幅員狭小、扉が開き戸、視覚障がい者誘導用線状ブロックの敷設がない
屋外便所		<ul style="list-style-type: none"> 屋外便所男子便所入口に段差 	
施設の安全対策		<ul style="list-style-type: none"> A E Dを管理棟に設置 	
耐震性	—		
◇ 部分的な経年劣化や不具合が確認されるが、安全性、機能性を大きく損なうものではなく、通常の保守、修繕にて保全できる			

	1次評価 安全性・機能性 評価	良	
経済性	今後の改修や建 替えに係るコス ト	今後10年間の修繕費用 (2022年～2031年)	31,500 千円
		今後の修繕費用 (2022以降建替えまで)	107,100 千円
		(上記修繕実施を踏まえた) 建替え年	2056 年
		今後の1年あたり修繕費用 (2022以降建替えまで)	3,150 千円
		解体撤去費用	31,500 千円
		建替え費用	105,000 千円
		◇ 市内における他の屋外スポーツ施設と比較して今後の修繕費は中程度	
	※ 以下、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きくは受けていない直近年度である令和元年度の実績を記載する。		
	運営維持管理費	令和元年度指定管理者支出	70,821 千円
		※ 香久山体育館・万葉の丘スポーツ広場全体分	
	収入	令和元年度利用料収入	2,651 千円
		◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用料収入推移 ・ 3,283千円から2,651千円の範囲で減少傾向 ※ 平成29年度から31年度にかけての人工芝整備工事の影響 ◇ 収入は安定傾向	
◇ 修繕費は中程度 ◇ 利用料収入は安定して推移している			
	1次評価 経済性評価	良	
1次評価			
施設の方向性	安全性 機能性 経済性	良 良	維持
施設の整備手法	耐震性 施設の方向性	— 維持	
施設の基本方針	2次評価 (環境評価)		
利用状況	利用人数	令和元年度利用者数	6,976 人
		◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用者数推移 ・ 7,900人から6,900人の範囲で増減し、減少傾向 ※ 平成29年度から31年度にかけての人工芝整備工事の影響	

		◇ 利用者数は安定傾向																					
	稼働率	<table border="1"> <tr> <td>令和元年度稼働率</td> <td>40 %</td> </tr> </table> <p>◇ 平成28年度 ～ 令和元年度 にかけての稼働率推移</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 30%から40%の範囲で増減し、安定 傾向 <p>◇ 稼働率は安定傾向</p>	令和元年度稼働率	40 %																			
令和元年度稼働率	40 %																						
ニーズ	市民アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・ (市内・公共) テニスコートの充実度について <table border="1"> <tr> <td>十分足りている</td> <td>15.9 %</td> <td rowspan="2">70.3 %</td> </tr> <tr> <td>ほぼ足りている</td> <td>10.9 %</td> </tr> <tr> <td>適量</td> <td>43.5 %</td> <td rowspan="2">9.1 %</td> </tr> <tr> <td>やや不足している</td> <td>7.8 %</td> </tr> <tr> <td>不足している</td> <td>1.3 %</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>20.6 %</td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツをするために使用する施設（公共・民間を問わず） 順位（15施設種別中） 下記施設を使用すると回答した人の割合 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>施設は使用していない</td> <td>41.3 %</td> </tr> <tr> <td>同率⑤⑥</td> <td>テニスコート</td> <td>3.8 %</td> </tr> </table>	十分足りている	15.9 %	70.3 %	ほぼ足りている	10.9 %	適量	43.5 %	9.1 %	やや不足している	7.8 %	不足している	1.3 %	無回答	20.6 %			施設は使用していない	41.3 %	同率⑤⑥	テニスコート	3.8 %
	十分足りている	15.9 %	70.3 %																				
	ほぼ足りている	10.9 %																					
適量	43.5 %	9.1 %																					
やや不足している	7.8 %																						
不足している	1.3 %																						
無回答	20.6 %																						
	施設は使用していない	41.3 %																					
同率⑤⑥	テニスコート	3.8 %																					
利用者アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・ 付帯設備（冷暖房・シャワールーム等）についての満足度 不満との回答割合が、他施設と比較して高い <table border="1"> <tr> <td>どちらかといえば不満</td> <td>21.4 %</td> <td rowspan="2">25.0 %</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>3.6 %</td> </tr> </table>	どちらかといえば不満	21.4 %	25.0 %	不満	3.6 %																	
どちらかといえば不満	21.4 %	25.0 %																					
不満	3.6 %																						
防災	指定避難所	・ 避難所等指定なし																					
		◇ 利用者数、稼働率ともに安定して推移している																					
	2次評価 政策優先度評価	高																					
2次評価 基本方針	<table border="1"> <tr> <td>施設の 方向性</td> <td>維持</td> </tr> <tr> <td>政策優先度 評価</td> <td>高</td> </tr> </table>	施設の 方向性	維持	政策優先度 評価	高	機能保持																	
施設の 方向性	維持																						
政策優先度 評価	高																						
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 部分的な経年劣化や不具合が確認されるが、安全性、機能性を大きく損なうものではなく、通常の保守、修繕にて保全できる ◇ 他の屋外施設と比較して今後の修繕費は中程度 ◇ 収入は安定傾向 ◇ 利用者数は安定傾向 ◇ 稼働率は安定傾向 																						
対象施設の個別施設計画																							
適用手法	<table border="1"> <tr> <td>施設の 方向性</td> <td>維持</td> </tr> <tr> <td>政策優先度 評価</td> <td>高</td> </tr> </table>	施設の 方向性	維持	政策優先度 評価	高	長寿命化・維持管理効率化																	
施設の 方向性	維持																						
政策優先度 評価	高																						
	◆ 適用手法は、「長寿命化」となるが、利用者アンケートの結果、付帯設備について、不満との回答割合が、比較的高くなっている。																						

- ◆ 香久山公園、万葉の丘スポーツ広場、昆虫館を一体的に捉え、公園機能に重点を置く新たな魅力創造拠点の創出について検討する。
- ◆ クラブハウス新設など、施設利用者の満足度を高める整備についても検討する。
- ◆ 民間事業者等の資金やノウハウを一層活用することにより、施設の質の向上、利用者の利便性の向上を目指す。

単位：千円

年度	2022	2027	2032	2037	2042	2047	2052
スケジュール	◆長寿命化・維持管理効率化						
	※ クラブハウス整備等に関する検討を継続する						
	※ 人工芝張替は、目安として10年に一回を見込む。(6面×2回)						
修繕費	(10年間)	31,500		—			
	(30年間)	94,500					
撤去費	(10年間)	0		—			
	(30年間)	0					
建替費	(10年間)	0		—			
	(30年間)	0					
合計	(10年間)	31,500		—			
	(30年間)	94,500					

施設4-2	アーチェリー・弓道（遠的）場	4	【万葉の丘スポーツ広場】	
施設の方向性の検討 1次評価（現況評価）				
安全性・機能性	供用開始年度からの経過年数	※ 令和3年度（2021年度）時点 25年		
	躯体の状況	—		
	屋根、外壁材の状況	管理棟	<ul style="list-style-type: none"> 管理棟外壁にひび割れがみられる 管理棟木部の保護塗装の劣化、木製扉の反りや劣化がみられる 管理棟破風板等の保護塗装の劣化がみられる 	
		屋外便所	<ul style="list-style-type: none"> 屋外便所のコンクリート擬木に割れ、劣化・退色・損傷がみられる 屋外便所のシングル材に苔発生、剥がれ・汚れ・劣化が進行している 屋外便所の外壁にひび割れがみられる 	
	内装、舗装、付帯設備、設備機器、器具、備品等の状況	内装の劣化状況	—	
		管理棟	<ul style="list-style-type: none"> 管理棟シャワー室の壁タイルにはらみ・浮き、ひび割れがみられる 	
		付帯設備の整備状況	<ul style="list-style-type: none"> 施設へのアプローチ階段の舗装材（石）の割れがみられる 	
		バリアフリーの対応状況	—	
		管理棟	<ul style="list-style-type: none"> 管理棟入口に段差あり、幅員狭小、扉が開き戸、視覚障がい者誘導用線状ブロックの敷設がない 	
		屋外便所	<ul style="list-style-type: none"> 屋外便所男子便所入口に段差 	
施設の安全対策	<ul style="list-style-type: none"> A E Dを管理棟に設置 			
耐震性	—			
◇ 部分的な経年劣化や不具合が確認されるが、安全性、機能性を大きく損なうものではなく、通常の保守、修繕にて保全できる				
	1次評価			
	安全性・機能性評価	良		
経済性	今後の改修や建替えに係るコスト	今後10年間の修繕費用（2022年～2031年）	1,289 千円	
		今後の修繕費用（2022以降建替えまで）	4,382 千円	
		（上記修繕実施を踏まえた）建替え年	2056 年	
		今後の1年あたり修繕費用（2022以降建替えまで）	128 千円	

		解体撤去費用	3,868 千円
		建替え費用	12,896 千円
		◇ 市内における他の屋外スポーツ施設と比較して今後の修繕費は小さい	
※ 以下、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きくは受けていない直近年度である令和元年度の実績を記載する。			
	運営維持管理費	令和元年度指定管理者支出	70,821 千円
		※ 香久山体育館・万葉の丘スポーツ広場全体分	
	収入	令和元年度利用料収入	118 千円
		◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用料収入推移 ・ 113千円から136千円の範囲で増減し、安定傾向	
		◇ 収入は安定傾向	
		◇ 収入は他の屋外施設と比較して著しく小さい	
		◇ 修繕費は小さいものの、利用料収入は著しく低い状況で推移している	
	1次評価		
	経済性評価	劣	
1次評価	施設の方向性	安全性 機能性 経済性	良 劣
	施設の整備手法	耐震性 施設の方向性	— 維持
		長寿命化	
施設の基本方針	2次評価（環境評価）		
利用状況	利用人数	令和元年度利用者数	270 人
		◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用者数推移 ・ 230人から270人の範囲で増減し、安定傾向	
		◇ 利用者数は減少傾向	
		◇ 利用者数が少ない	
	稼働率	令和元年度稼働率	14 %
		◇ 平成28年度～令和元年度にかけての稼働率推移 ・ 14%から15%の範囲で増減し、安定傾向	
		◇ 稼働率は安定傾向	
		◇ 稼働率が低い	

ニーズ	市民アンケート	・ (市内・公共) アーチェリー場の充実度について <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>十分足りている</td> <td>9.8 %</td> <td rowspan="3">60.9 %</td> </tr> <tr> <td>ほぼ足りている</td> <td>8.9 %</td> </tr> <tr> <td>適量</td> <td>42.2 %</td> </tr> <tr> <td>やや不足している</td> <td>10.7 %</td> <td rowspan="2">16.3 %</td> </tr> <tr> <td>不足している</td> <td>5.6 %</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>22.8 %</td> <td></td> </tr> </table>						十分足りている	9.8 %	60.9 %	ほぼ足りている	8.9 %	適量	42.2 %	やや不足している	10.7 %	16.3 %	不足している	5.6 %	無回答	22.8 %	
	十分足りている	9.8 %	60.9 %																			
ほぼ足りている	8.9 %																					
適量	42.2 %																					
やや不足している	10.7 %	16.3 %																				
不足している	5.6 %																					
無回答	22.8 %																					
		・ スポーツをするために使用する施設 (公共・民間を問わず) 順位 (15施設種別中) 下記施設を使用すると回答した人の割合 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td>施設は使用していない</td> <td>41.3 %</td> </tr> <tr> <td>同率(12)(13)(14)(15)</td> <td>弓道場</td> <td>0.3 %</td> </tr> <tr> <td>同率(12)(13)(14)(15)</td> <td>アーチェリー場</td> <td>0.3 %</td> </tr> </table>							施設は使用していない	41.3 %	同率(12)(13)(14)(15)	弓道場	0.3 %	同率(12)(13)(14)(15)	アーチェリー場	0.3 %						
	施設は使用していない	41.3 %																				
同率(12)(13)(14)(15)	弓道場	0.3 %																				
同率(12)(13)(14)(15)	アーチェリー場	0.3 %																				
防災	—																					
		◇ 稼働率は低い状況で推移している ◇ 利用者数が著しく少ない																				
	2次評価 政策優先度評価	低																				
	施設の 方向性 政策優先度 評価	維持	総量コントロール				低															
まとめ	◇ 部分的な経年劣化や不具合が確認されるが、安全性、機能性を大きく損なうものではなく、通常の保守、修繕にて保全できる ◇ 他の屋外施設と比較して今後の修繕費は小さい ◇ 収入は安定傾向 ◇ 収入は他の屋外施設と比較して著しく小さい ◇ 利用者数は安定傾向 ◇ 利用者数が著しく少ない ◇ 稼働率は安定傾向 ◇ 稼働率が低い																					
対象施設の個別施設計画																						
適用手法	施設の 方向性 政策優先度 評価	維持	用途転用検討																			
		低	◆ 利用者数が少なく、稼働率も低いですが、一定の管理運営費は発生する状況にある。当面維持管理は継続するものの、新たな有効活用方法について用途転用も含め様々な手法を検討する。 ◆ 香久山公園、万葉の丘スポーツ広場、昆虫館を一体的に捉え、公園機能に重点を置く新たな魅力創造拠点の創出についても検討する。 ◆ 民間事業者等の資金やノウハウを一層活用することにより、施設の質の向上、利用者の利便性の向上を目指す。																			
年度	2022	2027	2032	2037	2042	2047	2052															
スケジュール	◆用途転用も含め様々な手法を検討																					
	※ 施設の長寿命化対策は行わない																					
	※ 時期・撤去費・整備費については今後検討																					

修繕費	(10年間)	0	—	
	(30年間)	—		
撤去費	(10年間)	0	—	
	(30年間)	—		
建替費	(10年間)	0	—	
	(30年間)	—		
合計	(10年間)	0	—	
	(30年間)	—		


施設4-3	パターゴルフ場	4	【万葉の丘スポーツ広場】	
施設の方向性の検討 1次評価（現況評価）				
安全性・機能性	供用開始年度からの経過年数	※ 令和3年度（2021年度）時点 25年		
	躯体の状況	<ul style="list-style-type: none"> 運動施設内に安全性を損ねる要素はない（・運動施設内には建物はない） 		
	屋根、外壁材の状況	管理棟	<ul style="list-style-type: none"> 管理棟外壁にひび割れがみられる 管理棟木部の保護塗装の劣化、木製扉の反りや劣化がみられる 管理棟破風板等の保護塗装の劣化がみられる 	
		屋外便所	<ul style="list-style-type: none"> 屋外便所のコンクリート擬木に削れ、劣化・退色・損傷がみられる 屋外便所のシングル材に苔発生、剥がれ・汚れ・劣化が進行している 屋外便所の外壁にひび割れがみられる 	
	内装、舗装、付帯設備、設備機器、器具、備品等の状況	内装の劣化状況	管理棟	
		管理棟	<ul style="list-style-type: none"> 管理棟シャワー室の壁タイルにはらみ・浮き、ひび割れがみられる 	
		パターゴルフ場	<ul style="list-style-type: none"> グリーン上の芝の一部が薄い箇所がみられるが、概ね良好な状態を保っている 	
		付帯設備の整備状況	<ul style="list-style-type: none"> 施設へのアプローチ階段の舗装材（石）の割れがみられる 	
		バリアフリーの対応状況	管理棟	
		管理棟	<ul style="list-style-type: none"> 管理棟入口に段差あり、幅員狭小、扉が開き戸、視覚障がい者誘導用線状ブロックの敷設がない 	
屋外便所		<ul style="list-style-type: none"> 屋外便所男子便所入口に段差 		
施設の安全対策		<ul style="list-style-type: none"> A E Dを管理棟に設置 		
耐震性	-			
◇ 部分的な経年劣化や不具合が確認されるが、安全性、機能性を大きく損なうものではなく、通常の保守、修繕にて保全できる				
経済性	1次評価	良		
	安全性・機能性評価			
経済性	今後の改修や建替えに係るコスト	今後10年間の修繕費用（2022年～2031年）	2,610 千円	
		今後の修繕費用（2022以降建替えまで）	8,874 千円	

	(上記修繕実施を踏まえた) 建替え年		2056 年
	今後の1年あたり修繕費用 (2022以降建替えまで)		261 千円
	解体撤去費用		7,830 千円
	建替え費用		26,100 千円
	◇ 市内における他の屋外スポーツ施設と比較して今後の修繕費は小さい		
	※ 以下、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きくは受けていない直近年度である令和元年度の実績を記載する。		
	運営維持管理費	令和元年度指定管理者支出	70,821 千円
		※ 香久山体育館・万葉の丘スポーツ広場全体分	
	収入	令和元年度利用料収入	391 千円
		◇ 平成28年度 ~ 令和元年度 にかけての利用料収入推移 ・ 505千円から390千円の範囲で減少傾向	
◇ 収入は減少傾向			
◇ 収入は他の屋外施設と比較して著しく小さい			
◇ 修繕費は小さいものの、利用料収入は著しく低い状況で推移している			
1次評価		劣	
経済性評価			
1次評価		維持	
施設の方向性	安全性		良
	機能性	良	
施設の整備手法	経済性	劣	
	耐震性	—	
施設の整備手法	施設の方向性	維持	
	長寿命化		
施設の基本方針 2次評価 (環境評価)			
利用状況	利用人数	令和元年度利用者数	1,078 人
		◇ 平成28年度 ~ 令和元年度 にかけての利用者数推移 ・ 1,460人から1,070人の範囲で減少傾向	
		◇ 利用者数は減少傾向	
	◇ 利用者数が少ない		
稼働率	令和元年度稼働率	28 %	
	◇ 平成28年度 ~ 令和元年度 にかけての稼働率推移 ・ 52 %から28%の範囲で減少 傾向		
	◇ 稼働率は減少傾向		
		◇ 稼働率が低い	

ニーズ	市民アンケート	<ul style="list-style-type: none"> (市内・公共) パターゴルフ場の充実度について <table border="1"> <tr> <td>十分足りている</td> <td>9.1 %</td> <td rowspan="3">60.2 %</td> </tr> <tr> <td>ほぼ足りている</td> <td>8.0 %</td> </tr> <tr> <td>適量</td> <td>43.1 %</td> </tr> <tr> <td>やや不足している</td> <td>13.0 %</td> <td rowspan="2">17.3 %</td> </tr> <tr> <td>不足している</td> <td>4.3 %</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>22.6 %</td> <td></td> </tr> </table>	十分足りている	9.1 %	60.2 %	ほぼ足りている	8.0 %	適量	43.1 %	やや不足している	13.0 %	17.3 %	不足している	4.3 %	無回答	22.6 %	
	十分足りている	9.1 %	60.2 %														
	ほぼ足りている	8.0 %															
	適量	43.1 %															
やや不足している	13.0 %	17.3 %															
不足している	4.3 %																
無回答	22.6 %																
	<ul style="list-style-type: none"> スポーツをするために使用する施設（公共・民間を問わず） 順位（15施設種別中） 下記施設を使用すると回答した人の割合 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>施設は使用していない</td> <td>41.3 %</td> </tr> <tr> <td>同率⑩⑪</td> <td>パターゴルフ場</td> <td>1.0 %</td> </tr> </table>		施設は使用していない	41.3 %	同率⑩⑪	パターゴルフ場	1.0 %										
	施設は使用していない	41.3 %															
同率⑩⑪	パターゴルフ場	1.0 %															
	利用者アンケート	<ul style="list-style-type: none"> 施設の機能・規模についての満足度 不満との回答割合が、他施設と比較して高い <table border="1"> <tr> <td>どちらかといえば不満</td> <td>27.8 %</td> <td rowspan="2">33.4 %</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>5.6 %</td> </tr> </table>	どちらかといえば不満	27.8 %	33.4 %	不満	5.6 %										
どちらかといえば不満	27.8 %	33.4 %															
不満	5.6 %																
	<ul style="list-style-type: none"> 付帯設備（冷暖房・シャワールーム等）についての満足度 不満との回答割合が、他施設と比較して高い <table border="1"> <tr> <td>どちらかといえば不満</td> <td>5.6 %</td> <td rowspan="2">27.8 %</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>22.2 %</td> </tr> </table>	どちらかといえば不満	5.6 %	27.8 %	不満	22.2 %											
どちらかといえば不満	5.6 %	27.8 %															
不満	22.2 %																
防災	—																
	◇ 利用者数、稼働率ともに低く、減少傾向にある																
	2次評価 政策優先度評価	低															
2次評価 基本方針	<table border="1"> <tr> <td>施設の 方向性</td> <td>維持</td> </tr> <tr> <td>政策優先度 評価</td> <td>低</td> </tr> </table>	施設の 方向性	維持	政策優先度 評価	低	総量コントロール											
施設の 方向性	維持																
政策優先度 評価	低																
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 部分的な経年劣化や不具合が確認されるが、安全性、機能性を大きく損なうものではなく、通常の保守、修繕にて保全できる ◇ 他の屋外施設と比較して今後の修繕費は小さい ◇ 収入は減少傾向 ◇ 収入は他の屋外施設と比較して著しく小さい ◇ 利用者数は減少傾向 ◇ 利用者数が少ない ◇ 稼働率は減少傾向 ◇ 稼働率が低い 																
対象施設の個別施設計画																	
適用手法	<table border="1"> <tr> <td>施設の 方向性</td> <td>維持</td> </tr> <tr> <td>政策優先度 評価</td> <td>低</td> </tr> </table>	施設の 方向性	維持	政策優先度 評価	低	用途転用検討											
施設の 方向性	維持																
政策優先度 評価	低																

- ◆ 利用者が少なく、稼働率も低いですが、一定の管理運営費は発生する状況にある。当面維持管理は継続するものの、新たな有効活用方法について用途転用も含め様々な手法を検討する。
- ◆ 香久山公園、万葉の丘スポーツ広場、昆虫館を一体的に捉え、公園機能に重点を置く新たな魅力創造拠点の創出についても検討する。
- ◆ 民間事業者等の資金やノウハウを一層活用することにより、施設の質の向上、利用者の利便性の向上を目指す。


単位：千円

年度	2022	2027	2032	2037	2042	2047	2052
スケジュール	◆用途転用も含め様々な手法を検討 						
	※ 施設の長寿命化対策は行わない						
	※ 時期・撤去費・整備費については今後検討						
修繕費	(10年間)	0				—	
	(30年間)		—				
撤去費	(10年間)	0				—	
	(30年間)		—				
建替費	(10年間)	0				—	
	(30年間)		—				
合計	(10年間)	0				—	
	(30年間)		—				

施設 5		橿原市曾我川緑地体育館		
施設内容	アリーナ、武道場、トレーニングルーム、スポーツスタジオ、ピロティ			
施設の方向性の検討 1次評価（現況評価）				
安全性・機能性	供用開始年度からの経過年数	※ 令和3年度（2021年度）時点 21年		
	躯体の状況	<ul style="list-style-type: none"> 外壁、軒裏にひび割れがみられ、雨漏りが発生している（補修済） ピロティ部にひび割れ、漏水跡、エフロレッセンスがみられる 		
	屋根、外壁材の状況	<ul style="list-style-type: none"> 外壁タイルの浮きが複数個所（多数）でみられる。（R3年度は、長寿命化計画に基づき、外壁改修工事に伴う設計業務を行っている） 鋼製建具の塗装劣化、チョーキングがみられる 		
	内装、舗装、付帯設備、設備機器、器具、備品等の状況	内装の劣化状況		
		アリーナ		
		<ul style="list-style-type: none"> 内壁のひび割れ、天井・壁面の漏水跡、エフロレッセンス、塗装剥がれ等がみられる 		
		武道場		
		<ul style="list-style-type: none"> 天井の漏水跡がみられる 天井ボード漏水による破損個所の張替え補修あり 倉庫壁面にひび割れがみられる 		
		トレーニングルーム		
		<ul style="list-style-type: none"> 壁面のひび割れ、塗膜剥離がみられる 		
スポーツスタジオ				
<ul style="list-style-type: none"> 壁面のひび割れ、塗膜剥離がみられる 				
設備機器、器具、備品の状況				
共通				
<ul style="list-style-type: none"> 休憩室の換気量不足 				
トレーニングルーム				
<ul style="list-style-type: none"> トレーニング機器の老朽化・陳腐化が進んでいる 				
バリアフリーの対応状況				
共通				
<ul style="list-style-type: none"> 扉が開き戸になっている 				
施設の安全対策				
<ul style="list-style-type: none"> A E Dを事務室前に設置 				
耐震性	有り			
共通				
◇ 部分的な経年劣化や不具合が確認されるが、安全性、機能性を大きく損なうものではなく、通常の保守、修繕にて保全できる				
トレーニングルーム				
◇ トレーニング機器の老朽化が進んでいるが、安全性、機能性を損なうものではなく、通常の保守、修繕、更新にて保全できる				


	1次評価	良	
	安全性・機能性 評価		
経済性	今後の改修や建 替えに係るコス ト	今後10年間の修繕費用 (2022年～2031年)	186,642 千円
		今後の修繕費用 (2022以降建替えまで)	281,783 千円
		(上記修繕実施を踏まえ た) 建替え年	2066 年
		今後の1年あたり修繕費用 (2022以降建替えまで)	6,404 千円
		解体撤去費用	121,275 千円
		建替え費用	1,212,750 千円
		◇ 市内における他の屋内スポーツ施設と比較して今後の修繕費は中 程度	

施設5-1	アリーナ	5	【橿原市曾我川緑地体育館】	
施設の方向性の検討 1次評価（現況評価）				
経済性	※ 以下、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きくは受けていない直近年度である令和元年度の実績を記載する。			
	運営維持管理費	令和元年度指定管理者支出	84,095 千円	
		※ 曾我川緑地体育館・曾我川緑地全体分		
	収入	令和元年度利用料収入	2,337 千円	
◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用料収入推移 ・ 2,337千円から2,861千円の範囲で増減し、安定傾向				
◇ 収入は安定傾向				
◇ 修繕費は中程度				
◇ 利用料収入は安定して推移している				
1次評価 経済性評価		良		
1次評価 施設の方向性		維持		
施設の整備手法		長寿命化		
施設の基本方針 2次評価（環境評価）				
利用状況	利用人数	令和元年度利用者数	42,133 人	
		◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用者数推移 ・ 42,100人から47,800人の範囲で増減し、安定傾向 ◇ 利用者数は安定傾向		
ニーズ	市民アンケート	稼働率	83 %	
		◇ 平成28年度～令和元年度にかけての稼働率推移 ・ 75%から87%の範囲で増減し、安定傾向 ◇ 稼働率は安定傾向 ◇ 稼働率が高い		
		・ （市内・公共）体育館の充実度について		
		十分足りている	10.9 %	62.9 %
		ほぼ足りている	10.0 %	
		適量	42.0 %	16.1 %
		やや不足している	12.8 %	
		不足している	3.3 %	
		無回答	20.9 %	

		・ スポーツをするために使用する施設（公共・民間を問わず） 順位（16施設種別中） 下記施設を使用すると回答した人の割合					
		施設は使用していない	41.3 %				
		① 体育館	9.9 %				
防災	指定避難所	曾我川緑地体育館					
		◇ 稼働率が高く、利用者数、稼働率ともに安定して推移している					
	2次評価 政策優先度評価	高					
2次評価 基本方針	施設の 方向性 政策優先度 評価	維持 高	機能保持				
まとめ	◇ 他の屋内施設と比較して今後の修繕費は中程度 ◇ 収入は安定傾向 ◇ 利用者数は安定傾向 ◇ 稼働率は安定傾向 ◇ 稼働率が高い						
対象施設の個別施設計画							
適用手法	施設の 方向性 政策優先度 評価	維持 高	長寿命化・維持管理効率化				
	◆ 体育館は市民の体育・レクリエーション活動の場として、スポーツ施設の中では最も多くの方に利用される施設種別である。 ◆ バドミントンコートが6面とれる効率的な形状（中央・香久山は4面）、付帯設備も充実しているため、利用者数は中央体育館を上回り、利用者満足度も比較的高い。 ◆ 供用開始から20年を経過し、外壁タイルの浮きをはじめ、さまざまな経年劣化が現れてくる時期であり、今後は施設の長寿命化を図るための大規模な修繕を計画し、実施していく必要がある。						
年度	2022	2027	2032	2037	2042	2047	2052
スケジュール	◆長寿命化・維持管理効率化						
◆ 以下曾我川緑地体育館全体 単位：千円							
年度	2022	2027	2032	2037	2042	2047	2052
修繕費	(10年間)	186,642	—				
	(30年間)	281,783					
撤去費	(10年間)	0	—				
	(30年間)	0					
建替費	(10年間)	0	—				
	(30年間)	0					
合計	(10年間)	186,642	—				
	(30年間)	281,783					

(参考)				
	体育館 3館			体育館 2館
年度	2022	2032	2042	2052
中央体育館				
香久山体育館				
曾我川緑地体育館				


施設5-2	武道場	5	【檀原市曾我川緑地体育館】															
施設の方向性の検討 1次評価（現況評価）																		
経済性	※ 以下、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きくは受けていない直近年度である令和元年度の実績を記載する。																	
	運営維持管理費	令和元年度指定管理者支出	84,095 千円															
	※ 曾我川緑地体育館・曾我川緑地全体分																	
	収入	令和元年度利用料収入	1,427 千円															
		◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用料収入推移 ・ 1,426千円から1,676千円の範囲で増減し、安定傾向 ◇ 収入は安定傾向																
		◇ 修繕費は中程度 ◇ 利用料収入は安定して推移している																
1次評価 経済性評価		良																
1次評価 施設の方向性		安全性 良 機能性 経済性 良	維持															
施設の整備手法		耐震性 有 施設の方向性 維持	長寿命化															
施設の基本方針 2次評価（環境評価）																		
利用状況	利用人数	令和元年度利用者数	23,443 人															
	◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用者数推移 ・ 31,800人から23,400人の範囲で減少傾向 ◇ 利用者数は減少傾向																	
	稼働率	令和元年度稼働率	69 %															
		◇ 平成28年度～令和元年度にかけての稼働率推移 ・ 67%から69%の範囲で増減し、安定傾向 ◇ 稼働率は安定傾向 ◇ 稼働率が高い																
ニーズ	市民アンケート	・ （市内・公共）武道場の充実度について <table border="1"> <tr> <td>十分足りている</td> <td>11.5 %</td> <td rowspan="3">68.0 %</td> </tr> <tr> <td>ほぼ足りている</td> <td>6.9 %</td> </tr> <tr> <td>適量</td> <td>49.6 %</td> </tr> <tr> <td>やや不足している</td> <td>8.5 %</td> <td rowspan="2">10.0 %</td> </tr> <tr> <td>不足している</td> <td>1.5 %</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>22.0 %</td> <td></td> </tr> </table>		十分足りている	11.5 %	68.0 %	ほぼ足りている	6.9 %	適量	49.6 %	やや不足している	8.5 %	10.0 %	不足している	1.5 %	無回答	22.0 %	
十分足りている	11.5 %	68.0 %																
ほぼ足りている	6.9 %																	
適量	49.6 %																	
やや不足している	8.5 %	10.0 %																
不足している	1.5 %																	
無回答	22.0 %																	

		・ スポーツをするために使用する施設（公共・民間を問わず） 順位（16施設種別中） 下記施設を使用すると回答した人の割合					
			施設は使用していない	41.3	%		
		⑩	武道場	—	%		
防災	指定避難所	曾我川緑地体育館					
		◇ 利用者数は減少傾向にあるが、稼働率は高い状況で推移している					
	2次評価 政策優先度評価	高					
2次評価 基本方針	施設の 方向性 政策優先度 評価	維持 高	機能保持				
まとめ	◇ 他の屋内施設と比較して今後の修繕費は中程度 ◇ 収入は安定傾向 ◇ 利用者数は減少傾向 ◇ 稼働率は安定傾向 ◇ 稼働率が高い						
対象施設の個別施設計画							
適用手法	施設の 方向性 政策優先度 評価	維持 高	長寿命化・維持管理効率化				
	◆ 剣道、柔道、合気道などに使用される武道場であるが、武道以外にも多様な用途での活用を検討し、稼働率の向上を図る。						
年度	2022	2027	2032	2037	2042	2047	2052
スケジュール	◆長寿命化・維持管理効率化						

施設5-3		トレーニングルーム		5		【檀原市曾我川緑地体育館】	
施設の方向性の検討 1次評価（現況評価）							
経済性	※ 以下、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きくは受けていない直近年度である令和元年度の実績を記載する。						
	運営維持管理費	令和元年度指定管理者支出		84,095 千円			
		※ 曾我川緑地体育館・曾我川緑地全体分					
	収入	令和元年度利用料収入		15,044 千円			
◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用料収入推移							
・ 18,173千円から15,044千円の範囲で増減し、減少傾向							
◇ 収入は減少傾向							
◇ 収入の減少金額が大きい							
◇ 利用料金収入は減少傾向で、減少幅も大きい。							
1次評価		経済性評価					
		劣					
1次評価		維持					
施設の方向性	安全性	良					
	機能性	良					
	経済性	劣					
施設の整備手法	耐震性	有					
	施設の方向性	維持					
1次評価		長寿命化					
施設の基本方針 2次評価（環境評価）							
利用状況	利用人数	令和元年度利用者数		46,463 人			
		◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用者数推移					
・ 54,200人から46,400人の範囲で増減し、減少傾向							
◇ 利用者数は減少傾向							
◇ 利用者数の減少人数が大きい							
	稼働率	令和元年度稼働率		-			
ニーズ	市民アンケート	・ (市内・公共) トレーニングルームの充実度について					
		十分足りている		9.1 %		53.4 %	
		ほぼ足りている		10.2 %		53.4 %	
		適量		34.1 %		53.4 %	
やや不足している		17.2 %		24.4 %			
不足している		7.2 %		24.4 %			
無回答		22.2 %					
・ スポーツをするために使用する施設（公共・民間を問わず）							
順位（16施設種別中） 下記施設を使用すると回答した人の割合							
		施設は使用していない		41.3 %			
②		トレーニングルーム		7.4 %			

類似施設	市内・民営	民間トレーニングルーム 多数					
		◇ 市内に多数の民間施設があり、現在の利用を代替することは可能と考えられる					
防災	指定避難所	曾我川緑地体育館					
		◇ 利用者数は減少傾向で、減少幅も大きい ◇ 民間施設の活用により現在の利用を代替することが可能と考えられる					
	2次評価 政策優先度評価	低					
2次評価 基本方針	施設の方向性 政策優先度評価	維持 低	総量コントロール				
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 他の屋内施設と比較して今後の修繕費は中程度 ◇ 収入は減少傾向 ◇ 収入の減少金額が大きい ◇ 利用者数は減少傾向 ◇ 利用者数の減少人数が大きい ◇ 市内に多数の民間施設があり、現在の利用を代替することは可能と考えられる 						
対象施設の個別施設計画							
適用手法	施設の方向性 政策優先度評価	維持 低	集約化検討				
			※集約化も含め様々な手法を検討する				
	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 利用者数と利用料収入が減少傾向にあり、その減少幅が大きい。その理由としては市内において多種多様なニーズに応じた民間のスポーツ施設が多数営業していることが挙げられる。 ◆ 令和2年度から3年度にかけて新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、さらに大幅な利用者数、利用料収入の減少がみられ、その回復状況の見通しは良くない。 ◆ 本市の厳しい財政状況を鑑み、行政として提供するトレーニングルームの質と量を見直す必要がある。 ◆ 香久山体育館トレーニングルーム、曾我川緑地体育館トレーニングルーム、シルクの杜トレーニングルームについて、集約化も含め様々な手法を検討する。 ◆ 検討にあたっては、民間との差別化を図ったサービス内容や運用方法、今後の利用者数の推移等を勘案しながら、慎重に検討を進める。 						
年度	2022	2027	2032	2037	2042	2047	2052
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 集約化も含め様々な手法を検討 ◆ 長寿命化・維持管理効率化（※検討後） 						

施設5-4	スポーツスタジオ	5	【檀原市曾我川緑地体育館】															
施設の方向性の検討 1次評価（現況評価）																		
経済性	※ 以下、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きくは受けていない直近年度である令和元年度の実績を記載する。																	
	運営維持管理費	令和元年度指定管理者支出	84,095 千円															
	※ 曾我川緑地体育館・曾我川緑地全体分																	
	収入	令和元年度利用料収入	398 千円															
		◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用料収入推移 ・ 498千円から397千円の範囲で減少傾向 ◇ 収入は減少傾向																
		◇ 修繕費は中程度 ◇ 利用料収入は減少傾向にあるが、減少額は小さい																
1次評価 経済性評価		良																
1次評価 施設の方向性		安全性 良 機能性 良 経済性 良	維持															
施設の整備手法		耐震性 有 施設の方向性 維持	長寿命化															
施設の基本方針 2次評価（環境評価）																		
利用状況	利用人数	令和元年度利用者数	5,345 人															
	◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用者数推移 ・ 5,100人から5,800人の範囲で増減し、安定傾向 ◇ 利用者数は安定傾向																	
	稼働率	令和元年度稼働率	27 %															
		◇ 平成28年度～令和元年度にかけての稼働率推移 ・ 37%から27%の範囲で減少傾向 ◇ 稼働率は減少傾向																
ニーズ	市民アンケート	・ （市内・公共）スポーツスタジオの充実度について <table border="1"> <tbody> <tr> <td>十分足りている</td> <td>9.3 %</td> <td rowspan="3">57.1 %</td> </tr> <tr> <td>ほぼ足りている</td> <td>8.7 %</td> </tr> <tr> <td>適量</td> <td>39.1 %</td> </tr> <tr> <td>やや不足している</td> <td>14.3 %</td> <td rowspan="2">20.6 %</td> </tr> <tr> <td>不足している</td> <td>6.3 %</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>22.4 %</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		十分足りている	9.3 %	57.1 %	ほぼ足りている	8.7 %	適量	39.1 %	やや不足している	14.3 %	20.6 %	不足している	6.3 %	無回答	22.4 %	
十分足りている	9.3 %	57.1 %																
ほぼ足りている	8.7 %																	
適量	39.1 %																	
やや不足している	14.3 %	20.6 %																
不足している	6.3 %																	
無回答	22.4 %																	

		・ スポーツをするために使用する施設（公共・民間を問わず） 順位（16施設種別中） 下記施設を使用すると回答した人の割合					
			施設は使用していない	41.3	%		
		④	スポーツスタジオ	5.8	%		
防災	指定避難所	曾我川緑地体育館					
		◇ 稼働率は減少傾向にあるが、利用者数は安定して推移している					
	2次評価 政策優先度評価	高					
2次評価 基本方針	施設の 方向性 政策優先度 評価	維持 高	機能保持				
まとめ	◇ 他の屋内施設と比較して今後の修繕費は中程度 ◇ 収入は減少傾向 ◇ 利用者数は安定傾向 ◇ 稼働率は減少傾向						
対象施設の個別施設計画							
適用手法	施設の 方向性 政策優先度 評価	維持 高	長寿命化・維持管理効率化				
	◆ スポーツスタジオとしての用途のみでなく、多様な用途での活用を検討し、稼働率の向上を図る。						
年度	2022	2027	2032	2037	2042	2047	2052
スケジュール	◆長寿命化・維持管理効率化						

施設 6	曾我川緑地			
施設内容	テニスコート、多目的グラウンド、芝生広場、ちびっこ広場			
施設6-1	テニスコート	6	【曾我川緑地】	
施設の方向性の検討 1次評価（現況評価）				
安全性・機能性	供用開始年度からの経過年数	※ 令和3年度（2021年度）時点 22年		
	躯体の状況	—		
	屋根、外壁材の状況	—		
	内装、舗装、付帯設備、設備機器、器具、備品等の状況	舗装	<ul style="list-style-type: none"> 施設のアプローチとなる緑地内園路の舗装（洗い出し舗装）の剥がれ、ひび割れがみられる 	
		テニスコート	<ul style="list-style-type: none"> H27でコートの更新を行っており、サーフェス（透水性砂入り人工芝）は良好な状態を保っている 	
		施設の安全対策	<ul style="list-style-type: none"> A E Dを曾我川緑地体育館事務室に設置 	
耐震性	—			
◇ 全体的に劣化、不具合等は確認されない				
	1次評価 安全性・機能性 評価	良		
経済性	今後の改修や建替えに係るコスト	今後10年間の修繕費用（2022年～2031年）	16,202 千円	
		今後の修繕費用（2022以降建替えまで）	59,947 千円	
		（上記修繕実施を踏まえた）建替え年	2059年	
		今後の1年あたり修繕費用（2022以降建替えまで）	1,620 千円	
		解体撤去費用	16,202 千円	
		建替え費用	54,009 千円	
		◇ 市内における他の屋外スポーツ施設と比較して今後の修繕費は中程度		
※ 以下、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きくは受けていない直近年度である令和元年度の実績を記載する。				

	運営維持管理費		令和元年度指定管理者支出	84,095 千円	
	※ 曾我川緑地体育館・曾我川緑地全体分				
	収入		令和元年度利用料収入	1,703 千円	
	◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用料収入推移 ・ 2,037千円から1,498千円の範囲で増減し、安定傾向 ◇ 収入は安定傾向				
		◇ 修繕費は中程度 ◇ 利用料収入は安定して推移している			
1次評価		良			
経済性評価					
1次評価		維持			
施設の方向性	安全性				良
	機能性				良
施設の整備手法	経済性	良			
	耐震性	—			
		長寿命化			
		施設の方向性	維持		
施設の基本方針 2次評価（環境評価）					
利用状況	利用人数		令和元年度利用者数	5,982 人	
	◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用者数推移 ・ 5,200人から6,700人の範囲で増減し、安定傾向 ◇ 利用者数は安定傾向				
	稼働率		令和元年度稼働率	55 %	
◇ 平成28年度～令和元年度にかけての稼働率推移 ・ 44%から57%の範囲で増減し、安定傾向 ◇ 稼働率は安定傾向					
ニーズ	市民アンケート		・ (市内・公共) テニスコートの充実度について		
			十分足りている	15.9 %	
			ほぼ足りている	10.9 %	
			適量	43.5 %	
		やや不足している	7.8 %		
		不足している	1.3 %		
		無回答	20.6 %		
		・ スポーツをするために使用する施設（公共・民間を問わず） 順位（16施設種別中） 下記施設を使用すると回答した人の割合			
			施設は使用していない	41.3 %	
		同率⑤⑥	テニスコート	3.8 %	
防災	指定避難所		・ 避難所等指定なし		
◇ 利用者数、稼働率ともに安定して推移している					

	2次評価 政策優先度評価		高				
2次評価 基本方針			機能保持				
	施設の 方向性	維持					
	政策優先度 評価	高					
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 全体的に劣化、不具合等は確認されない ◇ 他の屋外施設と比較して今後の修繕費は中程度 ◇ 収入は安定傾向 ◇ 利用者数は安定傾向 ◇ 稼働率は安定傾向 						
対象施設の個別施設計画							
適用手法			長寿命化・維持管理効率化				
	施設の 方向性	維持					
	政策優先度 評価	高					
<p>◆ 付帯設備が充実した、曾我川緑地体育館に隣接するため、利用者満足度が比較的高い。一層の利用者満足度向上を目指す。</p>							
単位：千円							
年度	2022	2027	2032	2037	2042	2047	2052
スケジュール	<p>◆長寿命化・維持管理効率化 </p> <p>※ 人工芝張替は、目安として10年に一回を見込む。(2面×3回)</p>						
修繕費	(10年間)	16,202		—			
	(30年間)	48,606					
撤去費	(10年間)	0		—			
	(30年間)						
建替費	(10年間)	0		—			
	(30年間)						
合計	(10年間)	16,202		—			
	(30年間)	48,606					

施設6-2		多目的グラウンド		6 【曾我川緑地】		
施設の方向性の検討 1次評価（現況評価）						
安全性・機能性	供用開始年度からの経過年数	※ 令和3年度（2021年度）時点 22年				
	躯体の状況	—				
	屋根、外壁材の状況	—				
	内装、舗装、付帯設備、設備機器、器具、備品等の状況	舗装	・ 施設のアプローチとなる緑地内園路の舗装（洗い出し舗装）の剥がれ、ひび割れがみられる			
		多目的グラウンド	・ グラウンドは概ね良好な状況を保っている			
		施設の安全対策	・ A E Dを曾我川緑地体育館事務室に設置			
耐震性	—					
◇ 全体的に劣化、不具合等は確認されない						
	1次評価 安全性・機能性 評価	良				
経済性	今後の改修や建替えに係るコスト	今後10年間の修繕費用（2022年～2031年）	9,280 千円			
		今後の修繕費用（2022以降建替えまで）	34,336 千円			
		（上記修繕実施を踏まえた）建替え年	2059年			
		今後の1年あたり修繕費用（2022以降建替えまで）	928 千円			
		解体撤去費用	27,840 千円			
		建替え費用	92,800 千円			
		◇ 市内の他の屋外スポーツ施設と比較して今後の修繕費は小さい				
	運営維持管理費	令和元年度指定管理者支出	84,095 千円			
※ 曾我川緑地体育館・曾我川緑地全体分						
収入	令和元年度利用料収入	— 千円				
	※ 利用料金は無料					
◇ 利用料収入は生じないが、修繕費は小さい						

	1次評価 経済性評価	良															
1次評価	維持																
施設の方向性				安全性 機能性 経済性	良 良												
施設の整備手法	耐震性	—															
	施設の方向性	維持															
施設の基本方針 2次評価（環境評価）																	
利用状況	利用人数	令和元年度利用者数	8,663 人														
		◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用者数推移 ・ 8,600人から12,700人の範囲で増減し、安定傾向 ◇ 利用者数は安定傾向															
	稼働率	令和元年度稼働率	47 %														
ニーズ	市民アンケート	・（市内・公共）多目的グラウンドの充実度について															
		<table border="1"> <tr> <td>十分足りている</td> <td>12.0 %</td> <td rowspan="3">66.1 %</td> </tr> <tr> <td>ほぼ足りている</td> <td>11.1 %</td> </tr> <tr> <td>適量</td> <td>43.0 %</td> </tr> <tr> <td>やや不足している</td> <td>9.6 %</td> <td rowspan="2">12.4 %</td> </tr> <tr> <td>不足している</td> <td>2.8 %</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>21.5 %</td> <td></td> </tr> </table>	十分足りている	12.0 %	66.1 %	ほぼ足りている	11.1 %	適量	43.0 %	やや不足している	9.6 %	12.4 %	不足している	2.8 %	無回答	21.5 %	
	十分足りている	12.0 %	66.1 %														
ほぼ足りている	11.1 %																
適量	43.0 %																
やや不足している	9.6 %	12.4 %															
不足している	2.8 %																
無回答	21.5 %																
		・ スポーツをするために使用する施設（公共・民間を問わず） 順位（16施設種別中） 下記施設を使用すると回答した人の割合															
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>施設は使用していない</td> <td>41.3 %</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>多目的グラウンド</td> <td>6.1 %</td> </tr> </table>		施設は使用していない	41.3 %	③	多目的グラウンド	6.1 %									
	施設は使用していない	41.3 %															
③	多目的グラウンド	6.1 %															
	利用者アンケート	・ 付帯設備（冷暖房・シャワールーム等）についての満足度 不満との回答割合が、他施設と比較して高い															
		<table border="1"> <tr> <td>どちらかといえば不満</td> <td>40.0 %</td> <td rowspan="2">40.0 %</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0.0 %</td> </tr> </table>	どちらかといえば不満	40.0 %	40.0 %	不満	0.0 %										
どちらかといえば不満	40.0 %	40.0 %															
不満	0.0 %																
防災	—																
		◇ 利用者数は安定して推移している															
	2次評価 政策優先度評価	高															
2次評価	機能保持																
基本方針				施設の方向性	維持												
	政策優先度評価	高															
まとめ	◇ 全体的に劣化、不具合等は確認されない ◇ 他の屋外施設と比較して今後の修繕費は小さい ◇ 利用者数は安定傾向																

対象施設の個別施設計画							
適用手法	施設の 方向性	維持	長寿命化・維持管理効率化				
	政策優先度 評価	高					
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 適用手法は、「長寿命化」となるが、利用者アンケートの結果、付帯設備について、不満との回答割合が、比較的高くなっている。 ◆ 多目的グラウンドは無料施設であること、また曾我川緑地の遊水地としての機能を有することもあり、付帯設備は整備されていない。 ◆ グラウンドの質の向上、日除け、ベンチ、トイレ、更衣室の設置など施設利用者の満足度を高める整備についても検討を続ける。 							
単位：千円							
年度	2022	2027	2032	2037	2042	2047	2052
スケジュール	◆長寿命化・維持管理効率化						▶
	※ 付帯設備整備等に関する検討を継続する						
修繕費	(10年間)	9,280		—			
	(30年間)			27,840			
撤去費	(10年間)	0		—			
	(30年間)			0			
建替費	(10年間)	0		—			
	(30年間)			0			
合計	(10年間)	9,280		—			
	(30年間)			27,840			

施設 7	橿原市ひがしたけだドーム			
施設内容	アリーナ(人工芝)、子供の遊びコーナー、健康器具置場			
施設7-1	アリーナ	7	【ひがしたけだドーム】	
施設の方向性の検討 1次評価 (現況評価)				
安全性・機能性	供用開始年度からの経過年数	※ 令和3年度(2021年度)時点 11年		
	躯体の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 構造鉄骨・鋼製手摺・建具の錆、塗装チョーキング劣化がみられる ・ 天井吊照明器具の錆あり 		
	屋根、外壁材の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ シート防水に浮き、ヨレ、剥がれなどがみられる ・ ドーム屋根金物や折板取付ボルトに錆がみられる ・ 南北西面外壁タイルに浮きがみられる 		
	内装、舗装、付帯設備、設備機器、器具、備品等の状況	内装の劣化状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ 内壁ボードにひび割れ ・ 器具庫床面にひび割れ、防塵塗装剥離がみられる バリアフリーの対応状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ 口の扉が開き戸 施設の安全対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ AEDを管理棟入口に設置 		
	耐震性	有り		
		◇ 部分的な経年劣化や不具合が確認されるが、安全性、機能性を大きく損なうものではなく、通常の保守、修繕にて保全できる		
		1次評価 安全性・機能性 評価	良	
経済性	今後の改修や建替えに係るコスト	今後の10年間の修繕費用(2022年~2031年)	23,670 千円	
		今後の修繕費用(2022以降建替えまで)	93,775 千円	
		(上記修繕実施を踏まえた)建替え年	2075 年	
		今後の1年あたり修繕費用(2022以降建替えまで)	1,769 千円	
		解体撤去費用	30,172 千円	
		建替え費用	301,720 千円	
		◇ 市内の他の屋内スポーツ施設と比較して今後の修繕費は小さい		

		※ 以下、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きくは受けていない直近年度である令和元年度の実績を記載する。														
		運営維持管理費	令和元年度指定管理者支出 20,403 千円													
		※ ひがしたけだドーム・東竹田近隣公園全体分														
		収入	令和元年度利用料収入 2,475 千円													
		◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用料収入推移 ・ 2,475千円から3,131千円の範囲で増減し、安定傾向														
		◇ 収入は安定傾向														
		◇ 修繕費は比較的小さい														
		◇ 利用料収入は安定して推移している														
		1次評価	良													
		経済性評価														
1次評価		維持														
施設の方向性	安全性 良 機能性 経済性 良															
施設の整備手法		耐震性 有 施設の方向性 維持	長寿命化													
施設の基本方針		2次評価（環境評価）														
利用状況	利用人数	令和元年度利用者数 16,880 人	◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用者数推移 ・ 16,800人から19,600人の範囲で増減し、安定傾向 ◇ 利用者数は安定傾向													
	稼働率	令和元年度稼働率 75 %														
ニーズ	市民アンケート	・（市内・公共）体育館の充実度について														
		<table border="1"> <tr> <td>十分足りている</td> <td>10.9 %</td> <td rowspan="2">62.9 %</td> </tr> <tr> <td>ほぼ足りている</td> <td>10.0 %</td> </tr> <tr> <td>適量</td> <td>42.0 %</td> <td rowspan="2">16.1 %</td> </tr> <tr> <td>やや不足している</td> <td>12.8 %</td> </tr> <tr> <td>不足している</td> <td>3.3 %</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>20.9 %</td> <td></td> </tr> </table>		十分足りている	10.9 %	62.9 %	ほぼ足りている	10.0 %	適量	42.0 %	16.1 %	やや不足している	12.8 %	不足している	3.3 %	無回答
十分足りている	10.9 %	62.9 %														
ほぼ足りている	10.0 %															
適量	42.0 %	16.1 %														
やや不足している	12.8 %															
不足している	3.3 %															
無回答	20.9 %															
		・ スポーツをするために使用する施設（公共・民間を問わず） 順位（16施設種別中） 下記施設を使用すると回答した人の割合														
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>施設は使用していない</td> <td>41.3 %</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>体育館</td> <td>9.9 %</td> </tr> </table>			施設は使用していない	41.3 %	①	体育館	9.9 %							
	施設は使用していない	41.3 %														
①	体育館	9.9 %														

防災	指定避難所	ひがしたけだドーム					
		◇ 稼働率が高く、利用者数、稼働率ともに安定して推移している					
	2次評価 政策優先度評価	高					
2次評価 基本方針	施設の 方向性 政策優先度 評価	維持 高	機能保持				
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 部分的な経年劣化や不具合が確認されるが、安全性、機能性を大きく損なうものではなく、通常の保守、修繕にて保全できる ◇ 他の屋内施設と比較して今後の修繕費は少ない ◇ 収入は安定傾向 ◇ 利用者数は安定傾向 ◇ 稼働率は安定傾向 ◇ 稼働率が高い 						
対象施設の個別施設計画							
適用手法	施設の 方向性 政策優先度 評価	維持 高	長寿命化・維持管理効率化				
	<ul style="list-style-type: none"> ◆ テニスやフットサル、ハンドボール等各1面のみ利用ではあるが、屋外施設と比べ利用者数、稼働率ともに大きい。比較的新しい施設であり、利用者満足度も高い。 ◆ 供用開始から10年を経過し、外壁タイルの浮きをはじめ、さまざまな経年劣化が生じ始めている。施設の長寿命化を図るための定期修繕を計画する必要がある。 						
年度	2022	2027	2032	2037	2042	2047	2052
スケジュール	◆長寿命化・維持管理効率化						
単位：千円							
年度	2022	2027	2032	2037	2042	2047	2052
適用手法	長寿命化・維持管理効率化						
修繕費	(10年間)	23,670		—			
	(30年間)	70,105					
撤去費	(10年間)	0		—			
	(30年間)	0					
建替費	(10年間)	0		—			
	(30年間)	0					
合計	(10年間)	23,670		—			
	(30年間)	70,105					

施設 8	東竹田近隣公園		
施設内容	多目的広場、複合遊具等、芝生広場、親水施設（噴水及びせせらぎ水路）		
施設8-1	多目的広場	8	【東竹田近隣公園】
施設の方向性の検討 1次評価（現況評価）			
安全性・機能性	供用開始年度からの経過年数	※ 令和3年度（2021年度）時点 13年	
	躯体の状況	—	
	屋根、外壁材の状況	—	
	内装、舗装、付帯設備、設備機器、器具、備品等の状況	舗装 ・ グラウンドは概ね良好な状態を保っている ・ グラウンド西側の水はけ不良 施設の安全対策 ・ A E Dを管理棟入口に設置	
	耐震性	—	
	◇ 全体的に劣化、不具合等は確認されない		
	1次評価 安全性・機能性評価	良	
経済性	今後の改修や建替えに係るコスト	今後10年間の修繕費用（2022年～2031年）	2,720 千円
		今後の修繕費用（2022以降建替えまで）	12,512 千円
		（上記修繕実施を踏まえた）建替え年	2068 年
		今後の1年あたり修繕費用（2022以降建替えまで）	272 千円
		解体撤去費用	8,160 千円
		建替え費用	27,200 千円
	◇ 市内の他の屋外スポーツ施設と比較して今後の修繕費は小さい。		
	※ 以下、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きくは受けていない直近年度である令和元年度の実績を記載する。		
運営維持管理費	令和元年度指定管理者支出	20,403 千円	
※ ひがしたけだドーム・東竹田近隣公園全体分			

	収入	令和元年度利用料収入	—	千円
		※ 利用料金は無料		
	◇ 利用料収入は生じないが、修繕費は小さい			
	1次評価 経済性評価	良		
1次評価	施設の方向性	安全性 機能性 経済性	良 良	維持
	施設の整備手法	耐震性	—	長寿命化
		施設の方向性	維持	
施設の基本方針 2次評価（環境評価）				
利用状況	利用人数	令和元年度利用者数	—	
		※ 利用者の多い大型複合遊具が設置されたエリアに隣接する、公園における広場として一体的に利用されている。		
	稼働率	令和元年度稼働率	—	
ニーズ	市民アンケート	・（市内・公共）多目的グラウンドの充実度について		
		十分足りている	12.0 %	66.1 %
		ほぼ足りている	11.1 %	
適量	43.0 %			
		やや不足している	9.6 %	12.4 %
		不足している	2.8 %	
		無回答	21.5 %	
		・ スポーツをするために使用する施設（公共・民間を問わず） 順位（16施設種別中） 下記施設を使用すると回答した人の割合		
		施設は使用していない	41.3 %	
		③ 多目的グラウンド	6.1 %	
防災	—			
	※ 公園の広場として利用されている			
	2次評価 政策優先度評価	高		
2次評価	基本方針	施設の方向性	維持	機能保持
		政策優先度評価	高	
まとめ	◇ 全体的に劣化、不具合等は確認されない。 ◇ 他の屋外施設と比較して今後の修繕費は小さい。 ※ 公園の広場として利用されている			

対象施設の個別施設計画							
適用手法	施設の 方向性	維持	長寿命化・維持管理効率化				
	政策優先度 評価	高					
<p>◆ 主に公園の広場として利用されている無料施設である。グラウンドゴルフでの使用もある。公園利用者も多いため、スポーツ・レクリエーション・健康増進イベント等の会場としても適性があると考えられ、効果的な活用を目指す。</p>							
年度	2022	2027	2032	2037	2042	2047	2052
スケジュール	◆長寿命化・維持管理効率化						
単位：千円							
年度	2022	2027	2032	2037	2042	2047	2052
適用手法	長寿命化・維持管理効率化						
修繕費	(10年間)	2,720		—			
	(30年間)	8,160					
撤去費	(10年間)	0		—			
	(30年間)	0					
建替費	(10年間)	0		—			
	(30年間)	0					
合計	(10年間)	2,720		—			
	(30年間)	8,160					

施設 9		檀原市新沢千塚公園拠点施設（シルクの杜）		
施設内容	温浴施設、トレーニングルーム、ダンス教室、市民サロン、休憩所、喫茶コーナー、浴室（浴槽、水風呂、サウナ）、ホール（教室）、芝生広場、足湯			
施設の方向性の検討 1次評価（現況評価）				
安全性・機能性	供用開始年度からの経過年数	※ 令和3年度（2021年度）時点 5年		
	躯体の状況	・ 躯体に安全性に関わる劣化箇所は見当たらない		
	屋根、外壁材の状況	・ 屋根・外装材に安全性に関わる劣化箇所は見当たらない		
	内装、舗装、付帯設備、設備機器、器具、備品等の状況	内装の劣化状況	共通	
		付帯設備の整備状況	共通	
		温浴施設	・ 施設周囲の通路の沈下がみられる	
		温浴施設	・ ポンプ1機が故障 ・ 排煙窓のワイヤーの動作不良がみられる	
バリアフリーの対応状況		温浴施設 ・ 更衣室入口の有効幅員が狭い		
施設の安全対策	・ A E Dを事務室前に設置			
耐震性	有り			
◇ 全体的に劣化、不具合等は確認されない				
	1次評価 安全性・機能性 評価	良		
経済性	今後の改修や建替えに係るコスト	今後10年間の修繕費用（2022年～2031年）	112,198 千円	
		今後の修繕費用（2022以降建替えまで）	444,502 千円	
		（上記修繕実施を踏まえた）建替え年	2081 年	
		今後の1年あたり修繕費用（2022以降建替えまで）	7,533 千円	
		解体撤去費用	143,019 千円	

	建替え費用	1,430,191 千円
	◇ 市内の他の屋内スポーツ施設と比較して今後の修繕費はやや大きい	

施設9-1		温浴施設		9		【檀原市新沢千塚公園拠点施設（シルクの杜）】		
施設の方向性の検討 1次評価（現況評価）								
経済性	※ 以下、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きくは受けていない直近年度である令和元年度の実績を記載する。							
	運営維持管理費	令和元年度（直営）		140,803 千円				
		※ シルクの杜全体分						
	収入	令和元年度利用料収入		22,711 千円				
	※ 健康づくり施設（トレーニングルーム・温浴施設）							
	◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用料収入推移							
	・ 21,961千円から23,789千円の範囲で増減し、安定傾向							
	◇ 収入は安定傾向							
	◇ 修繕費はやや大きいですが、利用料収入は安定して推移している							
	1次評価		良					
	経済性評価							
1次評価		維持						
施設の方向性	安全性							良
	機能性							
	経済性	良						
施設の整備手法	耐震性	有	長寿命化					
	施設の方向性	維持						
施設の基本方針 2次評価（環境評価）								
利用状況	利用人数	令和元年度利用者数		97,305 人				
		※ 健康づくり施設（トレーニングルーム・温浴施設）						
	◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用者数推移							
	・ 67,600人から99,000人の範囲で増減し、増加傾向							
	◇ 利用者数は増加傾向							
	稼働率	令和元年度稼働率		—				
防災	指定避難所	シルクの杜						
	◇ 利用者数は増加傾向にある							
	2次評価		高					
	政策優先度評価							
2次評価		機能保持						
基本方針	施設の方向性							維持
	政策優先度評価							高

まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 他の屋内施設と比較して今後の修繕費はやや大きい ◇ 収入は安定傾向 ◇ 利用者数は増加傾向
-----	---

対象施設の個別施設計画

適用手法	施設の 方向性	維持	長寿命化・維持管理効率化
	政策優先度 評価	高	

- ◆ 温浴施設、トレーニングルーム、ダンス教室、浴室、市民サロン等、健康増進、交流活性化について相乗効果の高い施設構成で、施設も新しく利用者満足度が高い。一層の利用者満足度向上を目指す。
- ◆ 供用開始から5年の新しい施設ではあるが、長寿命化を図るためには、定期修繕を計画し、実施する必要がある。

年度	2022	2027	2032	2037	2042	2047	2052
----	------	------	------	------	------	------	------

スケジュール	◆長寿命化・維持管理効率化						
--------	---------------	--	--	--	--	--	--

◆ 以下シルクの杜全体 単位：千円

年度	2022	2027	2032	2037	2042	2047	2052
----	------	------	------	------	------	------	------


修繕費	(10年間)	112,198	—				
	(30年間)	332,304					

撤去費	(10年間)	0	—				
	(30年間)	0					

建替費	(10年間)	0	—				
	(30年間)	0					

合計	(10年間)	112,198	—				
	(30年間)	332,304					

施設9-2	トレーニングルーム	9	【檀原市新沢千塚公園拠点施設（シルクの杜）】													
	※ 以下、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きくは受けていない直近年度である令和元年度の実績を記載する。															
施設の方向性の検討 1次評価（現況評価）																
経済性	運営維持管理費	令和元年度（直営）	140,803 千円													
		※ シルクの杜全体分														
	収入	令和元年度利用料収入	22,711 千円													
		※ 健康づくり施設（トレーニングジム・温浴）														
		◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用料収入推移 ・ 21,961千円から23,789千円の範囲で増減し、安定傾向 ◇ 収入は安定傾向														
	◇ 修繕費はやや大きい、利用料収入は安定して推移している															
	1次評価 経済性評価	良														
1次評価																
施設の方向性	安全性	良	維持													
	機能性 経済性	良														
施設の方向性	耐震性	—	長寿命化													
	施設の方向性	維持														
施設の基本方針 2次評価（環境評価）																
利用状況	利用人数	令和元年度利用者数	97,305 人													
		※ 健康づくり施設（トレーニングルーム・温浴） ◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用者数推移 ・ 67,600人から99,000人の範囲で増減し、増加傾向 ◇ 利用者数は増加傾向														
	稼働率	令和元年度稼働率	—													
ニーズ	市民アンケート	・（市内・公共）トレーニングルームの充実度について														
		<table border="1"> <tbody> <tr> <td>十分足りている</td> <td>9.1 %</td> <td rowspan="3">53.4 %</td> </tr> <tr> <td>ほぼ足りている</td> <td>10.2 %</td> </tr> <tr> <td>適量</td> <td>34.1 %</td> </tr> <tr> <td>やや不足している</td> <td>17.2 %</td> <td rowspan="2">24.4 %</td> </tr> <tr> <td>不足している</td> <td>7.2 %</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>22.2 %</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		十分足りている	9.1 %	53.4 %	ほぼ足りている	10.2 %	適量	34.1 %	やや不足している	17.2 %	24.4 %	不足している	7.2 %	無回答
十分足りている	9.1 %	53.4 %														
ほぼ足りている	10.2 %															
適量	34.1 %															
やや不足している	17.2 %	24.4 %														
不足している	7.2 %															
無回答	22.2 %															
		・ スポーツをするために使用する施設（公共・民間を問わず） 順位（16施設種別中） 下記施設を使用すると回答した人の割合														
		<table border="1"> <tbody> <tr> <td></td> <td>施設は使用していない</td> <td>41.3 %</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>トレーニングルーム</td> <td>7.4 %</td> </tr> </tbody> </table>			施設は使用していない	41.3 %	②	トレーニングルーム	7.4 %							
	施設は使用していない	41.3 %														
②	トレーニングルーム	7.4 %														
防災	指定避難所	シルクの杜														

	◇ 利用者数は増加傾向にある						
	2次評価 政策優先度評価		高				
2次評価 基本方針	施設の 方向性 政策優先度 評価	維持 高	機能保持				
まとめ	◇ 他の屋内施設と比較して今後の修繕費はやや大きい ◇ 収入は安定傾向 ◇ 利用者数は増加傾向						
対象施設の個別施設計画							
適用手法	施設の 方向性 政策優先度 評価	維持 高	長寿命化・維持管理効率化				
	◆ 温浴施設、トレーニングルーム、ダンス教室、浴室、市民サロン等、健康増進、交流活性化について相乗効果の高い施設構成で、施設も新しく利用者満足度が高い。一層の利用者満足度向上を目指す。 ※ 香久山体育館・曾我川緑地体育館のトレーニングルームの検討内容によっては、内容について再検討を実施する。						
年度	2022	2027	2032	2037	2042	2047	2052
スケジュール	◆長寿命化・維持管理効率化						

施設9-3		ダンス教室		9		【檀原市新沢千塚公園拠点施設（シルクの杜）】	
施設の方向性の検討 1次評価（現況評価）							
経済性	※ 以下、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きくは受けていない直近年度である令和元年度の実績を記載する。						
	運営維持管理費	令和元年度（直営）		140,803 千円			
	※ シルクの杜全体分						
	収入	令和元年度利用料収入		377 千円			
◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用料収入推移							
・ 297千円から414千円の範囲で増減し、安定傾向							
◇ 収入は安定傾向							
◇ 修繕費はやや大きいですが、利用料収入は安定して推移している							
1次評価		経済性評価		良			
1次評価		施設の方向性		維持			
		安全性	良				
		機能性					
		経済性	良				
施設の整備手法		耐震性	有	長寿命化			
		施設の方向性	維持				
施設の基本方針 2次評価（環境評価）							
利用状況	利用人数	令和元年度利用者数		1,825 人			
	◇ 平成28年度～令和元年度にかけての利用者数推移						
・ 1,100人から2,000人の範囲で増減し、安定傾向							
◇ 利用者数は安定傾向							
		稼働率	令和元年度稼働率		—		
ニーズ	市民アンケート	・（市内・公共）スポーツスタジオの充実度について					
		十分足りている	9.3 %	57.1 %			
		ほぼ足りている	8.7 %				
		適量	39.1 %				
		やや不足している	14.3 %	20.6 %			
		不足している	6.3 %				
		無回答	22.4 %				
・ スポーツをするために使用する施設（公共・民間を問わず）							
順位（16施設種別中） 下記施設を使用すると回答した人の割合							
			施設は使用していない	41.3 %			
		④	スポーツスタジオ	5.8 %			
防災	指定避難所	シルクの杜					

	◇ 利用者数は安定して推移している						
	2次評価 政策優先度評価		高				
2次評価 基本方針	施設の 方向性 政策優先度 評価	維持 高	機能保持				
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 他の屋内施設と比較して今後の修繕費はやや大きい ◇ 収入は安定傾向 ◇ 利用者数は安定傾向 						
対象施設の個別施設計画							
適用手法	施設の 方向性 政策優先度 評価	維持 高	長寿命化・維持管理効率化				
	◆ 温浴施設、トレーニングルーム、ダンス教室、浴室、市民サロン等、健康増進、交流活性化について相乗効果の高い施設構成で、施設も新しく利用者満足度が高い。一層の利用者満足度向上を目指す。						
年度	2022	2027	2032	2037	2042	2047	2052
スケジュール	◆長寿命化・維持管理効率化 						

 **検討資料編 3 橿原市スポーツ施設のあり方に関する
アンケート調査結果報告書（市民アンケート）**

1 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、スポーツ施設計画を検討するにあたり、市民の皆様のスポーツ施設のご利用実態、スポーツや健康増進に対するお考えや、今後のスポーツ施設のあり方に対するご意見について把握するために実施しました。

(2) 調査対象

令和3年5月1日現在、橿原市在住の満18歳以上の市民1,500人を対象としました。

(3) 調査期間

令和3年6月28日から令和3年7月26日まで

(4) 調査方法

郵送により配布・回収を行いました。なお、スマートフォンやパソコンからインターネットを通じての回答も可としました。

(5) 回収状況

配布			回収			到達配布数 に対する 回収率
配布数	不到達数	到達配布数	回収 調査票数	うち 郵送回答	うち インターネット回答	
1,500	6	1,494	540	422	118	36.1%

※クロス集計表の見方※

- クロス集計とは、2つ以上の質問項目を掛け合わせて集計する手法のことで、質問項目を表の縦軸と横軸に分け、それぞれの選択肢が交わるセルに、該当する回答数や割合を記載した表を、クロス集計表といえます。
- 本報告書におけるクロス集計表は、縦方向に数字を読み込む形で整理しており、単数回答の場合、縦方向の割合の合計が100となり、合計に対する割合を算出する母数は、回答数(=回答者数)となります。複数回答の場合、割合を算出する計算に使う母数は、回答数合計ではなく回答者数を使用します。そのため割合の合計が100%を越える場合があります。
- また、総数に対して、値が大きいセルに灰色の着色をしています。

例)

		問5-1 スポーツ施設利用の有無		総数 (n=312)
		利用した ことがある (n=183)	利用した ことがない (n=129)	
問 6 ス ポ ー ツ を 行 い たい 理 由	健康・体力づくりのため	78.1	79.1	78.5
	ストレス解消や気分転換のため	41.0	41.1	41.0
	スポーツを経験・体験するため	12.0	2.3	8.0
	運動不足解消のため	62.8	65.9	64.1
	自己の記録や能力を向上させるため	9.3	1.6	6.1
	家族や友人・知人とのふれあい・交流のため	29.5	12.4	22.4
	ボランティアのため	1.6	0.0	1.0
	美容のため	7.1	9.3	8.0
	自然とのふれあいのため	12.0	20.2	15.4
	趣味・娯楽として日課になっているため	19.1	9.3	15.1
	特に理由はない	3.8	6.2	4.8
	その他	1.6	1.6	1.6
無回答	7.1	3.1	5.4	

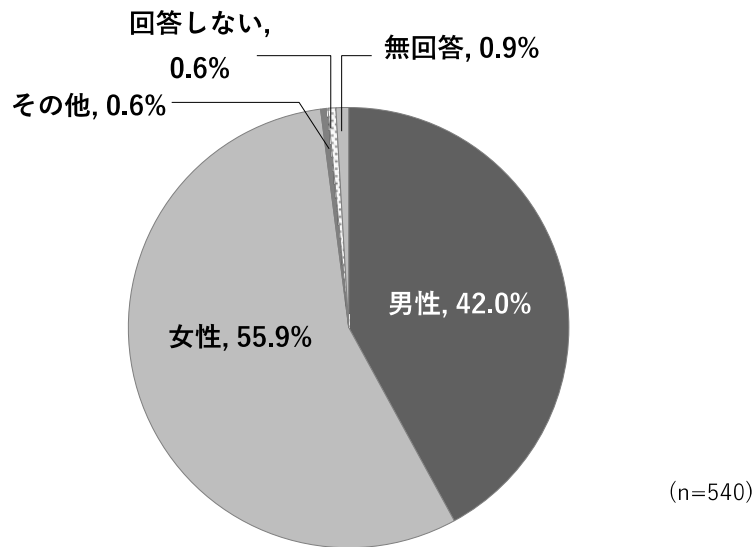
「利用したことがある」と回答した人(183人)に対する割合を表現

右端の「総数」における割合より高いセルに着色

1 あなたご自身のことについておたずねします。

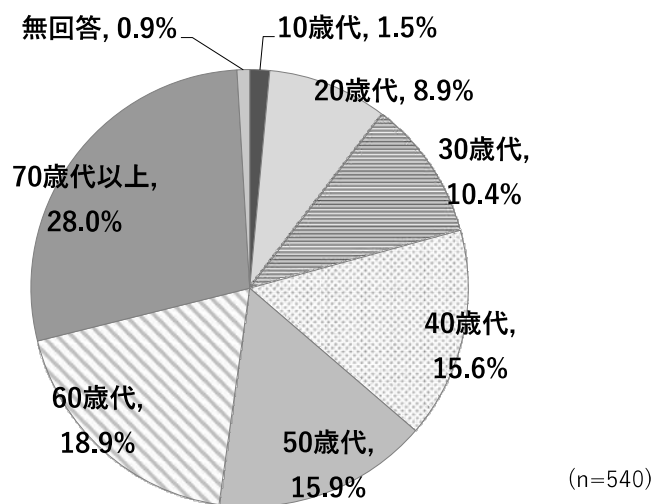
問1 性別

- 「男性」が42.0%、「女性」が55.9%で、女性からの回答がやや多くなっています。



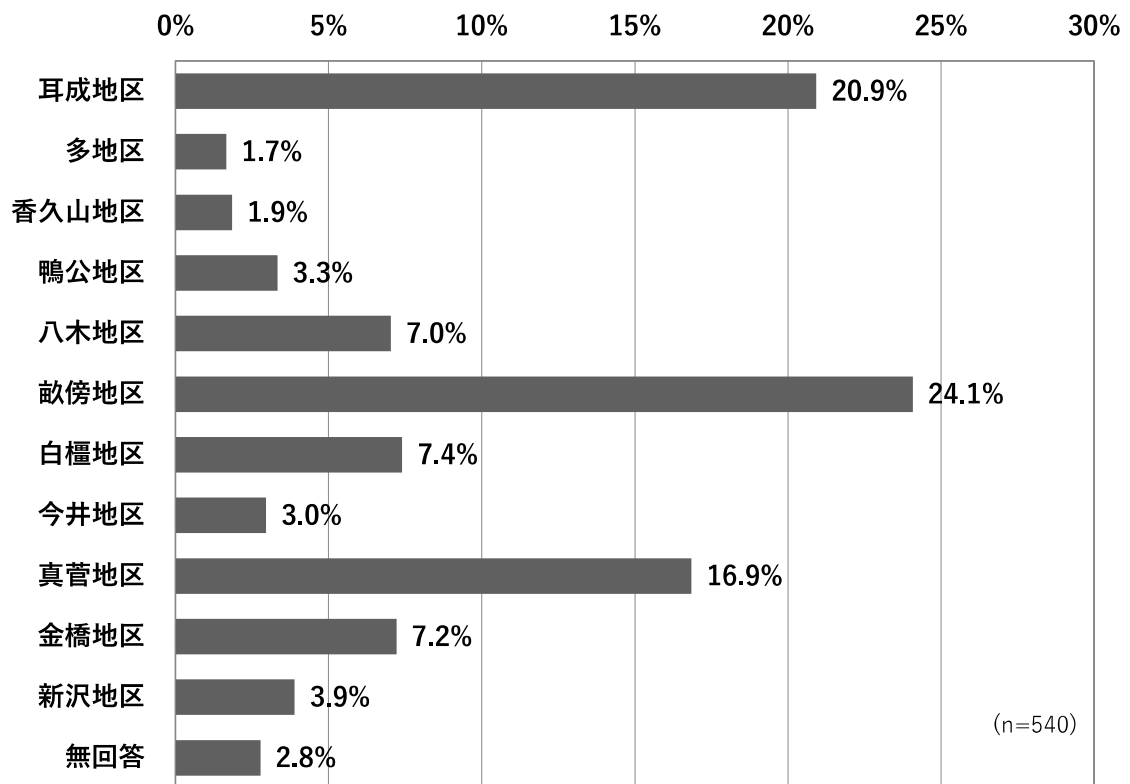
問2 年齢

- 年齢については、「70歳以上」が28.0%と最も多く、次いで「60歳代」が18.9%、「50歳代」が15.9%、「40歳代」が15.6%の順で続きます。
- 60歳以上が46.9%と約半数を占めており、回答者の年齢層は高めになっています。



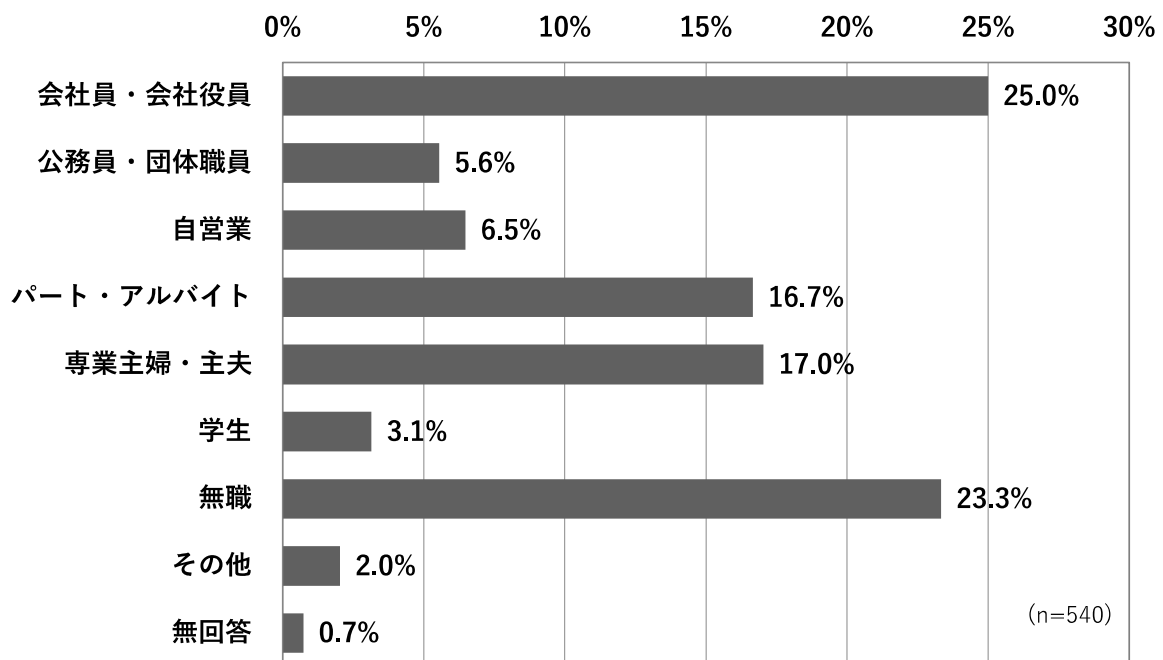
問3 居住地

- 居住地については、「畝傍地区」が24.1%と最も多く、次いで「耳成地区」が20.9%、「真菅地区」が16.9%となっています。



問4 職業

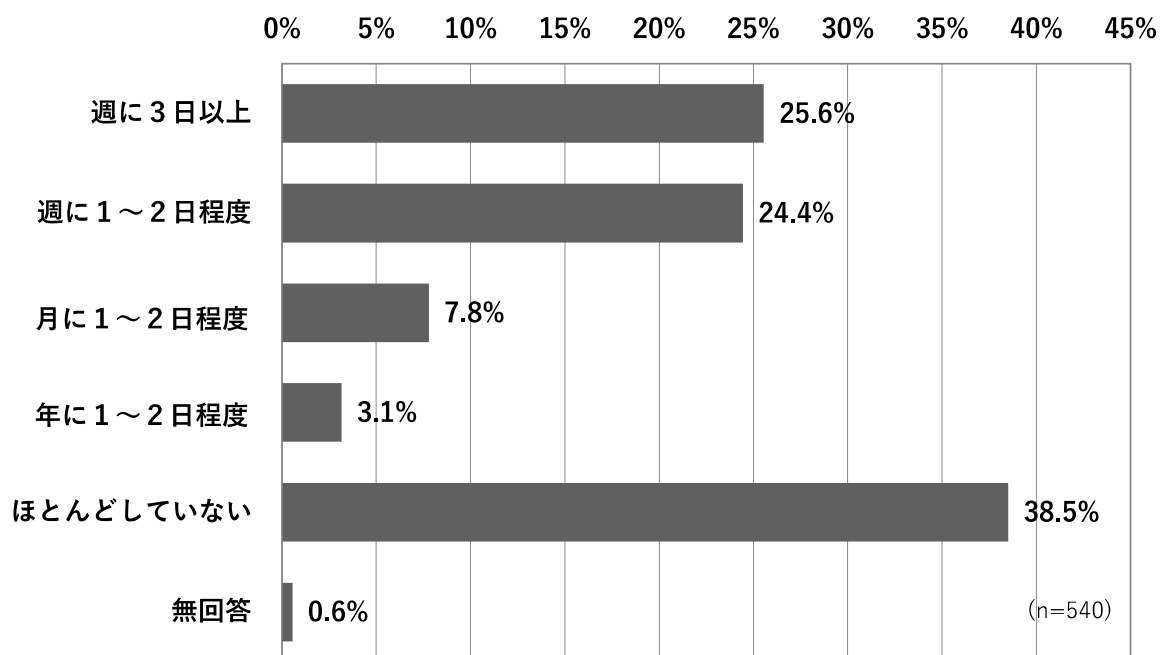
- 職業については、「会社員・会社役員」が25.0%と最も多く、次いで「無職」が23.3%、「専業主婦・主夫」が17.0%、「パート・アルバイト」が16.7%となっています。



2 スポーツの取組みについておたずねします。

問5 あなたは日頃、どれくらいの頻度でスポーツ（キャッチボール、ウォーキングやラジオ体操の軽運動等を含む）を行っていますか。※新型コロナウイルス感染拡大前の状況についてお答えください 《○1つ》

- ・ 日頃のスポーツの実施頻度については、「ほとんどしていない」が38.5%と最も多くなっていますが、次いで「週に3日以上」が25.6%、「週に1～2日程度」が24.4%、「月に1～2日程度」は7.8%となっており、月に1日以上スポーツを実施している人は57.8%となります。
- ・ 約6割の方は、一定の割合でスポーツの実施を習慣化しているといえます。



(参考) 年齢層別

※問2 (年齢) のクロス集計

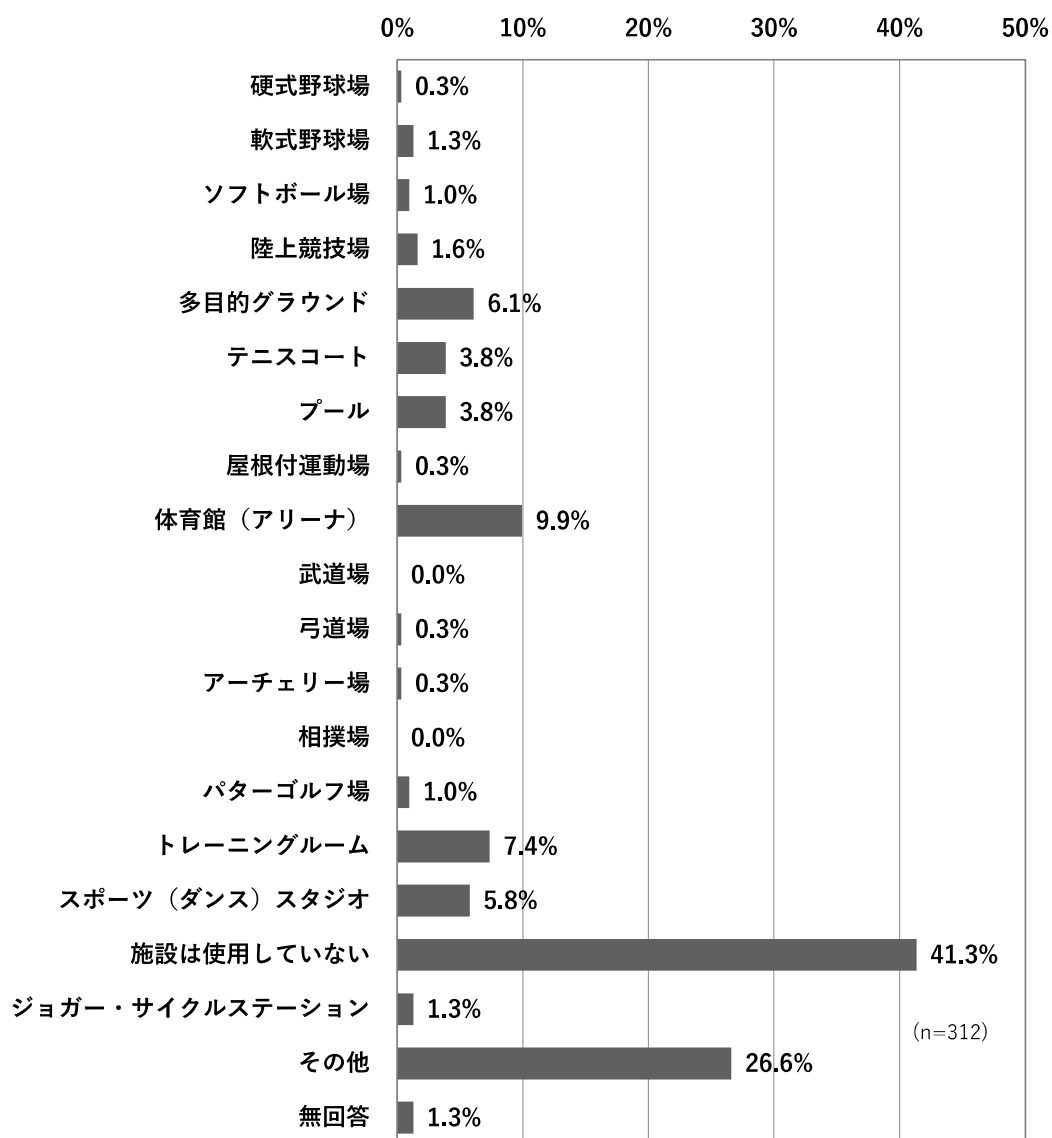
- ・ 週に1日以上スポーツを行う人(「週に3日以上」と「週に1~2日程度」の合計)の割合は、70歳以上では59.6%、60歳代では55.9%、50歳代では51.2%となっており、各年代の大半を占めています。年齢層が高いほど、スポーツを行う頻度が高く、習慣化していると言えます。

		問2 年齢							無回答 (n=5)	総数 (n=540)
		10歳代 (n=8)	20歳代 (n=48)	30歳代 (n=56)	40歳代 (n=84)	50歳代 (n=86)	60歳代 (n=102)	70歳代以上 (n=151)		
問5 スポーツを行う頻度	週に3日以上	0.0	18.8	16.1	11.9	23.3	30.4	39.1	0.0	25.6
	週に1~2日程度	37.5	25.0	28.6	22.6	27.9	25.5	20.5	20.0	24.4
	月に1~2日程度	0.0	10.4	5.4	10.7	8.1	10.8	4.6	0.0	7.8
	年に1~2日程度	0.0	10.4	3.6	6.0	2.3	2.0	0.7	0.0	3.1
	ほとんどしていない	62.5	35.4	46.4	48.8	38.4	31.4	34.4	40.0	38.5
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	40.0	0.6

(%)

問5-1 問5で、「1. 週に3日以上」「2. 週に1～2日程度」「3. 月に1～2日程度」とお答えの方におたずねします。スポーツをするために、どのような施設を使っていますか。※新型コロナウイルス感染拡大前の状況についてお答えください《あてはまるものすべて》

- ・ スポーツの実施場所については、「施設は使用していない」が49.0%と最も多く、次いで「体育館（アリーナ）」が9.9%、「トレーニングルーム」が7.4%、「多目的グラウンド」が6.1%、「スポーツ（ダンス）スタジオ」が5.8%となっています。
- ・ 問6の回答も踏まえると、約半数の方は、スポーツ施設は使用せず、自宅や公園・まちなか等の身近な環境の中で、筋トレ、体操、ランニング・ウォーキング等の軽運動を楽しんでいると想定されます。
- ・ スポーツ施設を使用される場合は、体育館や多目的グラウンド等の自由度の高い施設やトレーニングルームやスポーツスタジオ等のトレーニングや軽運動ができる屋内施設が利用されているといえます。



(参考) 年齢層別

※問2 (年齢) のクロス集計

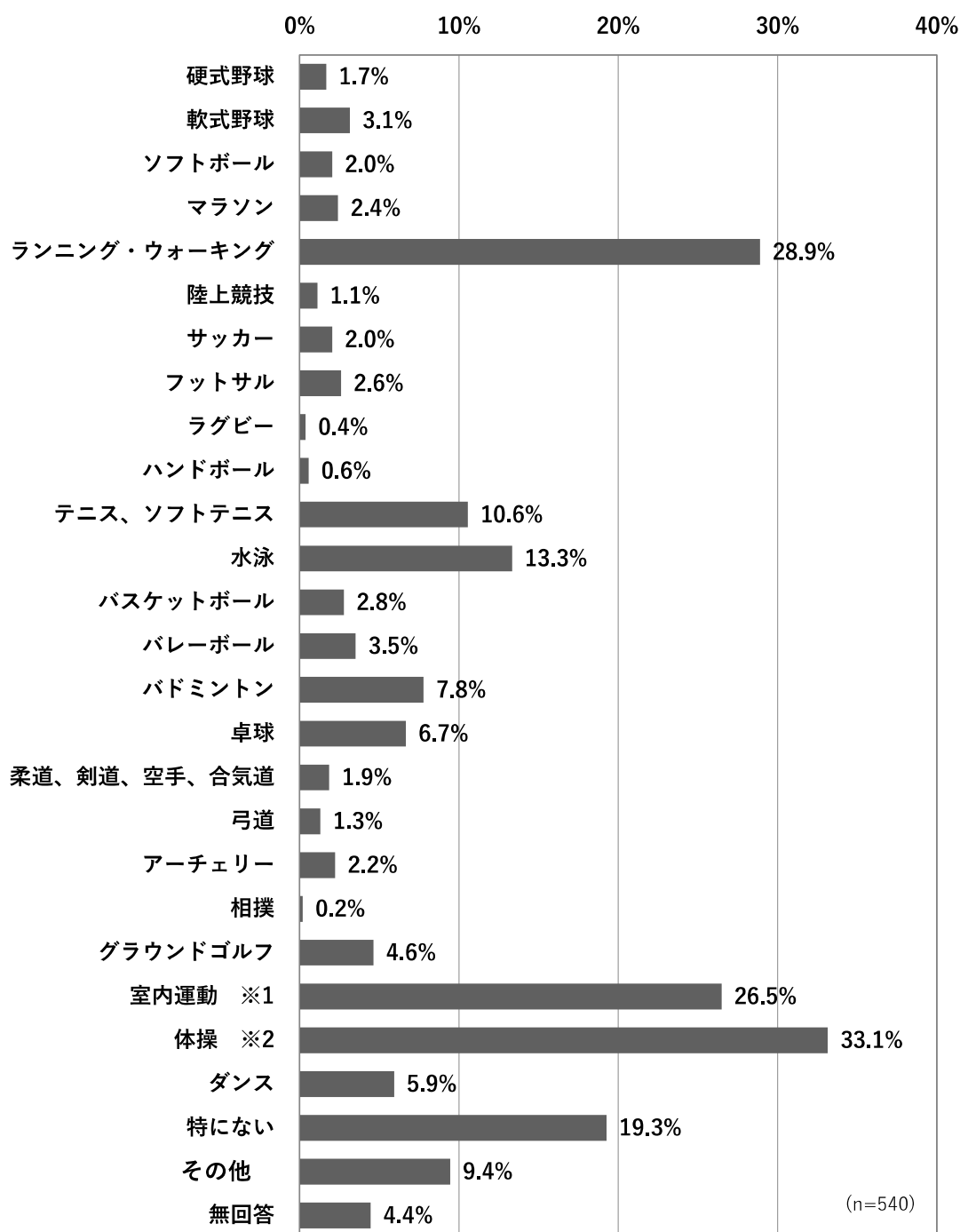
- ・ 全体では、「施設は使用していない」が41.3%と最も多い回答となりましたが、特に、60歳代(57.4%)、40歳代(52.6%)、50歳代(47.1%)でより割合が高くなっています。
- ・ 一方で、30歳以下の比較的若い世代では、「陸上競技場」、「多目的グラウンド」、「体育館」等のスポーツ施設を使用する割合が全体よりも高くなっています。

		問2 年齢								総数 (n=312)
		10歳代 (n=3)	20歳代 (n=26)	30歳代 (n=28)	40歳代 (n=38)	50歳代 (n=51)	60歳代 (n=68)	70歳代以上 (n=97)	無回答 (n=1)	
問5-1 スポーツを行うときに使用する施設	硬式野球場	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
	軟式野球場	0.0	0.0	3.6	2.6	3.9	0.0	0.0	0.0	1.3
	ソフトボール場	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	1.0
	陸上競技場	33.3	3.8	7.1	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6
	多目的グラウンド	66.7	15.4	3.6	7.9	2.0	0.0	8.2	0.0	6.1
	テニスコート	33.3	3.8	0.0	5.3	5.9	5.9	1.0	0.0	3.8
	プール	0.0	11.5	7.1	2.6	2.0	2.9	3.1	0.0	3.8
	屋根付運動場	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
	体育館(アリーナ)	33.3	26.9	21.4	10.5	7.8	4.4	6.2	0.0	9.9
	武道場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	弓道場	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
	アーチェリー場	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
	相撲場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	パターゴルフ場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	1.0
	トレーニングルーム	33.3	19.2	7.1	5.3	5.9	5.9	6.2	0.0	7.4
	スポーツ(ダンス)スタジオ	0.0	11.5	3.6	0.0	9.8	5.9	5.2	0.0	5.8
	施設は使用していない	0.0	30.8	35.7	52.6	47.1	57.4	28.9	0.0	41.3
	ジョガー・サイクルステーション	0.0	0.0	3.6	7.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3
	その他	0.0	7.7	17.9	15.8	19.6	16.2	49.5	100.0	26.6
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	2.1	0.0	1.3

(%)

問6 現在行っているものを含めて、今後行ってみたいと思うスポーツはありますか。理由も教えてください。《あてはまるものすべて》

- ・ 実施している・実施したいスポーツの種類については、「体操（ラジオ体操、エアロビクス、ヨガ、ストレッチ等）」が33.1%と最も多く、次いで「ランニング・ウォーキング」が28.9%、「室内運動（トレーニング機器を使ってする運動、筋トレ等）」が26.5%、「水泳」が13.3%、「テニス、ソフトテニス」が10.6%となっています。
- ・ 身近な環境の中で気軽に楽しむことができるスポーツ（筋トレ、体操、ランニング・ウォーキング）のほか、幅広い世代が楽しむことができるスポーツ（水泳、テニス、ソフトテニス）の人気の高いことがうかがえます。



※1 トレーニング機器等を使ってする運動、筋トレ等
 ※2 ラジオ体操、エアロビクス、ヨガ、ストレッチ等

(参考) 年齢層別

※問2 (年齢) のクロス集計

- ・ 全体的に、若い世代で割合が高くなっており、20歳代・30歳代は、ほとんどのスポーツにおいて平均よりも高い割合となっています。
- ・ 「テニス、ソフトテニス」、「バドミントン」、「ダンス」は50歳代以下の幅広い世代で選択されており、「ランニング、ウォーキング」、「体操」は30歳代以上の幅広い世代で選択されています。
- ・ 60歳代以上では、「特にない」の割合が高くなっています。

		問2 年齢							無回答 (n=5)	総数 (n=540)
		10歳代 (n=8)	20歳代 (n=48)	30歳代 (n=56)	40歳代 (n=84)	50歳代 (n=86)	60歳代 (n=102)	70歳代以上 (n=151)		
問6 行 っ て み た い ス ポ ー ツ	硬式野球	0.0	2.1	5.4	3.6	0.0	0.0	1.3	0.0	1.7
	軟式野球	0.0	8.3	5.4	8.3	3.5	0.0	0.0	0.0	3.1
	ソフトボール	0.0	8.3	1.8	0.0	1.2	3.9	0.7	0.0	2.0
	マラソン	0.0	0.0	8.9	1.2	7.0	1.0	0.0	0.0	2.4
	ランニング・ウォーキング	0.0	18.8	30.4	35.7	31.4	36.3	23.8	0.0	28.9
	陸上競技	0.0	4.2	3.6	1.2	0.0	1.0	0.0	0.0	1.1
	サッカー	0.0	6.3	3.6	4.8	0.0	1.0	0.7	0.0	2.0
	フットサル	0.0	10.4	3.6	7.1	1.2	0.0	0.0	0.0	2.6
	ラグビー	0.0	2.1	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.4
	ハンドボール	0.0	2.1	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6
	テニス、ソフトテニス	12.5	25.0	19.6	11.9	14.0	9.8	0.7	0.0	10.6
	水泳	12.5	22.9	23.2	17.9	14.0	6.9	8.6	0.0	13.3
	バスケットボール	37.5	8.3	3.6	2.4	2.3	1.0	0.7	0.0	2.8
	バレーボール	0.0	8.3	8.9	6.0	2.3	0.0	2.0	0.0	3.5
	バドミントン	12.5	25.0	16.1	9.5	9.3	2.9	0.7	0.0	7.8
	卓球	0.0	16.7	5.4	4.8	10.5	2.9	6.0	0.0	6.7
	柔道、剣道、空手、合気道	0.0	2.1	5.4	1.2	1.2	2.9	0.0	20.0	1.9
	弓道	0.0	8.3	1.8	1.2	1.2	0.0	0.0	0.0	1.3
	アーチェリー	0.0	6.3	3.6	0.0	3.5	1.0	2.0	0.0	2.2
	相撲	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.2
	グラウンドゴルフ	0.0	6.3	1.8	4.8	2.3	4.9	6.6	0.0	4.6
	室内運動(トレーニング機器等を使ってする運動、筋トレ等)	12.5	39.6	26.8	35.7	30.2	23.5	18.5	0.0	26.5
	体操(ラジオ体操、エアロビクス、ヨガ、ストレッチ等)	12.5	27.1	32.1	35.7	47.7	34.3	27.2	0.0	33.1
	ダンス	12.5	10.4	8.9	7.1	7.0	3.9	3.3	0.0	5.9
	特にない	0.0	6.3	10.7	14.3	11.6	23.5	31.1	40.0	19.3
	その他	0.0	4.2	7.1	8.3	11.6	8.8	12.6	0.0	9.4
	無回答	37.5	2.1	0.0	3.6	2.3	2.9	6.6	40.0	4.4

(%)

(参考) スポーツを行う頻度

※問5 (スポーツを行う頻度) のクロス集計

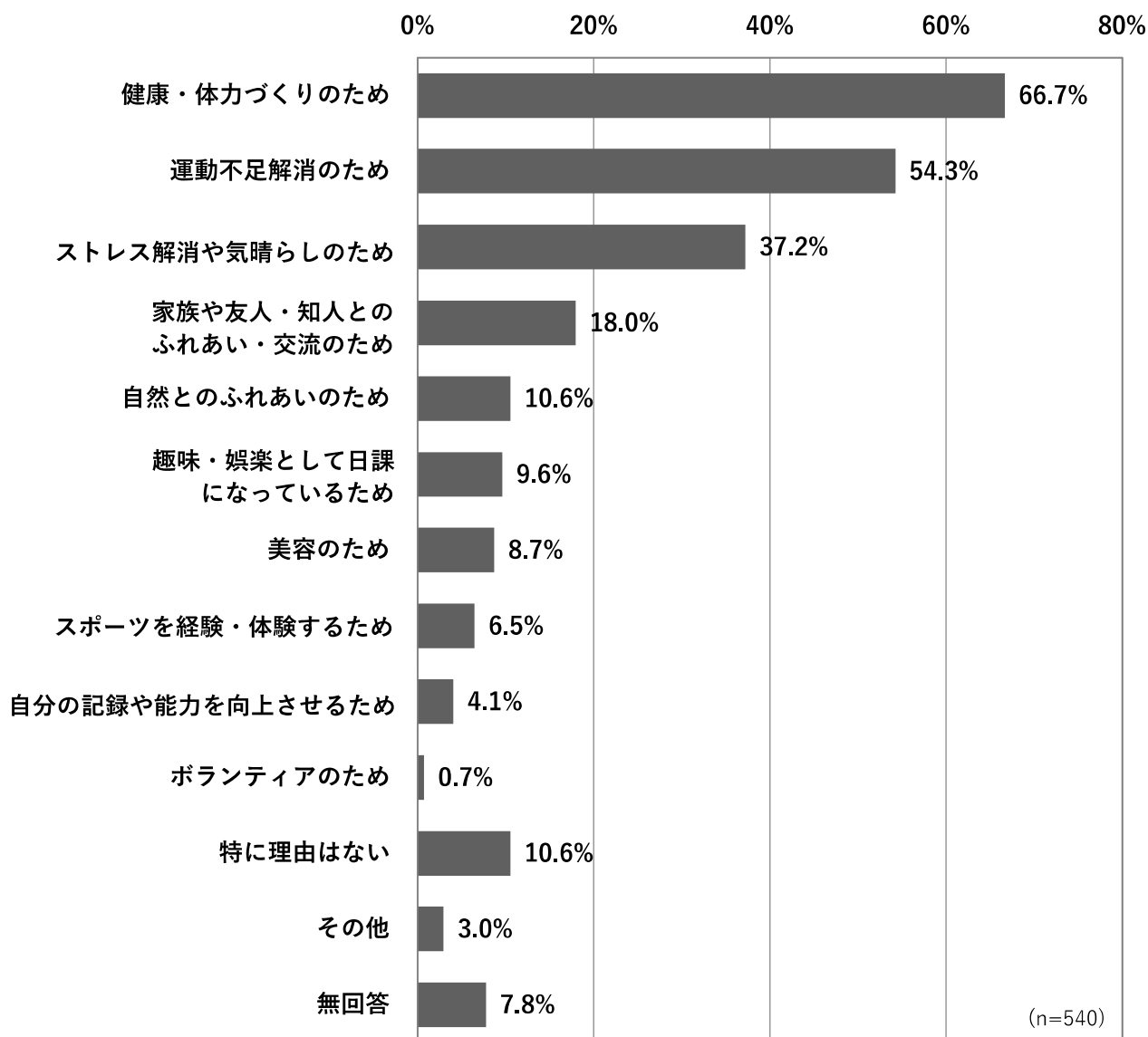
- ・ 比較的スポーツの実施頻度が高い人はほとんどのスポーツのニーズが高くなっていますが、実施頻度が低い人はテニス、ソフトテニス、陸上競技等のニーズが高くなっています。

		問5 スポーツを行う頻度			総数 (n=540)
		月1・2 回程度以上 (n=312)	ほとんど1 ・2 回程度以下 (n=225)	無回答 (n=3)	
問6 行 っ て み た い ス ポ ー ツ	硬式野球	2.2	0.9	0.0	1.7
	軟式野球	3.8	2.2	0.0	3.1
	ソフトボール	2.9	0.9	0.0	2.0
	マラソン	2.9	1.8	0.0	2.4
	ランニング・ウォーキング	37.8	16.9	0.0	28.9
	陸上競技	0.3	2.2	0.0	1.1
	サッカー	2.2	1.8	0.0	2.0
	フットサル	2.6	2.7	0.0	2.6
	ラグビー	0.6	0.0	0.0	0.4
	ハンドボール	1.0	0.0	0.0	0.6
	テニス、ソフトテニス	10.3	11.1	0.0	10.6
	水泳	16.3	9.3	0.0	13.3
	バスケットボール	3.2	2.2	0.0	2.8
	バレーボール	4.5	2.2	0.0	3.5
	バドミントン	8.0	7.6	0.0	7.8
	卓球	8.3	4.4	0.0	6.7
	柔道、剣道、空手、合気道	2.6	0.9	0.0	1.9
	弓道	1.3	1.3	0.0	1.3
	アーチェリー	2.2	2.2	0.0	2.2
	相撲	0.3	0.0	0.0	0.2
	グラウンドゴルフ	4.8	4.4	0.0	4.6
	室内運動(トレーニング機器等を使ってする運動、筋トレ等)	29.2	23.1	0.0	26.5
	体操(ラジオ体操、エアロビクス、ヨガ、ストレッチ等)	35.3	30.7	0.0	33.1
	ダンス	6.4	5.3	0.0	5.9
	特にない	11.2	30.2	33.3	19.3
	その他	9.6	9.3	0.0	9.4
	無回答	5.4	2.2	66.7	4.4

(%)

(理由) 《あてはまるものすべて》

- ・ スポーツを実施する理由については、「健康・体力づくりのため」が 66.7%と最も多く、次いで「運動不足解消のため」が 54.3%、「ストレス解消や気晴らしのため」が 37.2%となっています。
- ・ 「スポーツを経験・体験するため」や「自己の記録や能力を向上させるため」など経験や競技のためにスポーツを実施する人も一定数いますが、多くの方が、健康づくりや運動不足解消、ストレス解消や気晴らしなど心身の健康のためにスポーツを実施していることがうかがえます。



(参考) 年齢層別

※問2 (年齢) のクロス集計

- ・ 若い世代では、「家族や友人・知人とのふれあい・交流のため」「趣味・娯楽として日課になっているため」等の割合が高くなっており、気分転換や新たなスポーツへのチャレンジ、スポーツを通じた自己研鑽、コミュニティづくり等のためスポーツを実施していることがうかがえます。
- ・ 一方で、年齢の高い年代では、「健康・体力づくりのため」、「自然とのふれあいのため」等の割合が高くなっています。

		問2 年齢							無回答 (n=5)	総数 (n=540)
		10 歳代 (n=8)	20 歳代 (n=48)	30 歳代 (n=56)	40 歳代 (n=84)	50 歳代 (n=86)	60 歳代 (n=102)	70 歳代 以上 (n=151)		
問6 スポーツ を行いた い理由	健康・体力づくりのため	37.5	75.0	62.5	70.2	76.7	72.5	57.6	0.0	66.7
	ストレス解消や気晴らしのため	25.0	50.0	51.8	47.6	47.7	23.5	27.2	0.0	37.2
	スポーツを経験・体験するため	0.0	25.0	16.1	7.1	3.5	2.0	2.0	0.0	6.5
	運動不足解消のため	37.5	58.3	46.4	59.5	62.8	52.9	51.7	0.0	54.3
	自己の記録や能力を向上させるため	12.5	8.3	5.4	6.0	2.3	4.9	1.3	0.0	4.1
	家族や友人・知人とのふれあい・交流のため	25.0	22.9	19.6	20.2	17.4	16.7	15.9	0.0	18.0
	ボランティアのため	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	1.3	0.0	0.7
	美容のため	0.0	22.9	19.6	11.9	12.8	3.9	0.0	0.0	8.7
	自然とのふれあいのため	0.0	0.0	5.4	7.1	7.0	13.7	18.5	0.0	10.6
	趣味・娯楽として日課になっているため	12.5	20.8	8.9	9.5	9.3	8.8	7.3	0.0	9.6
	特に理由はない	0.0	6.3	7.1	14.3	3.5	11.8	13.9	40.0	10.6
	その他	0.0	2.1	3.6	2.4	3.5	2.0	4.0	0.0	3.0
	無回答	25.0	2.1	3.6	3.6	5.8	6.9	12.6	60.0	7.8

(%)

(参考) スポーツを行う頻度

※問5 (スポーツを行う頻度) のクロス集計

- ・ 比較的スポーツの実施頻度が高い人は、ほとんどの項目で実施頻度の低い人を上回っており、様々な目的でスポーツを行っている人が多いことがうかがえます。
- ・ 一方、スポーツの実施頻度が低い人は、「特に理由はない」等の項目で回答率が高くなっており、目的性が低い状態でスポーツに取り組んでいる傾向がみられます。

		問5 スポーツを行う頻度			
		月 1 ・ 2 回 程 度 以 上	ほ 年 と 1 人 ・ ど 2 し 回 て 程 い 度 な 以 下	無 回 答	総 数
		(n=312)	(n=225)	(n=3)	(n=540)
問 6 ス ポ ー ツ を 行 い た い 理 由	健康・体力づくりのため	78.5	51.1	0.0	66.7
	ストレス解消や気晴らしのため	41.0	32.4	0.0	37.2
	スポーツを経験・体験するため	8.0	4.4	0.0	6.5
	運動不足解消のため	64.1	41.3	0.0	54.3
	自己の記録や能力を向上させるため	6.1	1.3	0.0	4.1
	家族や友人・知人とのふれあい・交流のため	22.4	12.0	0.0	18.0
	ボランティアのため	1.0	0.4	0.0	0.7
	美容のため	8.0	9.8	0.0	8.7
	自然とのふれあいのため	15.4	4.0	0.0	10.6
	趣味・娯楽として日課になっているため	15.1	2.2	0.0	9.6
	特に理由はない	4.8	18.2	33.3	10.6
	その他	1.6	4.9	0.0	3.0
	無回答	5.4	2.2	66.7	4.4

(%)

(参考) 施設利用の有無

※問 5-1 (公共スポーツ施設の利用の有無) のクロス集計

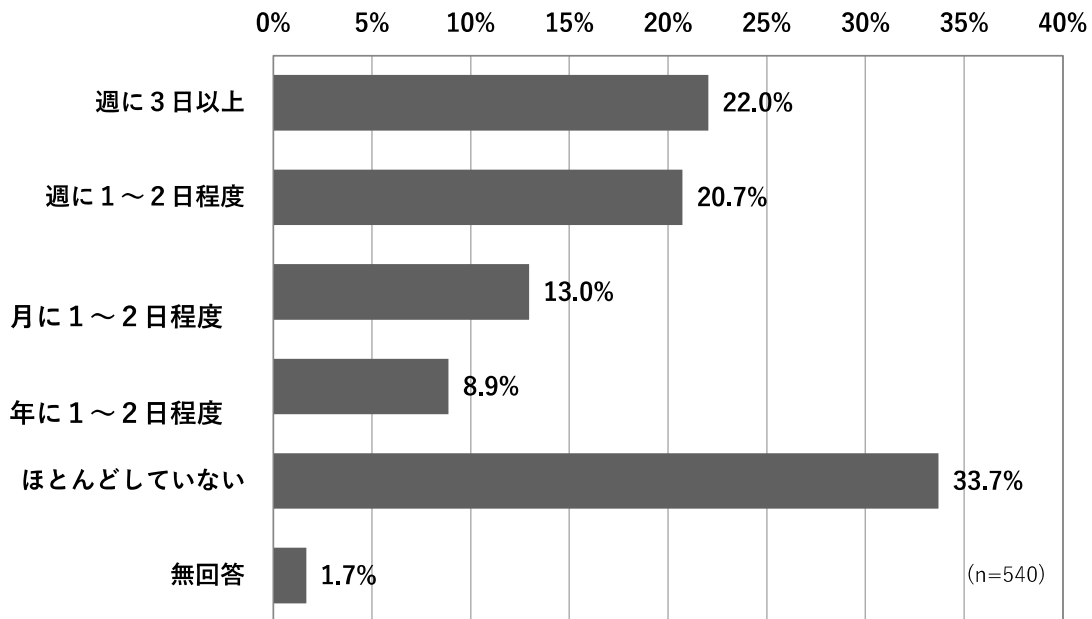
- ・ 公共スポーツ施設を利用したことがある人は、家族や友人・知人とのふれあい・交流のため、趣味・娯楽として日課になっているため、スポーツを経験・体験するため等の回答率が高くなっており、スポーツ施設は、スポーツを通じたコミュニティの形成、市民の生きがいがづくり、スポーツ体験等に役立っていると考えられます。

		問5-1 スポーツ施設利用の有無		
		利用したことがある (n=183)	利用したことがない (n=129)	総数 (n=312)
問 6 ス ポ ー ツ を 行 い た い 理 由	健康・体づくりのため	78.1	79.1	78.5
	ストレス解消や気晴らしのため	41.0	41.1	41.0
	スポーツを経験・体験するため	12.0	2.3	8.0
	運動不足解消のため	62.8	65.9	64.1
	自己の記録や能力を向上させるため	9.3	1.6	6.1
	家族や友人・知人とのふれあい・交流のため	29.5	12.4	22.4
	ボランティアのため	1.6	0.0	1.0
	美容のため	7.1	9.3	8.0
	自然とのふれあいのため	12.0	20.2	15.4
	趣味・娯楽として日課になっているため	19.1	9.3	15.1
	特に理由はない	3.8	6.2	4.8
	その他	1.6	1.6	1.6
	無回答	7.1	3.1	5.4

(%)

問7 あなたは日頃、どれくらいの頻度でスポーツを観戦・応援しますか。※テレビやインターネットでの観戦・応援も含みます《○1つ》

- ・ 日頃のスポーツの観戦・応援頻度については、「ほとんどしていない」が33.7%と最も多くなっていますが、次いで「週に3日以上」が22.0%、「週に1～2日程度」が20.7%、「月に1～2日程度」は13.0%となっており、月に1日以上スポーツを観戦・応援している人は55.7%となります。
- ・ 5割以上の方が、日頃からスポーツを観戦・応援し、“みる”スポーツに親しんでいるといえます。



(参考) 施設利用の有無

※問5-1 (公共スポーツ施設の利用の有無) のクロス集計

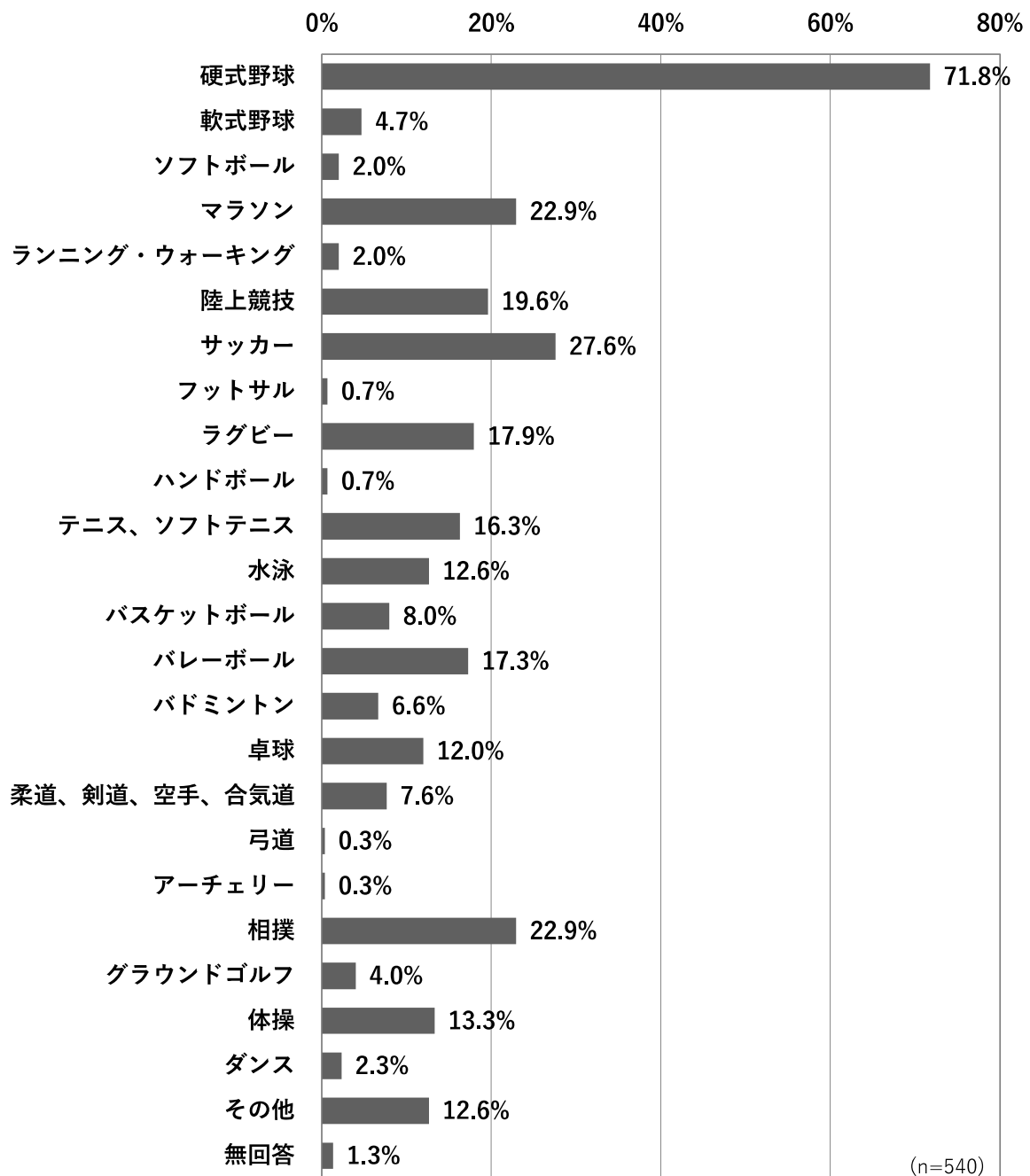
- ・ スポーツ施設を利用したことがある人の方がスポーツ観戦の頻度が高い傾向がみられます。

		問5-1 スポーツ施設利用の有無		総数 (n=312)
		利用したことがある (n=183)	利用したことがない (n=129)	
問7 スポーツ観戦する頻度	週に3日以上	26.8	24.0	25.6
	週に1～2日程度	26.8	25.6	26.3
	月に1～2日程度	14.2	14.7	14.4
	年に1～2日程度	9.3	10.9	9.9
	ほとんどしていない	21.3	24.0	22.4
	無回答	1.6	0.8	1.3

(%)

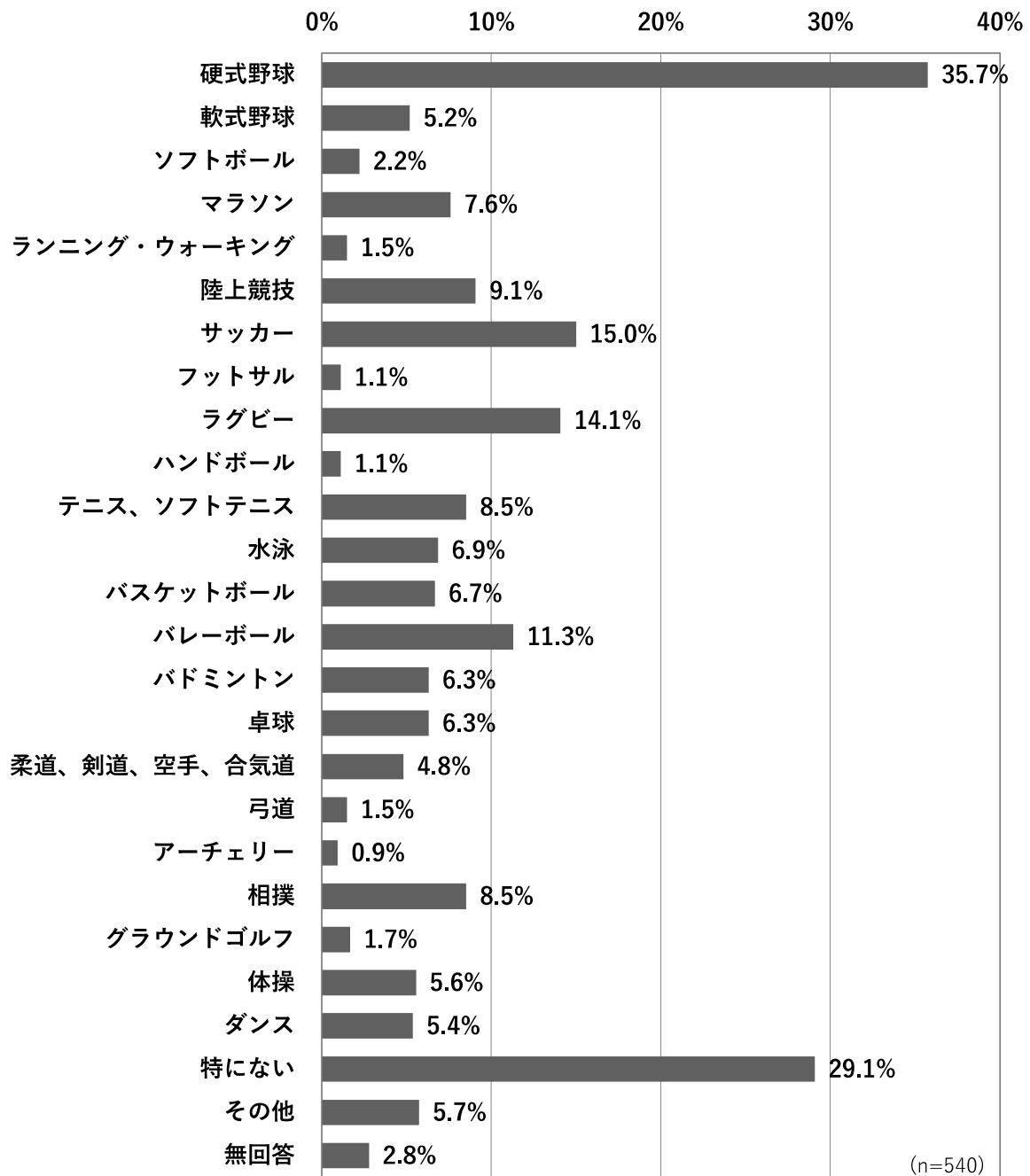
問 7-1 問 7 で、「1. 週に3日以上」「2. 週に1～2日程度」「3. 月に1～2日程度」とお答えの方におたずねします。どのようなスポーツを観戦・応援しますか。《あてはまるものすべて》

- ・ 観戦・応援するスポーツの種類については、「硬式野球」が 71.8%と最も多く、次いで「サッカー」が 27.6%、「マラソン」と「相撲」が 22.9%となっています。
- ・ 年間を通じてプロリーグや全国的・国際的な大会等が多く開催され、テレビで放送されることが多いスポーツの割合が高くなっているといえます。
- ・ 一方、陸上競技、ラグビー、バレーボール、テニス、ソフトテニス、体操、水泳、卓球についても 10～20%程度の割合となっており、多様なスポーツが観戦・応援を通じて親しまれていることがうかがえます。



問 8 現在応援・観戦しているものを含めて、今後、現地で直接、応援・観戦してみたいスポーツはどのようなスポーツですか。《あてはまるものすべて》

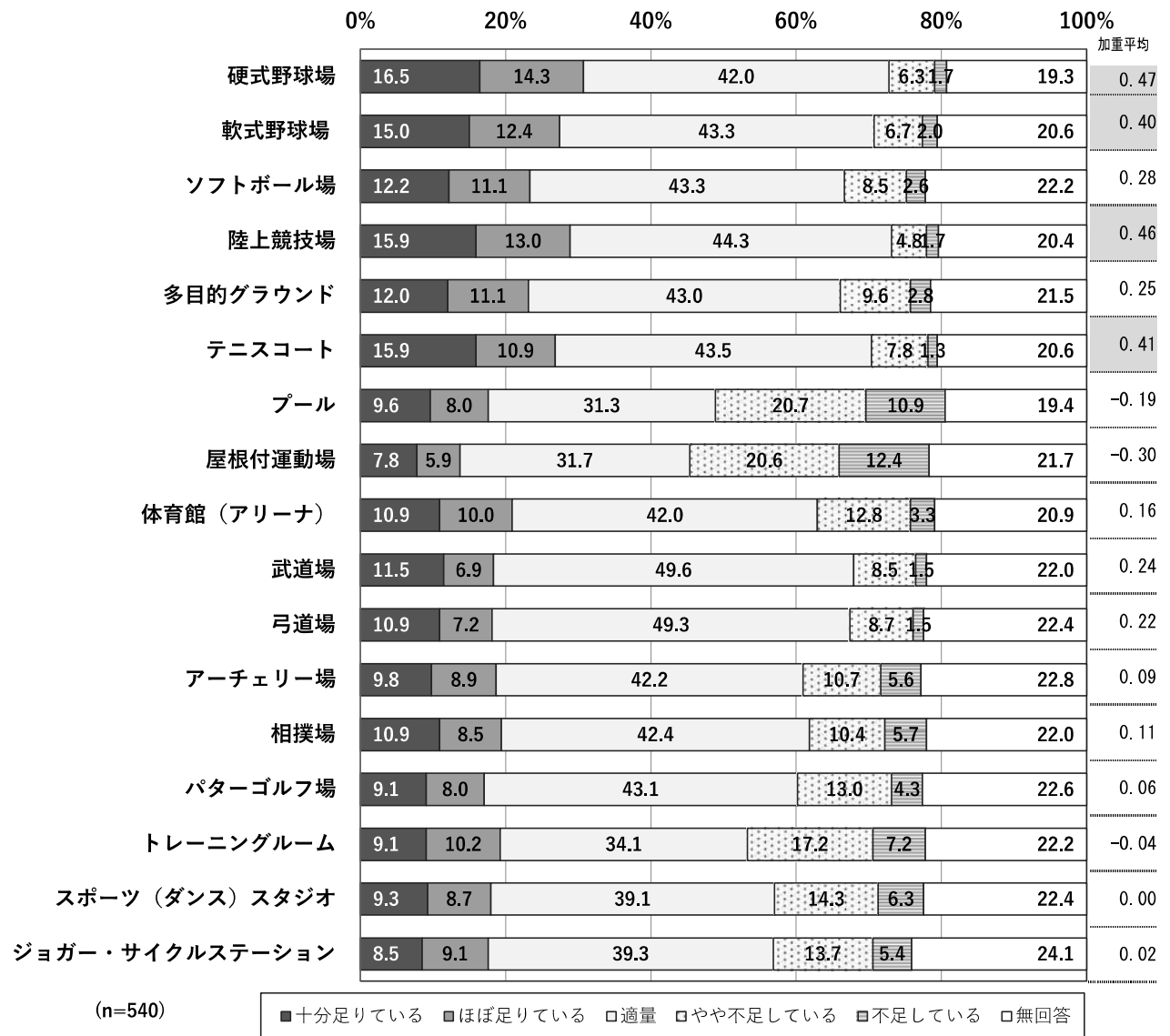
- ・ 現地で直接観戦・応援したいスポーツの種類については、「硬式野球」が 35.7%と最も多く、次いで「特にない」が 29.1%、「サッカー」が 15.0%、「ラグビー」が 14.1%、「バレーボール」が 11.3%となっています。
- ・ テレビやインターネットでの観戦・応援状況を含む問 7 の回答と比べると、「ラグビー」や「バレーボール」が上位に入っています。



3 スポーツ施設について、あなたのお考えをお聞かせください。

問9 市内にある公共のスポーツ施設の充実度をどのように思いますか。《各施設〇1つ》

- ・ スポーツ施設の充実度については、ほとんどの施設で充実していると思う人（「十分足りている」「ほぼ足りている」「適量」の合計）が半数を超えています。
- ・ 加重平均を見ると、特に、「硬式野球場」、「陸上競技場」、「テニスコート」、「軟式野球場」の充実度が高くなっています。
- ・ 一方、「屋根付運動場」と「プール」については充実していると思う人が半数を下回っており、一部施設で充実度が低い結果が出ています。



※加重平均

各設問の十分足りている (+2) ほぼ足りている (+1) 適量 (0) やや不足している (-1) 不足している (-2) の合計点数を回答数で割ったもので、数値が大きいほど充実度が高くなる

問 10 問 9 に記載の施設以外に不足していると思うスポーツ施設や機能はありますか。《自由記述》

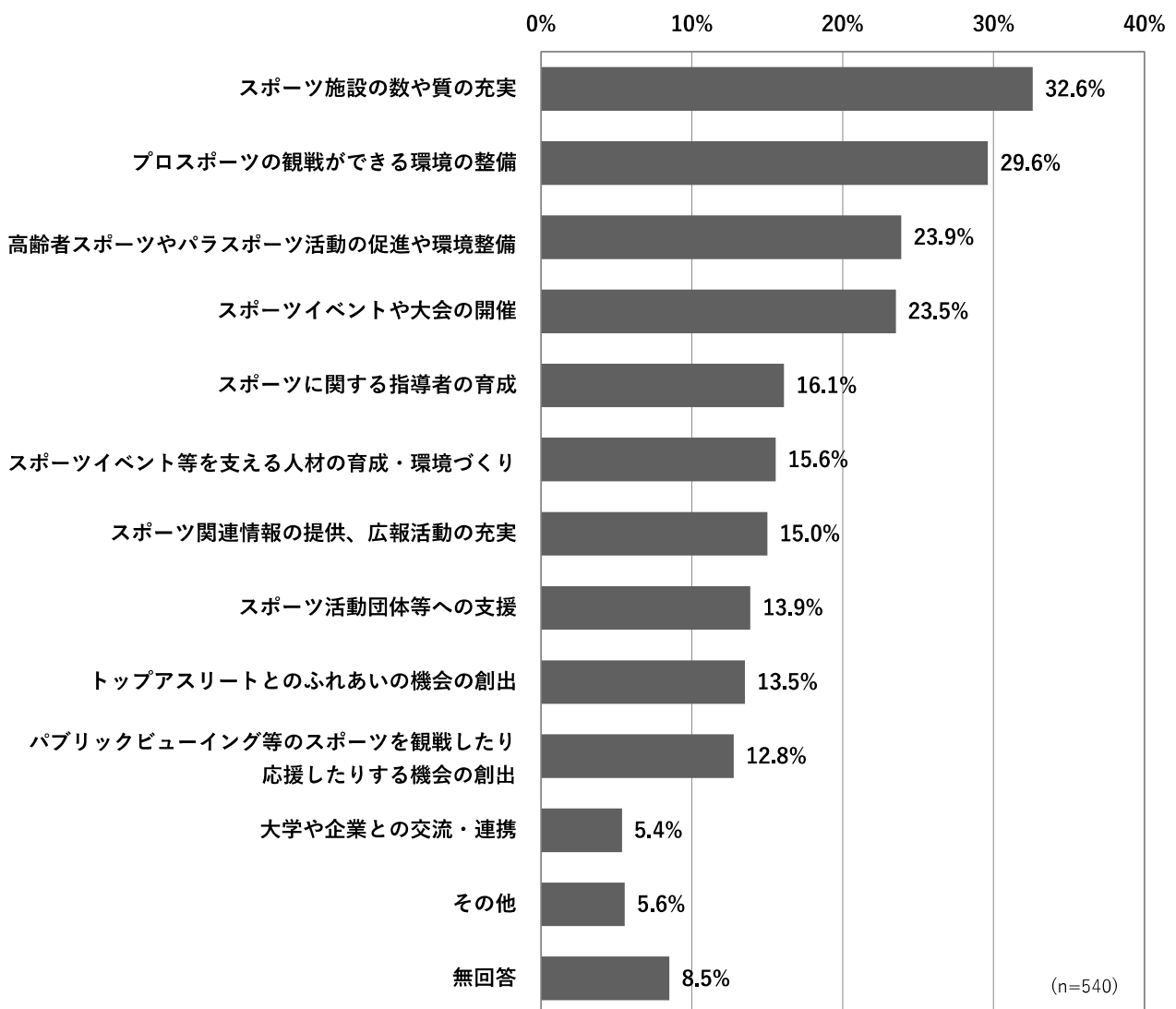
- ・ 回答数 540 件のうち、自由記述への記入件数は 98 件で、内訳は以下のとおりです。

意見の分類	件数
プール	16 件
スポーツジム・トレーニングジム	9 件
ストリートスポーツパーク (インラインスケート・スケートボード)	6 件
小児・児童用施設	6 件
公園	6 件
施設整備・機能	6 件
体育館	5 件
クライミング・ボルダリング	5 件
だれでも利用できる施設	4 件
アイススケート	3 件
サッカー・フットサル	3 件
武道	3 件
ゴルフ	3 件
サイクリング	2 件
グラウンド・ゴルフ	2 件
その他	19 件

4 今後のスポーツ施設のあり方について、あなたのお考えをお聞かせください。

問 11 今後のスポーツの活性化に必要なと思うものを教えてください。※お考えに最も近いものを選択してください《〇3つまで》

- ・ スポーツの活性化に必要なことについては、「スポーツ施設の数や質の充実」が 32.6%と最も多く、次いで「プロスポーツの観戦ができる環境の整備」が 29.6%、「高齢者スポーツやパラスポーツ活動の促進や環境整備」が 23.9%、「スポーツイベントや大会の開催」が 23.5%となっています。
- ・ スポーツを“する”だけでなく、“みる”環境・機会が求められるとともに、高齢者や障がい者を含めて誰もが身近にスポーツに触れることができる環境が求められているといえます。



(参考) 年齢層別

※問2 (年齢) のクロス集計

- ・ 若い世代では、「スポーツ施設の数や質の充実」、「スポーツイベントや大会の開催」等の割合が高くなっており、施設や大会等のスポーツを行う場や触れる機会が必要と考えているといえます。
- ・ 一方で、年齢の高い世代では、「スポーツに関する指導者の育成」、「高齢者スポーツやパラスポーツの活動の促進や環境整備」、「スポーツ関連情報の提供、広報活動の充実」等の割合が高くなっており、人材や情報等のソフト面での支援や機運醸成が必要と考えているといえます。

		問2 年齢							無回答 (n=5)	総数 (n=540)
		10 歳代 (n=8)	20 歳代 (n=48)	30 歳代 (n=56)	40 歳代 (n=84)	50 歳代 (n=86)	60 歳代 (n=102)	70 歳代 以上 (n=151)		
問 1 1 今 後 の ス ポ ー ツ 活 性 化 に 必 要 な も の	スポーツ施設の数や質の充実	50.0	43.8	44.6	35.7	27.9	30.4	27.2	0.0	32.6
	スポーツイベントや大会の開催	50.0	37.5	28.6	29.8	25.6	18.6	15.2	0.0	23.5
	スポーツ活動団体等への支援	25.0	18.8	12.5	11.9	11.6	11.8	15.9	20.0	13.9
	プロスポーツの観戦ができる環境の整備	37.5	22.9	28.6	38.1	33.7	26.5	27.2	20.0	29.6
	トップアスリートとのふれあいの機会の創出	0.0	16.7	25.0	20.2	8.1	13.7	8.6	0.0	13.5
	スポーツに関する指導者の育成	12.5	8.3	14.3	16.7	20.9	16.7	16.6	0.0	16.1
	スポーツイベント等を支える人材の育成・環境づくり	0.0	10.4	19.6	15.5	19.8	17.6	13.2	0.0	15.6
	高齢者スポーツやパラスポーツ活動の促進や環境整備	25.0	6.3	7.1	14.3	17.4	34.3	38.4	0.0	23.9
	スポーツ関連情報の提供、広報活動の充実	12.5	20.8	7.1	14.3	15.1	16.7	15.2	20.0	15.0
	大学や企業との交流・連携	12.5	22.9	7.1	2.4	4.7	4.9	1.3	0.0	5.4
	ハブリックビューイング等のスポーツを観戦したり応援したりする機会の創出	12.5	20.8	28.6	13.1	11.6	9.8	7.3	0.0	12.8
その他	12.5	4.2	7.1	7.1	8.1	4.9	3.3	0.0	5.6	
無回答	0.0	0.0	1.8	6.0	3.5	8.8	17.2	40.0	8.5	

(%)

(参考) スポーツを行う頻度

※問5 (スポーツを行う頻度) のクロス集計

- ・ 比較的スポーツの実施頻度が高い人は、「スポーツ施設の数や質の充実」、「高齢者スポーツやパラスポーツ活動の促進や環境整備」等を望む人が多くなっています。

		問5 スポーツを行う頻度			総数 (n=540)
		月1・2 回程度以上 (n=312)	ほとんど1 人・どしどし 2回程度以下 (n=225)	無回答 (n=3)	
問11 今後のスポーツの活性化に必要なもの	スポーツ施設の数や質の充実	38.8	24.4	0.0	32.6
	スポーツイベントや大会の開催	26.0	20.0	33.3	23.5
	スポーツ活動団体等への支援	14.1	13.8	0.0	13.9
	プロスポーツの観戦ができる環境の整備	29.2	30.2	33.3	29.6
	トップアスリートとのふれあいの機会の創出	14.7	12.0	0.0	13.5
	スポーツに関する指導者の育成	15.7	16.9	0.0	16.1
	スポーツイベント等を支える人材の育成・環境づくり	14.1	17.3	33.3	15.6
	高齢者スポーツやパラスポーツ活動の促進や環境整備	28.2	18.2	0.0	23.9
	スポーツ関連情報の提供、広報活動の充実	15.4	14.7	0.0	15.0
	大学や企業との交流・連携	5.4	5.3	0.0	5.4
	パブリックビューイング等のスポーツを観戦したり応援したりする機会の創出	13.8	11.6	0.0	12.8
	その他	4.2	7.6	0.0	5.6
無回答	7.1	9.8	66.7	8.5	

(%)

(参考) 施設利用の有無

※問 5-1 (スポーツ施設の利用の有無) のクロス集計

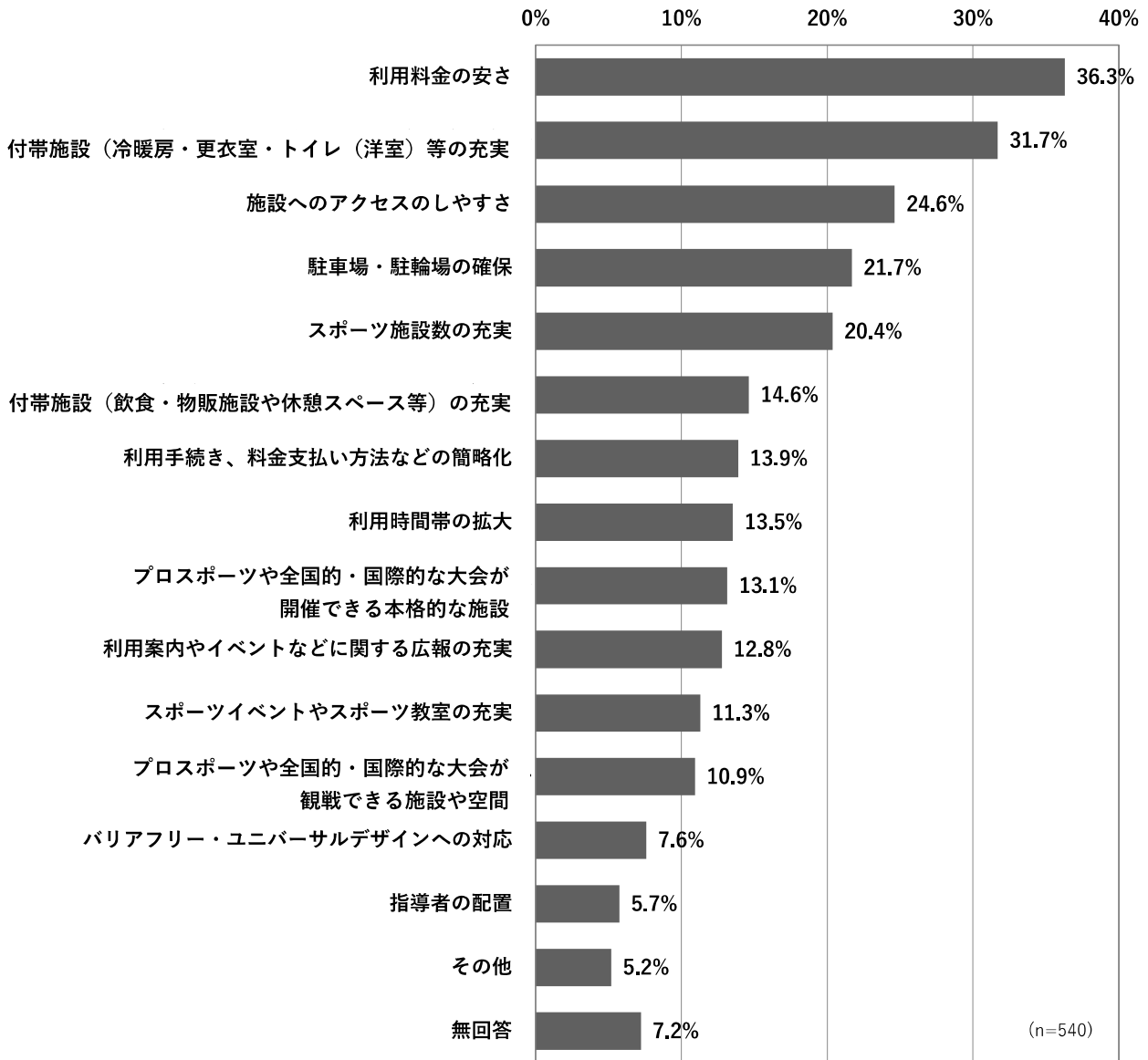
- ・ スポーツ施設を利用したことがある人の方が、スポーツ施設の数や質の充実を望んでいる人が多いことがうかがえます。

		問5-1 スポーツ施設利用の有無		
		利用したことがある (n=183)	利用したことがない (n=129)	総数 (n=312)
問 1 1 今 後 の ス ポ ー ツ の 活 性 化 に 必 要 な も の	スポーツ施設の数や質の充実	46.4	27.9	38.8
	スポーツイベントや大会の開催	27.9	23.3	26.0
	スポーツ活動団体等への支援	18.0	8.5	14.1
	プロスポーツの観戦ができる環境の整備	26.2	33.3	29.2
	トップアスリートとのふれあいの機会の創出	12.0	18.6	14.7
	スポーツに関する指導者の育成	16.9	14.0	15.7
	スポーツイベント等を支える人材の育成・環境づくり	14.2	14.0	14.1
	高齢者スポーツやパラスポーツ活動の促進や環境整備	27.3	29.5	28.2
	スポーツ関連情報の提供、広報活動の充実	10.4	22.5	15.4
	大学や企業との交流・連携	7.1	3.1	5.4
	パブリックビューイング等のスポーツを観戦したり応援したりする機会の創出	11.5	17.1	13.8
	その他	4.9	3.1	4.2
	無回答	7.7	6.2	7.1

(%)

問 12 今後のスポーツ施設にとって、重要だと思うものを教えてください。※お考えに最も近いものを選択してください《○3つまで》

- ・ スポーツ施設にとって重要なことについては、「利用料金の安さ」が 36.3%と最も多く、「付帯設備（冷暖房・更衣室・トイレ（洋室）等）の充実」が 31.7%、「施設へのアクセスのしやすさ」が 24.6%、「駐車場・駐輪場の確保」が 21.7%、「スポーツ施設数の充実」が 20.4%となっています。
- ・ スポーツ施設を気軽に利用できるよう質の向上や、施設までの移動のしやすさ・便利さが上位に入っています。



(%)

(参考) スポーツを行う頻度

※問5 (スポーツを行う頻度) のクロス集計

- ・ 比較的スポーツの実施頻度が高い人は、多岐に渡り、スポーツ施設にとって重要なものをあげています。特に、「スポーツ施設数の充実」、「利用料金の安さ」、「施設へのアクセスのしやすさ」等を望む人が多くなっています。

		問5 スポーツを行う頻度			総数 (n=540)
		月 1 ・ 2 回 程 度 以 上 (n=312)	ほ 年 と 1 人 ・ ど 2 し 回 程 度 以 下 (n=225)	無 回 答 (n=3)	
問 1 2 今 後 の ス ポ ー ツ 施 設 に と つ て 重 要 な も の	スポーツ施設数の充実	23.7	16.0	0.0	20.4
	付帯機能（飲食・物販施設や休憩スペース等）の充実	15.1	13.8	33.3	14.6
	付帯設備（冷暖房・更衣室・トイレ（洋式）等）の充実	30.8	32.9	33.3	31.7
	利用時間帯の拡大	13.1	14.2	0.0	13.5
	利用料金の安さ	38.5	33.8	0.0	36.3
	施設へのアクセスのしやすさ	27.2	21.3	0.0	24.6
	利用手続き、料金支払い方法などの簡略化	15.7	11.6	0.0	13.9
	スポーツイベントやスポーツ教室の充実	12.8	9.3	0.0	11.3
	プロスポーツや全国的・国際的な大会が開催できる本格的な施設	15.1	10.7	0.0	13.1
	プロスポーツや全国的・国際的な大会が観戦できる施設や空間	11.9	9.8	0.0	10.9
	駐車場・駐輪場の確保	20.8	22.7	33.3	21.7
	指導者の配置	5.8	5.8	0.0	5.7
	バリアフリー・ユニバーサルデザインへの対応	5.4	10.7	0.0	7.6
	利用案内やイベントなどに関する広報の充実	12.8	12.9	0.0	12.8
	その他	4.8	5.8	0.0	5.2
無回答	4.5	10.2	66.7	7.2	

(%)

(参考) 施設利用の有無

※問 5-1 (スポーツ施設の利用の有無) のクロス集計

- ・ スポーツ施設を利用したことがある人の方が、スポーツ施設の数や質、付帯設備の充実や施設へのアクセスのしやすさ等について、重要と考える人が多くなっています。
- ・ 利用したことがない人からは、利用時間帯の拡大が重要と考える人が多くなっています。

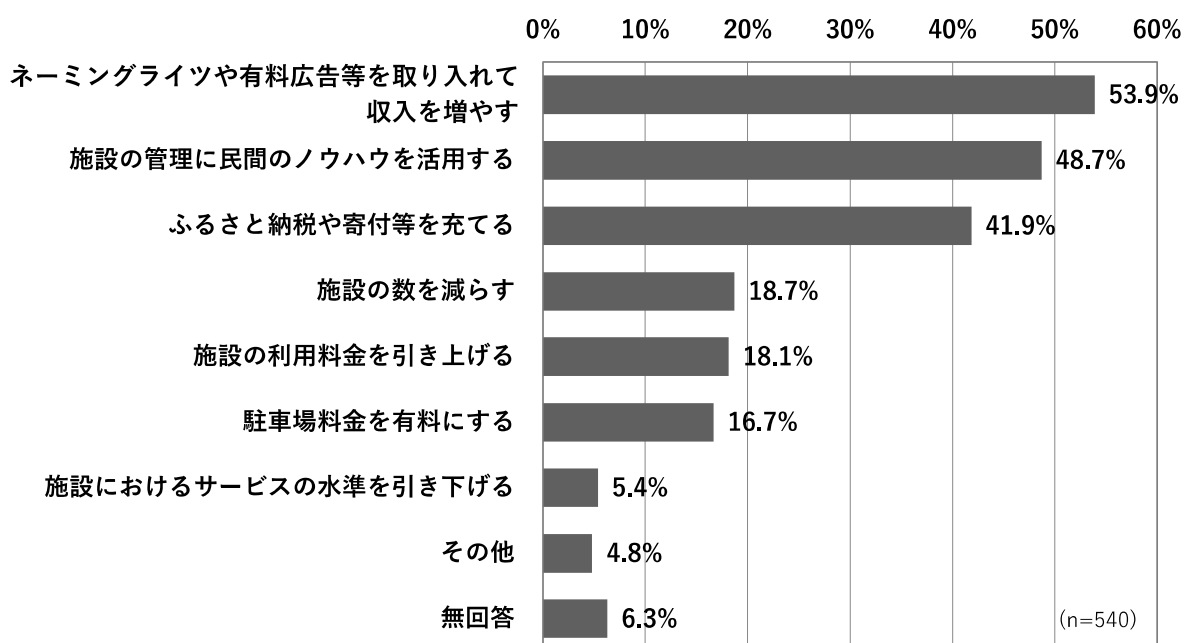
		問5-1 スポーツ施設利用の有無		
		利用したことがある (n=183)	利用したことがない (n=129)	総数 (n=312)
問 1 2 今 後 の ス ポ ー ツ 施 設 に と つ て 重 要 な も の	スポーツ施設数の充実	24.6	22.5	23.7
	付帯機能(飲食・物販施設や休憩スペース等)の充実	15.8	14.0	15.1
	付帯設備(冷暖房・更衣室・トイレ(洋式)等)の充実	35.0	24.8	30.8
	利用時間帯の拡大	10.4	17.1	13.1
	利用料金の安さ	38.3	38.8	38.5
	施設へのアクセスのしやすさ	29.5	24.0	27.2
	利用手続き、料金支払い方法などの簡略化	14.2	17.8	15.7
	スポーツイベントやスポーツ教室の充実	10.9	15.5	12.8
	プロスポーツや全国的・国際的な大会が開催できる本格的な施設	13.1	17.8	15.1
	プロスポーツや全国的・国際的な大会が観戦できる施設や空間	9.8	14.7	11.9
	駐車場・駐輪場の確保	20.8	20.9	20.8
	指導者の配置	6.6	4.7	5.8
	バリアフリー・ユニバーサルデザインへの対応	4.9	6.2	5.4
	利用案内やイベントなどに関する広報の充実	10.9	15.5	12.8
	その他	6.6	2.3	4.8
無回答	4.9	3.9	4.5	

(%)

問 13 いまあるスポーツ施設を維持し続けるには、施設の修繕や建替え等の費用が必要になりますが、人口減少や厳しい財政状況の中では、修繕や建替え等の費用を確保することが困難となることが想定されます。この場合の維持管理等の費用を減らす取組みについて、お考えを教えてください。

①スポーツ施設の維持管理を続けていくために、どのような取組みが効果的だと思いますか。※お考えに近いものを選択してください《〇3つまで》

- ・ スポーツ施設を維持管理するための取組みについては、「ネーミングライツや有料広告等を取り入れて収入を増やす」が53.9%と最も多く、次いで「施設の管理に民間のノウハウを活用する」が48.7%、「ふるさと納税や寄付等を充てる」が41.9%となっており、施設利用者以外から何らかの方法により収益を確保したり、施設管理を効率化することで、維持管理を続けていくと考えている人が多くなっています。



(参考) スポーツを行う頻度

※問5 (スポーツを行う頻度) のクロス集計

- ・ 比較的スポーツの実施頻度が高い人は、とりわけ「ネーミングライツや有料広告等を取り入れて収入を増やす」、「施設の管理に民間のノウハウを活用する」等、民間事業者と連携した取組みが効果的と考える人が多くなっています。

		問5 スポーツを行う頻度			総数 (n=540)
		月 1 ・ 2 回 程 度 以 上 (n=312)	ほ 年 と 1 ん ど 2 し 回 て い 度 な 以 下 (n=225)	無 回 答 (n=3)	
問 1 3 ① ス ポ ー ツ 施 設 を 効 果 的 な 取 組 み に 効 果 的 な 取 組 み を 維 持 し 続 け る た め に	施設の数を減らす	17.9	20.0	0.0	18.7
	施設の利用料金を引き上げる	18.9	17.3	0.0	18.1
	施設におけるサービスの水準を引き下げる	5.8	4.9	0.0	5.4
	施設の管理に民間のノウハウを活用する	50.6	46.2	33.3	48.7
	駐車場料金を有料にする	17.3	16.0	0.0	16.7
	ネーミングライツや有料広告等を取り入れて収入を増やす	59.0	47.6	0.0	53.9
	ふるさと納税や寄付等を充てる	43.9	39.1	33.3	41.9
	その他	5.1	4.4	0.0	4.8
	無回答	4.5	8.0	66.7	6.3
	総数	100.0	100.0	100.0	100.0

(%)

(参考) 施設利用の有無

※問 5-1 (スポーツ施設の利用の有無) のクロス集計

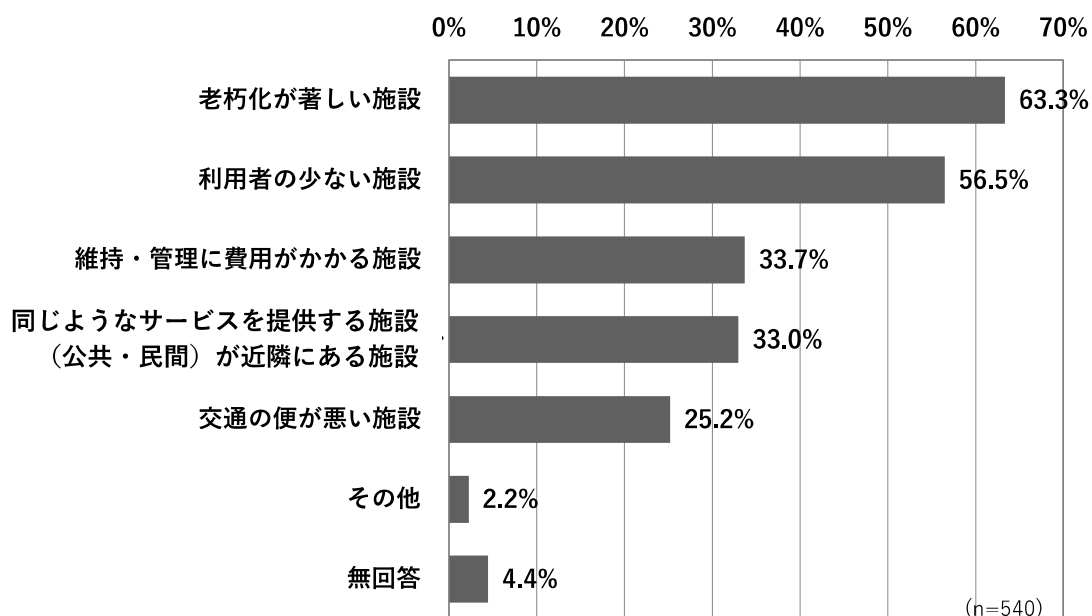
- ・ スポーツ施設を利用したことがある人は、施設の管理に民間のノウハウ活用やネーミングライツ等による収入増、ふるさと納税や寄付等の充当が維持管理に効果的と回答する傾向がみられる一方、利用したことがない人は施設数を減らすことが効果的と考えている人が多くなっています。

		問5-1 スポーツ施設利用の有無		
		利用したことがある (n=183)	利用したことがない (n=129)	総数 (n=312)
問 1 3 ① た め に 効 果 的 な 取 組 み を 続 け る	施設の数減らす	15.8	20.9	17.9
	施設の利用料金を引き上げる	18.6	19.4	18.9
	施設におけるサービスの水準を引き下げる	5.5	6.2	5.8
	施設の管理に民間のノウハウを活用する	54.1	45.7	50.6
	駐車場料金を有料にする	16.4	18.6	17.3
	ネーミングライツや有料広告等を取り入れて収入を増やす	60.7	56.6	59.0
	ふるさと納税や寄付等を充てる	45.9	41.1	43.9
	その他	6.0	3.9	5.1
	無回答	4.9	3.9	4.5

(%)

②将来、スポーツ施設の数を減らすことが必要になった場合、どのような施設を減らしていくべきだと思いますか。※お考えに近いものを選択してください《○3つまで》

- ・ スポーツ施設の数を減らす場合の対応については、「老朽化が著しい施設」が 63.3%と最も多く、次いで「利用者の少ない施設」が 56.5%、「維持・管理に費用がかかる施設」が 33.7%、「同じようなサービスを提供する施設（公共・民間）が近隣にある施設」が 33.0%となっています。
- ・ 施設の老朽化、利用状況、維持管理費用等の施設概要に加え、周辺の同種施設立地状況等も踏まえ、スポーツ施設のあり方を考える必要があるといえます。



問 14 スポーツ施設のあり方（管理・運営・整備の手法など）について、ご意見やアイデアがありましたら自由にお書きください。《自由記述》

- ・ 回答数 540 件のうち、自由記述への記入件数は 154 件で、内訳は以下のとおりです。

意見の分類	件数
維持管理・運営・スタッフに関する意見	32 件
民間委託に関する意見	16 件
施設設備に関する意見	13 件
スポーツ施設に関する意見	12 件
高齢者対応に関する意見	11 件
集客・イベント・広報に関する意見	11 件
アンケートに関する意見	11 件
予約に関する意見	9 件
施設統廃合に関する意見	8 件
利用方法に関する意見	7 件
交通アクセスに関する意見	6 件
プールに関する意見	5 件
プロスポーツ誘致に関する意見	3 件
その他	10 件

3 総括

1. 回答者属性

- ・性別については、「女性」からの回答がやや多くなっています。
- ・年齢については、60歳以上が約半数を占めています。
- ・居住地については、「畷傍地区」「耳成地区」「真菅地区」がそれぞれ2割前後となっています。
- ・職業については、「会社員・会社役員」が3割弱を占め最も高くなっていますが、「無職」「専業主婦・主夫」「パート・アルバイト」も2割前後を占めています。

2. スポーツの取組みについて

- ・日頃のスポーツの実施頻度については、「ほとんどしていない」が4割近くと最も多くなっていますが、一方で、約6割の方は月に1日以上スポーツを実施しており、一定の割合でスポーツの実施を習慣化しているといえます。
- ・スポーツの実施を習慣化している方のうち約半数は、スポーツを実施する際、「施設を使用していない」と回答しています。スポーツ施設を使用する方は、体育館や多目的グラウンド等の自由度の高い施設やトレーニングルームやスポーツスタジオ等のトレーニングや軽運動ができる屋内施設を多く利用しています。
- ・今後行ってみたいスポーツについては、身近な環境の中で気軽に楽しむことができるスポーツのほか、幅広い世代が楽しむことができるスポーツの人気の高いことがうかがえます。また、これらのスポーツを実施するために、軽運動が可能な室内施設（体操・室内運動・ダンスの合計65.5%）、ランニング・ウォーキングコース（28.9%）、体育館（バトミントン・卓球・バレーボール・バスケットボールの合計20.8%）、プール（水泳13.3%）、テニスコート（10.6%）等の施設ニーズが高いと想定されます。
- ・スポーツの観戦・応援頻度については、「ほとんどしていない」が4割近くと最も多くなっていますが、一方で、5割以上の方は月に1日以上スポーツを観戦・応援しており、一定の割合で“みる”スポーツに親しんでいるといえます。
- ・観戦・応援するスポーツの種類については、硬式野球、サッカー、マラソン、相撲等、年間を通じてプロリーグや全国的・国際的な大会等が多く開催され、テレビで放送されることが多いスポーツの割合が高くなっているといえます。
- ・また、現地で直接、応援・観戦してみたいスポーツについては、硬式野球、サッカー、ラグビー、バレーボール等が上位にあがっています。これらのスポーツの応援・観戦を実現するためには、プロチームの試合の実施、大会や競技会の誘致のほか、体育館（バレーボール・バスケットボール・バトミントン・卓球・体操・ダンスの合計41.6%）、競技場（サッカー・ラグビー・陸上競技の合計38.2%）、硬式野球場（35.7%）等施設の充実や高規格化が求められるといえます。

3. スポーツ施設について

- ・市内にある公共のスポーツ施設の充実度について、ほとんどの施設で充実していると思う人が半数を超えています。特に、硬式野球場、陸上競技場、テニスコート、軟式野球場の充実度が高くなっ

ています。一方で、屋根付運動場、プールについては、充実していると思う人が過半を下回っており、充実度が低くなっています。

- ・不足していると思うスポーツ施設や機能については、プールやスポーツジム・トレーニングジム等があがっています。

4. 今後のスポーツ施設のあり方について

- ・今後のスポーツの活性化に必要なことについては、「スポーツ施設の数や質の充実」、「プロスポーツの観戦ができる環境の整備」、「高齢者スポーツやパラスポーツ活動の促進や環境整備」、「スポーツイベントや大会の開催」が上位にあがっており、スポーツを“する”だけでなく、“みる”環境・機会が求められるとともに、高齢者や障がい者を含めて誰もが身近にスポーツに触れることができる環境が求められているといえます。特に、実施したいスポーツ（問 6）や応援・観戦スポーツ（問 8）の結果を踏まえ、軽運動が可能な室内施設、ランニング・ウォーキングコース、体育館、プール、テニスコート、競技場、硬式野球場について、今後のあり方を検討する必要があるといえます。
- ・今後のスポーツ施設にとって重要なことについては、「利用料金の安さ」、「付帯設備（冷暖房・更衣室・トイレ（洋室）等）の充実」、「スポーツ施設数の充実」等の施設に関するだけでなく、「施設へのアクセスのしやすさ」、「駐車場・駐輪場の確保」等の周辺環境についても多くあがっています。今後の施設整備においては、スポーツ施設を気軽に利用できるよう質の向上や、施設までの移動のしやすさ・便利さに留意が必要といえます。
- ・スポーツ施設を維持管理するための取組みとしては、施設利用者以外から何らかの方法により収益を確保したり、施設管理を効率化することで、維持管理を続けていくと考えている人が多くなっています。
- ・また、スポーツ施設の数減らす場合の対応については、施設の老朽化、利用状況、維持管理費用等の施設概要に加え、周辺の同種施設立地状況等も踏まえ、スポーツ施設のあり方を考える必要があるといえます。

 **検討資料編 4 橿原市スポーツ施設の利用に関する
アンケート調査結果報告書（利用者アンケート）**

1 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、スポーツ施設計画を検討するにあたり、市民の皆様のスポーツ施設のご利用実態、スポーツや健康増進に対するお考えや、今後のスポーツ施設のあり方に対するご意見について把握するために実施しました。

(2) 調査対象

市内スポーツ施設の利用者を対象としました。

なお、樫原運動公園の総合プールは、新型コロナウイルス感染症の影響により休止中のため、対象外とします。

(3) 調査期間

令和3年6月29日から、各施設50票程度を回収できるまでとしました。ただし、利用実態により、50票回収できなかった施設もあります。

(4) 調査方法

各施設の窓口にて、利用者に対してアンケート用紙を配布し、その場で回収しました。

なお、現在閉館中の中央体育館については、4月時点で施設を利用した団体に郵送にて調査票を配布し、紙面もしくはWEB（スマートフォンやパソコンからインターネットを通じての回答）いずれかの回答としました。

(5) 回収状況

施設名	施設内容	回収数	合計
1 榎原運動公園	①総合プール	—	267
	②軟式野球場	25	
	③ソフトボール場	32	
	④硬式野球場	45	
	⑤テニスコート	50	
	⑥多目的グラウンド	49	
	⑦屋根付運動場	43	
	⑧その他（まほろば広場、園路、遊具など）	23	
2 榎原市中央体育館	①体育館（アリーナ）	50	50
3 榎原市香久山体育館	①体育館（アリーナ）	48	130 (他 1、 無回答 4)
	②トレーニング室	36	
4 万葉の丘スポーツ広場	①テニスコート	28	(他 1、 無回答 4)
	②アーチェリー・弓道（遠的）場	0	
	③パターゴルフ場	18	
5 榎原市曾我川緑地体育館	①体育館（アリーナ）	57	193 (他 1)
	②武道場	38	
	③トレーニング室	49	
	④スポーツスタジオ	12	
6 曾我川緑地	①テニスコート	17	
	②多目的グラウンド	20	
7 榎原市ひがしたけだドーム	①体育館（アリーナ）	33	43 (他 1、 無回答 1)
8 東竹田近隣公園	①多目的グラウンド	10	
9 榎原市新沢千塚公園拠点施設 (シルクの杜)	①温浴施設（温水プール）	46	113 (他 2)
	②トレーニング室	50	
	③ダンス教室	17	
		795 (805)	() は他、 無回答含む

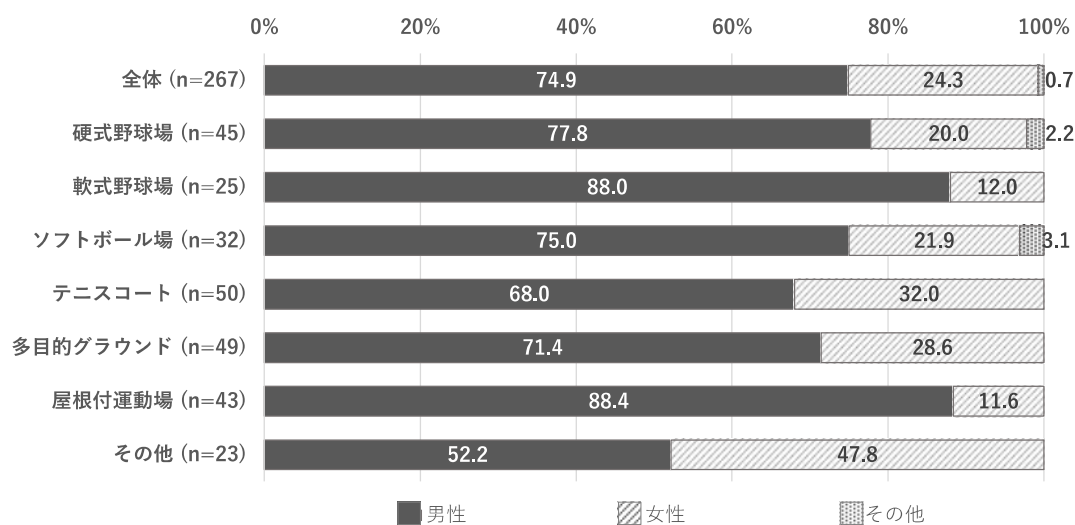
※施設の立地状況を踏まえ、「3 榎原市香久山体育館」および「4 万葉の丘スポーツ広場」、「5 榎原市曾我川緑地体育館」および「6 曾我川緑地」、「7 榎原市ひがしたけだドーム」および「8 東竹田近隣公園」は、1つの単位としてアンケートを実施した。

2 各施設アンケート結果

1 櫃原運動公園

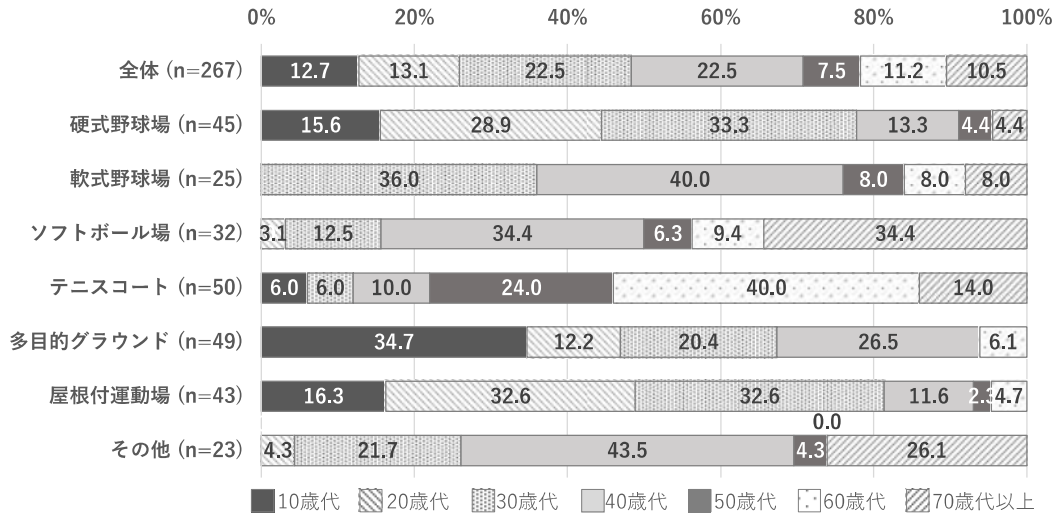
問1 性別（該当するものに○1つ）

- ・ 全体では、「男性」が74.9%、「女性」が24.3%で、男性からの回答が7割以上を占めています。
- ・ 施設別に見ると、「硬式野球場」、「軟式野球場」、「ソフトボール場」、「屋根付運動場」は、全体と比べて、「男性」の割合がより高くなっています。



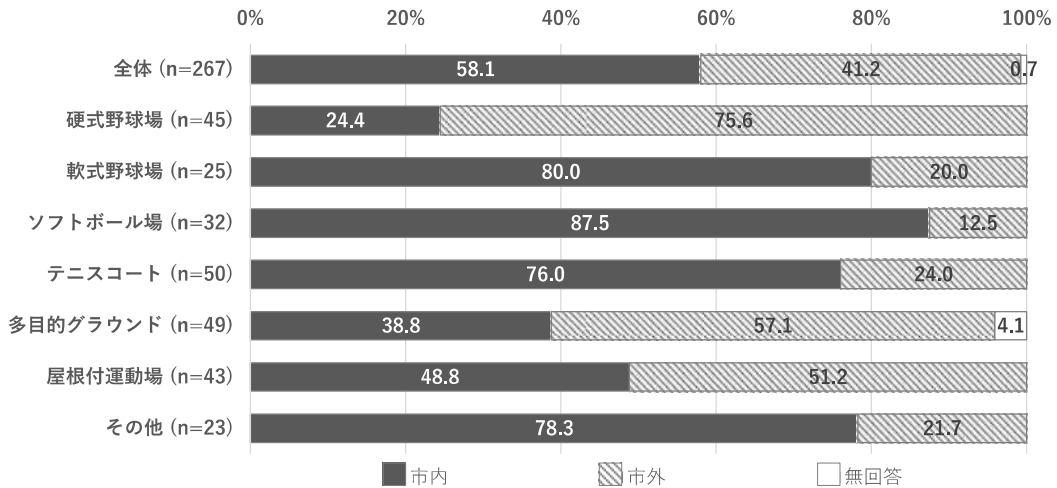
問2 年齢（該当するものに○1つ）

- ・ 全体では、「30歳代」、「40歳代」が22.5%と最も多く、次いで「20歳代」が13.1%、「10歳代」が12.7%となっています。
- ・ 施設別に見ると、「硬式野球場」、「多目的グラウンド」、「屋根付運動場」では、20歳代以下の利用者が4割以上を占めており、比較的若い世代の利用者が多くなっています。
- ・ 一方、「ソフトボール場」、「テニスコート」では、60歳以上の利用者が4割以上を占めており、利用者の年齢層が高くなっています。



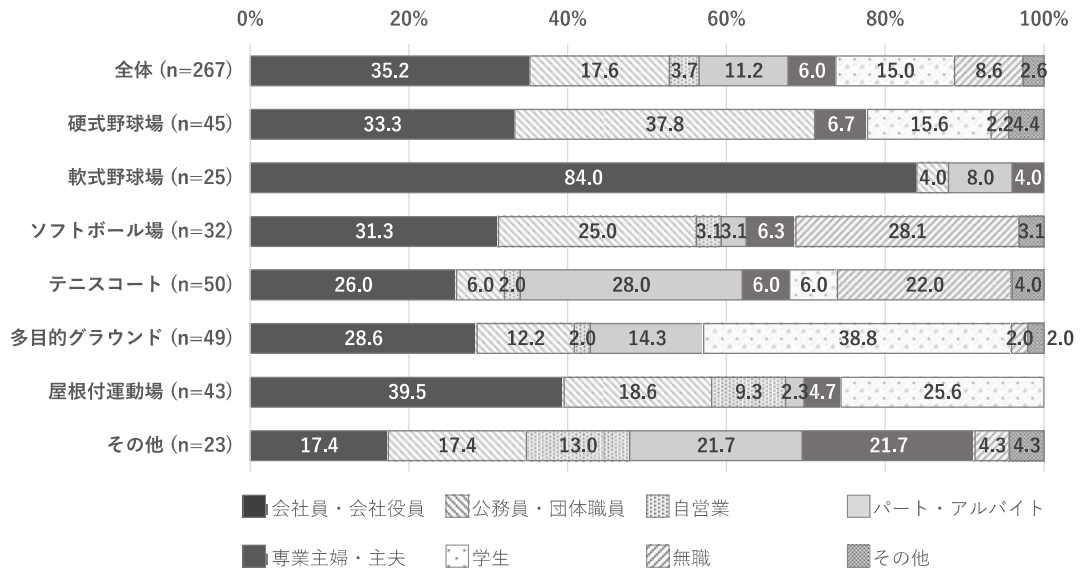
問3 お住まい（該当するものに○1つ）

- ・ 全体では、「市内」が58.1%、「市外」が41.2%となっており、「市内」居住者が多くなっています。
- ・ 施設別に見ると、「軟式野球場」、「ソフトボール場」、「テニスコート」では、「市内」が7割以上を占め、「市内」居住者が大半を占めています。
- ・ 一方で、「硬式野球場」、「多目的グラウンド」、「屋根付運動場」は、「市外」が5割以上を占め、「市外」居住者にも多く利用されている施設といえます。



問4 職業（該当するものに○1つ）

- ・ 全体では、「会社員・会社役員」が35.2%と最も多く、次いで「公務員・団体職員」が17.6%、「学生」が15.0%、「パート・アルバイト」が11.2%となっています。
- ・ 施設別に見ると、「軟式野球場」では「会社員・会社役員」、「テニスコート」では「専業主婦・主夫」や「無職」、「多目的グラウンド」、「屋根付運動場」では「学生」の割合が、他の施設よりも高くなっています。

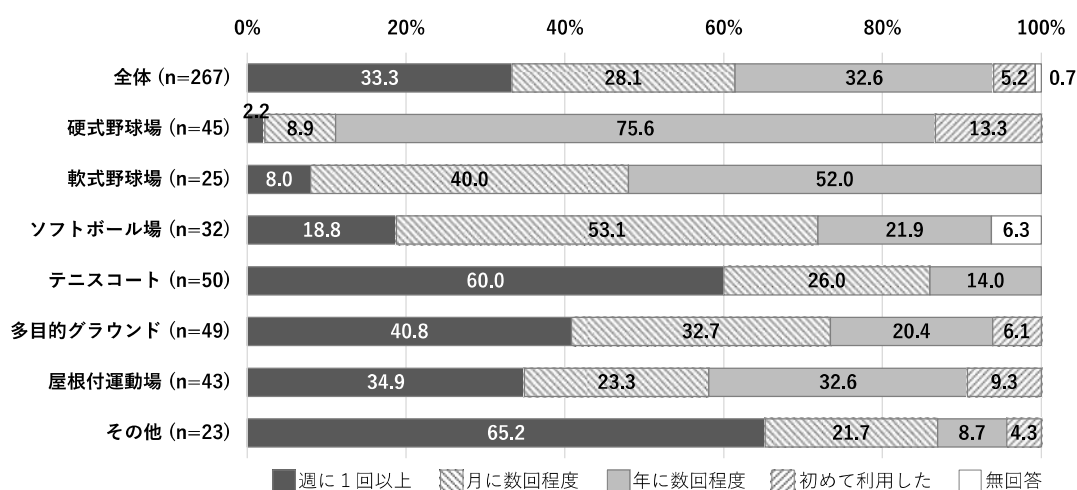


問5 本日、利用された施設を教えてください。(該当するものに○1つ)

- 1 ページの回収状況のとおり。

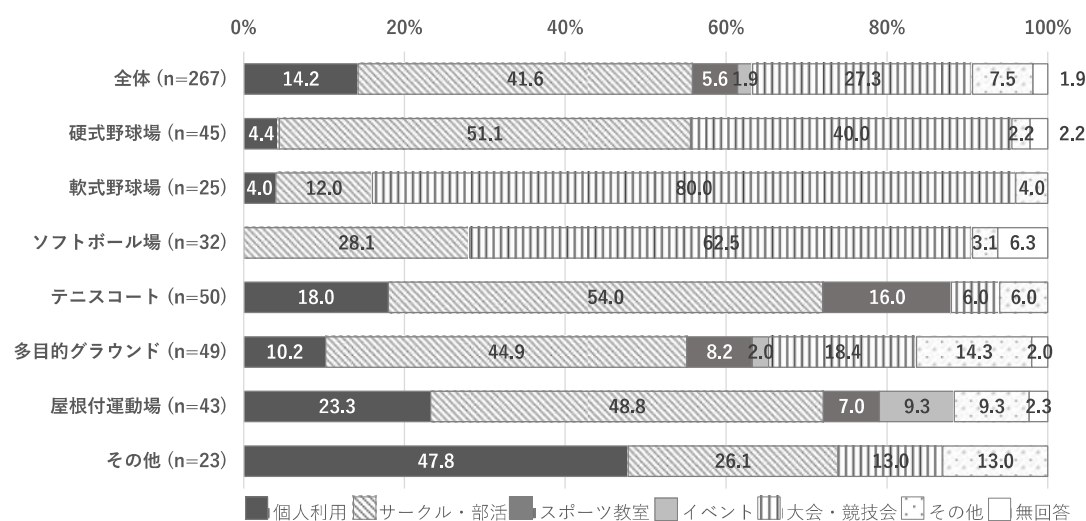
問6 本施設の利用頻度について教えてください。(該当するものに○1つ)

- 全体では、「週に1回以上」が33.3%と最も多く、「月に数回程度(28.1%)」と合わせて6割以上の方が、施設を定期的にご利用されています。
- 施設別に見ると、「テニスコート」では、「週に1回以上」が6割以上を占めており、利用頻度の高い方が特に多い施設といえます。
- 一方で、「硬式野球場」、「軟式野球場」、「屋根付運動場」では、「年に数回程度」の割合が高く、特に「硬式野球場」は「年に数回程度」が75.6%と大半を占めています。



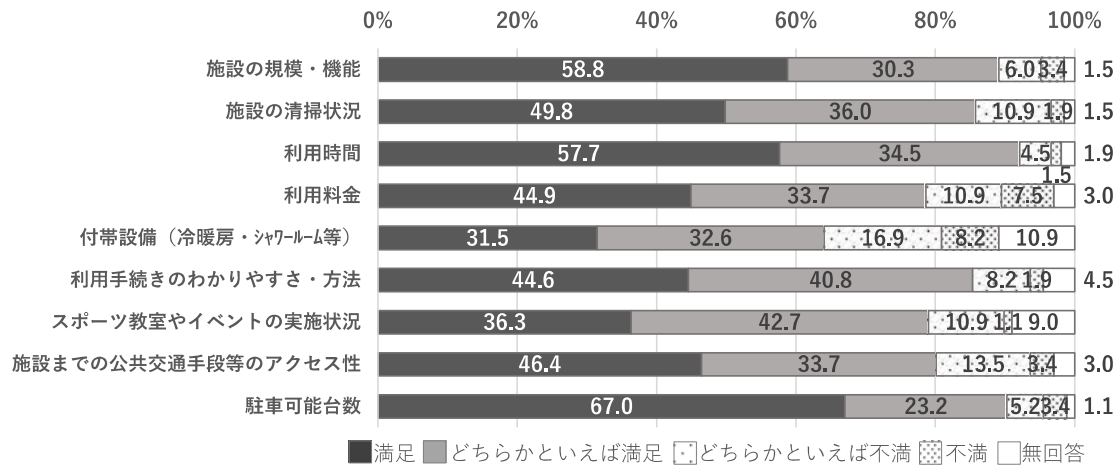
問7 本施設の主な利用目的について教えてください。(該当するものに○1つ)

- 全体では、「サークル・部活」が41.6%と最も多く、次いで「大会・競技会」が27.3%、「個人利用」が14.2%となっており、さまざまな目的で利用されています。
- 施設別に見ると、「軟式野球場」、「ソフトボール場」では「大会・競技会」、「テニスコート」、「屋根付運動場」では「個人利用」の割合が、他の施設よりも高くなっています。

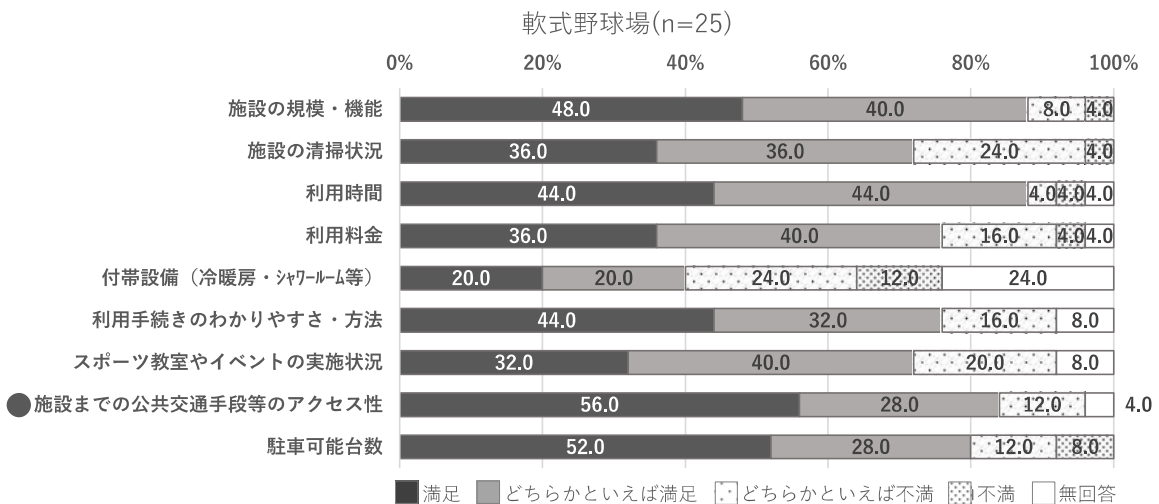
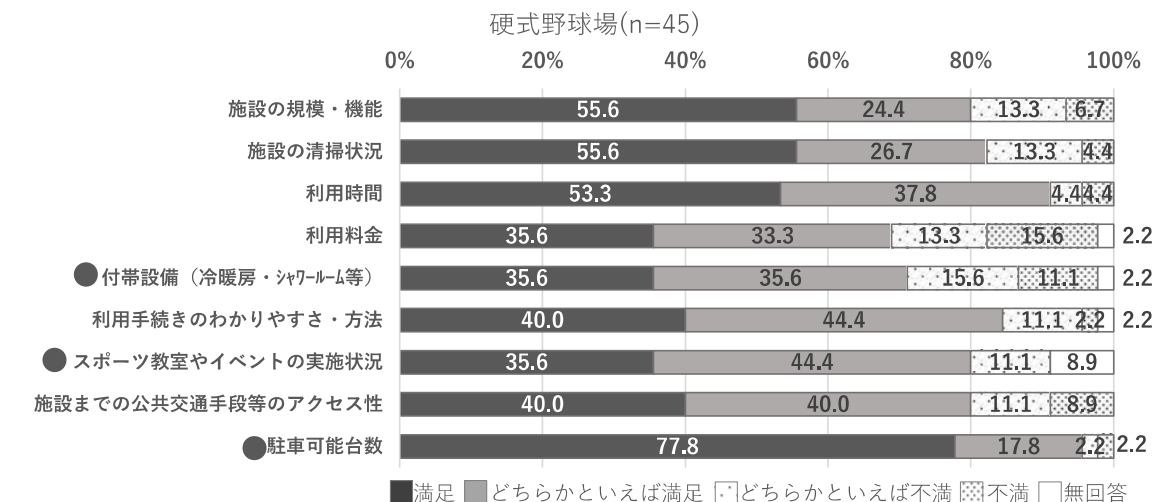


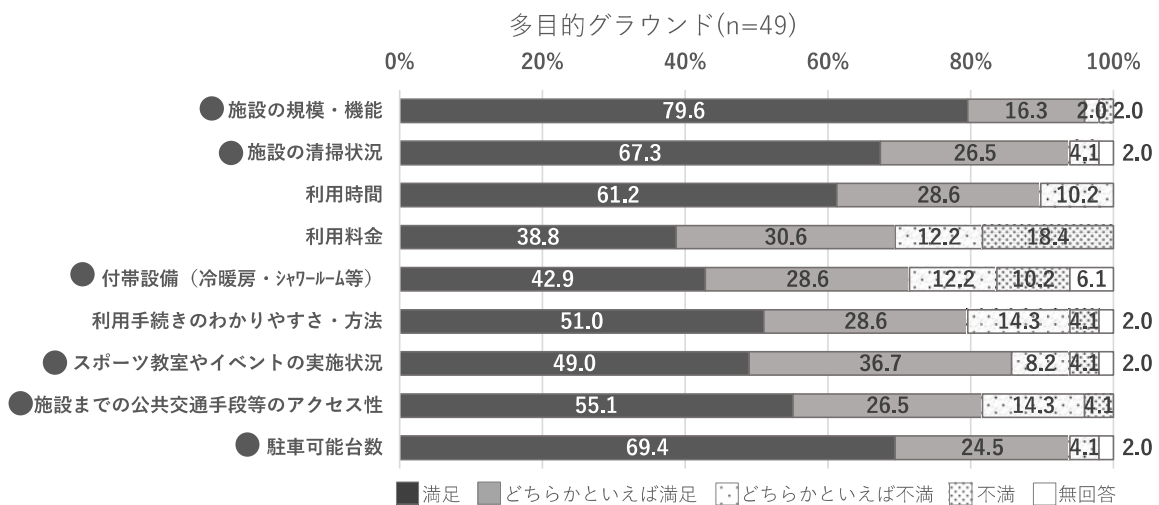
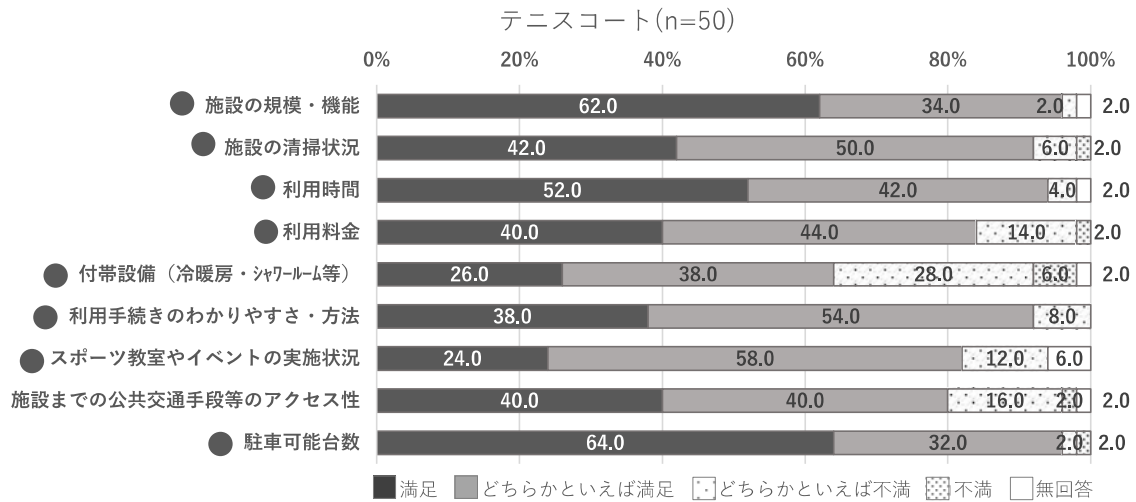
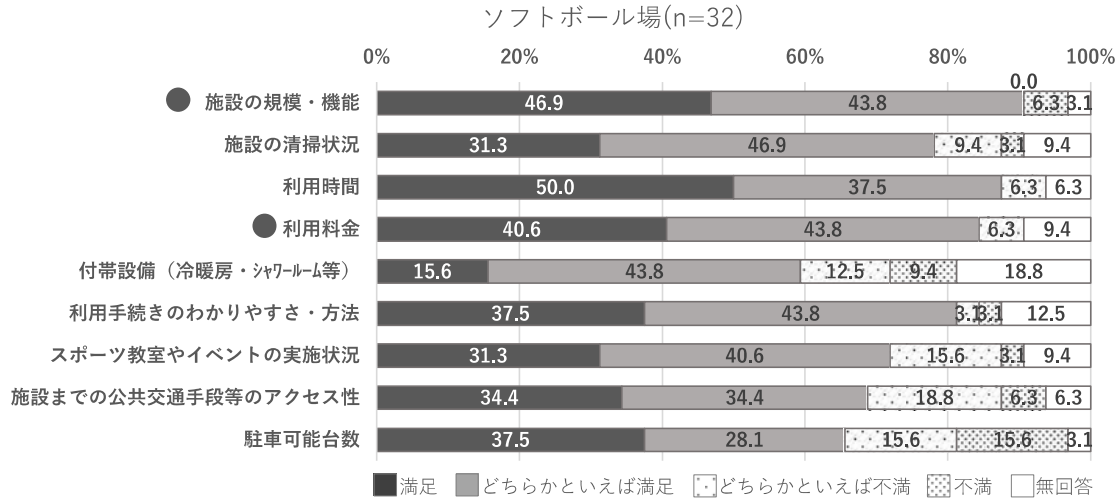
問8 本施設の満足度について教えてください。(各項目で該当するものに○1つ)

- 全体では、各項目とも、満足度(「満足」と「どちらかといえば満足」の合計)が6割を超えています。

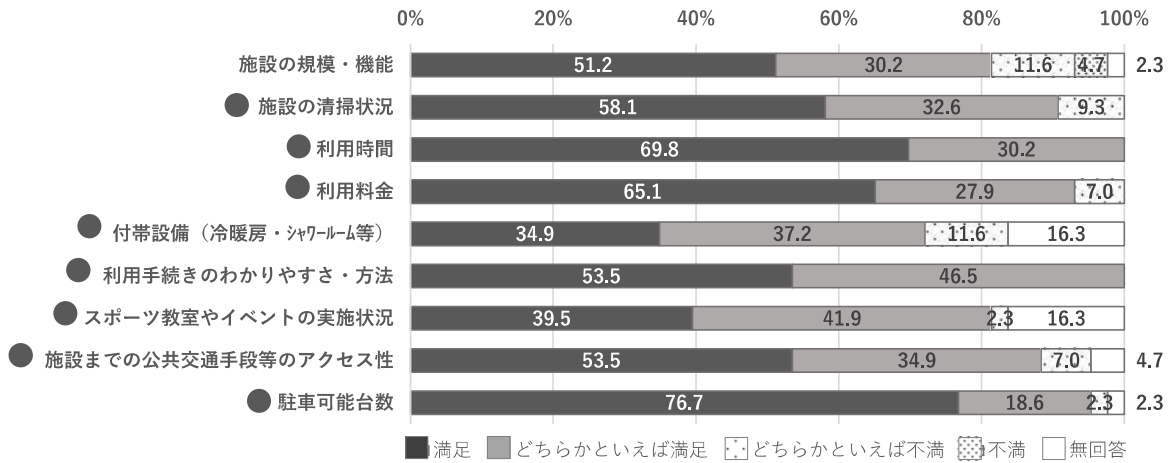


- 施設別で見ると、次表のとおりで、全体に比べて満足度が高い項目には●印を付しています。

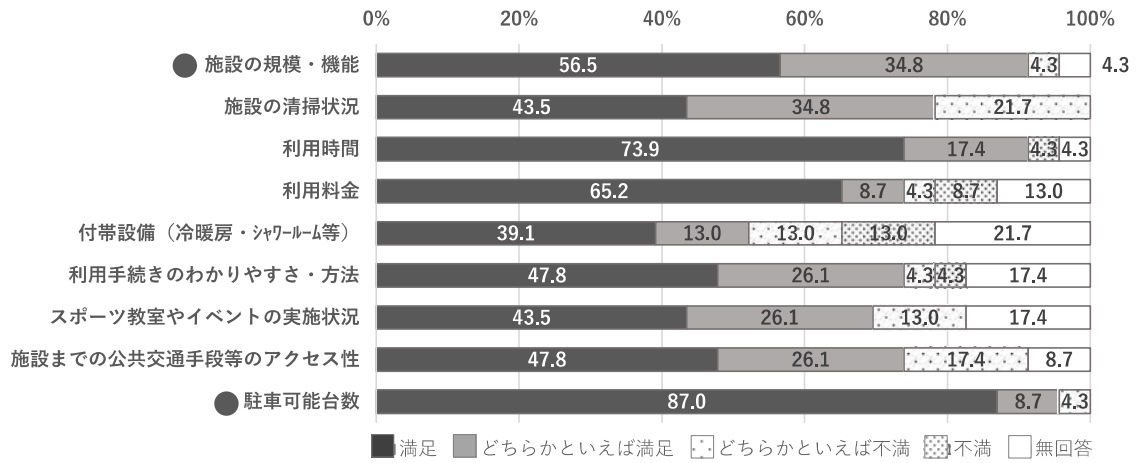




屋根付運動場(n=43)



その他(n=23)



問9 今後のスポーツ施設にとって、重要だと思うものを教えてください。※お考えに最も近いものを選択してください（〇3つまで）

- 全体では、「利用料金の安さ」が41.9%と最も多く、次いで「スポーツ施設数の充実」が37.1%、「付帯設備（冷暖房・更衣室・トイレ（洋式）等）の充実」が36.0%となっています。
- 施設別においても概ね同じ傾向ですが、「軟式野球場」、「ソフトボール場」では「駐車場・駐輪場の確保」、「テニスコート」では「付帯機能（飲食・物販施設や休憩スペース等）の充実」も上位に挙がっています。

(%)

	スポーツ施設数の充実	付帯機能（飲食・物販施設や休憩スペース等）の充実	付帯設備（冷暖房・更衣室・トイレ（洋式）等）の充実	利用時間帯の拡大	利用料金の安さ	施設へのアクセスのしやすさ	利用手続き、料金支払い方法などの簡略化	スポーツイベントやスポーツ教室の充実	プロスポーツや全国的・国際的な大会が開催できる本格的な施設	プロスポーツや全国的・国際的な大会が観戦できる施設や空間	駐車場・駐輪場の確保	指導者の配置	バリアフリー・ユニバーサルデザインへの対応	利用案内やイベントなどに関する広報の充実	その他	無回答
全体 (n=267)	37.1	21.7	36.0	9.4	41.9	15.0	13.1	8.6	12.7	10.1	21.0	1.1	6.0	1.5	3.0	7.5
硬式野球場 (n=45)	48.9	17.8	51.1	8.9	44.4	13.3	6.7	4.4	17.8	17.8	17.8	2.2	6.7	0.0	2.2	4.4
軟式野球場 (n=25)	28.0	24.0	32.0	4.0	44.0	0.0	20.0	16.0	12.0	16.0	36.0	0.0	4.0	4.0	8.0	0.0
ソフトボール場 (n=32)	46.9	15.6	34.4	6.3	31.3	21.9	9.4	6.3	9.4	6.3	40.6	0.0	12.5	3.1	3.1	3.1
テニスコート (n=50)	26.0	30.0	50.0	10.0	28.0	22.0	10.0	16.0	8.0	0.0	12.0	2.0	6.0	0.0	0.0	16.0
多目的グラウンド (n=49)	36.7	14.3	26.5	18.4	61.2	8.2	12.2	6.1	14.3	16.3	18.4	0.0	4.1	2.0	2.0	6.1
屋根付運動場 (n=43)	41.9	20.9	23.3	2.3	51.2	14.0	20.9	7.0	16.3	7.0	14.0	0.0	2.3	2.3	2.3	11.6
その他 (n=23)	26.1	34.8	26.1	13.0	21.7	26.1	17.4	4.3	8.7	8.7	21.7	4.3	8.7	0.0	8.7	4.3

問 10①スポーツ施設の維持管理を続けていくために、どのような取組が効果的だと思いますか。

※お考えに近いものを選択してください（〇3つまで）

- ・ 全体では、「ふるさと納税や寄付等を充てる」が 41.6%と最も多く、次いで「ネーミングライツや有料広告等を取り入れて収入を増やす」が 40.4%、「施設の管理に民間のノウハウを活用する」が 31.1%となっています。
- ・ 施設別においても概ね同じ傾向ですが、「多目的グラウンド」では「施設の利用料金を引き上げる」も上位に挙がっています。

(%)

	施設の数を減らす	施設の利用料金を引き上げる	施設におけるサービスの水準を引き下げる	施設の管理に民間のノウハウを活用する	駐車場料金を有料にする	ネーミングライツや有料広告等を取り入れて収入を増やす	ふるさと納税や寄付等を充てる	その他	無回答
全体 (n=267)	6.4	18.7	8.2	31.1	13.9	40.4	41.6	0.7	10.1
硬式野球場 (n=45)	4.4	17.8	6.7	24.4	15.6	46.7	48.9	0.0	8.9
軟式野球場 (n=25)	4.0	16.0	12.0	40.0	4.0	28.0	52.0	0.0	8.0
ソフトボール場 (n=32)	6.3	6.3	6.3	37.5	18.8	31.3	43.8	0.0	9.4
テニスコート (n=50)	0.0	18.0	8.0	34.0	14.0	42.0	40.0	0.0	16.0
多目的グラウンド (n=49)	10.2	32.7	12.2	22.4	12.2	40.8	32.7	0.0	4.1
屋根付運動場 (n=43)	11.6	11.6	7.0	39.5	4.7	39.5	37.2	0.0	14.0
その他 (n=23)	8.7	26.1	4.3	21.7	34.8	52.2	43.5	8.7	8.7

問 10②将来、スポーツ施設の数減らすことが必要になった場合、どのような施設を減らしていくべきだと思いますか。※お考えに近いものを選択してください（該当するものに3つまで○）

- ・ 全体では、「老朽化が著しい施設」が 53.6%と最も多く、次いで「利用者の少ない施設」が 46.1%、「維持・管理に費用がかかる施設」が 19.5%となっています。
- ・ 施設別においても概ね同じ傾向ですが、「硬式野球場」では「交通の便が悪い施設」、「軟式野球場」では「同じようなサービスを提供する施設（公共・民間）が近隣にある施設」も上位に挙がっています。

(%)

	利用者の少ない施設	老朽化が著しい施設	交通の便が悪い施設	維持・管理に費用がかかる施設	同じようなサービスを提供する施設（公共・民間）が近隣にある施設	その他	無回答
全体 (n=267)	46.1	53.6	15.0	19.5	14.2	1.1	10.1
硬式野球場 (n=45)	55.6	51.1	13.3	11.1	11.1	0.0	8.9
軟式野球場 (n=25)	36.0	64.0	16.0	16.0	24.0	4.0	0.0
ソフトボール場 (n=32)	62.5	40.6	12.5	25.0	21.9	0.0	9.4
テニスコート (n=50)	50.0	48.0	16.0	22.0	12.0	0.0	20.0
多目的グラウンド (n=49)	36.7	57.1	14.3	18.4	16.3	0.0	6.1
屋根付運動場 (n=43)	37.2	53.5	16.3	20.9	9.3	2.3	14.0
その他 (n=23)	43.5	69.6	17.4	26.1	8.7	4.3	4.3

2 橿原市中央体育館

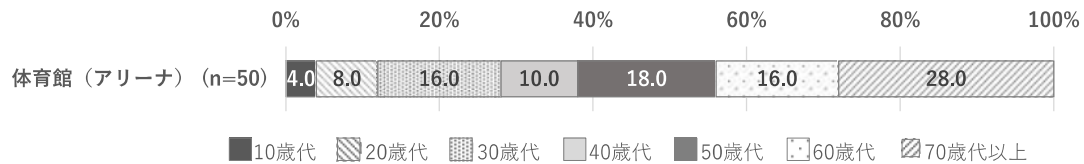
問1 性別（該当するものに○1つ）

- 「男性」が58.0%、「女性」が42.0%で、男性からの回答の方が多く、6割近くを占めています。



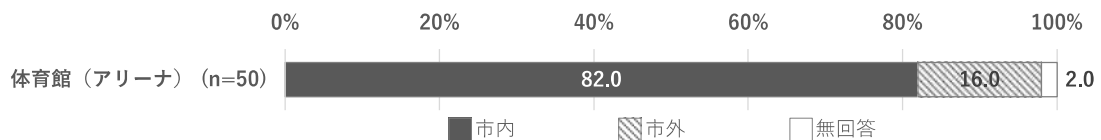
問2 年齢（該当するものに○1つ）

- 「70歳代以上」が28.0%と最も多く、次いで「50歳代」が18.0%、「30歳代」、「60歳代」が16.0%となっており、50歳代以上で6割以上を占めています。



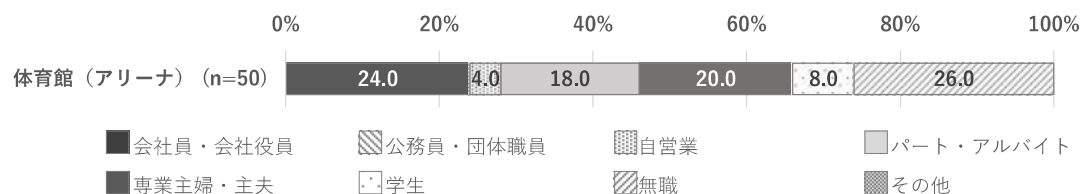
問3 お住まい（該当するものに○1つ）

- 「市内」が82.0%、「市外」が16.0%となっており、「市内」居住者が8割以上を占めています。



問4 職業（該当するものに○1つ）

- 「無職」が26.0%と最も多く、次いで「会社員・会社役員」が24.0%、「専業主婦・主夫」が20.0%となっています。

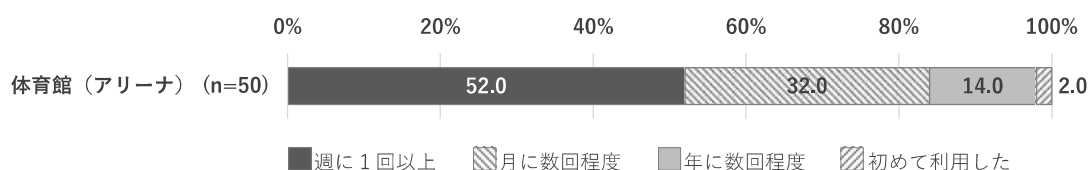


問5 本日、利用された施設を教えてください。（該当するものに○1つ）

- 1ページの回収状況のとおり。

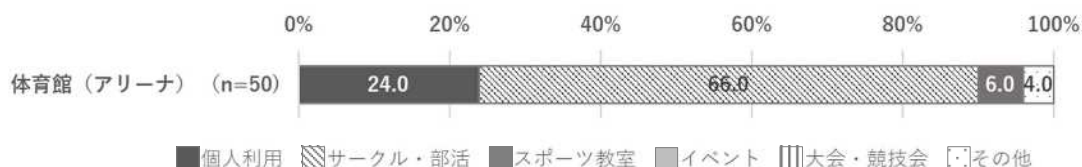
問6 本施設の利用頻度について教えてください。(該当するものに○1つ)

- ・ 「週に1回以上」が52.0%と最も多く、「月に数回程度(32.0%)」と合わせて8割以上の方が、施設を定期的に利用されています。



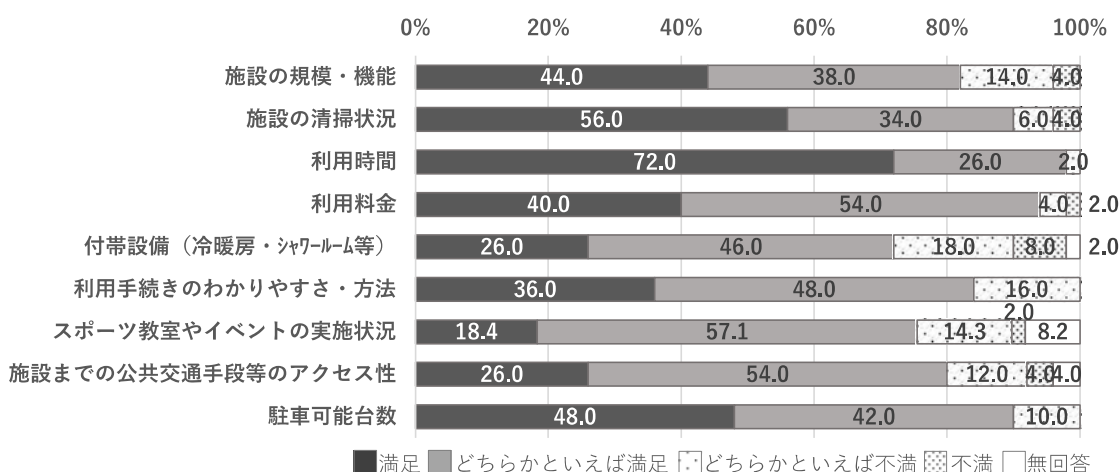
問7 本施設の主な利用目的について教えてください。(該当するものに○1つ)

- ・ 「サークル・部活」が66.0%と最も多く、次いで「個人利用」が24.0%となっており、比較的団体利用が多くなっています。



問8 本施設の満足度について教えてください。(各項目で該当するものに○1つ)

- ・ 各項目とも、満足度(「満足」と「どちらかといえば満足」の合計)が7割を超えており、特に、「施設の清掃状況」、「利用時間」、「利用料金」、「駐車可能台数」については、満足度が9割を超えています。



問9 今後のスポーツ施設にとって、重要だと思うものを教えてください。※お考えに最も近いものを選択してください(○3つまで)

- 「付帯設備(冷暖房・更衣室・トイレ(様式)等)の充実」が50.0%と最も高く、次いで「利用料金の安さ」が46.0%、「利用手続き、料金支払い方法などの簡略化」が40.0%となっています。

(%)

	スポーツ施設数の充実	付帯機能(飲食・物販施設や休憩スペース等)の充実	付帯設備(冷暖房・更衣室・トイレ(洋式)等)の充実	利用時間帯の拡大	利用料金の安さ	施設へのアクセスのしやすさ	利用手続き、料金支払い方法などの簡略化	スポーツイベントやスポーツ教室の充実	プロスポーツや全国的・国際的な大会が開催できる本格的な施設	プロスポーツや全国的・国際的な大会が観戦できる施設や空間	駐車場・駐輪場の確保	指導者の配置	バリアフリー・ユニバーサルデザインへの対応	利用案内やイベントなどに関する広報の充実	その他	無回答
体育館(アリーナ) (n=50)	36.0	10.0	50.0	12.0	46.0	6.0	40.0	10.0	12.0	2.0	16.0	0.0	6.0	4.0	4.0	4.0

問10①スポーツ施設の維持管理を続けていくために、どのような取組が効果的だと思いますか。

※お考えに近いものを選択してください(○3つまで)

- 「施設の管理に民間のノウハウを活用する」が56.0%と最も多く、次いで「ネーミングライツや有料広告等を取り入れて収入を増やす」が48.0%、「ふるさと納税や寄付等を充てる」が40.0%となっています。

(%)

	施設の数を減らす	施設の利用料金を引き上げる	施設におけるサービスの水準を引き下げる	施設の管理に民間のノウハウを活用する	駐車場料金を有料にする	ネーミングライツや有料広告等を取り入れて収入を増やす	ふるさと納税や寄付等を充てる	その他	無回答
体育館(アリーナ) (n=23)	16.0	26.0	6.0	56.0	10.0	48.0	40.0	2.0	6.0

問 10②将来、スポーツ施設の数減らすことが必要になった場合、どのような施設を減らしていくべきだと思いますか。※お考えに近いものを選択してください（該当するものに3つまで○）

- ・ 「老朽化が著しい施設」が 58.0%と最も多く、次いで「利用者の少ない施設」が 48.0%、「維持・管理に費用がかかる施設」が 34.0%となっています。

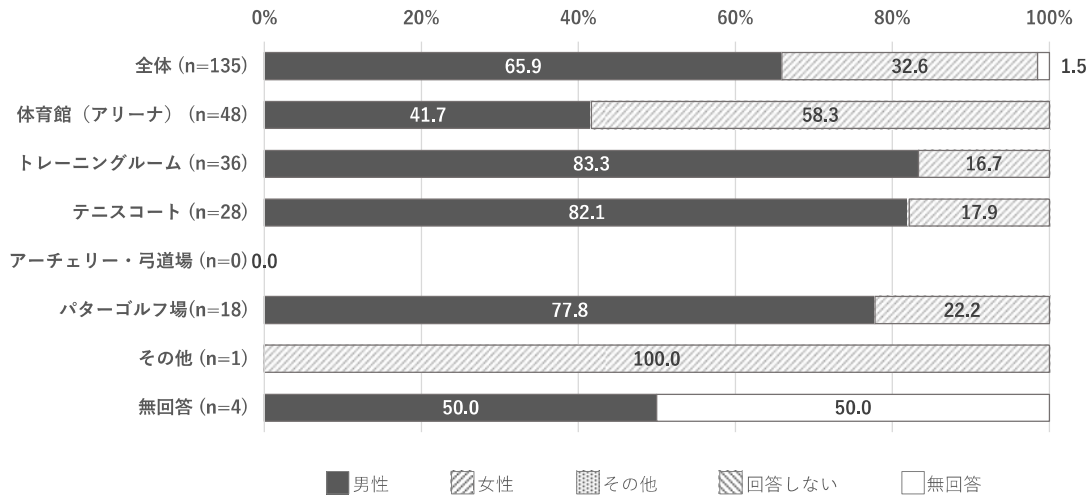
(%)

	利用者の少ない施設	老朽化が著しい施設	交通の便が悪い施設	維持・管理に費用がかかる施設	同じようなサービスを提供する施設（公共・民間）が近隣にある施設	その他	無回答
体育館（アリーナ）（n=23）	48.0	58.0	20.0	34.0	20.0	4.0	6.0

3 檀原市香久山体育館 / 4 万葉の丘スポーツ広場

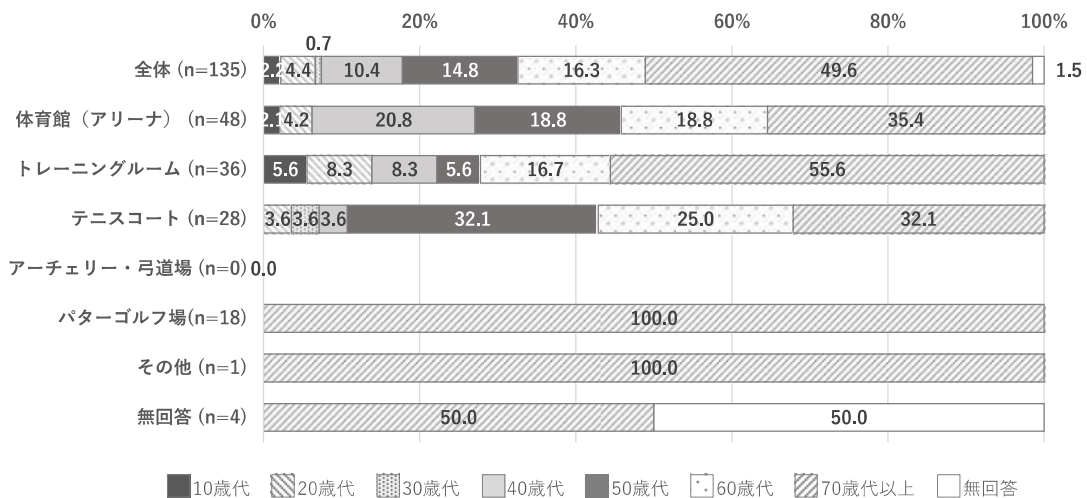
問1 性別（該当するものに○1つ）

- ・ 全体では、「男性」が65.9%、「女性」が32.6%で、男性からの回答が6割以上を占めています。
- ・ 施設別に見ると、「体育館」では、「女性」の割合が高くなっています。



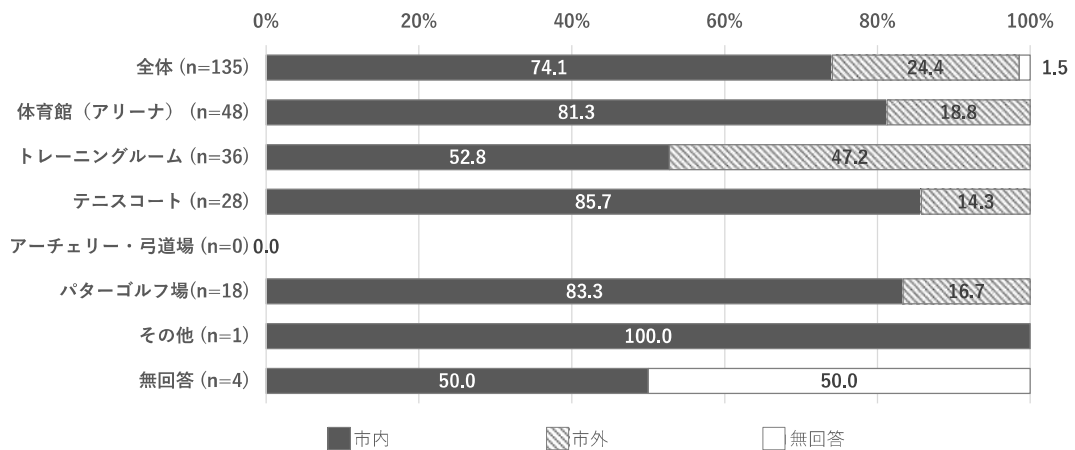
問2 年齢（該当するものに○1つ）

- ・ 全体では、「70歳代」が49.6%と最も多く半数程度を占めており、次いで「60歳代」が16.3%、「50歳代」が14.8%となっています。
- ・ 施設別に見ると、「体育館」では「40歳代」が20.8%で2番目に多く、「テニスコート」では「50歳代」が32.1%で最も多くなっており（「70歳代」が同率）、全体に比べると利用者の年齢層が若干低くなっています。
- ・ 一方で、「パターゴルフ場」は、「70歳以上」が100%となっており、利用者の年齢層が高くなっています。



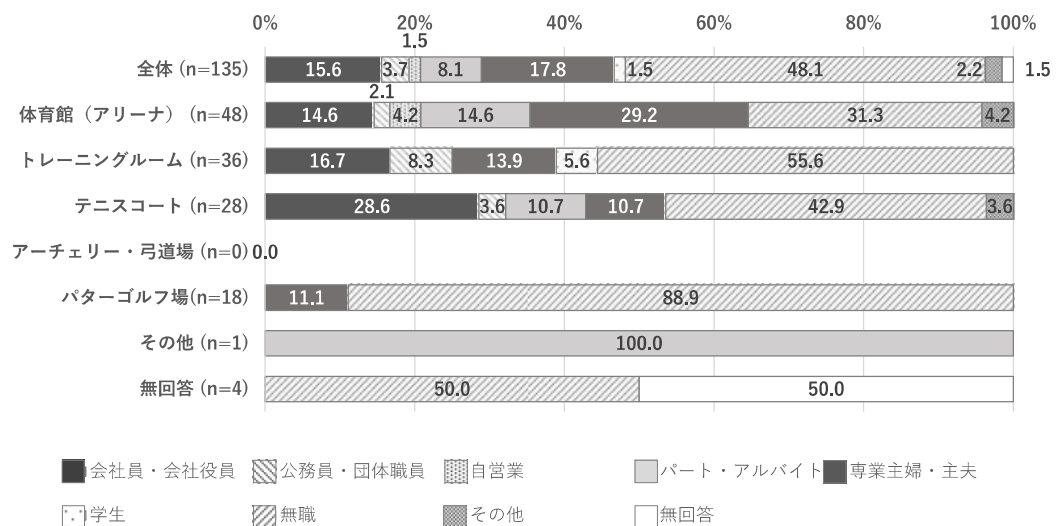
問3 お住まい（該当するものに○1つ）

- ・ 全体では、「市内」が74.1%、「市外」が24.4%となっており、「市内」居住者が多くなっています。
- ・ 施設別に見ると、「体育館」、「テニスコート」、「パターゴルフ場」では、「市内」が8割以上を占め、「市内」居住者がより多くなっています。
- ・ 一方で、「トレーニングコート」は、「市外」が5割近くを占め、「市外」居住者にも多く利用されている施設といえます。



問4 職業（該当するものに○1つ）

- ・ 全体では、「無職」が48.1%と最も多く、次いで「専業主婦・主夫」が17.8%、「会社員・会社役員」が15.6%となっています。
- ・ 施設別に見ると、「体育館」では「専業主婦・主夫」、「テニスコート」では「会社員・会社役員」の割合が、他の施設よりも高くなっています。

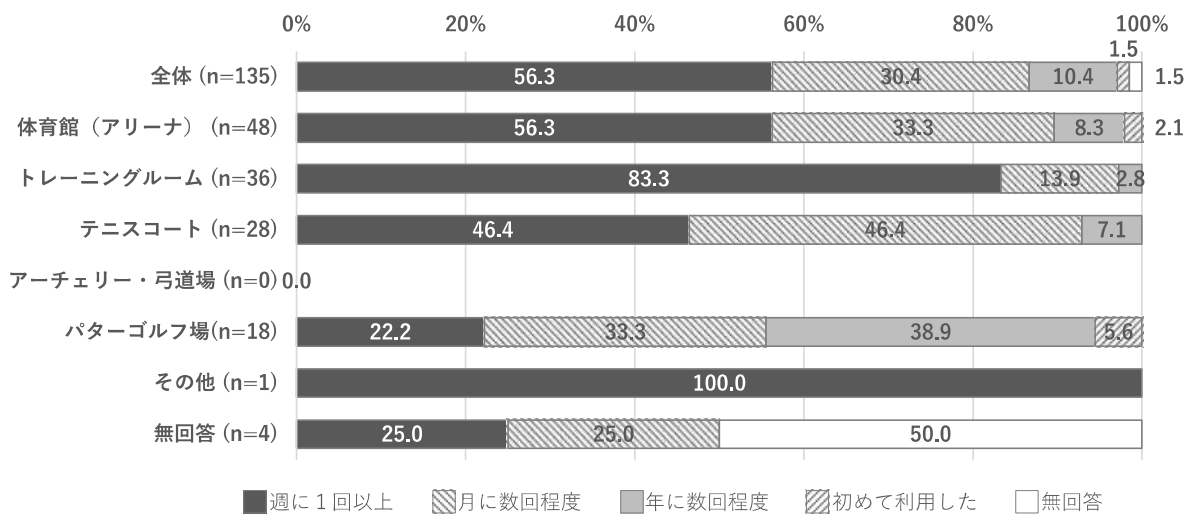


問5 本日、利用された施設を教えてください。(該当するものに○1つ)

- 1 ページの回収状況のとおり。

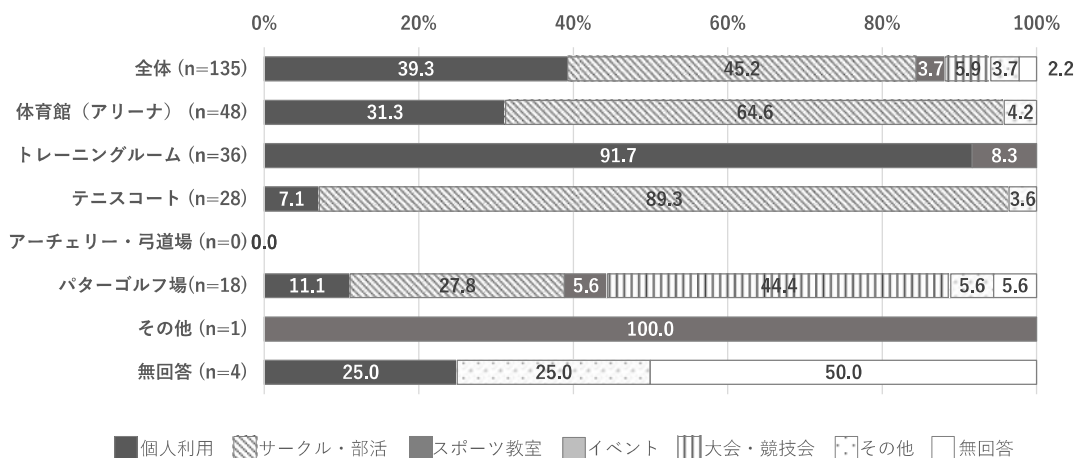
問6 本施設の利用頻度について教えてください。(該当するものに○1つ)

- 全体では、「週に1回以上」が56.3%と最も多く、「月に数回程度(30.4%)」と合わせて9割近くの方が、施設を定期的にご利用されています。
- 施設別に見ると、「トレーニングルーム」では、「週に1回以上」が8割以上を占めており、利用頻度の高い方が特に多い施設といえます。
- 一方で、「パターゴルフ場」では、「年に数回程度」が38.9%と最も多くなっています。



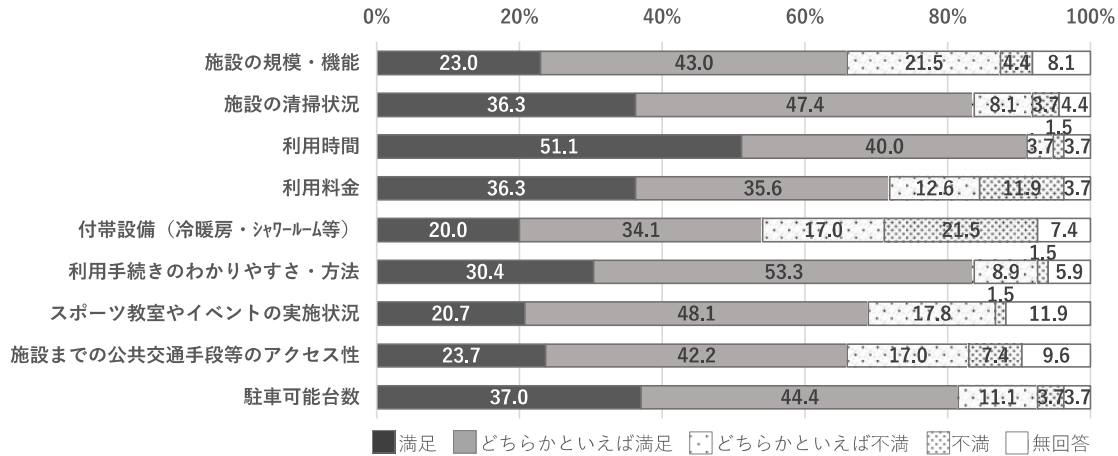
問7 本施設の主な利用目的について教えてください。(該当するものに○1つ)

- 全体では、「サークル・部活」が45.2%と最も多く、次いで「個人利用」が39.3%、「大会・競技会」が5.9%となっており、さまざまな目的で利用されています。
- 施設別に見ると、「体育館」、「テニスコート」では「サークル・部活」、「トレーニングルーム」では「個人利用」、「パターゴルフ場」では「大会・競技会」の割合が、他の施設よりも高くなっています。



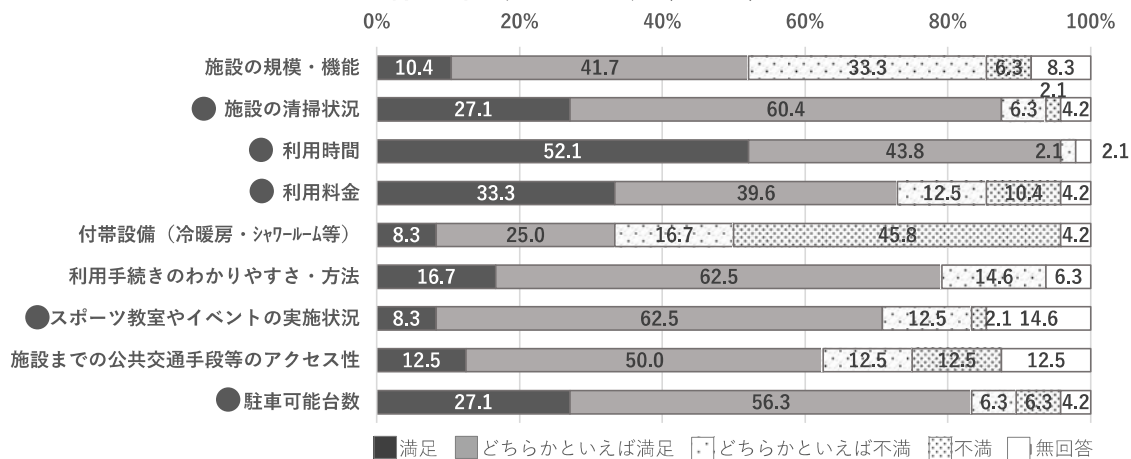
問8 本施設の満足度について教えてください。(各項目で該当するものに○1つ)

- 全体では、ほとんどの項目で、満足度(「満足」と「どちらかといえば満足」の合計)が6割を超えていますが、「付帯設備(冷暖房・シャワールーム等)」については5割程度にとどまっております、「不満」と「どちらかといえば不満」の合計が4割近くとなっております。

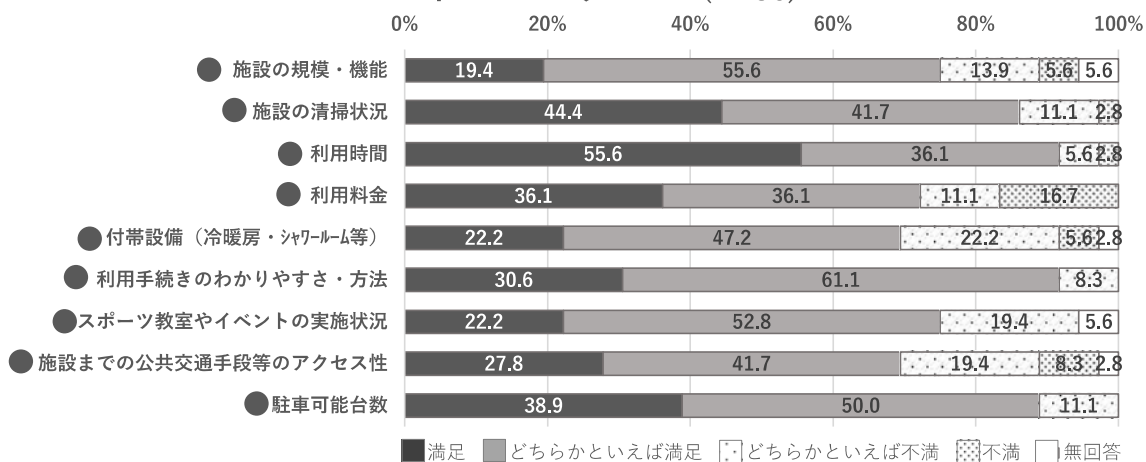


- 施設別で見ると、次表のとおりで、全体に比べて満足度が高い項目には●印を付しています。

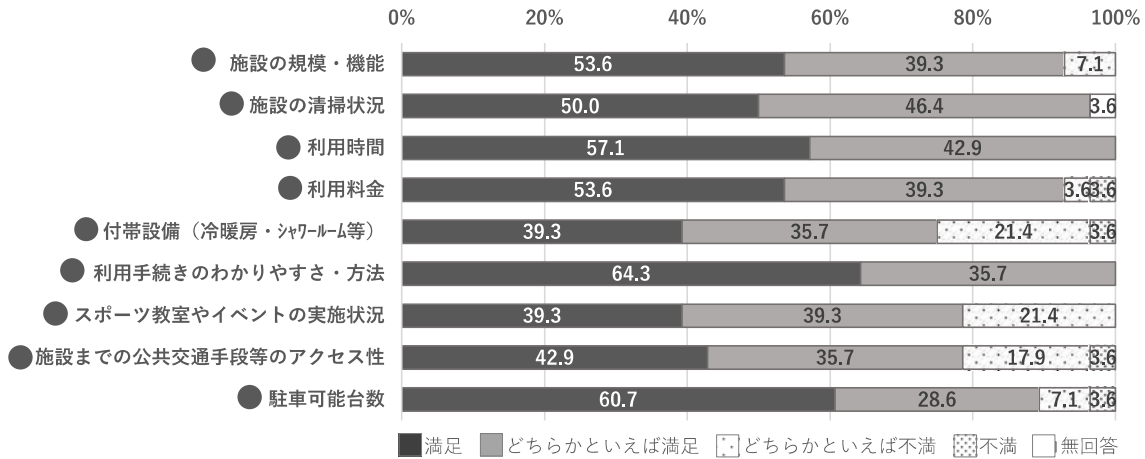
体育館(アリーナ)(n=48)



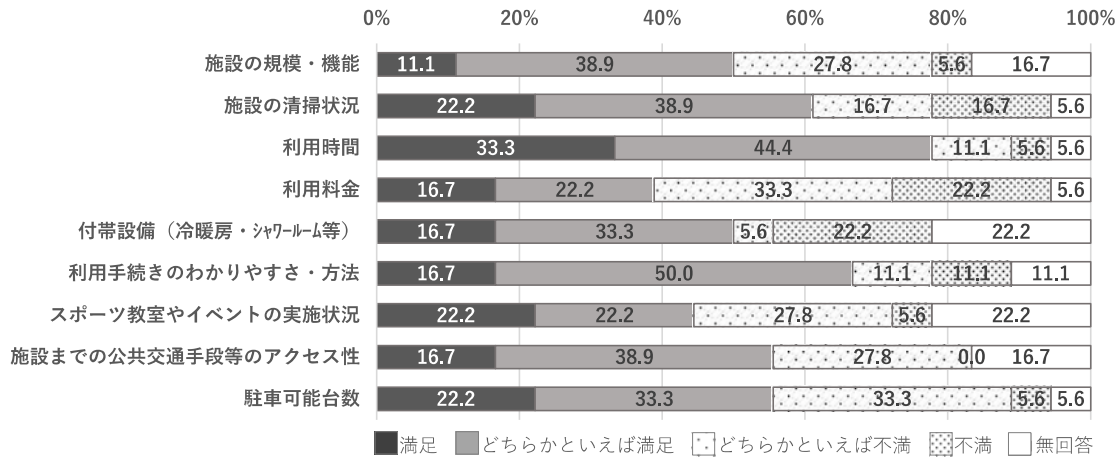
トレーニングルーム(n=36)



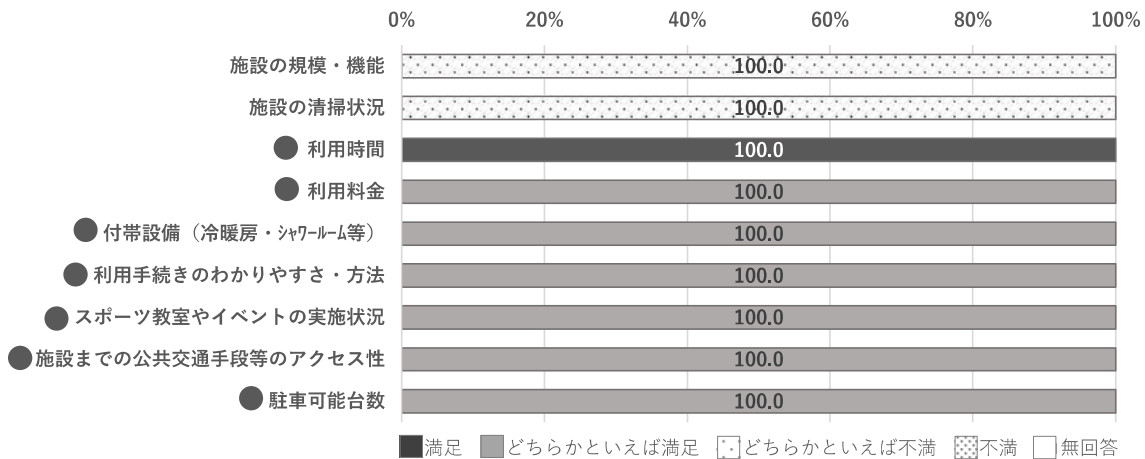
テニスコート(n=28)

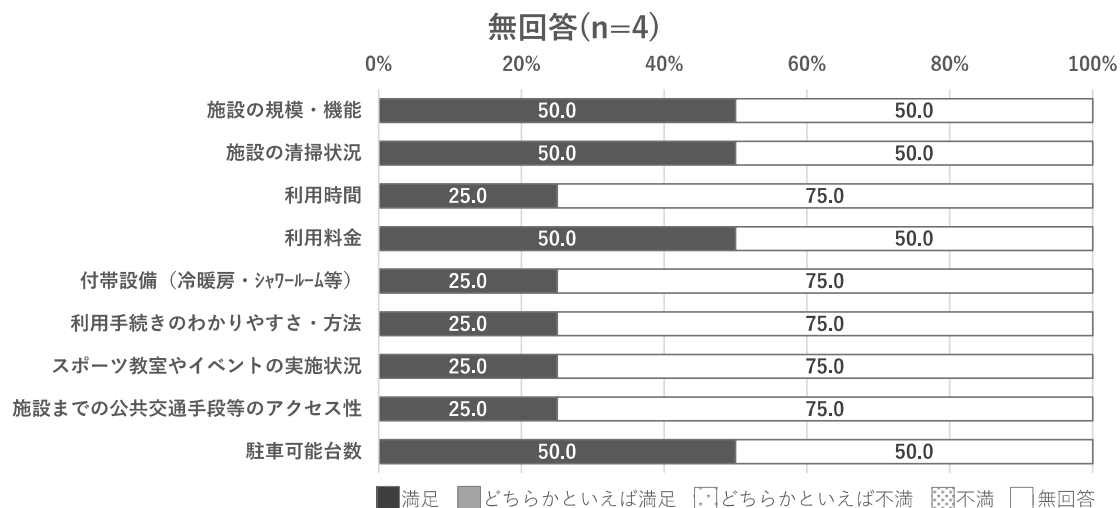


パターゴルフ場(n=18)



その他(n=1)





※アーチェリー・弓道場は回答者が0のため、省略

問9 今後のスポーツ施設にとって、重要だと思うものを教えてください。※お考えに最も近いものを選択してください（○3つまで）

- ・ 全体では、「利用料金の安さ」が40.0%と最も多く、次いで「スポーツ施設数の充実」が36.3%、「付帯設備（冷暖房・更衣室・トイレ（洋式）等）の充実」が34.1%となっています。
- ・ 施設別においても概ね同じ傾向ですが、「テニスコート」では「施設へのアクセスのしやすさ」、「パターゴルフ場」では「スポーツイベントやスポーツ教室の充実」も上位に挙がっています。

	スポーツ施設数の充実	付帯機能（飲食・物販施設や休憩スペース等）の充実	付帯設備（冷暖房・更衣室・トイレ（洋式）等）の充実	利用時間帯の拡大	利用料金の安さ	施設へのアクセスのしやすさ	利用手続き、料金支払い方法などの簡略化	スポーツイベントやスポーツ教室の充実	プロスポーツや全国的・国際的な大会が開催できる本格的な施設	プロスポーツや全国的・国際的な大会が観戦できる施設や空間	駐車場・駐輪場の確保	指導者の配置	バリアフリー・ユニバーサルデザインへの対応	利用案内やイベントなどに関する広報の充実	その他	無回答
全体 (n=135)	36.3	20.0	34.1	3.7	40.0	10.4	4.4	7.4	0.7	0.0	14.8	3.7	4.4	3.7	0.7	21.5
体育館(アリーナ) (n=48)	35.4	18.8	45.8	2.1	35.4	8.3	4.2	2.1	0.0	0.0	18.8	0.0	12.5	2.1	0.0	29.2
トレーニングルーム (n=36)	27.8	25.0	30.6	11.1	33.3	8.3	2.8	5.6	0.0	0.0	13.9	11.1	0.0	5.6	2.8	16.7
テニスコート (n=28)	64.3	17.9	17.9	0.0	39.3	21.4	7.1	7.1	3.6	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
アーチェリー・弓道場 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
パターゴルフ場(n=18)	16.7	22.2	33.3	0.0	66.7	5.6	5.6	27.8	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	16.7
その他 (n=1)	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答 (n=4)	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0

問 10①スポーツ施設の維持管理を続けていくために、どのような取組が効果的だと思いますか。

※お考えに近いものを選択してください（〇3つまで）

- ・ 全体では、「ふるさと納税や寄付等を充てる」が 34.1%と最も多く、次いで「施設の管理に民間のノウハウを活用する」が 33.3%、「ネーミングライツや有料広告等を取り入れて収入を増やす」が 27.4%となっています。
- ・ 施設別においても概ね同じ傾向です。

	施設の数を減らす	施設の利用料金を引き上げる	施設におけるサービスの水準を引き下げる	施設の管理に民間のノウハウを活用する	駐車場料金を有料にする	ネーミングライツや有料広告等を取り入れて収入を増やす	ふるさと納税や寄付等を充てる	その他	無回答
全体 (n=135)	4.4	7.4	4.4	33.3	3.0	27.4	34.1	5.2	34.8
体育館(アリーナ) (n=48)	2.1	8.3	0.0	22.9	0.0	29.2	33.3	6.3	43.8
トレーニングルーム (n=36)	5.6	11.1	8.3	27.8	2.8	22.2	41.7	8.3	30.6
テニスコート (n=28)	0.0	7.1	7.1	64.3	3.6	35.7	25.0	0.0	17.9
アーチェリー・弓道場 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
パターゴルフ場(n=18)	16.7	0.0	0.0	27.8	5.6	22.2	38.9	5.6	38.9
その他 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
無回答 (n=4)	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	50.0

問 10②将来、スポーツ施設の数減らすことが必要になった場合、どのような施設を減らしていくべきだと思いますか。※お考えに近いものを選択してください（該当するものに3つまで○）

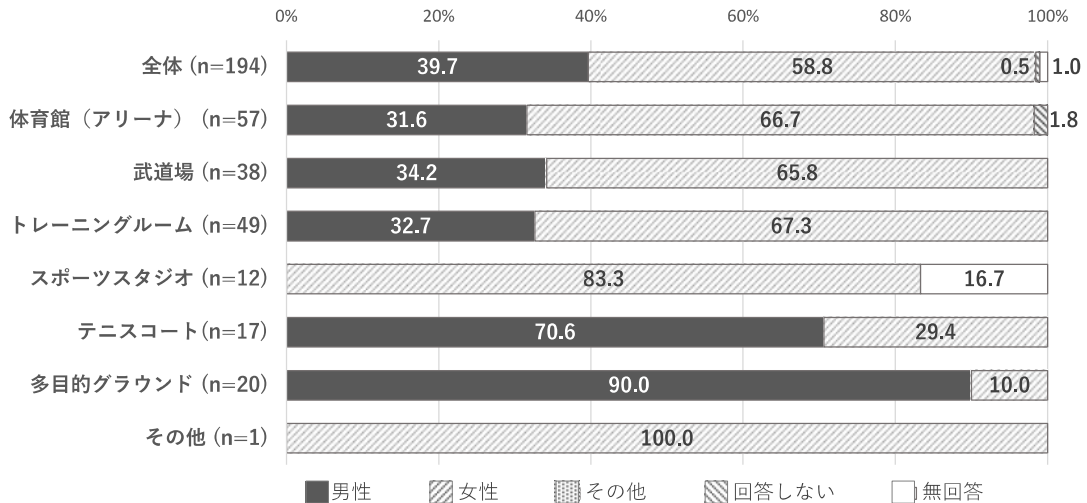
- ・ 全体では、「老朽化が著しい施設」が 41.5%と最も多く、次いで「利用者の少ない施設」が 33.3%、「維持・管理に費用がかかる施設」が 22.2%となっています。
- ・ 施設別においても概ね同じ傾向ですが、「パターゴルフ場」では「交通の便が悪い施設」も上位に挙がっています。

	利用者の少ない施設	老朽化が著しい施設	交通の便が悪い施設	維持・管理に費用がかかる施設	同じようなサービスを提供する施設（公共・民間）が近隣にある施設	その他	無回答
全体 (n=135)	33.3	41.5	12.6	22.2	9.6	1.5	31.1
体育館(アリーナ) (n=48)	25.0	31.3	8.3	16.7	6.3	4.2	41.7
トレーニングルーム (n=36)	27.8	55.6	16.7	30.6	16.7	0.0	19.4
テニスコート (n=28)	57.1	50.0	7.1	25.0	3.6	0.0	17.9
アーチェリー・弓道場 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
パターゴルフ場(n=18)	27.8	38.9	22.2	16.7	11.1	0.0	38.9
その他 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
無回答 (n=4)	50.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	50.0

5 橿原市曾我川緑地体育館 / 6 曾我川緑地

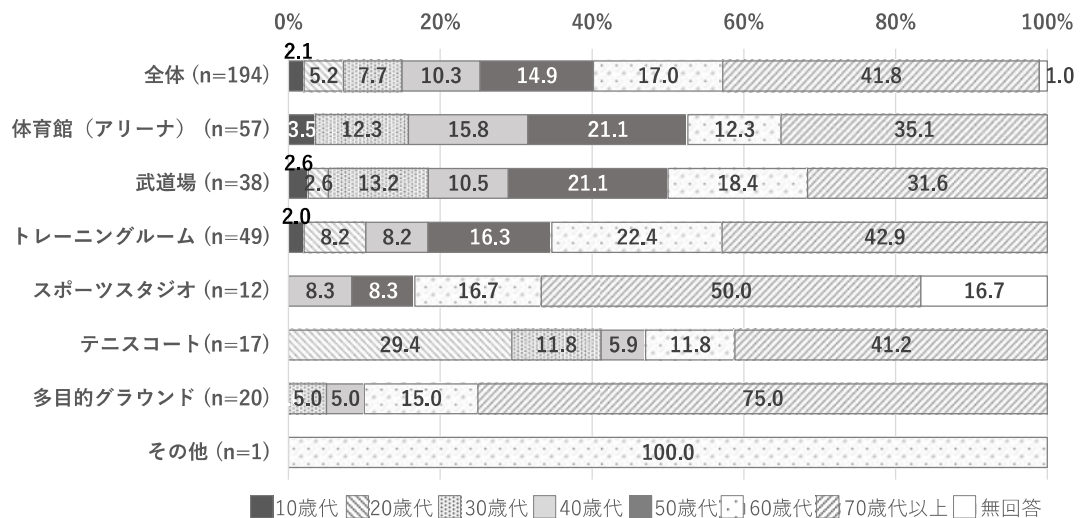
問1 性別（該当するものに○1つ）

- ・ 全体では、「男性」が39.7%、「女性」が58.8%で、女性からの回答の方が多く、6割近くを占めています。
- ・ 施設別に見ると、「体育館」、「武道場」、「トレーニングルーム」、「スポーツスタジオ」は女性の割合が高く、特に「スポーツスタジオ」は8割以上を占めています。「テニスコート」や「多目的グラウンド」は男性の割合が高くなっています。



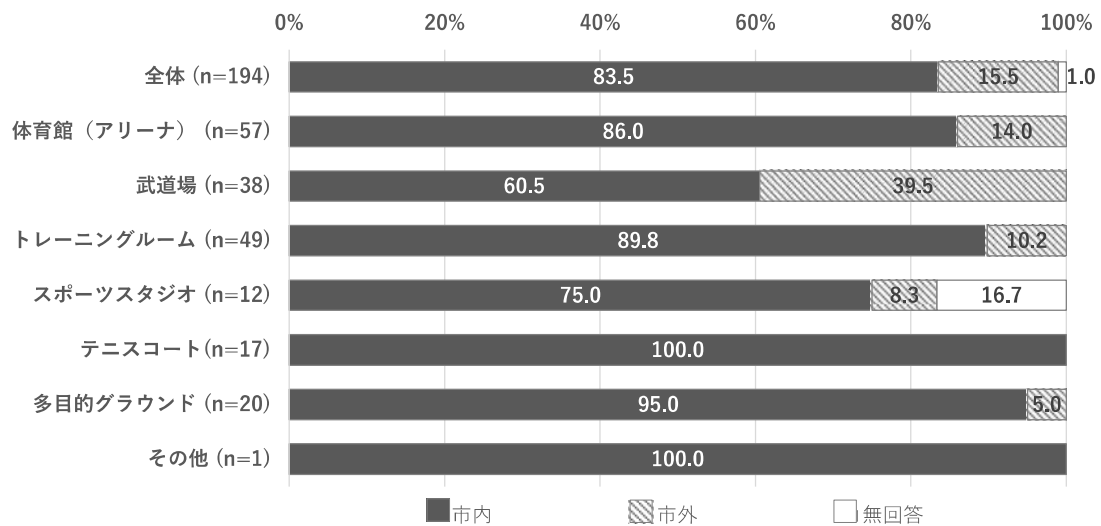
問2 年齢（該当するものに○1つ）

- ・ 全体では、「70歳代以上」が41.8%と最も多く、次いで「60歳代」が17.0%、「50歳代」が14.9%となっており、60歳以上で6割近くを占めています。
- ・ 施設別に見ると、「トレーニングルーム」、「スポーツスタジオ」、「多目的グラウンド」では60歳以上が6割以上を占めており、より利用者の年齢層が高くなっています。



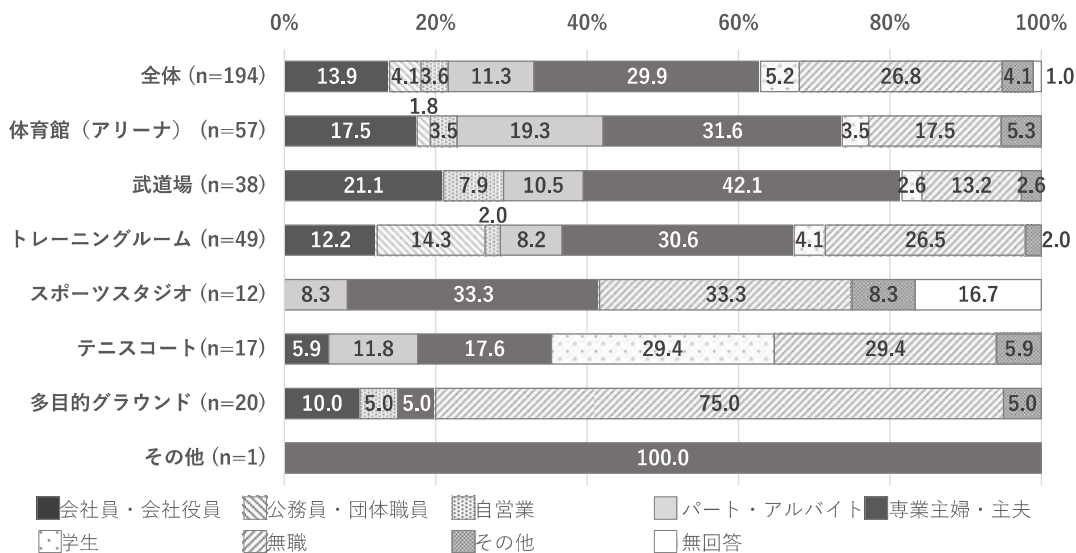
問3 お住まい（該当するものに○1つ）

- ・ 全体では、「市内」が83.5%、「市外」が15.5%となっており、「市内」居住者が8割以上を占めています。
- ・ 施設別に見ると、すべての施設で「市内」居住者が多くなっていますが、「武道場」については4割近くが「市外」居住者となっています。



問4 職業（該当するものに○1つ）

- ・ 全体では、「専業主婦・主夫」が29.9%と最も多く、次いで「無職」が26.8%、「会社員・回や役員」が13.9%となっています。
- ・ 施設別に見ると、「テニスコート」では「学生」が29.4%となっており、他の施設よりも高くなっています。

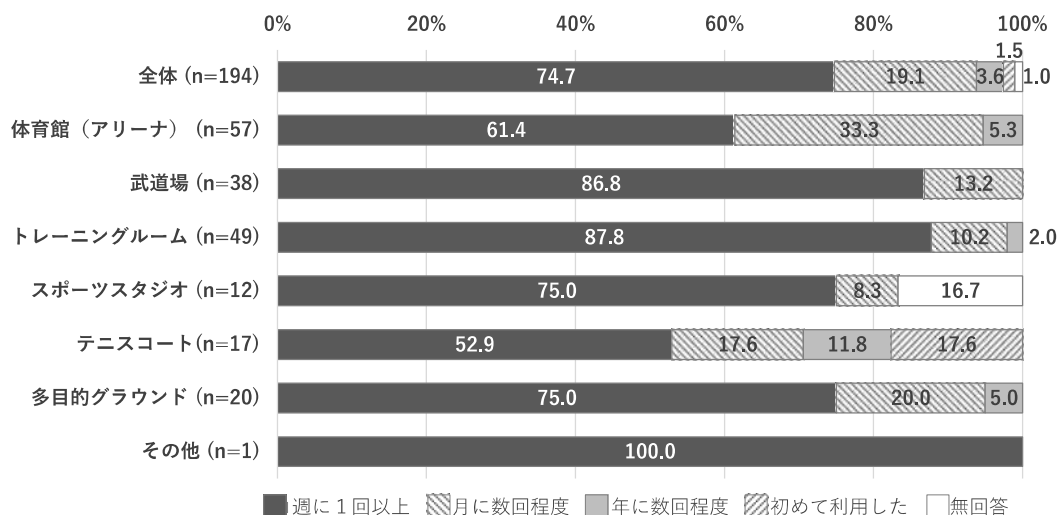


問5 本日、利用された施設を教えてください。(該当するものに○1つ)

- 1 ページの回収状況のとおり。

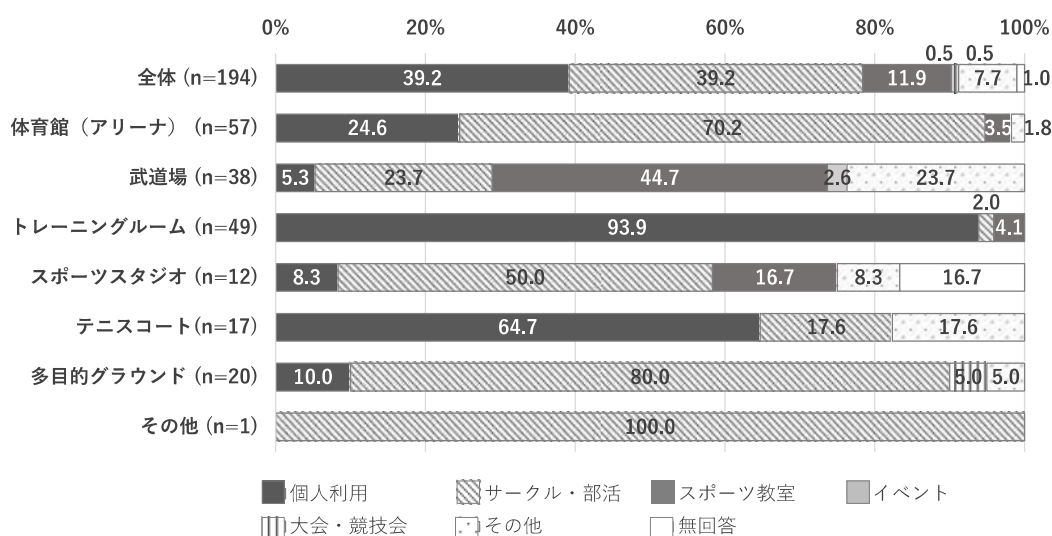
問6 本施設の利用頻度について教えてください。(該当するものに○1つ)

- 全体では、「週に1回以上」が74.7%と最も多く、「月に数回程度(19.1%)」と合わせて9割以上の方が、施設を定期的にご利用されています。
- 施設別に見ると、「テニスコート」以外では、「週に1回以上」が6割以上を占めており、利用頻度の高い方が特に多くなっています。



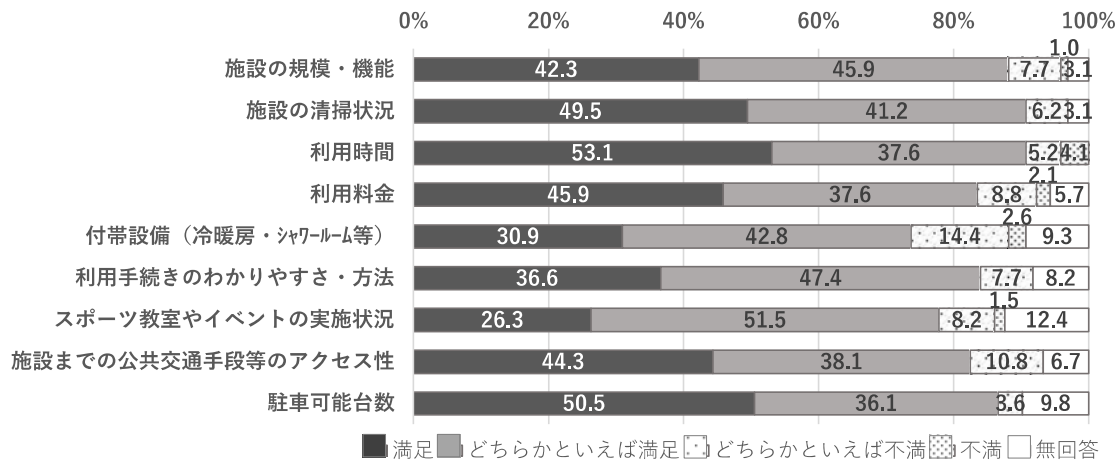
問7 本施設の主な利用目的について教えてください。(該当するものに○1つ)

- 全体では、「サークル・部活」、「個人利用」が39.2%と最も多く、団体・個人とも利用されています。
- 施設別に見ると、「体育館」、「スポーツスタジオ」、「多目的グラウンド」では「サークル・部活」、「トレーニングルーム」では「個人利用」の割合が高くなっています。また、「武道場」では、「スポーツ教室」が44.7%と最も多くなっています。



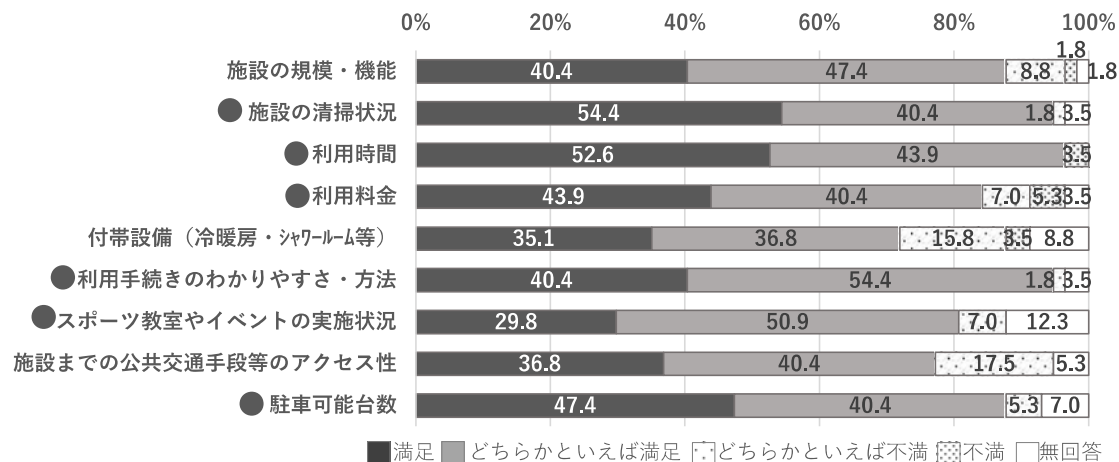
問 8 本施設の満足度について教えてください。(各項目で該当するものに○1つ)

- 全体では、各項目とも、満足度(「満足」と「どちらかといえば満足」の合計)が7割を超えています。

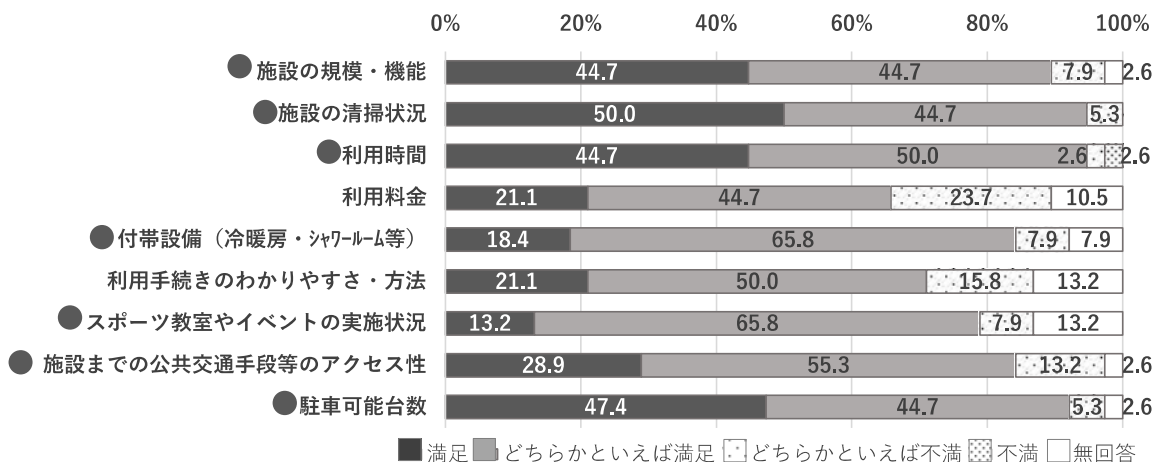


- 施設別で見ると、次表のとおりで、全体に比べて満足度が高い項目には●印を付しています。

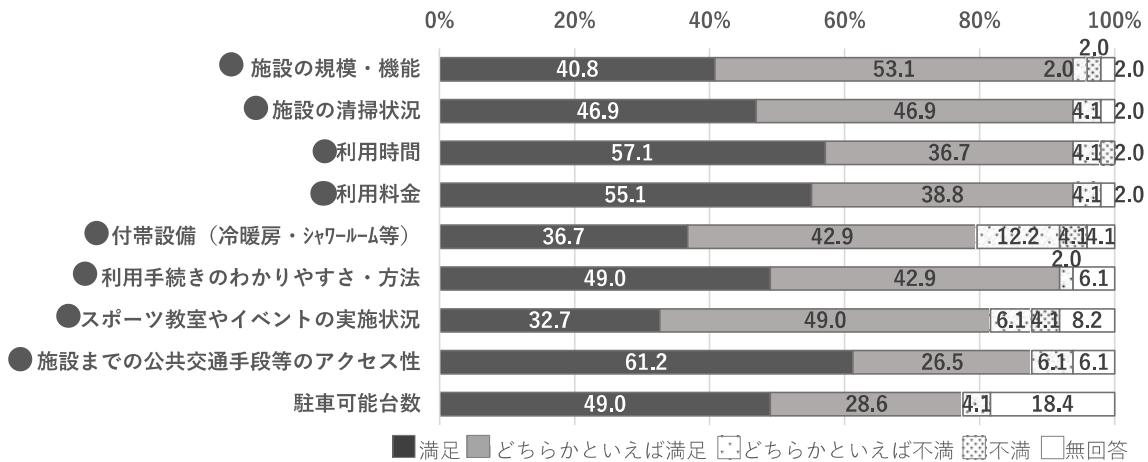
体育館(アリーナ)(n=57)



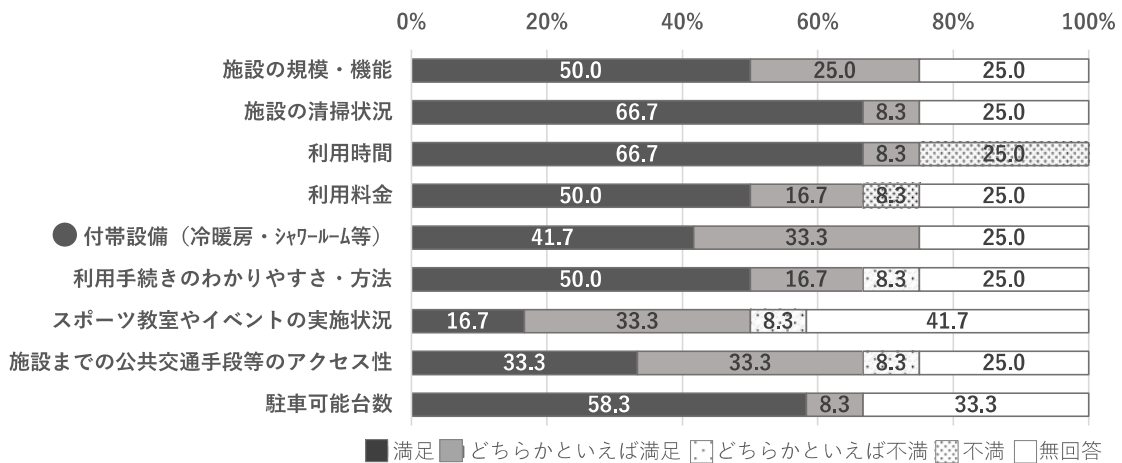
武道場(n=38)



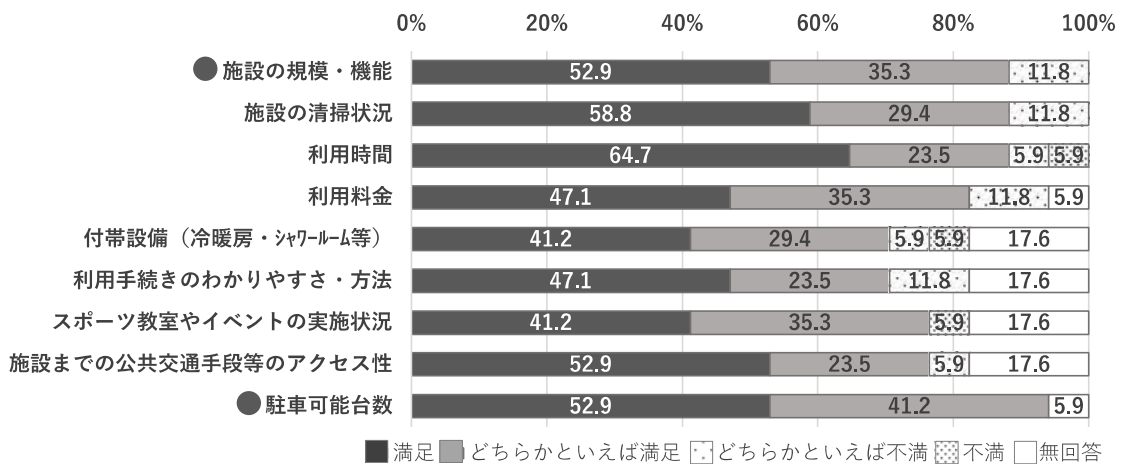
トレーニングルーム (n=49)



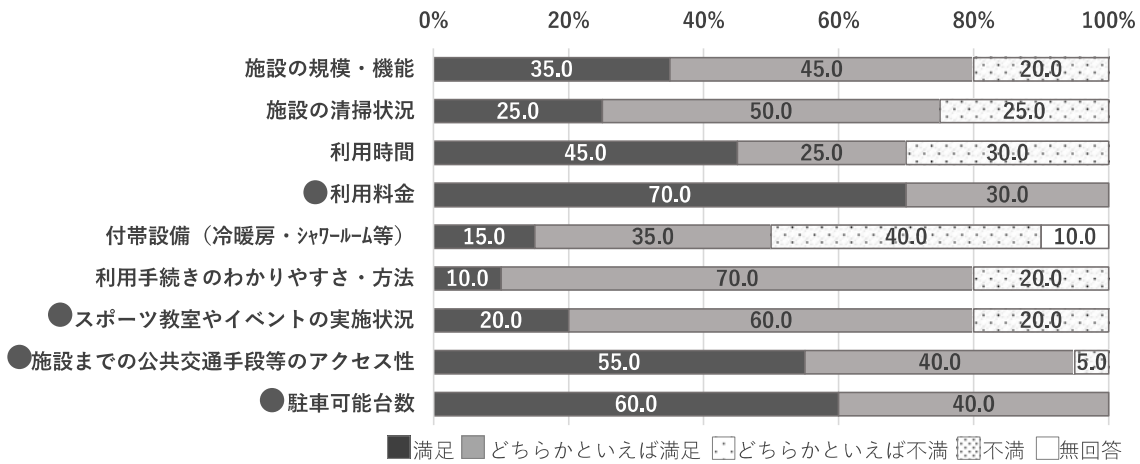
スポーツスタジオ (n=12)



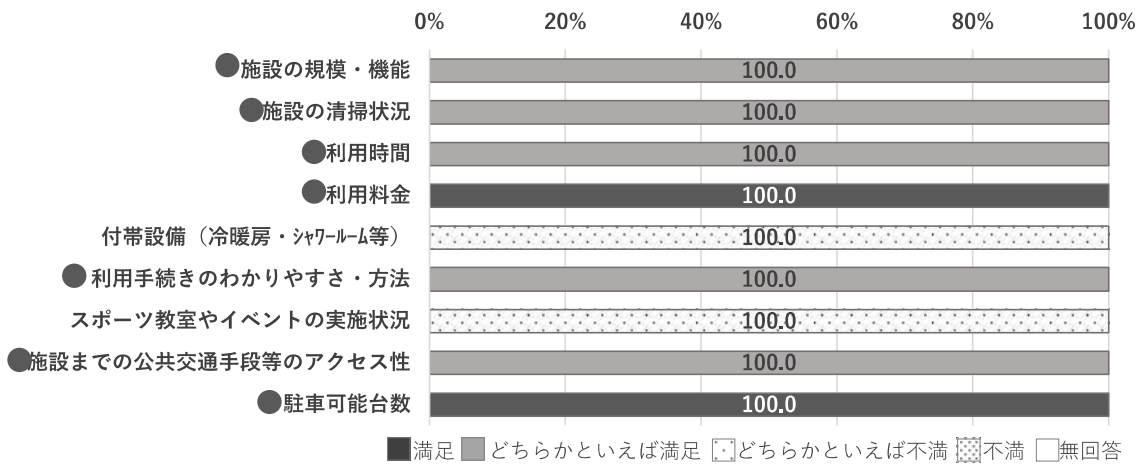
テニスコート (n=17)



多目的グラウンド (n=20)



その他 (n=1)



問9 今後のスポーツ施設にとって、重要だと思えるものを教えてください。※お考えに最も近いものを選択してください（〇3つまで）

- ・ 全体では、「利用料金の安さ」が32.5%と最も多く、次いで「スポーツ施設数の充実」が29.4%、「付帯設備（冷暖房・更衣室・トイレ（洋式）等）の充実」が28.4%となっています。
- ・ 施設別においても概ね同じ傾向ですが、「武道場」では「駐車場・駐輪場の確保」、「スポーツスタジオ」では「付帯機能（飲食・物販施設や休憩スペース等）の充実」や「利用案内やイベントなどに関する広報の充実」、「テニスコート」では「利用手続き、料金支払い方法などの簡略化」、「多目的グラウンド」では「利用時間帯の拡大」や「スポーツイベントやスポーツ教室の充実」も上位に挙がっています。

(%)

	スポーツ施設数の充実	付帯機能（飲食・物販施設や休憩スペース等）の充実	付帯設備（冷暖房・更衣室・トイレ（洋式）等）の充実	利用時間帯の拡大	利用料金の安さ	施設へのアクセスのしやすさ	利用手続き、料金支払い方法などの簡略化	スポーツイベントやスポーツ教室の充実	プロスポーツや全国的・国際的な大会が開催できる本格的な施設	プロスポーツや全国的・国際的な大会が観戦できる施設や空間	駐車場・駐輪場の確保	指導者の配置	バリアフリー・ユニバーサルデザインへの対応	利用案内やイベントなどに関する広報の充実	その他	無回答
全体 (n=194)	29.4	7.2	28.4	8.8	32.5	8.2	9.8	7.7	1.0	3.1	10.8	6.7	4.6	5.2	1.5	30.4
体育館(アリーナ) (n=57)	28.1	3.5	35.1	3.5	33.3	8.8	12.3	5.3	0.0	1.8	12.3	1.8	7.0	1.8	3.5	35.1
武道場 (n=38)	5.3	5.3	28.9	7.9	34.2	5.3	5.3	2.6	2.6	5.3	10.5	5.3	2.6	2.6	0.0	47.4
トレーニングルーム (n=49)	32.7	14.3	38.8	4.1	30.6	14.3	8.2	8.2	2.0	6.1	12.2	18.4	6.1	6.1	2.0	12.2
スポーツスタジオ (n=12)	0.0	8.3	8.3	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	75.0
テニスコート(n=17)	58.8	0.0	5.9	5.9	47.1	0.0	17.6	11.8	0.0	0.0	11.8	5.9	5.9	5.9	0.0	29.4
多目的グラウンド (n=20)	60.0	10.0	15.0	45.0	25.0	5.0	10.0	25.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	15.0	0.0	5.0
その他 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 10①スポーツ施設の維持管理を続けていくために、どのような取組が効果的だと思いますか。

※お考えに近いものを選択してください（〇3つまで）

- ・ 全体では、「ふるさと納税や寄付等を充てる」が 28.4%と最も多く、次いで「ネーミングライツや有料広告等を取り入れて収入を増やす」が 27.3%、「施設の管理に民間のノウハウを活用する」が 24.7%となっています。
- ・ 施設別においても概ね同じ傾向ですが、「スポーツスタジオ」では「施設の数減らす」、「テニスコート」では「施設の利用料金を引き上げる」も上位に挙がっています。

(%)

	施設の数減らす	施設の利用料金を引き上げる	施設におけるサービスの水準を引き下げる	施設の管理に民間のノウハウを活用する	駐車場料金を有料にする	ネーミングライツや有料広告等を取り入れて収入を増やす	ふるさと納税や寄付等を充てる	その他	無回答
全体 (n=194)	6.7	10.8	2.1	24.7	4.1	27.3	28.4	2.1	38.1
体育館(アリーナ) (n=57)	1.8	14.0	1.8	17.5	3.5	26.3	22.8	0.0	43.9
武道場 (n=38)	5.3	0.0	0.0	31.6	0.0	36.8	21.1	2.6	47.4
トレーニングルーム (n=49)	12.2	10.2	4.1	24.5	6.1	20.4	38.8	4.1	26.5
スポーツスタジオ (n=12)	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	16.7	0.0	75.0
テニスコート(n=17)	5.9	17.6	5.9	35.3	0.0	23.5	5.9	5.9	47.1
多目的グラウンド (n=20)	10.0	20.0	0.0	30.0	15.0	50.0	55.0	0.0	5.0
その他 (n=1)	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

問 10②将来、スポーツ施設の数減らすことが必要になった場合、どのような施設を減らしていくべきだと思いますか。※お考えに近いものを選択してください（該当するものに3つまで○）

- ・ 全体では、「老朽化が著しい施設」が 35.6%と最も多く、次いで「利用者の少ない施設」が 33.0%、「維持・管理に費用がかかる施設」が 17.0%となっています。
- ・ 施設別においても概ね同じ傾向ですが、「トレーニングルーム」では「交通の便が悪い施設」も上位に挙がっています。

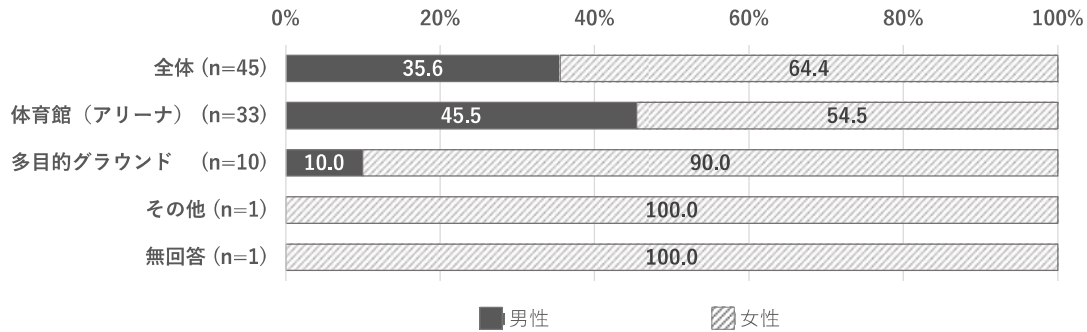
(%)

	利用者の少ない施設	老朽化が著しい施設	交通の便が悪い施設	維持・管理に費用がかかる施設	同じようなサービスを提供する施設（公共・民間）が近隣にある施設	その他	無回答
全体 (n=194)	33.0	35.6	10.3	17.0	12.4	1.5	36.1
体育館(アリーナ) (n=57)	31.6	35.1	5.3	14.0	10.5	1.8	42.1
武道場 (n=38)	21.1	39.5	7.9	13.2	13.2	0.0	47.4
トレーニングルーム (n=49)	26.5	42.9	22.4	22.4	12.2	4.1	24.5
スポーツスタジオ (n=12)	16.7	8.3	0.0	16.7	8.3	0.0	66.7
テニスコート(n=17)	41.2	35.3	5.9	17.6	11.8	0.0	41.2
多目的グラウンド (n=20)	75.0	30.0	10.0	20.0	15.0	0.0	5.0
その他 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

7 檀原市ひがしたけだドーム / 8 東竹田近隣公園

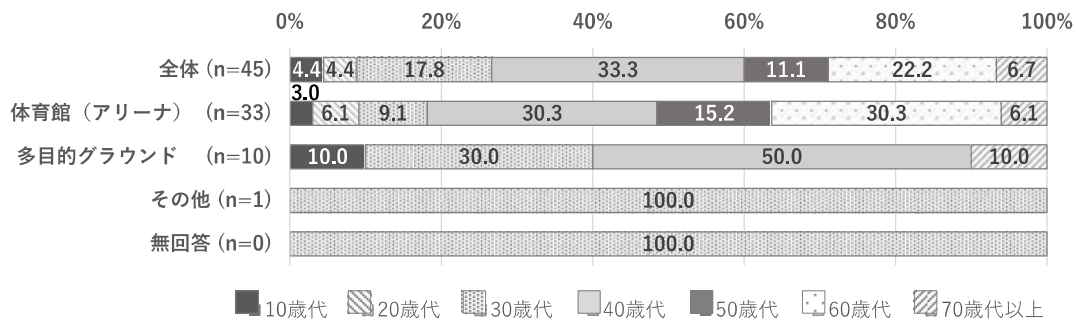
問1 性別（該当するものに○1つ）

- ・ 全体では、「男性」が35.6%、「女性」が64.4%で、女性からの回答が6割以上を占めています。
- ・ 施設別に見ると、「体育館」では概ね同程度ですが、「多目的グラウンド」では「女性」の割合が高くなっています。



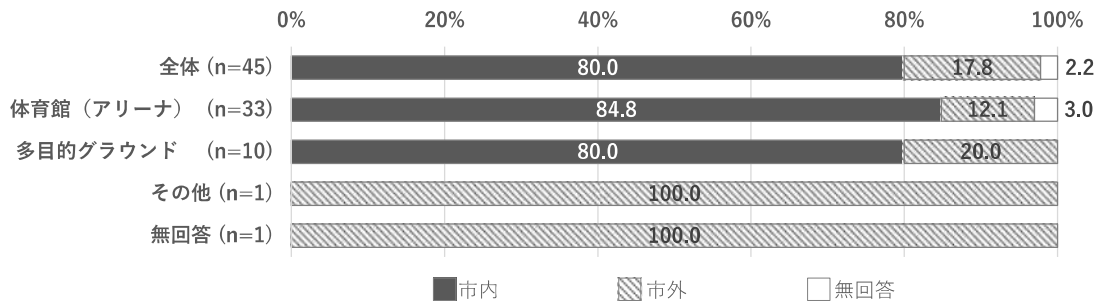
問2 年齢（該当するものに○1つ）

- ・ 全体では、「40歳代」が33.3%と最も多く、次いで「60歳代」が22.2%、「30歳代」が17.8%となっています。
- ・ 施設別に見ると、「多目的グラウンド」では「40歳代」が50.0%と最も多く、次いで「30歳代」が30.0%となっており、比較的若い世代の利用者が多くなっています。



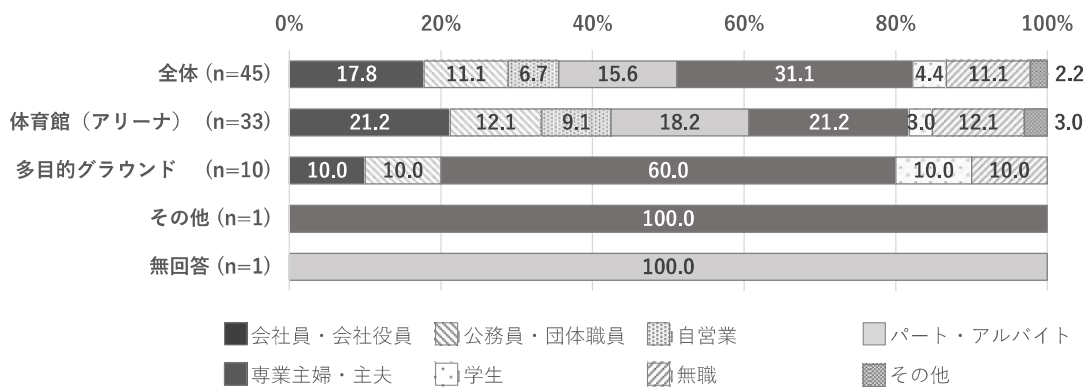
問3 お住まい（該当するものに○1つ）

- ・ 全体では、「市内」が80.0%、「市外」が17.8%となっており、「市内」居住者が多くなっています。
- ・ 施設別においても概ね同じ傾向です。



問4 職業（該当するものに○1つ）

- ・ 全体では、「専業主婦・主夫」が31.1%と最も多く、次いで「会社員・会社役員」が17.8%、「パート・アルバイト」が15.6%となっています。
- ・ 施設別に見ると、「体育館」では「会社員・会社役員」、「専業主婦・主夫」、「多目的グラウンド」では「専業主婦・主夫」の割合が最も多くなっています。

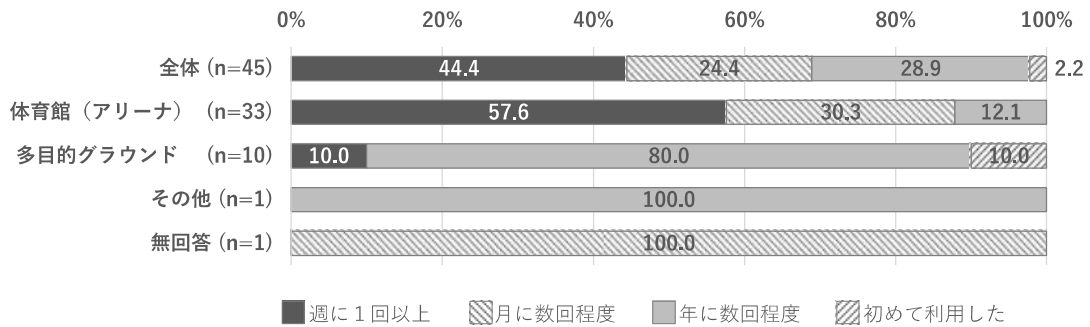


問5 本日、利用された施設を教えてください。（該当するものに○1つ）

- ・ 1 ページの回収状況のとおり。

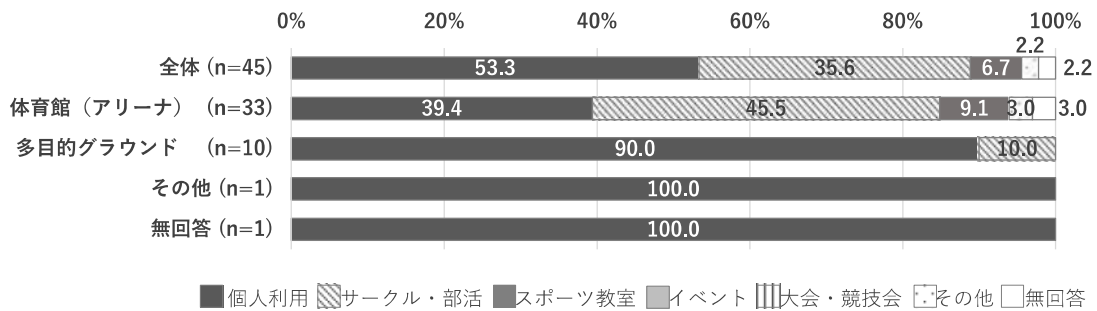
問6 本施設の利用頻度について教えてください。(該当するものに○1つ)

- ・ 全体では、「週に1回以上」が44.4%と最も多く、「月に数回程度(24.4%)」と合わせて7割近くの方が、施設を定期的に利用されています。
- ・ 施設別に見ると、「体育館」では、「週に1回以上」が6割弱を占めており、「月に数回程度(30.3%)」と合わせると9割弱の方が、施設を定期的に利用されています。
- ・ 一方で、「多目的グラウンド」では、「年に数回程度」が80.0%と最も多くなっており、定期的な利用は少ないことがうかがえます。



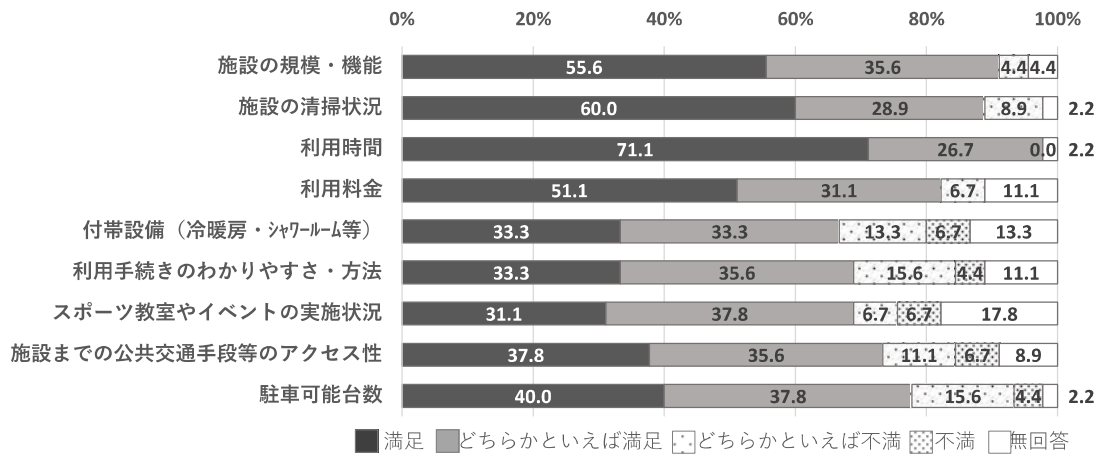
問7 本施設の主な利用目的について教えてください。(該当するものに○1つ)

- ・ 全体では、「個人利用」が53.3%と最も多く、次いで「サークル・部活」が35.6%、「スポーツ教室」が6.7%となっており、さまざまな目的で利用されています。
- ・ 施設別に見ると、「体育館」では「個人利用」、「サークル・部活」それぞれ4割前後となっていますが、「多目的グラウンド」では9割を占めており、割合が高くなっています。

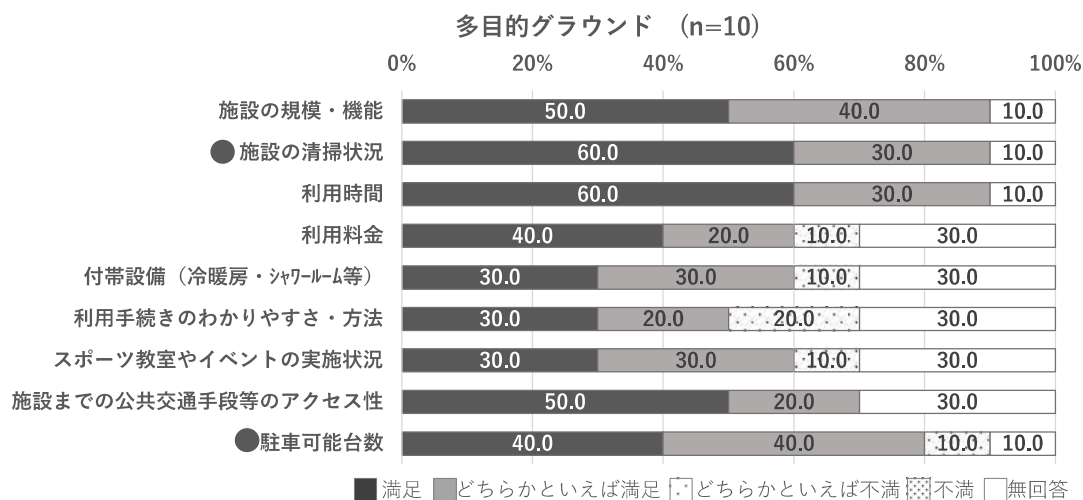
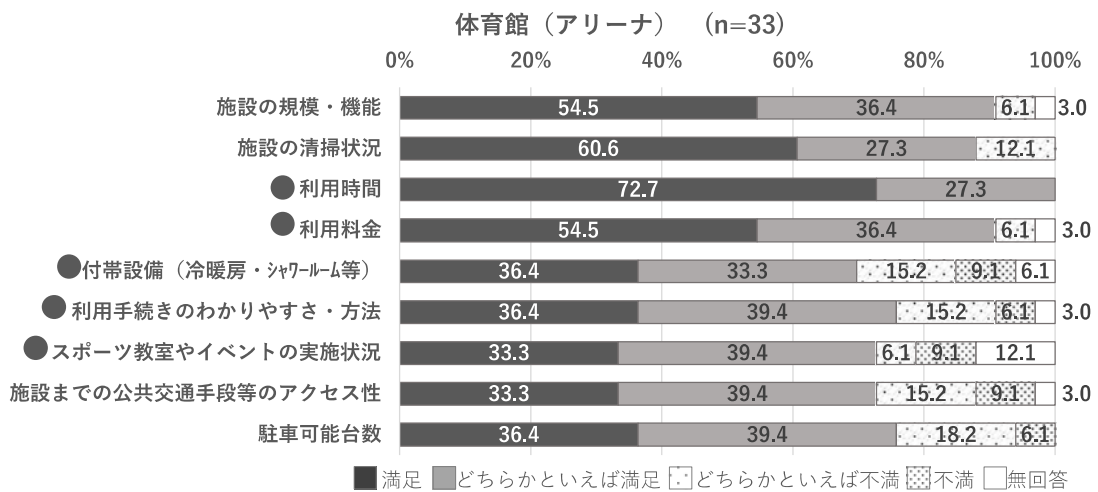


問8 本施設の満足度について教えてください。(各項目で該当するものに○1つ)

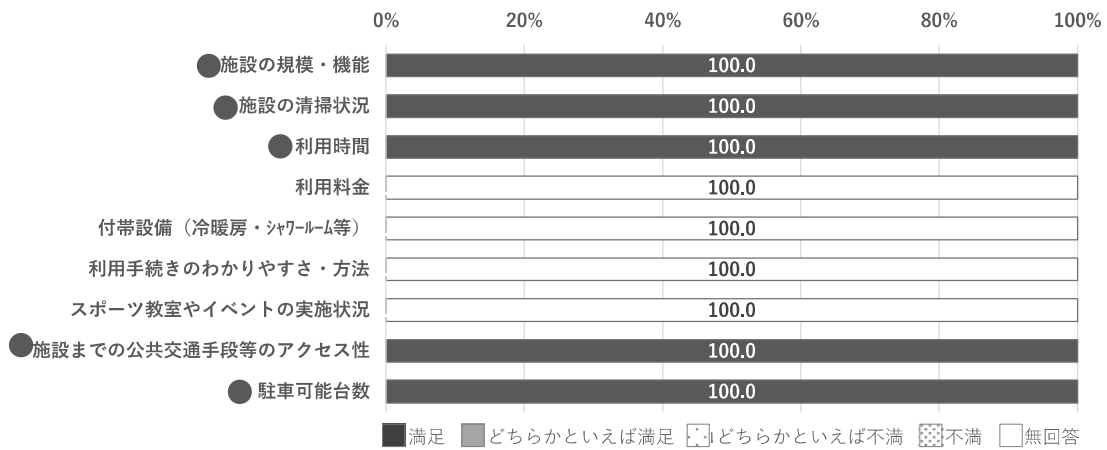
- 全体では、各項目とも、満足度(「満足」と「どちらかといえば満足」の合計)が6割を超えています。



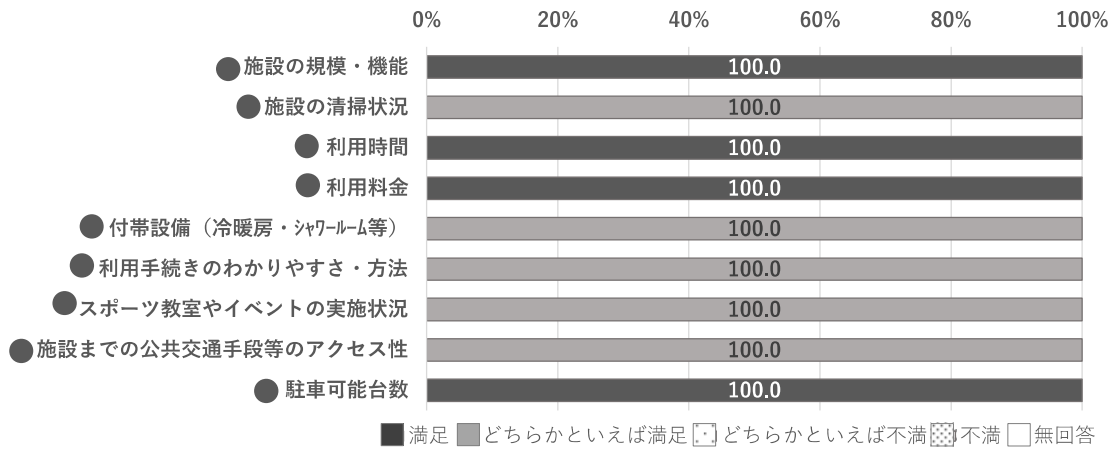
- 施設別で見ると、次表のとおりで、全体に比べて満足度が高い項目には●印を付しています。



その他 (n=1)



無回答 (n=1)



問9 今後のスポーツ施設にとって、重要だと思うものを教えてください。※お考えに最も近いものを選択してください（〇3つまで）

- ・ 全体では、「利用料金の安さ」が44.4%と最も多く、次いで「スポーツ施設数の充実」が26.7%、「利用手続き、料金支払い方法などの簡略化」が24.4%となっています。
- ・ 施設別において、「体育館」では同じ傾向ですが、「多目的グラウンド」では回答数が少ないこともあり票が割れ、さまざまな項目が選択されています。

	スポーツ施設数の充実	付帯機能(飲食・物販施設や休憩スペース等)の充実	付帯設備(冷暖房・更衣室・トイレ(洋式)等)の充実	利用時間帯の拡大	利用料金の安さ	施設へのアクセスのしやすさ	利用手続き、料金支払い方法などの簡略化	スポーツイベントやスポーツ教室の充実	プロスポーツや全国的・国際的な大会が開催できる本格的な施設	プロスポーツや全国的・国際的な大会が観戦できる施設や空間	駐車場・駐輪場の確保	指導者の配置	バリアフリー・ユニバーサルデザインへの対応	利用案内やイベントなどに関する広報の充実	その他	無回答
全体 (n=45)	26.7	13.3	15.6	6.7	44.4	11.1	24.4	4.4	6.7	0.0	15.6	0.0	6.7	4.4	0.0	33.3
体育館(アリーナ) (n=33)	33.3	18.2	12.1	6.1	51.5	12.1	27.3	3.0	3.0	0.0	15.2	0.0	3.0	3.0	0.0	33.3
多目的グラウンド (n=10)	10.0	0.0	30.0	10.0	30.0	10.0	10.0	10.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	10.0	0.0	30.0
その他 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
無回答 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 10①スポーツ施設の維持管理を続けていくために、どのような取組が効果的だと思いますか。

※お考えに近いものを選択してください（〇3つまで）

- ・ 全体では、「ネーミングライツや有料広告等を取り入れて収入を増やす」が 42.2%と最も多く、次いで「ふるさと納税や寄付等を充てる」が 35.6%、「施設の管理に民間のノウハウを活用する」が 26.7%となっています。
- ・ 施設別においても概ね同じ傾向ですが、「多目的グラウンド」では「施設の数減らす」も上位に挙がっています。

	施設の数減らす	施設の利用料金を引き上げる	施設におけるサービスの水準を引き下げる	施設の管理に民間のノウハウを活用する	駐車場料金を有料にする	ネーミングライツや有料広告等を取り入れて収入を増やす	ふるさと納税や寄付等を充てる	その他	無回答
全体 (n=45)	11.1	2.2	0.0	26.7	2.2	42.2	35.6	0.0	35.6
体育館(アリーナ) (n=33)	9.1	3.0	0.0	27.3	0.0	45.5	33.3	0.0	36.4
多目的グラウンド (n=10)	20.0	0.0	0.0	20.0	10.0	30.0	50.0	0.0	30.0
その他 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
無回答 (n=1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問 10②将来、スポーツ施設の数減らすことが必要になった場合、どのような施設を減らしていくべきだと思いますか。※お考えに近いものを選択してください（該当するものに3つまで○）

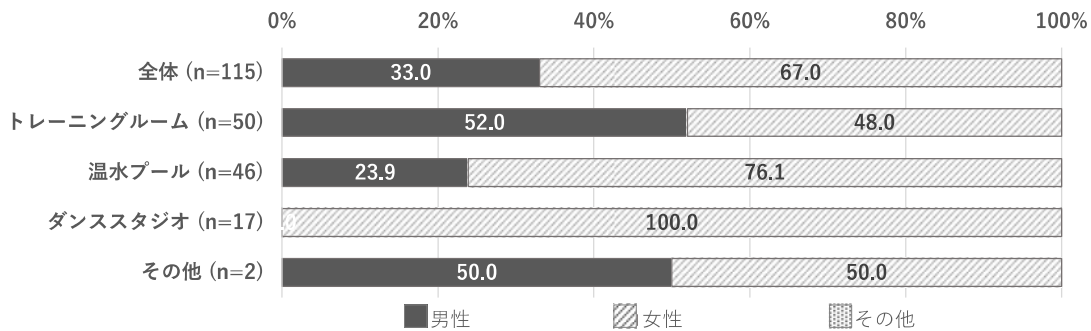
- ・ 全体では、「老朽化が著しい施設」が 46.7%と最も多く、次いで「利用者の少ない施設」が 44.4%、「維持・管理に費用がかかる施設」が 28.9%となっています。
- ・ 施設別においても概ね同じ傾向ですが、「多目的グラウンド」では「交通の便が悪い施設」も上位に挙がっています。

	利用者の少ない施設	老朽化が著しい施設	交通の便が悪い施設	維持・管理に費用がかかる施設	同じようなサービスを提供する施設（公共・民間）が近隣にある施設	その他	無回答
全体 (n=45)	44.4	46.7	22.2	28.9	4.4	2.2	33.3
体育館(アリーナ) (n=33)	48.5	51.5	18.2	33.3	3.0	3.0	33.3
多目的グラウンド (n=10)	30.0	40.0	40.0	20.0	10.0	0.0	30.0
その他 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
無回答 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

9 檀原市新沢千塚公園拠点施設

問1 性別（該当するものに○1つ）

- ・ 全体では、「男性」が33.0%、「女性」が67.0%で、女性からの回答の方が多く、7割近くを占めています。
- ・ 施設別に見ると、「トレーニングルーム」では「男性」の割合が半数以上を占めている一方で、「温水プール」では7割以上、「ダンススタジオ」ではすべてと、「女性」の割合が高くなっています。



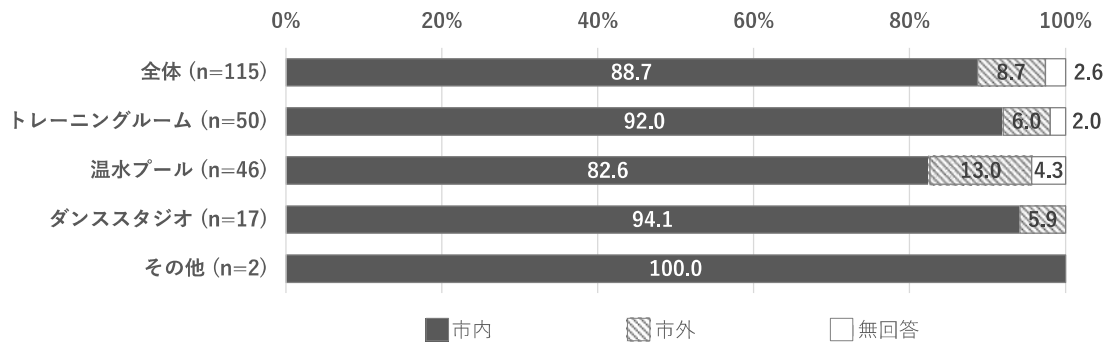
問2 年齢（該当するものに○1つ）

- ・ 全体では、「70歳代以上」が58.3%と最も多く、次いで「60歳代」が24.3%、「50歳代」が10.4%となっています。
- ・ 施設別に見ると、「トレーニングルーム」や「温水プール」では、60歳代以上が9割以上を占めています。一方で、「ダンススタジオ」では30歳代以下が3割以上を占めており、比較的若い世代の利用者が多くなっています。



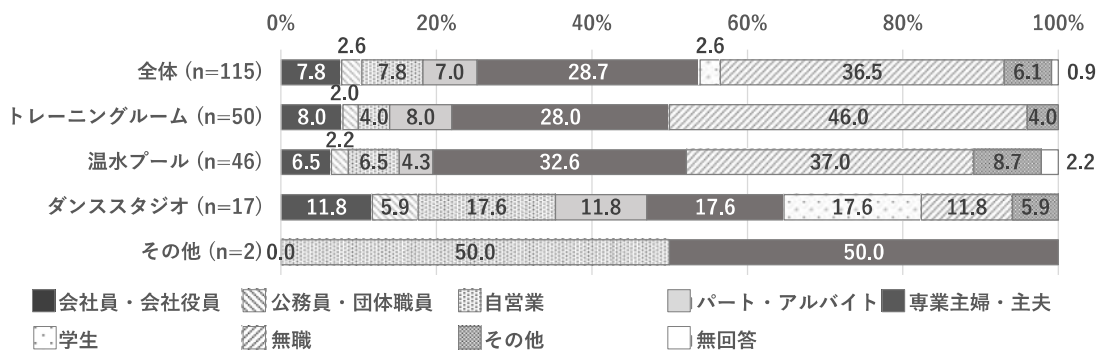
問3 お住まい（該当するものに○1つ）

- ・ 全体では、「市内」が88.7%、「市外」が8.7%となっており、「市内」居住者が多くなっています。
- ・ 施設別においても概ね同じ傾向です。



問4 職業（該当するものに○1つ）

- ・ 全体では、「無職」が36.5%と最も多く、次いで「専業主婦・主夫」が28.7%、「会社員・会社役員」、「自営業」が7.8%となっています。
- ・ 施設別に見ると、「トレーニングルーム」や「温水プール」は、全体と概ね同じ傾向ですが、「ダンススタジオ」では「学生」の割合が、他の施設よりも高くなっています。



問5 本日、利用された施設を教えてください。（該当するものに○1つ）

- ・ 1 ページの回収状況のとおり。

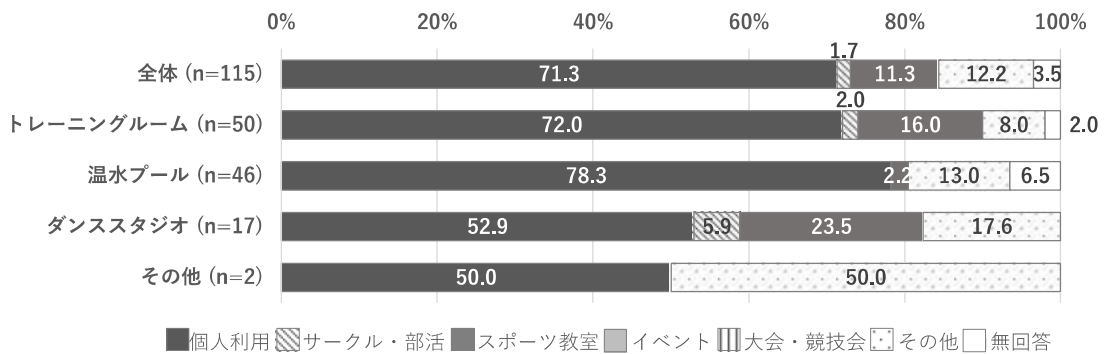
問6 本施設の利用頻度について教えてください。(該当するものに○1つ)

- 全体では、「週に1回以上」が85.2%と最も多く、「月に数回程度(9.6%)」と合わせて9割以上の方が、施設を定期的に利用されています。
- 施設別に見ると、「トレーニングルーム」では、「週に1回以上」が9割以上を占めており、利用頻度の高い方が特に多い施設といえます。
- 一方で、「ダンススタジオ」では、「週に1回以上」が7割以上を占めていますが、「年に数回程度」や「初めて利用した」の割合が、他の施設よりも高くなっています。



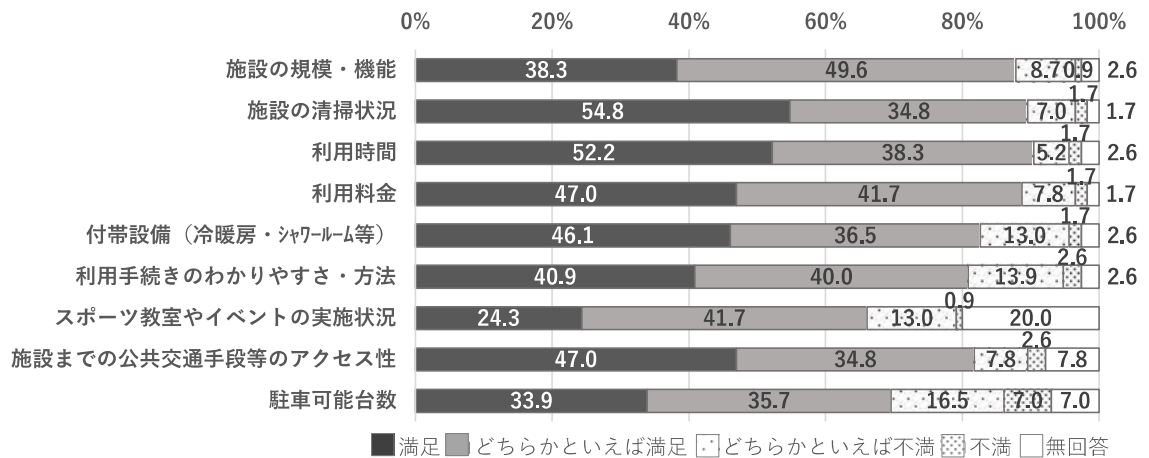
問7 本施設の主な利用目的について教えてください。(該当するものに○1つ)

- 全体では、「個人利用」が71.3%と最も多く、次いで「その他」が12.2%、「スポーツ教室」が11.3%となっており、さまざまな目的で利用されています。
- 施設別に見ると、「温水プール」では「個人利用」、「ダンススタジオ」では「スポーツ教室」の割合が、他の施設よりも高くなっています。

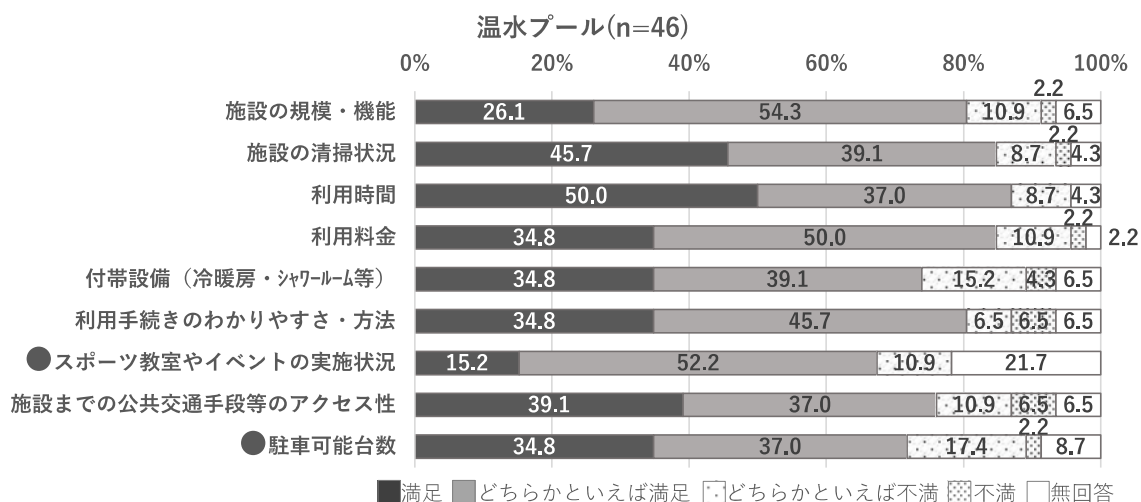
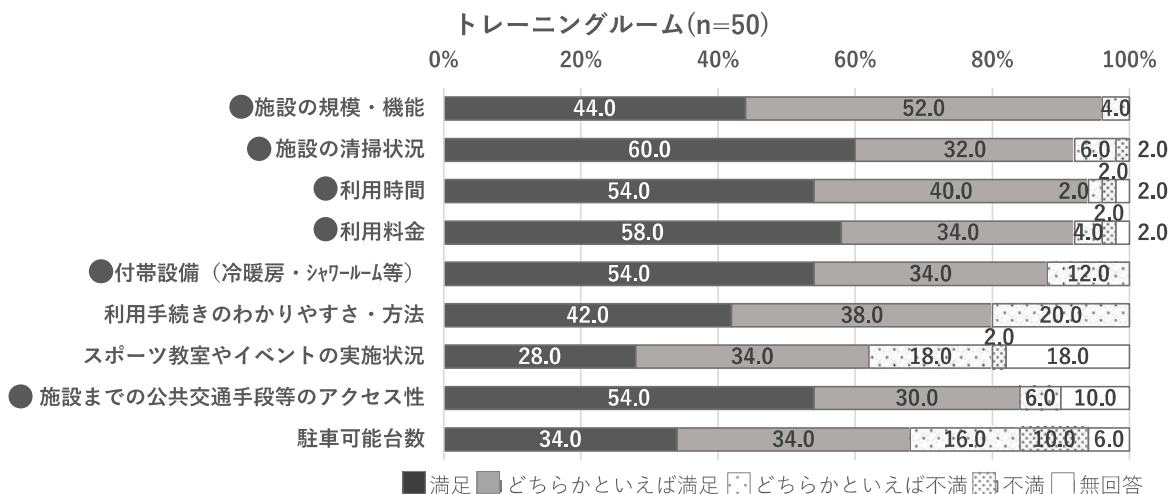


問8 本施設の満足度について教えてください。(各項目で該当するものに○1つ)

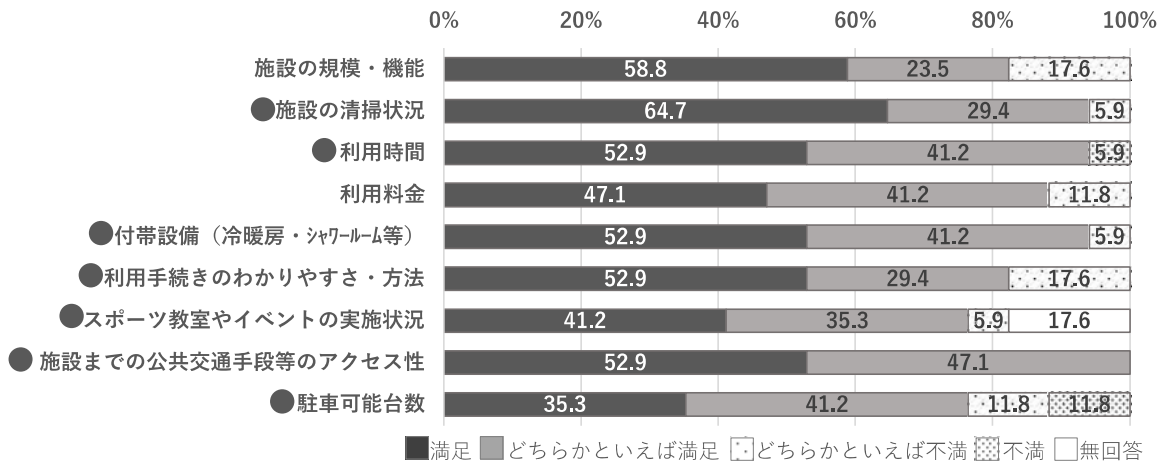
- 全体では、各項目とも、満足度(「満足」と「どちらかといえば満足」の合計)が6割を超えています。



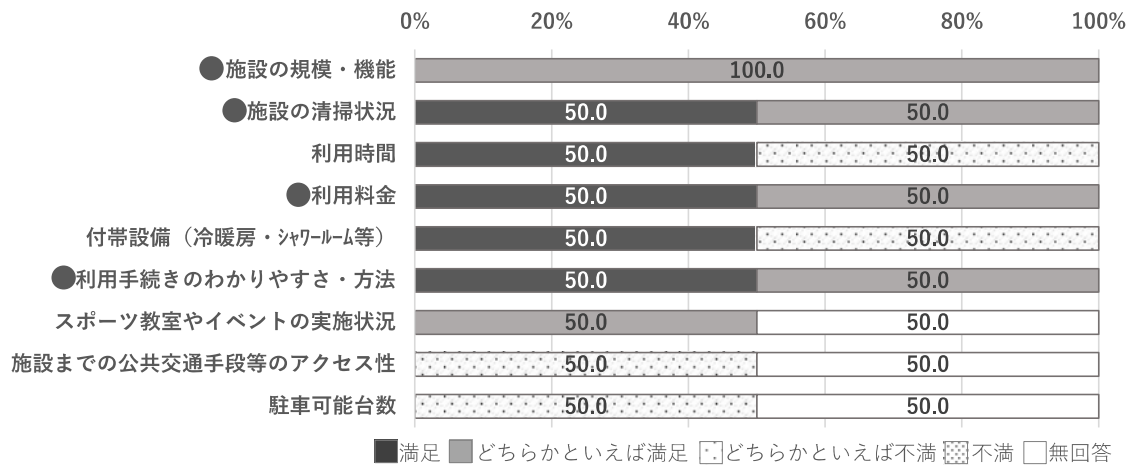
- 施設別で見ると、次表のとおりで、全体に比べて満足度が高い項目には●印を付しています。



ダンススタジオ(n=17)



その他(n=2)



問9 今後のスポーツ施設にとって、重要だと思うものを教えてください。※お考えに最も近いものを選択してください（〇3つまで）

- ・ 全体では、「利用料金の安さ」が33.3%と最も多く、次いで「スポーツ施設数の充実」が25.2%、「付帯設備（冷暖房・更衣室・トイレ（洋式）等）の充実」が22.6%となっています。
- ・ 施設別に見ると、「温水プール」では「付帯機能（飲食・物販施設や休憩スペース等）の充実」、「ダンススタジオ」では「利用時間帯の拡大」や「駐車場・駐輪場の確保」も上位に挙がっています。

(%)

	スポーツ施設数の充実	付帯機能（飲食・物販施設や休憩スペース等）の充実	付帯設備（冷暖房・更衣室・トイレ（洋式）等）の充実	利用時間帯の拡大	利用料金の安さ	施設へのアクセスのしやすさ	利用手続き、料金支払い方法などの簡略化	スポーツイベントやスポーツ教室の充実	プロスポーツや全国的・国際的な大会が開催できる本格的な施設	プロスポーツや全国的・国際的な大会が観戦できる施設や空間	駐車場・駐輪場の確保	指導者の配置	バリアフリー・ユニバーサルデザインへの対応	利用案内やイベントなどに関する広報の充実	その他	無回答
全体 (n=115)	25.2	16.5	22.6	16.5	33.0	13.0	8.7	10.4	0.9	1.7	16.5	15.7	6.1	6.1	5.2	15.7
トレーニングルーム (n=50)	30.0	18.0	28.0	14.0	34.0	16.0	12.0	14.0	2.0	4.0	18.0	18.0	4.0	8.0	6.0	10.0
温水プール (n=46)	19.6	19.6	19.6	17.4	34.8	10.9	2.2	10.9	0.0	0.0	10.9	19.6	10.9	6.5	4.3	17.4
ダンススタジオ (n=17)	29.4	0.0	17.6	23.5	29.4	11.8	17.6	0.0	0.0	0.0	23.5	0.0	0.0	0.0	5.9	29.4
その他 (n=2)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 10①スポーツ施設の維持管理を続けていくために、どのような取組が効果的だと思いますか。

※お考えに近いものを選択してください（〇3つまで）

- ・ 全体では、「ふるさと納税や寄付等を充てる」が 32.2%と最も多く、次いで「施設の管理に民間のノウハウを活用する」が 29.6%、「ネーミングライツや有料広告等を取り入れて収入を増やす」が 27.0%となっています。
- ・ 施設別においても概ね同じ傾向です。

(%)

	施設の数を減らす	施設の利用料金を引き上げる	施設におけるサービスの水準を引き下げる	施設の管理に民間のノウハウを活用する	駐車場料金を有料にする	ネーミングライツや有料広告等を取り入れて収入を増やす	ふるさと納税や寄付等を充てる	その他	無回答
全体 (n=115)	6.1	8.7	6.1	29.6	3.5	27.0	32.2	9.6	24.3
トレーニングルーム (n=50)	4.0	12.0	6.0	34.0	2.0	28.0	42.0	10.0	22.0
温水プール (n=46)	10.9	6.5	6.5	32.6	2.2	32.6	23.9	10.9	21.7
ダンススタジオ (n=17)	0.0	5.9	5.9	11.8	0.0	5.9	29.4	5.9	41.2
その他 (n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0

問 10②将来、スポーツ施設の数減らすことが必要になった場合、どのような施設を減らしていくべきだと思いますか。※お考えに近いものを選択してください（該当するものに3つまで○）

- ・ 全体では、「老朽化が著しい施設」が 56.5%と最も多く、次いで「利用者の少ない施設」が 39.1%、「交通の便が悪い施設」が 18.3%となっています。
- ・ 施設別に見ると、「温水プール」や「ダンススタジオ」では「維持・管理に費用がかかる施設」や「同じようなサービスを提供する施設（公共・民間）が近隣にある施設」も上位に挙がっています。

(%)

	利用者の少ない施設	老朽化が著しい施設	交通の便が悪い施設	維持・管理に費用がかかる施設	同じようなサービスを提供する施設（公共・民間）が近隣にある施設	その他	無回答
全体 (n=115)	39.1	56.5	18.3	16.5	15.7	0.9	22.6
トレーニングルーム (n=50)	46.0	60.0	26.0	14.0	16.0	2.0	20.0
温水プール (n=46)	34.8	60.9	15.2	17.4	17.4	0.0	21.7
ダンススタジオ (n=17)	29.4	41.2	5.9	23.5	5.9	0.0	35.3
その他 (n=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0

3 総括

各施設のアンケート結果を踏まえた、全体の傾向は以下のとおりです。なお、各施設は以下のとおりの表記とします。

(表記)

榎原運動公園	: 運動公園
榎原市中央体育館	: 中央体育館
榎原市香久山体育館・万葉の丘スポーツ広場	: 香久山体育館
榎原市曾我川緑地体育館・曾我川緑地	: 曾我川体育館
榎原市ひがしたけだドーム・東竹田近隣公園	: ひがしたけだドーム
榎原市新沢千塚公園拠点施設	: シルクの杜

1. 回答者属性

- ・性別については、運動公園、中央体育館、香久山体育館では「男性」、曾我川体育館、ひがしたけだドーム、シルクの杜では「女性」の割合が高くなっています。特に、運動公園では「男性」が74.8%、シルクの杜では「女性」が67.0%を占め、それぞれ高い割合となっています。
- ・年齢については、運動公園、ひがしたけだドームでは「40歳代」（運動公園では「30歳代」も同率）、中央体育館、香久山体育館、曾我川体育館、シルクの杜では「70歳以上」が最も高くなっています。テニスコートを除く屋外施設では、比較的若い世代の利用が多くなっています。
- ・居住地については、すべての施設で「市内」利用者が大半を占めており、特にシルクの杜では「市内」居住者が88.7%を占め、高い割合となっています。一方で、運動公園では「市外」居住者が41.0%となっており、他施設に比べると「市外」居住者の割合が高くなっています。
- ・職業については、運動公園では「会社員・会社役員」、中央体育館、香久山体育館、シルクの杜では「無職」、ひがしたけだドームでは「専業主婦・主夫」の割合が最も高くなっており、全体的に社会人や学生の割合は低くなっています。

2. 利用状況

- ・利用頻度については、定期的な利用（「週に1回以上」と「月に数回程度」の合計）は、シルクの杜（94.8%）、曾我川体育館（93.8%）、香久山体育館（86.7%）、中央体育館（84.0%）、ひがしたけだドーム（68.8%）、運動公園（61.3%）の順に、割合が高くなっています。
- ・利用目的については、運動公園、中央体育館、香久山体育館、曾我川体育館では「サークル・部活」（曾我川体育館では「個人利用」も同率）、ひがしたけだドーム、シルクの杜では「個人利用」が最も多くなっています。運動公園では、「大会・競技会」が27.4%となっており、他施設に比べると割合が高くなっています。

3. 施設に対する満足度・要望等

- ・施設の満足度については、すべての施設で各項目とも、満足（「満足」と「どちらかといえば満足」の合計）が6割を超えており、利用施設に対して一定程度満足していることがうかがえます。しか

しながら、「付帯設備（冷暖房、シャワールーム等）」の項目については、香久山体育館で6割を下回っているほか、多くの施設で他の項目より満足度が低くなっています。

- ・今後のスポーツ施設に重要だと思えるものについては、「利用料金の安さ」はすべての施設で共通しており、その他「スポーツ施設数の充実」、「付帯設備（冷暖房・更衣室・トイレ（洋式）等）の充実」、「利用手続き、料金支払い方法などの簡略化」が上位にあがっています。
- ・スポーツ施設の維持管理を続けるために効果的な取組については、すべての施設で「施設の管理に民間のノウハウを活用する」、「ネーミングライツや有料広告等を取り入れて収入を増やす」、「ふるさと納税や寄付等を充てる」が上位にあがっています。
- ・また、スポーツ施設の数減らすことが必要になった場合の対象施設については、「利用者の少ない施設」、「老朽化が著しい施設」はすべての施設で共通しており、その他「維持・管理に必要なかかる施設」や「交通の便が悪い施設」が上位にあがっています。



検討資料編 5 パブリックコメント結果

橿原市スポーツ施設計画（案）

パブリックコメント実施概要

スポーツの実施状況、施設の利用状況、安全性、機能性、経済性、耐震性などを基にスポーツ施設のあり方や配置、有効活用について検討を行い、スポーツ施設の安全性・持続性を確保するための橿原市スポーツ施設計画を策定するにあたり、本計画案について市民等から直接に意見及び提言を求め、それに対する本市の考え方等を公表するとともに、意思決定に反映させる機会を確保するためにパブリックコメントを実施しました。

1 公開した資料

- 橿原市スポーツ施設計画（案）
- 橿原市スポーツ施設計画（案）の概要版
- 検討資料編 1 対象施設基本情報
- 検討資料編 2 対象施設の方向性・基本方針・適用手法一覧表
- 検討資料編 3 橿原市スポーツ施設のあり方に関するアンケート調査結果報告書（市民アンケート）
- 検討資料編 4 橿原市スポーツ施設の利用に関するアンケート調査結果報告書（利用者アンケート）

2 意見の募集期間

令和4年1月5日（水）正午 から 令和4年1月31日（月）まで
（郵便・FAX・電子メール・Webフォームの場合においても、締切日到着分までの受付）

3 閲覧場所

- ・本庁舎本館1階ロビー ・本庁舎北館1階ロビー ・分庁舎1階ロビー ・かしはら万葉ホール1階ロビー ・保健福祉センター北館1階ロビー
- ・橿原運動公園事務所棟 ・中央体育館受付前 ・香久山体育館ロビー ・万葉の丘スポーツ広場事務所 ・曾我川緑地体育館ロビー
- ・ひがしたけだドームロビー ・シルクの杜ロビー ・市ホームページ

4 意見を提出できる方

- ・市内に在住、在勤、在学する方 ・市内に事務所または事業所を有する個人及び法人その他の団体 ・市税の納税義務者
- ・パブリックコメント手続きに係る事案に利害関係を有する個人及び法人その他の団体

5 意見提出方法

- ・直接持参 ・郵送 ・FAX ・電子メール ・WEBフォーム

橿原市スポーツ施設計画（案）

パブリックコメント結果概要

1 意見提出者数

19名

2 意見提出方法

- ・直接持参 1名 ・郵送 1名 ・FAX 1名 ・電子メール 5名 ・WEBフォーム 11名

橿原市スポーツ施設計画（案）

パブリックコメント意見内容と回答

1 表の見方

記載内容は、以下の項目を設けて整理しています。

項目	説明
提出者NO	提出者数19名の提出順通し番号
意見分類（対象施設）	いただいた意見の対象施設
意見内容	いただいた意見内容
市の考え	いただいた意見に対する本市の考え
該当ページ	橿原市スポーツ施設計画（案）における「市の考え」該当ページ

2 意見内容と回答の一覧

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
1	・曾我川緑地体育館 トレーニングルーム ・市スポーツ施設全般	<p>曾我川緑地体育館をよく利用します。トレーニングルームの会員です。その上で、いくつかの意見を書きます。まず、体育館のトイレが、和式です。洋式も便座が温まらないタイプのもので、冬は冷たくて困ります。今どき、公共の施設で和式はないでしょう。次に、更衣室のシャワーの水量が少ないです。故障かと思う程です。善処して下さい。トレーニングルームには、マスク着用の張り紙がありますが、鼻を出してトレーニングしている人が散見されます。コロナ拡大の観点から職員さんにも数回お願いしましたが、まだ100%ではありません。クラスター発生の可能性があります。善処をお願いします。トレーニングルームの機器が、劣化しています。使えない程ではありませんが、市の施設である以上、予算の増額が必要です。 予算がないのは理解出来ませんが、それをやりくりするのが行政の腕の見せ所です。 訳の分からない市民が宿泊しないホテルを建てて市民へのサービスを低下させ、肝心の施設の管理を後回しにするような事はやめていただきたいです。住み良い街作りは、ほんの小さなパズルのピースを埋めて行くところがスタートではないでしょうか。また、大和八木と言う、大阪、京都、名古屋の三大都市からのアクセスが良い駅を持ちながら、なんら有効に活用出来ていないのは残念です。特急を降りて徒歩数分で行けるスタジアムがあれば、また、そのスタジアムにプロチームのフランチャイズが絡めば、大きな税収も見込めるのでは無いでしょうか。広島市民球場をモデルに、何か出来ないでしょうか。ドームなら、コンサート収益も期待できます。何か大きな手を仕掛けても良いと思います。そうなると、ホテルも回るようになると思います。今のままだと、橿原市は限界集落に陥ります。八木駅周辺に活気がある今のうちに、奈良県のスポーツの中心となるべく新たなチャレンジをして欲しいです。</p>	<p>トレーニングルームについては、現状の利用者数、利用料収入の推移や民間施設数の推移などの状況から、方向性は「集約化検討」としています。なお、集約化検討にあたっては民間施設との棲み分け、将来ニーズの動向などを十分に踏まえ、今後の方向性を定めていきます。こうした検討を進めながら計画的に、設備・機器の更新・改善に取り組んでいきます。</p> <p>また、令和13年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催を絶好の機会ととらえ、中南和のみならず、奈良県のスポーツの中心地となるべく、スポーツ振興、地域活性化、地域振興等に取り組んでいきます。</p>	P20 P38 P53

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
2	・橿原運動公園総合プール	<p>いつもお世話になっております。</p> <p>一市民として、僭越ながらご意見を述べさせていただきます。</p> <p>総合プールが廃止になるかも…と伺いました。現在の市財政だとかなり厳しい状況だという事ですが、何とか存続させられないでしょうか？管理体制が変わったとしても存続して頂きたいです。コロナ禍で子供達のみならず市民の生活はかなり制限されていますが、未来への希望の光としてプールも存続させられないでしょうか？</p>	<p>橿原市総合プールは供用開始から40年以上が経過し、老朽化の進展による維持管理費の増大が見込まれ、将来にわたる安全性や機能性を確保するためには、大規模更新や改修が不可欠な状況にあります。また、近年では、余暇の多様化、少子高齢化の進展、猛暑の影響など利用者数が減少しています。</p> <p>こうした状況のなか、施設を存続させるための方策についても、慎重に検討を重ねてきましたが、限られた財源の下、施設を健全に運営し続けることは極めて困難であると判断した結果、「廃止」としています。</p> <p>一方、アンケート調査やパブリックコメントにおいても、プールに対する需要を確認できることから、老朽化している学校プールの集約検討や、近隣公共施設、民間プール施設との連携など、代替機能の確保について検討を重ねていきたいと考えています。</p>	P16 P34 P46

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
3	・市スポーツ施設全般	<p>橿原市はこれからの施設の維持管理を長年していけるのですか？お荷物にはならないのでしょうか？</p> <p>それに対するシミュレーションは、できているのでしょうか？</p>	<p>運動・スポーツは、市民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なもので、日常的に運動・スポーツを続けるためには、気軽に運動・スポーツに親しめる場所の確保が欠かせません。</p> <p>スポーツ施設計画は、本市におけるスポーツ環境の持続的な提供、スポーツを活かしたまちづくりのために、どのような施設がどの程度必要になるのか、スポーツの実施状況、スポーツ施設の利用状況、安全性、機能性、経済性等を基にスポーツ施設のあり方や配置、有効活用について30年の計画期間でシミュレーションを行い、スポーツ施設の安全性・持続性を確保するための方向性を示すものです。</p> <p>今後は本計画に基づく整備、保全等の実施により、スポーツ施設における効果的・効率的な行政サービスを将来にわたって継続的に提供していきます。</p>	P46～ P64

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
4	・橿原運動公園全般	<p>現在の橿原運動公園では大規模な国体等のスポーツ大会が開催できないだけでなく、陸上競技場など不足している施設もございます。またアクセスも悪く、市民が気軽に立ち寄れるような場所ではありません。国体のメイン会場、陸上競技が橿原市で開催できるチャンスであったのに、県立橿原公園との交換を、議会と市長の対立のみで白紙にするのは市民利益を著しく損なっております。橿原公園は橿原市中心部に近く、アクセスも良い立地ですので、市民の普段使いには格好の場所です。また大規模スポーツ大会が開催できる施設群を整備するには広範な敷地が必要です。今一度、橿原市が国体のメイン会場、陸上競技の会場となるよう県との協議をお願いします。加えて、今回の計画においては都市公園としての運動公園に係る記述がないように思います。スポーツ施設計画ですので、あえて入れておられないのかもしれませんが、ただストックとしてのスポーツ施設を評価するのではなく、集客施設としての運動公園、具体的にはPark-PFI等を活用したカフェや交流施設の設置についても、ぜひご検討ください。発達段階の子どもたちが安全に柔らかな路面で運動ができるよう、スポーツ施設周辺の芝生広場化やウッドチップなど柔らかい素材でのランニングコース設置についても、よろしくお願いします。</p>	<p>橿原運動公園と県立橿原公園の一体整備については、奈良県と協議、検討を重ねてきましたが、残念ながら実現には至りませんでした。</p> <p>令和13年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会を契機としたスポーツ振興、地域振興を目指し、市内での各種競技の誘致、大会開催に向け県と協議を進めます。</p> <p>橿原運動公園は都市公園法に基づく総合公園であり、休息・運動等のレクリエーション空間となるほか、快適で自然ある都市環境の形成や緑地の確保、都市の防災性の向上など、多様かつ重要な役割・機能をはたしています。</p> <p>こうした公園の趣旨を十分に踏まえ、様々な検討をしながら、子どもから大人までより多くの人が集い、憩い、楽しめる魅力あふれる公園を目指していきます。</p>	P46～ P49

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
5	・市スポーツ施設全般	施設利用者特に子育て世代、高齢者などの安心安全の確保 公共施設（公園、体育館、公民館など）でのセキュリティーの強化・WIFI環境の整備・監視カメラの設置・外灯設置（LED化も含む）・施設扉開閉、トイレ扉開閉にオートロック採用（時間、リモート、暗証番号、履歴）・死角をなくす（植栽の剪定方法など）WIFI環境の整備をする事で安心安全の確保を向上させ、利用者、受付など効率化、サービス向上につながる 安心安全、サービス向上により施設への誘客、リピーターが増える	利用者のニーズを正確に把握し、費用対効果などのバランスを考慮しながら、利用者の安心・安全を第一に、サービスの向上につながる設備・機器の導入や改善・改修に努めます。	P57～ P64

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
6	・榑原運動公園総合プール	榑原市に生まれ育って、現在も榑原市に住み、子育てをしている年代の者です。榑原運動公園総合プールに関して 榑原市スポーツ施設計画（案）を読ませていただきました。P16にも安全性や機能性・経済性の評価が“劣”とのことで、改廃の対象と表記がありました。安全性や機能性に関しては、利用の際に最優先すべき事ですので、しっかりと修繕なり指定管理をしてもらえたらと思います。ただ、経済性の部分に関しては、申し訳ありませんがもう少し利用の工夫や促進をはかってほしいと感じます。ずっと水泳を楽しんで過ごしてきて、今でも家族で健康のためにプールを利用したいと思うことがあります。ですが、その時にも榑原の総合プールの利用をしたいと思って自分なりに探してみても、あまり利用できる良い方法が見つかりません。榑原市に住み税金を納めながら、隣の大和高田市にあるコミュニティプールを毎週利用している現状です。屋外と屋内でまた環境も違うとは思いますがシーズンであっても市民が健康推進のために利用しようと感じることができないのは、少し残念な気持ちです。幼い頃から利用していた榑原のプールに思い入れがあることだけでなく、実際に利用したいと思っている市民はいると思います。これまでも市民の健康推進のため色々企画してもらって、現在はコロナ禍も重なって大変かと思いますが、ぜひ市民が利用しやすい環境を提供してもらえたら幸いです。お忙しいとは思いますが、ご検討よろしくお願ひします。	榑原市総合プールは供用開始から40年以上が経過し、老朽化の進展による維持管理費の増大が見込まれ、将来にわたる安全性や機能性を確保するためには、大規模更新や改修が不可欠な状況にあります。また、近年では、余暇の多様化、少子高齢化の進展、猛暑の影響など利用者数が減少しています。 こうした状況のなか、施設を存続させるための方策についても、慎重に検討を重ねてきましたが、限られた財源の下、施設を健全に運営し続けることは極めて困難であると判断した結果、「廃止」としています。 一方、アンケート調査やパブリックコメントにおいても、プールに対する需要を確認できることから、老朽化している学校プールの集約検討や、近隣公共施設、民間プール施設との連携など、代替機能の確保について検討を重ねていきたいと考えています。	P16 P34 P46

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
7	・曾我川緑地体育館 トレーニングルーム	<p>曾我川緑地体育館のトレーニングルームは残すべきだと思います。筋肉トレーニングは、高齢者のフレイルを防ぐためにも非常に重要であることが明らかになっています。</p> <p>フレイルとは、わかりやすく言えば「加齢により心身が老い衰えた状態」のことです。高齢化社会において、筋肉トレーニング、有酸素運動マシンなどによる運動は、介護状態の防止とも関係して、ますます重要性が高いと思われれます。</p>	<p>トレーニングルームについては、現状の利用者数、利用料収入の推移や民間施設数の推移などの状況から、方向性は「集約化検討」としています。</p> <p>なお、ご意見の内容のとおり、トレーニングルームが高齢者のフレイルを防ぐことを含め、市民の健康増進と体力維持向上に寄与する施設であることを十分念頭に置いたうえで、集約化検討にあたっては民間施設との棲み分け、将来ニーズの動向などを十分に踏まえ、今後の方向性を定めていきます。</p>	P21 P38 P53

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
8	・榎原運動公園 全般	<p>「対象施設の方向性・基本方針・適用手法一覧」P2 「榎原運動公園」について</p> <p>昔子どもが小さいころには、芝生広場や遊具で遊ばせるために、晴れた週末にはよく家族で運動公園にでかけていました。最近、サッカー場が大きく新設され、芝生広場がなくなってしまいました。また、新しいサッカー場は高いネットで囲われており、公園の景観もおおきく変わりました。起伏があって、自然を感じることができた小道は、自然な感じの道から無骨なアスファルトに変えられてしまいました。何気に小さな子どもがのぼるのが好きだった、大きな石も端の方にまとめて移されてしまいました。なにより、自然に近い環境で安心して小さな子供を遊ばせられる広い芝生広場がなくなってしまいました。散歩やジョギングで周回するコースは、新設のサッカー場の周囲を通るので、以前よりも自然を感じることができなくなりました。このように感じる方は多いのではないかと思います。スポーツ施設の充実は大変喜ばしいことですが、小さな子どもを安心して遊ばせられる場所を減らしてしまってもよいのでしょうか。新設されたサッカー場は、料金を払って、大人から子どもまで様々なサッカーチームが利用すると思いますが、サッカー少年も無料で気軽に子供とボールで遊べる芝生広場のような場所からみなボールをけり始めるのではないかと思います。昔の芝生広場やその周辺のような自然を感じられるある程度広いスペースを運動公園のどこかに設けてほしいと強く希望します。</p>	<p>ご意見の内容のとおり、身近な場所で自然環境に近い広場等を使った子どもの遊び場については、子どもの健全な心身の発育のため重要な空間であると考えます。</p> <p>榎原運動公園は都市公園法に基づく総合公園であり、休息・運動等のレクリエーション空間となるほか、快適で自然ある都市環境の形成や緑地の確保、都市の防災性の向上など、多様かつ重要な役割・機能をはたしています。</p> <p>こうした公園の趣旨を十分に踏まえ、様々な検討をしながら、子どもから大人までより多くの人が集い、憩い、楽しめる魅力あふれる公園を目指していきます。</p>	P46～ P49

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
9	・香久山体育館 トレーニング ルーム	<p>香久山体育館を利用させて頂いています。</p> <p>経済性が“劣”になっている事に関し、運営が非効率的な点が種々見受けられ、現状の運営では納得行く評価かと想像されましよう。</p> <p>恐らく指定管理下にて民間企業に運営を丸投げされているのかと想像しますが、人員配置が非効率的、機器使用需要に対応していない（常に稼働していない機器がそのままになっている反面、高稼働機器が不足の傾向有り）。利用者に対するマナー指導が殆どなされていない（不愉快に感じる事が偶に有る）。</p> <p>例：ダンベルの投下、大声のかけ声での機器使用、機器を占有して若しくはスマホを持ち込んでの複数利用者の雑談、等。設備の安全性、機能性が“良”となっており結構な事ですが、Maintenance面で見直す所が有る様に思います。現場で対応されている方々は、十分満足行く対応をされている事から判断し、上記は運営方針を策定される部門で見直し等吟味願えれば如何かと存じます。利用者が比較的高年齢が多いかと思えます。高齢層は間違いなく近い将来退会する筈にて、中長期的視野に立ち30-60歳代の利用者獲得を目指しての積極的募集活動が必要かと存じます。周りの同年齢層に聞いても市運営の設備の存在すら認知されていないのが現状でしょう。民間設備を利用した事も有りますが、上記の殆どが異なる所かと存じます。</p> <p>上記気づくままに記載しました。</p>	<p>香久山体育館を含む体育館及び橿原運動公園については、指定管理による運営を行っています。いただいた意見について、指定管理者と共有・協議し、より良い運営・管理に努めます。</p> <p>トレーニングルームについては、現状の利用者数、利用料収入の推移や民間施設数の推移などの状況から、方向性は「集約化検討」としています。なお、集約化検討にあたっては民間施設との棲み分け、将来ニーズの動向などを十分に踏まえ、今後の方向性を定めていきます。</p>	P19 P36 P50

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
10	・市スポーツ施設全般	<p>今回の課題には若干異なるかと存じますが、この機会に関連意見として私見を記入致します。ご一読賜わりますれば幸甚です。</p> <p>最初に橿原運動公園と橿原公園との交換が実現しなかった事は甚だ遺憾であります。市の厳しい財政状況を鑑みる時、将来的に当該施設を維持・管理・運営を続けることができるのか疑問であります。</p> <p>スポーツ施設は市民の体力向上・健康維持そして快適な日常生活を営むうえで必要不可欠なものでありますが、現状では赤字を出さない運営が前提と考えます。</p> <p>橿原市が健康長寿日本一をめざし、住みよい街・災害のない街づくりを実現し、数少ない人口増加の街づくりを願いたいものです。その第一歩は抜本改革による財政再建と存じます。</p> <p>その第一段階として、市民ウォーキング運動1日8000歩を提案します。現在県において実施されている健康ステーション（近鉄百貨店2階）を拡大するものであります。</p> <p>次に各施設についてですが、先ず全ての施設の駐車場を有料化すべきです。1回200円程度、手間とコストのかからない管理・運営方法の検討要</p> <p>橿原運動公園 総合プール廃止 跡地はゴルフ練習場検討 中央体育館・香久山体育館 廃止 売却又は賃貸を検討 万葉の丘スポーツ広場 弓道場・バターゴルフ場の採算が悪い様ですが、維持管理に多額の経費もかからないと思慮、管理棟もあることから転用より残す方がベターと考えます。</p> <p>（駐車場有料化が前提）</p>	<p>橿原運動公園と県立橿原公園の一体整備については、奈良県と協議、検討を重ねてきましたが、残念ながら実現には至りませんでした。</p> <p>令和13年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会を契機としたスポーツ振興、地域振興を目指し市内での各種競技の誘致、大会開催に向け県と協議を進めます。</p> <p>スポーツ施設計画は、本市におけるスポーツ環境の持続的な提供、スポーツを活かしたまちづくりのために、どのような施設がどの程度必要になるのか、スポーツの実施状況、スポーツ施設の利用状況、安全性、機能性、経済性等を基にスポーツ施設のあり方や配置、有効活用について30年の計画期間でシミュレーションを行い、スポーツ施設の安全性・持続性を確保するための方向性を示すものです。</p> <p>今後は本計画に基づく整備、保全等の実施により、スポーツ施設における効果的・効率的な行政サービスを将来にわたって継続的に提供していきます。</p> <p>なお、市民の健康長寿については、関係部署と連携をはかりスポーツ振興・健康増進に努めます。</p>	P46～ P64

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
11	・ 橿原運動公園 総合プール	水泳連盟に所属しております。市営プールの存続が難しいのは重々承知しておりますが、現在奈良県において大会などを実施できるプールは一つになってしまい、出場できる機会も激減しております。子どもたちにおいても市民団体民体の実施自体が危ぶまれております。ぜひとも橿原市に大会を開くことができるプールを作っていただきますようお願い申し上げます。	<p>橿原市総合プールは供用開始から40年以上が経過し、老朽化の進展による維持管理費の増大が見込まれ、将来にわたる安全性や機能性を確保するためには、大規模更新や改修が不可欠な状況にあります。また、近年では、余暇の多様化、少子高齢化の進展、猛暑の影響など利用者数が減少しています。</p> <p>こうした状況のなか、施設を存続させるための方策についても、慎重に検討を重ねてきましたが、限られた財源の下、施設を健全に運営し続けることは極めて困難であると判断した結果、「廃止」としています。</p> <p>一方、アンケート調査やパブリックコメントにおいても、プールに対する需要を確認できることから、老朽化している学校プールの集約検討や、近隣公共施設、民間プール施設との連携など、代替機能の確保について検討を重ねていきたいと考えています。</p>	P16 P34 P46

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
12	・ 橿原運動公園 全般	総合運動公園は今でも十分に整備されている。拡張して設備を増強すればそれだけ維持費もかさむことになり、際限なく設備を充実させていくことを考えるべきではない。もしくは施設設備を希望する受益者が建設費から維持費までを負担することを前提とする必要がある。その意味では、企業や団体からの寄附やスポンサー、パブリックドメインなどを募る努力を行ってほしい。国体の会場誘致を前提とした県立公苑との交換や一体整備も、先の東京五輪のレガシーと同じように赤字施設の拡大再生産になる恐れがあったため行われなくて良かった。国体についても橿原市はあくまでも身の丈にあった対応をすべきで、奈良県とは距離を取って良いし、持続可能な範囲での再整備、施設の維持程度に止めれば良い。市のスポーツ人口を最大限に見積もるのではなく、各施設の受益者がどれだけのかを精査し、優先順位をつけて整備を行ってほしい。総合プールのように多くの市民が利用することができた施設を無くして、それぞれの競技に限定される施設を作る意義はあまり大きくない。声の大きい人の希望ばかりが通る市にはならないことを望む。	<p>橿原運動公園と県立橿原公苑の一体整備については、奈良県と協議、検討を重ねてきましたが、残念ながら実現には至りませんでした。</p> <p>令和13年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会を契機としたスポーツ振興、地域振興を目指し市内での各種競技の誘致、大会開催に向け県と協議を進めます。</p> <p>運動・スポーツは、市民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なもので、日常的に運動・スポーツを続けるためには、気軽に運動・スポーツに親しめる場所の確保が欠かせません。</p> <p>スポーツ施設計画は、本市におけるスポーツ環境の持続的な提供、スポーツを活かしたまちづくりのために、どのような施設がどの程度必要になるのか、スポーツの実施状況、スポーツ施設の利用状況、安全性、機能性、経済性等を基にスポーツ施設のあり方や配置、有効活用について30年の計画期間でシミュレーションを行い、スポーツ施設の安全性・持続性を確保するための方向性を示すものです。</p> <p>今後は本計画に基づく整備、保全等の実施により、スポーツ施設における効果的・効率的な行政サービスを将来にわたって継続的に提供していきます。</p>	P46～ P64

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
13	・榿原運動公園 全般 ・榿原運動公園 総合プール	<p>① 榿原運動公園の現状維持について</p> <p>2031年の国民スポーツ大会(国体)が奈良県で開催されることが内々定まっています。この国体開催のため、3年ほど前から、榿原運動公園と県の榿原公園の交換話が県と市の間で進められ、2021年11月22日の市議会特別委員会での交換案は否決されました。</p> <p>そもそも、市民の財産である170億円をつぎ込んだ榿原運動公園と県の榿原公園の面積比は3対1であり、市への10億円の補助金上乗せでは等価交換には値しないものです。また、「市民の運動施設やレクリエーション、憩いの場として」ならばと地元住民が先祖伝来の農地を拠出したものであり、やすやすと交換されるべきではありません。</p> <p>榿原運動公園は年間20万人が利用し、災害時には、避難場所、ヘリポート、仮設住宅建設用地などの活用を予定している防災拠点です。</p> <p>この榿原運動公園は、これからも「市民の運動施設やレクリエーション、憩いの場として」、また、榿原市の防災拠点として、活用されるべきです。</p> <p>聞くところによると、県は国体のために、榿原運動公園に総事業費400億円以上の巨費を投じようとしていました。国体の会場は主会場も含めて、既設の施設・設備を活用して、簡素に、経済的になるよう心がけ、県・市町村の無駄な財政出動を極力、避けるべきです。</p>	<p>①榿原運動公園と県立榿原公園の一体整備については、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会だけでなく、今後の市内スポーツ環境の向上や既存の老朽化した施設の再整備にかかる財政負担の軽減等、多くのメリットがあると考え、奈良県と協議、検討を重ねてきましたが、残念ながら実現には至りませんでした。</p> <p>令和13年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会を契機としたスポーツ振興、地域振興を目指し市内での各種競技の誘致、大会開催に向け県と協議を進めます。</p> <p>榿原運動公園は都市公園法に基づく総合公園であり、休息・運動等のレクリエーション空間となるほか、快適で自然ある都市環境の形成や緑地の確保、都市の防災性の向上など、多様かつ重要な役割・機能をはたしています。</p> <p>こうした公園の趣旨を十分に踏まえ、様々な検討をしながら、子どもから大人までより多くの人が集い、憩い、楽しめる魅力あふれる公園を目指していきます。</p>	P46～ P49

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
13	・榿原運動公園 全般 ・榿原運動公園 総合プール	<p>② 榿原市のスポーツ施設の維持について</p> <p>・榿原運動公園総合プール</p> <p>レジャープール、競技用プールは、老朽化もあって廃止の方向とされています。奈良県下では、榿原市近隣の総合プールとしては、近鉄平端駅近くのファミリー公園プールぐらいのものです。新たな総合プールの再建は、県民・榿原市民に注目されます。榿原運動公園総合プールは、入場料は高かったですが、かつては、親子の人気の遊び場でした。せっかくの総合プールの場所があるので、市民の需要が高ければ、総合プールを改装して、新たなレジャーの拠点として、オープンしてもよいと思います。魅力ある榿原市の新たな観光地の1つに、できるかもしれません。</p> <p>しかし、大人一人の入場料が1,000円を越すような入場料は高すぎます。</p>	<p>②榿原市総合プールは供用開始から40年以上が経過し、老朽化の進展による維持管理費の増大が見込まれ、将来にわたる安全性や機能性を確保するためには、大規模更新や改修が不可欠な状況にあります。また、近年では、余暇の多様化、少子高齢化の進展、猛暑の影響など利用者数が減少しています。</p> <p>こうした状況のなか、施設を存続させるための方策についても、慎重に検討を重ねてきましたが、限られた財源の下、施設を健全に運営し続けることは極めて困難であると判断した結果、「廃止」としています。</p> <p>一方、アンケート調査やパブリックコメントにおいても、プールに対する需要を確認できることから、老朽化している学校プールの集約検討や、近隣公共施設、民間プール施設との連携など、代替機能の確保について検討を重ねていきたいと考えています。</p> <p>なお、仮に総合プールの大規模更新や改修を行い、維持管理を続けるとした場合、入場料負担についても、大幅な増加が必要となることが見込まれます。</p>	P16 P34 P46

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
14	・榑原運動公園 全般 ・榑原運動公園 総合プール	総合プールをなくすのであれば、それに代わるものを新築してほしい。海のない県だからこそ、泳げる場所を作ってほしい。	榑原市総合プールは供用開始から40年以上が経過し、老朽化の進展による維持管理費の増大が見込まれ、将来にわたる安全性や機能性を確保するためには、大規模更新や改修が不可欠な状況にあります。また、近年では、余暇の多様化、少子高齢化の進展、猛暑の影響など利用者数が減少しています。 こうした状況のなか、施設を存続させるための方策についても、慎重に検討を重ねてきましたが、限られた財源の下、施設を健全に運営し続けることは極めて困難であると判断した結果、「廃止」としています。 一方、アンケート調査やパブリックコメントにおいても、プールに対する需要を確認できることから、老朽化している学校プールの集約検討や、近隣公共施設、民間プール施設との連携など、代替機能の確保について検討を重ねていきたいと考えています。	P16 P34 P46

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
15	・市スポーツ施設全般	各施設の現状を詳細にお知らせいただきよく分かりました。 これだけ沢山のスポーツに関する施設が有ることを知りませんでした。 今後も市民の憩いの場として活用出来る事を望みます。 劣化した施設の改善にどれだけの費用が掛かるのか気掛かりです。 これらの施設は市民の大切な財産です。決して無くさないで下さい。	運動・スポーツは、市民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なもので、日常的に運動・スポーツを続けるためには、気軽に運動・スポーツに親しめる場所の確保が欠かせません。 スポーツ施設計画は、本市におけるスポーツ環境の持続的な提供、スポーツを活かしたまちづくりのために、どのような施設がどの程度必要になるのか、スポーツの実施状況、スポーツ施設の利用状況、安全性、機能性、経済性等を基にスポーツ施設のあり方や配置、有効活用について30年の計画期間でシミュレーションを行い、スポーツ施設の安全性・持続性を確保するための方向性を示すものです。 今後は本計画に基づく整備、保全等の実施により、スポーツ施設における効果的・効率的な行政サービスを将来にわたって継続的に提供していきます。	P46～ P64

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
16	・ 榿原運動公園 全般	<p>約45年にわたり、市民の税金を170億円もつぎ込んだ榿原運動公園を県の施設である榿原公園と交換することに反対です。</p> <p>交換案は市議会の特別委員会において否決されており亀田市長も荒井知事も断念を表明されています。</p> <p>市民プールは親子連れで楽しむレクリエーションの場に、テニスコートやソフトボール場は軽スポーツに、軟式野球場は市中学総合体育大会野球大会等に、広場や水場やバラ園は市民の憩いの場にと、それぞれ将来的にも大いに利用価値のあるものです。</p> <p>榿原運動公園の用地を提供された地元雲梯町や東坊城町の人達は目的外に運用されることに大きな疑問と承服できない気持ちをお持ちです。</p>	<p>榿原運動公園と県立榿原公園の一体整備については、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会だけでなく、今後の市内スポーツ環境の向上や既存の老朽化した施設の再整備にかかる財政負担の軽減等、多くのメリットがあると考え、奈良県と協議、検討を重ねてきましたが、残念ながら実現には至りませんでした。</p> <p>令和13年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会を契機としたスポーツ振興、地域振興を目指し市内での各種競技の誘致、大会開催に向け県と協議を進めます。</p> <p>榿原運動公園は都市公園法に基づく総合公園であり、休息・運動等のレクリエーション空間となるほか、快適で自然ある都市環境の形成や緑地の確保、都市の防災性の向上など、多様かつ重要な役割・機能をはたしています。</p> <p>こうした公園の趣旨を十分に踏まえ、様々な検討をしながら、子どもから大人までより多くの人が集い、憩い、楽しめる魅力あふれる公園を目指していきます。</p>	P46～ P49

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
17	・ 榿原運動公園 テニスコート ・ 榿原市万葉の 丘スポーツ広場 テニスコート	<p>榿原ソフトテニスクラブに所属しており、運動公園と万葉の丘テニスコートをよく利用させて頂いてます。10年後の国体会場問題では、奈良県からの提案が市議会で否決されて良かったです。榿原市民のメリットはなく、犠牲になる可能性が大と考えていました。スポーツ施設計画の概要版しか読んでおりませんので、ご了承をお願いします。①テニス施設は、コートの改修や張替えを最優先にして下さい。数年前に、酷いコート状態であるのに予算がないとの理由で、数年放置され怪我人も出たことがありました。クラブハウス新設や改修に予算が取られ、コートのメンテナンスが後回しになり利用者の満足度や安全が低下すれば、本末転倒となってしまいます。民営のテニスクラブでもないし、市民なら近場なので、クラブハウスやシャワーも最低限で良いと考えています②せめて利用者の多い榿原榿原運動公園の施設利用状況や予約をWEBで可能にして欲しい。</p>	<p>榿原運動公園と県立榿原公園の一体整備については、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会だけでなく、今後の市内スポーツ環境の向上や老朽化した施設の再整備にかかる財政負担の軽減等、多くのメリットがあると考え、奈良県と協議、検討を重ねてきましたが、残念ながら実現には至りませんでした。</p> <p>令和13年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会を契機としたスポーツ振興、地域振興を目指し市内での各種競技の誘致、大会開催に向け県と協議を進めます。</p> <p>①利用者の安全・安心を第一としたうえで、より快適に施設利用いただけるよう運営・維持管理に努めます。</p> <p>②施設の利用状況確認・予約等のデジタル化も含め、利便性の向上に取り組みます。</p>	P46～ P64

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
18	・ 榿原運動公園 全般 ・ 榿原運動公園 総合プール	県立榿原公園と榿原市運動公園全面交換案が断念された事を非常に残念に思います。P46慎重に検討を重ねた結果廃止とありますが、交換案が再度検討される事は無いのでしょうか？P34利用者減少とありますが、少子化で減少は仕方無いですが、コロナ収束後子供達は再開を願っているのではないのでしょうか？ただでさえ学校体育授業制限されたり、体力低下が心配されます。存続の為クラウドファンディング案は既に検討されたと思いますがいかがでしょうか？	榿原運動公園と県立榿原公園の一体整備については、奈良県と協議、検討を重ねてきましたが、残念ながら実現には至りませんでした。 令和13年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会を契機としたスポーツ振興、地域振興を目指し市内での各種競技の誘致、大会開催に向け県と協議を進めます。 榿原市総合プールは供用開始から40年以上が経過し、老朽化の進展による維持管理費の増大が見込まれ、将来にわたる安全性や機能性を確保するためには、大規模更新や改修が不可欠な状況にあります。また、近年では、余暇の多様化、少子高齢化の進展、猛暑の影響など利用者数が減少しています。 こうした状況のなか、施設を存続させるための方策についても、慎重に検討を重ねてきましたが、限られた財源の下、施設を健全に運営し続けることは極めて困難であると判断した結果、「廃止」としています。 一方、アンケート調査やパブリックコメントにおいても、プールに対する需要を確認できることから、老朽化している学校プールの集約検討や、近隣公共施設、民間プール施設との連携など、代替機能の確保について検討を重ねていきたいと考えています。	P16 P34 P46

提出者 NO	意見分類 (対象施設)	意見内容 (意見内容については、原文のまま掲載しています。)	市の考え	該当 ページ
19	・ 榿原運動公園 総合プール	総合プールについて。榿原市水泳連盟は、水泳を通じて、市民活動に関わってきました。一体整備が頓挫し榿原市から活動出来るプールが無くなる事が確定的になりました。水泳連盟は解散せざるを得ない状況です。プールで行えることは、水泳競技だけではありません。水泳や水中歩行を通じて、市民の健康増進に寄与できる定性的・定量的効果があると考えてます。床昇降式の屋内プール(希望は50m×25m)の建設が実現すれば、年間を通して小学校の水泳授業(水の事故から命を守る授業)、生活習慣病の改善プログラム(医大とのコラボ)、腰痛・膝痛などの整形外科疾患の改善プログラム(医大とのコラボ)などを通じて、市民の健康寿命を伸ばす取り組みも可能です。また、競泳以外の水泳競技(水球・アーティスティックスイミング・飛び込み)など、県内で行われてない競技をすることで、プールの利用価値も上がります。このようなことから、今年計画通りにいけば廃止となる総合プールの代替施設の建設を早期に望みます。	榿原運動公園と県立榿原公園の一体整備については、奈良県と協議、検討を重ねてきましたが、残念ながら実現には至りませんでした。 榿原市総合プールは供用開始から40年以上が経過し、老朽化の進展による維持管理費の増大が見込まれ、将来にわたる安全性や機能性を確保するためには、大規模更新や改修が不可欠な状況にあります。また、近年では、余暇の多様化、少子高齢化の進展、猛暑の影響など利用者数が減少しています。 こうした状況のなか、施設を存続させるための方策についても、慎重に検討を重ねてきましたが、限られた財源の下、施設を健全に運営し続けることは極めて困難であると判断した結果、「廃止」としています。 なお、ご意見にあるプール施設規模は市単独での建設・維持管理は非常に困難ですが、老朽化している学校プールの集約検討や、近隣公共施設、民間プール施設との連携など、代替機能の確保について検討を重ねていきたいと考えています。	P16 P34 P46

橿原市スポーツ施設計画 (検討資料編)

発行日 2022年(令和4年)3月
発行・編集 橿原市 魅力創造部 文化・スポーツ局
スポーツ推進課
〒634-0075 奈良県橿原市小房町 11-5
TEL 0744-29-8019